

## 第2回 おだわら高齢者福祉介護計画策定検討委員会 次第

日時：平成29年3月30日（木）  
午後3時から午後4時30分まで  
場所：小田原市役所3階議会全員協議会室

### 1 開会

### 2 議題

(1) 第7期介護保険事業計画の策定に向けた国の考え方について (資料1)

(2) 第6期おだわら高齢者福祉介護計画の実施状況について (資料2)

(3) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について (資料3)

(4) その他

### 3 閉会

## 1. 第 7 期介護保険事業（支援）計画の策定に向けて

介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針（以下「基本指針」という。）は、先般、社会保障審議会介護保険部会においてご議論いただいたところである（「参考資料 1.」参照）。

今後、議論を踏まえて具体的な検討を進めていくが、基本指針の検討にあたって考慮すべきと考えられる要素としては、次のとおりであるので、都道府県及び市町村は、第 7 期介護保険事業（支援）計画（以下、「第 7 期計画」という。）作成に向けて遺漏なきようお願いする。

### （1）基本指針の見直しにあたっての基本的な考え方

#### ア 地域包括ケアシステムの深化・推進

介護保険事業計画は、第 6 期から、「地域包括ケア計画」として位置づけ、2025 年（平成 37 年）までの各計画期間を通じて地域包括ケアシステムを段階的に構築することとしている。

地域包括ケアシステムは、高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制である。今後、高齢化が進展していく中において、この理念を堅持し、地域包括ケアシステムをより深化・推進していく必要がある。

特に、いわゆる団塊世代が 75 歳以上となる 2025 年（平成 37 年）、さらにはいわゆる団塊ジュニア世代が 65 歳以上となる 2040 年（平成 52 年）に向けて、大都市やその周辺都市、地方都市、中山間地域等、地域によって高齢化の状況及びそれに伴う介護需要も異なってくるのが想定され、地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムを深化・推進していくことが重要である。

#### イ 保険者機能の強化と地域マネジメントの推進

このような状況を踏まえ、保険者である市町村においては、

- ① 各保険者において、それぞれの地域の実態把握・課題分析を行う。
- ② 実態把握・課題分析を踏まえ、地域における共通の目標を設定し、関係者間で共有するとともに、その達成に向けた具体的な計画を作成する。
- ③ この計画に基づき、地域の介護資源の発掘や基盤整備、多職種連携の推進、

効率的なサービス提供も含め、自立支援や介護予防に向けた様々な取り組みを推進する。

- ④ これら様々な取り組みの実績を評価した上で、計画について必要な見直しを行う。

の取り組みを繰り返し行うこと、すなわち、目標達成に向けた活動を継続的に改善する取組である「地域マネジメント」を推進し、保険者機能を強化していくことが必要である。

また、都道府県は、必要に応じて市町村に対し、実施上の助言をす  
るほか、市町村職員等に対する研修の実施や医療職やその他の専門職の派  
遣に関する職能関係団体等との調整を行うなどの積極的な支援を行う  
ことが重要である。

#### ウ 2025（平成37年）年度を見据えた第7期計画の作成

このような背景から、各市町村においては、今後の高齢者（被保険者数）の  
動向を視野に入れながら、2025（平成37）年度の介護需要、サービス種類ご  
との量の見込みやそのために必要な保険料水準を推計するとともに、それらを踏  
まえた中長期的な視野に立って、関係者との議論のもと、第7期から第9期に  
おける段階的な充実の方針とその中での第7期の位置づけを明らかにし、第7  
期において、具体的な取組内容やその目標を計画に位置づけることが必要であ  
る。

具体的には、平成27年度～29年度の介護給付等の実績を踏まえつつ、第7  
期計画期間中の市町村の取組を基礎として平成37年度の推計を行う。この推計  
は単に将来の推計を行うだけでなく、第7期におけるサービスの充実の方向  
性、生活支援サービスの整備及び医療・介護の提供体制の整備等により平成37  
年度の保険料水準等がどう変化するかを検証しながら設定することを期待する  
ものである。

なお、推計に際しては、都道府県が医療計画の一部として作成する地域医療  
構想とも整合性がとれたものとすることが重要である。

#### エ 医療計画との整合性の確保

医療計画、市町村介護保険事業計画及び都道府県介護保険事業支援計画につ  
いては、平成30年度以降、計画作成・見直しのサイクルが一致することとな

る。

このため、高度急性期から在宅医療・介護までの一連のサービス提供体制の一体的な確保を図るため、都道府県が作成する医療計画と介護保険事業支援計画の整合性を確保することが必要である。

また、医療計画の一部として作成された地域医療構想と、市町村介護保険事業計画及び都道府県介護保険事業支援計画におけるサービス種類ごとの量の見込みとの整合性を確保することができるよう、都道府県や市町村における計画作成において、関係者による協議の場を設置し、より緊密な連携が図られるような体制整備を図っていくことが重要である。

#### オ 第6期計画の実施状況の確認、評価及び把握

第7期計画の作成にあたって、まずは、第6期計画の実施状況について、平成27年、28年の実績値などを踏まえながら、第6期計画での見通しとの比較確認を行い、乖離が生じている場合にはその要因を整理することが重要である。

また、給付状況や要介護認定率等については介護保険事業状況報告のデータのほか、地域包括ケア「見える化」システムによる他の保険者との地域間比較・分析などを活用し、現状とともに給付状況の特徴等も把握し、保険者として取組と要因を整理することが重要である。

さらに、平成28年3月25日に会計検査院から国会へ報告された平成27年度の決算検査報告において、厚生労働省として、定期巡回・随時対応型訪問介護看護や小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービス事業所のサービスの特性又は利便性等について、保険者、事業所、ケアマネジャー、要介護者等に対して一層の周知等を行うこととされたところである（「参考資料2.」参照）。

各市町村においては、平成30年度からの第7期計画の作成にあたって、上記のサービスを含めた利用状況の一層の把握やサービス内容の周知等に積極的に取り組んでいただきたい。

### (2) 第7期計画の策定プロセスと支援ツール

#### ア 議論に基づく施策反映

介護保険は、各保険者の給付する介護サービスの量や種類等が、それぞれの保険者の保険料水準に反映される制度である。

このため、保険者として地域の課題を把握した上で、地域の将来像をどう描

き、どのような保険料水準で、どのようなサービス水準を目指していくのかについて、住民や関係者の意見を聞きながら保険者として判断し、第7期計画において明確に示すことが必要である。

これまでの介護保険事業計画の作成にあたっては、一般的には現状の実績値や、将来の年齢別人口の変化をもとにしたワークシートによる自動計算結果(自然体推計)に基づいた計画作成が一般的であった。しかし、地域マネジメントや保険者機能の強化が重視される中で、保険者である市町村は、目指すべき目標を示していくことが求められている。

この目標を実現するための方向性を示すためには、現状をもとに、これまでの人口構造の変化等により、単純に直近のサービスの利用量等を伸ばしていく、いわゆる自然体推計に加え、これに施策を反映するため、計画作成委員会等の場において、地方自治体独自の調査結果や地域ケア会議で把握された地域課題、さらに以下のイで掲げる各種調査の結果等を材料としたうえで、幅広い関係者によって議論していただくことが必要である。

その際は、地域課題等への対応策を検討して、具体的な取組内容やその目標を計画に位置づけていく必要がある。

## イ 要介護者等の地域の実態把握

市町村が第7期計画を作成するにあたり、市町村が介護保険の保険者としてその能力を発揮するためには、給付実績等の要因分析、地域の高齢者の状況の把握等を行うことが重要である。それに資するよう国としても次のとおりの支援ツール等を提供しているため、これらを積極的に活用していただき、計画作成委員会等で十分に議論した上で、保険者として取り組むべき施策等を第7期計画へ反映していただきたい。

### (ア) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

これまで、設問数が多い等の課題があった日常生活圏域ニーズ調査の調査項目を見直し、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査票や実施の手引きをお示ししたところである。この調査結果を地域包括ケア「見える化」システムに登録することにより、日常生活圏域単位で視覚的に把握することが可能となるため、各市町村においては、積極的な登録をお願いする。

なお、調査結果を登録するための地域診断支援情報送信ソフトについては、5月頃を目途に提供していく予定である(「参考資料4.」参照)。

#### (イ) 在宅介護実態調査

「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労の継続」に有効な介護サービスのあり方を検討するための調査として、「在宅介護実態調査」を提案し、調査票や調査手法を示したところ、多くの地方自治体で本調査を実施いただいているところである。この調査結果を集計、分析し、グラフ等を作成する集計分析ソフト、7つの地方自治体において試行的に調査した結果及び考察例を厚生労働省のホームページに近日中に掲載するので、調査結果を活用して計画を作成するための支援ツールとして活用いただきたい。

#### (ウ) 地域包括ケア「見える化」システム等を活用した地域分析

現在、地域包括ケア「見える化」システム等を活用した、基本的な給付分析の手順や計画作成への活かし方等を記したガイドラインを作成しており、早期に都道府県や市町村へ提供していく予定である。各市町村におかれては、データに基づく課題分析を実施する際に、また都道府県におかれては、市町村を支援する際に活用いただきたい。

#### ウ 都道府県における市町村支援

都道府県においては、市町村介護保険事業計画に記載されている在宅医療・介護連携推進事業、認知症施策等が推進されるよう、必要な後方支援・広域調整などに取り組むことが重要となる。

このため、都道府県が作成する介護保険事業支援計画においては、在宅医療・介護連携推進事業に対する医療部局との連携を含め、より実効的な市町村支援を盛り込む等、都道府県の介護部局及び医療部局の双方が市町村支援に取り組むこととするとともに、住宅部局をはじめとした関係部局との連携を進めていく取組を示すことが重要である。

さらに、保険者である市町村が保険者機能を発揮するためには、都道府県が市町村を具体的にかつ積極的に支援していくことが求められている。

このため、平成28年度においては、都道府県による支援体制整備のノウハウ抽出を目的に、モデルとなる5道府県から専門的な知識を有する有識者等を保険者に一定期間派遣し、給付費分析を含めた適切な計画作成等に関するアドバイスを行う試行事業を実施している（「参考資料3.」参照）。

平成29年度においては、すべての都道府県で本事業を実施することとしている（「参考資料13.」参照）。都道府県におかれては、本事業の積極的な活用に

より、第7期計画作成において保険者を支援していただくようお願いする。

### (3) 地域包括ケア「見える化」システムにおける「将来推計機能」等

#### ア これまでの取組について

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県、市町村における介護保険事業（支援）計画等の作成・実行を総合的に支援するための情報システムである（「参考資料4.」参照）。

第7期計画作成の支援として提示する推計ツールについては、地域包括ケア「見える化」システム内の「将来推計機能」として、平成28年7月27日に2.0次リリースとして、試行版推計ツールを提示したところである。あわせて、都道府県等の担当者を対象とした操作講習会を開催し、各都道府県において伝達講習会の開催をお願いしたところである。

#### イ 今後のリリース

平成29年3月下旬に予定している3.0次リリースでは、平成28年11月に実施した市町村等からの意見集約を踏まえ、表示されるエラーメッセージの改善や施策反映を可能とする項目の追加等の機能拡充を行った暫定版推計ツールをお示しする予定である。また、自然体推計の計算過程を確認・理解することを目的とした「自然体推計の計算過程確認シート」というエクセルファイルが地域包括ケア「見える化」システムからダウンロード可能となる予定である。

平成29年夏頃に予定している4.0次リリースでは、制度改正への対応のほか、小規模保険者向けに認定者数、サービス利用者において、要介護度を包括的に推計する自然体推計ロジックの追加、都道府県への推計データ提出機能、情報提供機能等を実装した確定版推計ツールをお示しする予定である。

また、平成29年秋頃には、都道府県における推計データ比較機能の拡充や必要利用（入所）定員総数の登録機能等を実装した4.5次リリースを行う予定である。

#### ウ 将来推計機能の利用促進

将来推計機能を利用するためには、将来推計権限が付与されたユーザアカウントでログインする必要があるが、都道府県別の各保険者による将来推計権限が付与されたユーザアカウント作成状況には差がみられるところである。

平成 29 年度初頭に将来推計機能利用状況の把握を行う予定としているので、各都道府県におかれては、管内市町村に対して積極的な働きかけをお願いします。

なお、各都道府県には管内市町村の将来推計権限が付与されたユーザアカウントを配布しているが、これは各都道府県が将来推計機能の操作を確認することを目的として配布したものであり、市町村が利用するユーザアカウントではないことに留意すること。

## エ 今後の予定等

今回、国会に提出中の法案の審議状況を踏まえて、あらためて全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議を開催し、基本指針案をお示しする予定である。また、本年秋を目途に都道府県に対して、管内の市町村等の介護保険事業計画策定の進捗状況等を確認するヒアリングを、各地方厚生（支）局において実施する予定であるので、ご承知おきいただきたい。





# 第 6 期おだわら高齢者福祉介護計画に基づく 高齢者福祉事業及び介護保険事業の実施状況

ページ

1	高齢者がいきいきと活動できる環境づくりの促進	
(1)	アクティブシニア応援ポイント事業	1
(2)	生きがいふれあいフェスティバル開催事業	〃
(3)	老人クラブ活動補助事業	2
(4)	老人クラブ加入促進事業	〃
(5)	シルバー人材センター運営補助事業	3
(6)	シルバー人材センター活用事業	〃
(7)	敬老行事・長寿祝事業	4
(8)	社会参加連携事業	〃
(9)	高齢者はり・きゅう・マッサージ等施術費助成事業	5
(10)	福寿カード配布事業	〃
(11)	高齢者外出支援関連情報提供事業	6
(12)	生きがいふれあいセンターいそしぎ管理運営事業	〃
(13)	前羽福祉館管理運営事業	7
(14)	下中老人憩いの家管理運営事業	〃
2	地域における高齢者支援体制の強化	
(1)	地域包括支援センター運営事業	8
(2)	地域包括支援センター増設事業	〃
(3)	地域ケア会議開催事業（個別、圏域）	9
(4)	基幹的な役割の地域包括支援センターの研究	〃
(5)	認知症支援推進事業	10
(6)	認知症ケアバス構築事業	〃
(7)	認知症地域支援推進員設置事業	11
(8)	認知症初期集中支援事業	〃
(9)	成年後見制度利用支援事業	12
(10)	おだわら市民後見人養成事業	〃
(11)	家族介護教室開催事業	13
(12)	家族介護用品支給事業	〃
(13)	徘徊認知症高齢者探索事業	14
(14)	徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業	〃
(15)	介護マーク普及事業	15
(16)	家族介護者外出支援研究事業	〃
(17)	高齢者救急要請カード配布事業	16
(18)	独居老人等緊急通報システム事業	〃

(19) 福祉タクシー利用助成事業	17
(20) 生活応援隊事業	"
(21) 高齢者居住支援関連情報提供事業	18
(22) 要配慮者支援対策事業	"
(23) 高齢者見守り事業	19
(24) 食の自立支援事業（任意事業分）	"
(25) 老人ホーム入所判定事業	20
(26) 緊急一時入所事業	"
(27) 高齢者虐待防止ネットワーク事業	21
(28) おだわら地域包括ケア推進会議開催事業	"
(29) 在宅医療・介護連携事業	22
(30) 在宅医療・介護サービス情報発信事業	"

### 3 介護保険事業の円滑な運営

(1) 要支援・要介護認定事業	23
(2) 訪問介護、介護予防訪問介護	24
(3) 訪問入浴介護、介護予防訪問入浴介護	25
(4) 訪問看護、介護予防訪問看護	26
(5) 訪問リハビリテーション、介護予防訪問リハビリテーション	27
(6) 居宅療養管理指導、介護予防居宅療養管理指導	28
(7) 通所介護、介護予防通所介護	29
(8) 通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション	30
(9) 短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護	31
(10) 短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護	32
(11) 特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護	33
(12) 福祉用具貸与、介護予防福祉用具貸与	34
(13) 特定福祉用具購入費支給、特定介護予防福祉用具購入費支給	35
(14) 住宅改修費支給、介護予防住宅改修費支給	36
(15) 居宅介護支援、介護予防支援	37
(16) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	38
(17) 夜間対応型訪問介護	"
(18) 認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護	39
(19) 小規模多機能型居宅介護、介護予防小規模多機能型居宅介護	40
(20) 認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護	41
(21) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	42
(22) 看護小規模多機能型居宅介護	"
(23) 地域密着型通所介護	43
(24) 介護老人福祉施設	"
(25) 介護老人保健施設	44
(26) 介護療養型医療施設	"
(27) 介護保険施設等整備事業	45
(28) 介護サービス事業者の指定	52
(29) 介護人材確保支援事業	"

(30) 介護サービス事業者指導・監査事業	53
(31) 介護サービス事業者支援事業	〃
(32) ケアマネジメント技術向上支援事業	54
(33) 介護相談員派遣事業	55
(34) 介護給付適正化事業	56
(35) 居宅介護支援事業者等補助事業	57
(36) 社会福祉法人等利用者負担軽減事業	〃
(37) 高額介護サービス費等の給付	58
(38) 介護サービス情報公表	59

#### 4 新しい総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の円滑な運営

(1) 生活支援協議体の設置	59
(2) 生活支援コーディネーターの配置	60
(3) 生活支援事業主体の育成・支援	〃
(4) 地域の生活支援・介護予防サービスの情報提供	61
(5) 訪問型サービス事業	〃
(6) 閉じこもり、認知症、うつ予防等訪問型介護予防事業	62
(7) 食の自立支援事業（介護予防事業分）	63
(8) 通所型サービス事業	64
(9) 複合型介護予防教室運営事業	65
(10) その他生活支援事業	66
(11) 介護予防ケアマネジメントの実施	〃
(12) 介護予防把握事業	67
(13) 高齢者筋力向上トレーニング事業（基幹型・地域型）	〃
(14) 高齢者栄養改善・口腔機能向上事業	68
(15) 認知症予防事業	〃
(16) 介護予防普及啓発事業	69
(17) 生きがいふれあいフェスティバル開催事業	〃
(18) 高齢者体操教室開催事業	70
(19) いきいき健康事業	〃
(20) 地域介護予防活動支援事業	71
(21) ふれあい担い手発掘事業	〃
(22) 介護予防事業評価事業	72
(23) 地域リハビリテーション活動支援事業	〃

# 1 生きがいづくりと社会参加の促進

## (1) アクティブシニア応援ポイント事業

### <事業概要>

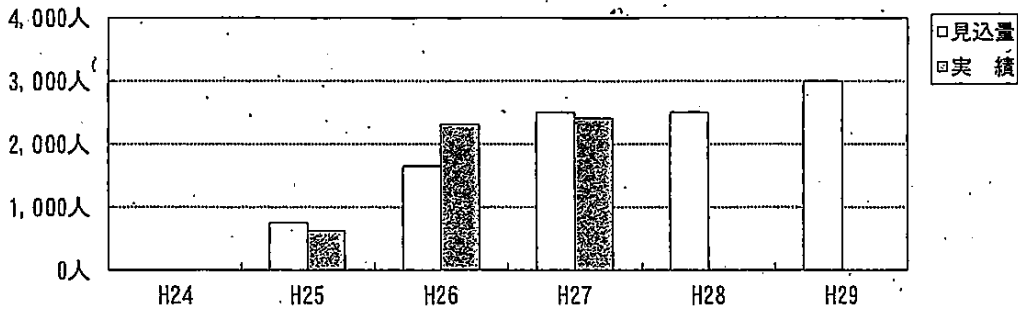
60歳以上の市民が行う、市指定の介護保険施設などでのボランティア活動に対してポイントを付与し、ポイントに応じた商品交換を行います。

### <参加延べ人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	2,500	2,500	3,000
実績	2,407		
達成率	96.3%		

※H25開始事業



### <点検評価>

## (2) 生きがいふれあいフェスティバル開催事業

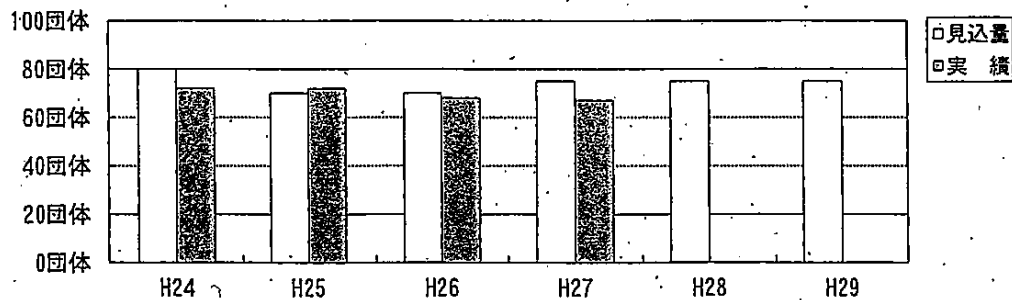
### <事業概要>

高齢者の日頃の活動の成果を発表するとともに、世代を越えて市民がふれあうイベントを開催します。

### <参加団体数>

単位：団体

	H27	H28	H29
見込量	75	75	75
実績	67		
達成率	89.3%		



### <点検評価>

### (3) 老人クラブ活動補助事業

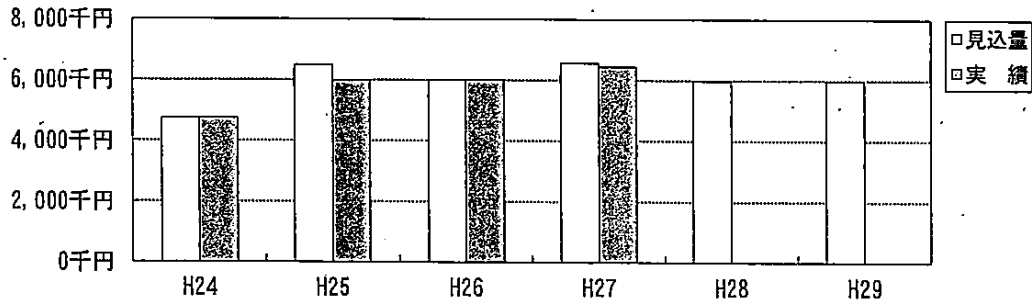
<事業概要>

高齢者の組織的な活動を促進し、明るい長寿社会をの形成を図ることを目的とする老人クラブに対し、補助を行います。

<補助金額>

単位：千円

	H27	H28	H29
見込量	6,558	5,966	5,966
実績	6,430		
達成率	98.0%		



<点検評価>

### (4) 老人クラブ加入促進事業

<事業概要>

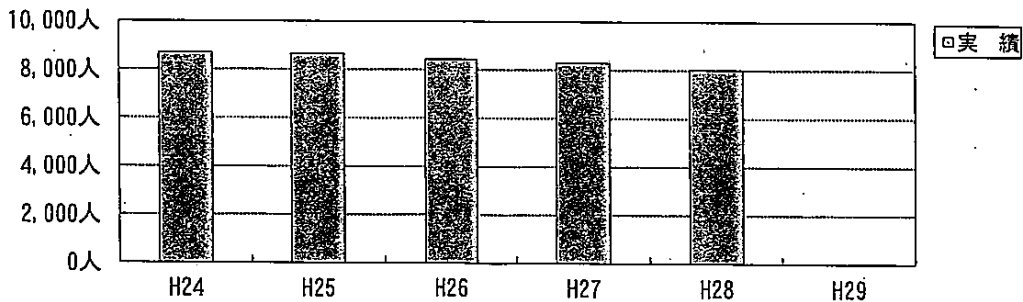
老人クラブに対して、会員加入を支援することで、支える側の高齢者を増やすとともに組織の活性化を図ります。

<会員数>

単位：人

	H27	H28	H29
実績	8,292	8,022	
60歳以上人口	66,419	66,814	
加入率	12.5%	12.0%	

(各年度4月1日現在)



<点検評価>

**(5) シルバー人材センター運営補助事業**

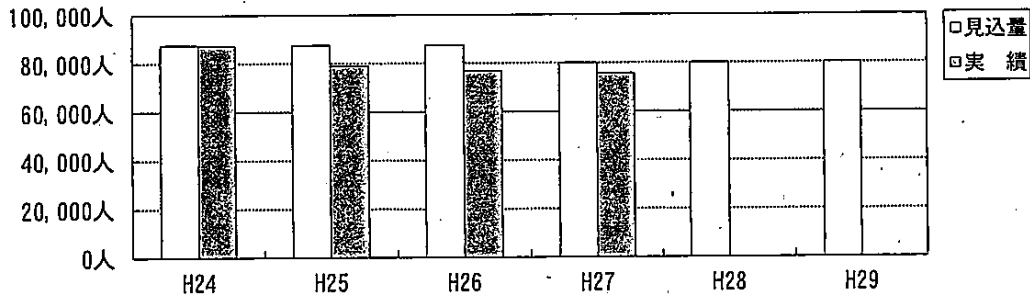
＜事業概要＞

高齢者の雇用の機会、その他の多様な就業の機会を促進し、高年齢者の福祉の増進を図るシルバー人材センターの運営に対する補助を行います。

＜就業延べ人員＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	80,000	80,000	80,000
実績	75,637		
達成率	94.5%		



＜点検評価＞

**(6) シルバー人材センター活用事業**

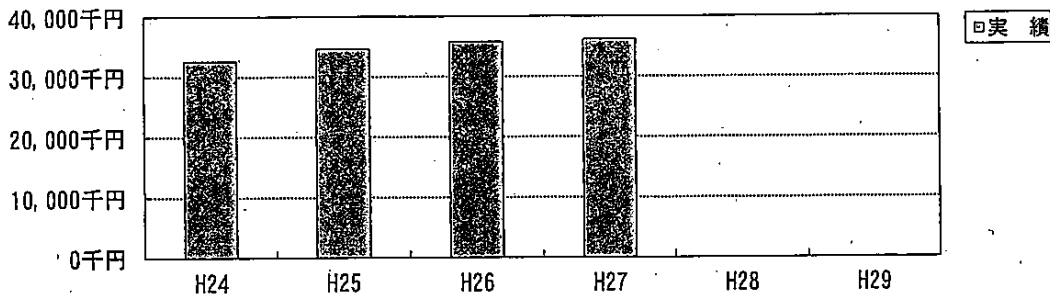
＜事業概要＞

行政からシルバー人材センターへの委託業務の拡大を図るなど、シルバー人材センターを側面から支援します。

＜委託金額＞

単位：千円

	H27	H28	H29
実績	36,202		



＜点検評価＞

## (7) 敬老行事・長寿祝事業

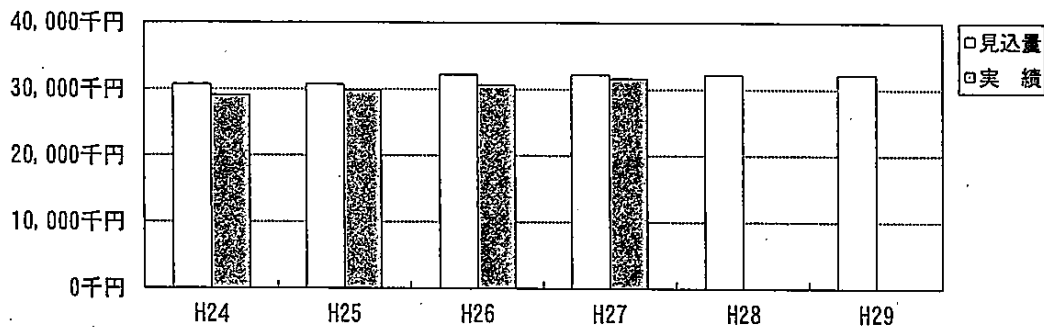
### <事業概要>

多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し長寿を祝うため、敬老祝金品を贈呈するとともに、敬老行事を自治会や地区社会福祉協議会等の委託により実施します。

### <委託料>

単位：千円

	H27	H28	H29
見込量	32,175	32,175	32,175
実績	31,622		
達成率	98.3%		



### <点検評価>

## (8) 社会参加連携事業

### <事業概要>

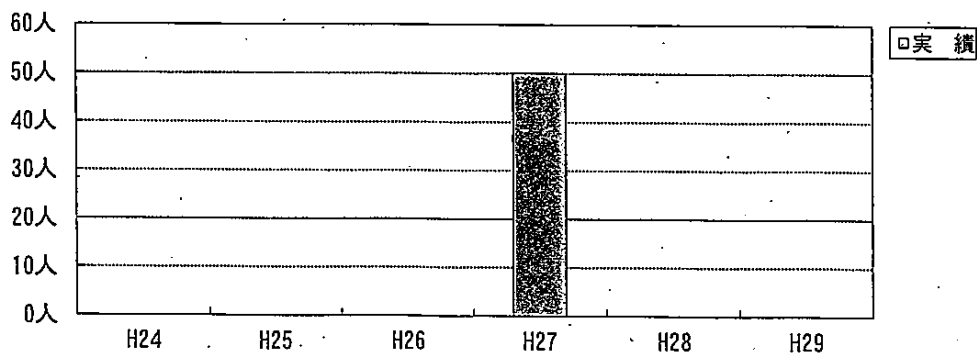
シニア世代の社会参加を促進するため、「シニア」と「活動の場」をマッチングするプラットフォームとして、登録制度「シニアバンク」の運営や「セカンドライフ応援セミナー」を開催します。

### <セミナー参加者数>

単位：人

	H27	H28	H29
実績	50		

※H27開始事業



### <点検評価>



**(9) 高齢者はり・きゅう・マッサージ等施術費助成事業**

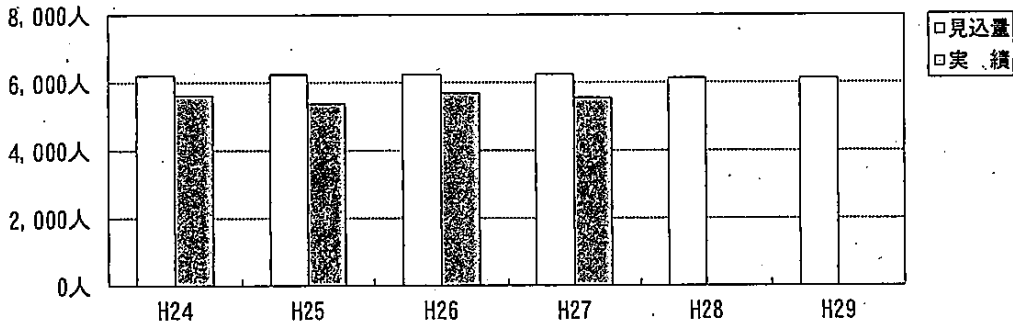
＜事業概要＞

高齢者の心身の健康増進を図るため、70歳以上の方を対象に、市と協定を結んだ施術所で、はり・きゅう等の施術を受けた方の費用の一部を助成します。

＜利用延べ人数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	6,241	6,132	6,132
実績	5,550		
達成率	88.9%		



＜点検評価＞

点検評価欄

**(10) 福寿カード配布事業**

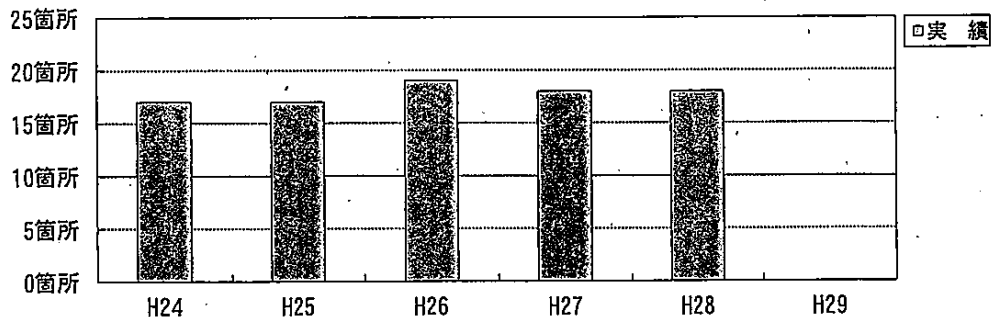
＜事業概要＞

市が契約を締結している旅館に協定料金で宿泊できるほか、市内各公共施設に無料で入館できるカードを配布することで、高齢者の外出支援を促進します。

＜優待施設数＞

単位：箇所

	H27	H28	H29
実績	18	18	0



＜点検評価＞

点検評価欄

**(11) 高齢者外出支援関連情報提供事業**

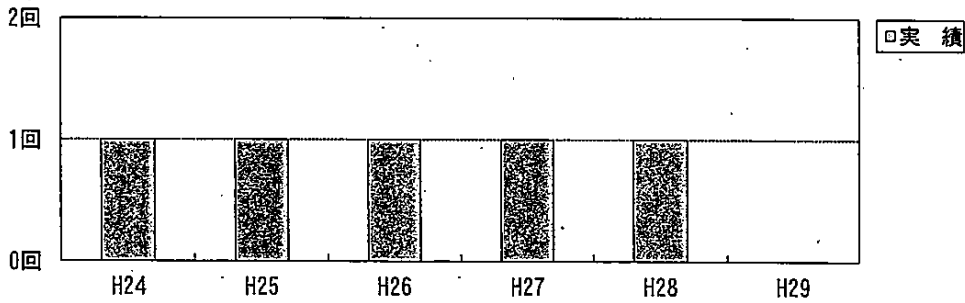
＜事業概要＞

高齢者の外出支を促進するため、高齢者の生きがいづくりや社会参加等に関する情報をまとめ、「高齢者のための福祉ガイド」として発行します。

＜発行回数＞

単位：回

	H27	H28	H29
実績	1	1	



＜点検評価＞

点検評価欄

**(12) 生きがいふれあいセンターいそしぎ管理運営事業**

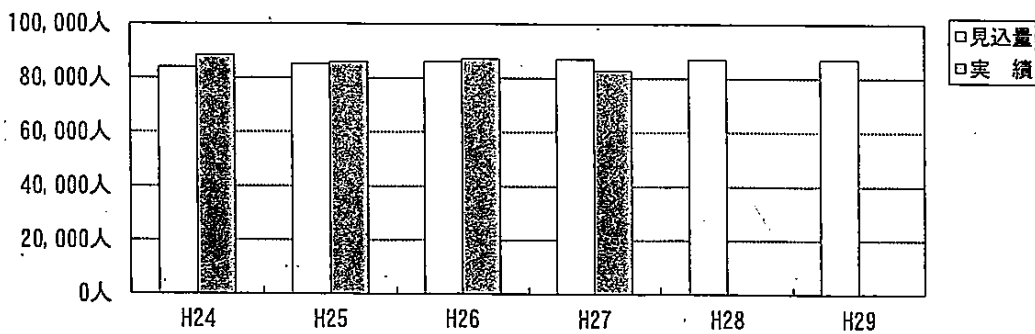
＜事業概要＞

高齢者の生きがいづくりや社会参加の場として、生きがいふれあいセンターいそしぎの管理運営を行います。

＜利用者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	87,000	87,000	87,000
実績	82,794		
達成率	95.2%		



＜点検評価＞

点検評価欄

**(13) 前羽福祉館管理運営事業**

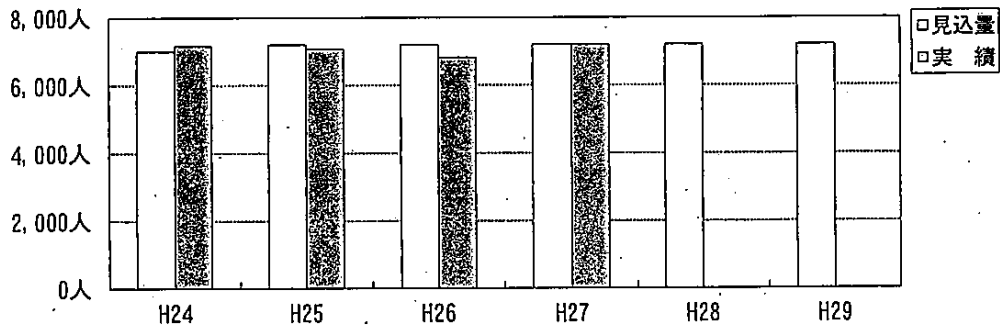
＜事業概要＞

市民の福祉増進を図る場として、前羽福祉館の管理運営を行います。

＜利用者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	7,200	7,200	7,200
実績	7,189		
達成率	99.8%		



＜点検評価＞

-----

**(14) 下中老人憩いの家管理運営事業**

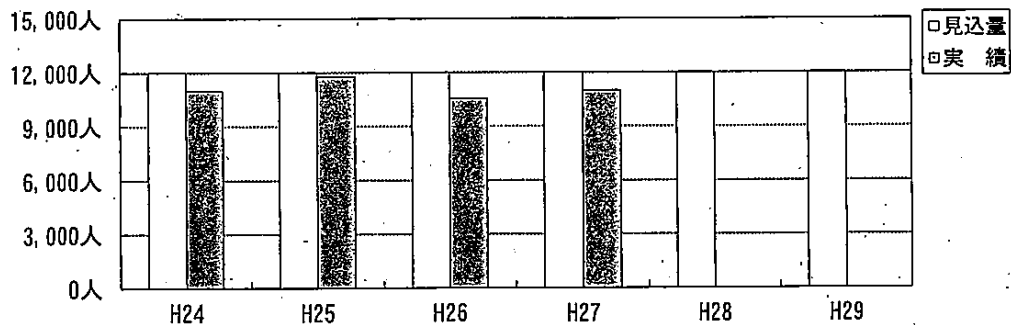
＜事業概要＞

老人福祉の増進を図る場として、下中老人憩いの家の管理運営を行います。

＜利用者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	12,000	12,000	12,000
実績	10,992		
達成率	91.6%		



＜点検評価＞

-----

## 2 地域における高齢者支援体制の強化

### (1) 地域包括支援センター運営事業

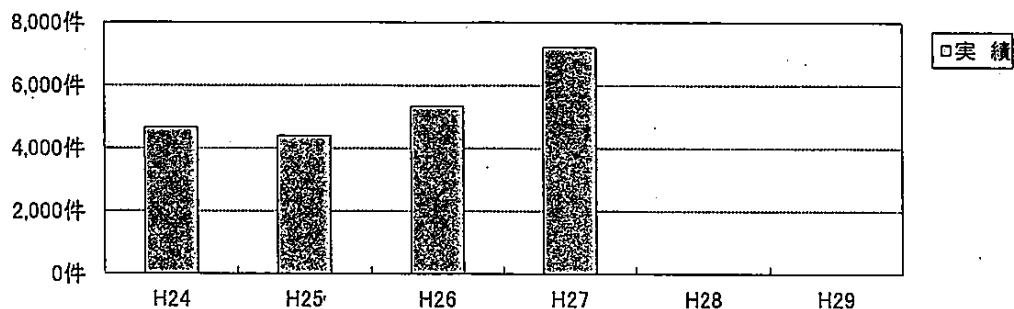
#### <事業概要>

高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、必要な支援を包括的に行う中核機関として地域包括センターを設置し、専門職（保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員）が相談等の支援を行います。

#### <相談件数>

単位：件

	H27	H28	H29
実績	7,201		
高齢者人口	54,055		



#### <点検評価>

### (2) 地域包括支援センター増設事業

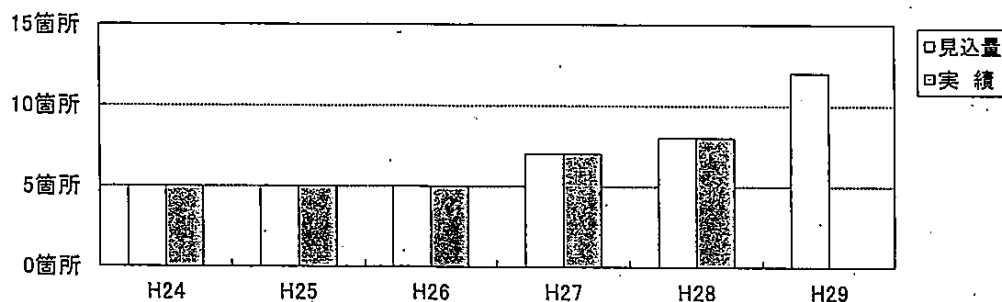
#### <事業概要>

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、心身の健康の維持、福祉の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行なう中核機関として、地域包括支援センターを設置します。

#### <設置箇所数>

単位：箇所

	H27	H28	H29
見込量	7	8	12
実績	7	8	
達成率	100.0%	100.0%	



#### <点検評価>

**(3) 地域ケア会議開催事業(個別、圏域)**

＜事業概要＞

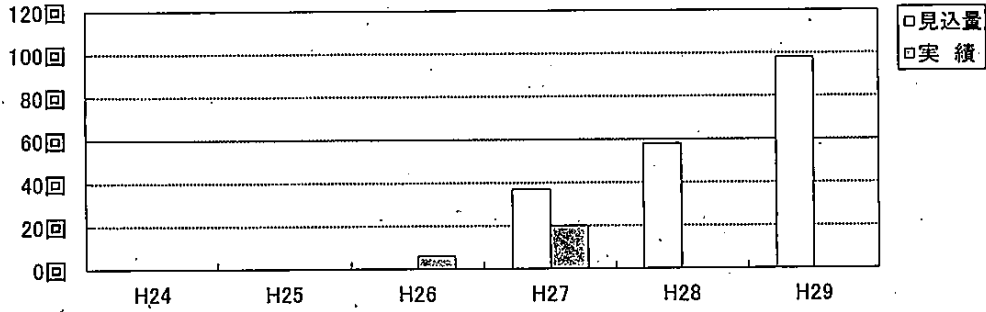
高齢者等が尊厳を保ちながら住み慣れた地域で生活できるよう支援する地域包括ケアシステムを実現するため、関係者等の連携を図り、支援体制を構築するために行います。

＜会議開催数＞

単位：回

	H27	H28	H29
見込量	37	58	98
実績	20		
達成率	54.1%		

※H25開始事業



＜点検評価＞

**(4) 基幹的な役割の地域包括支援センターの研究**

＜事業概要＞

全地域包括支援センターを統括し、指導や各包括への後方支援ができるような機能を持った基幹型の地域包括支援センターの研究を行います。

※評価指標については、数値による評価が適さない事業のため設けていません。

＜点検評価＞

## (5) 認知症支援推進事業

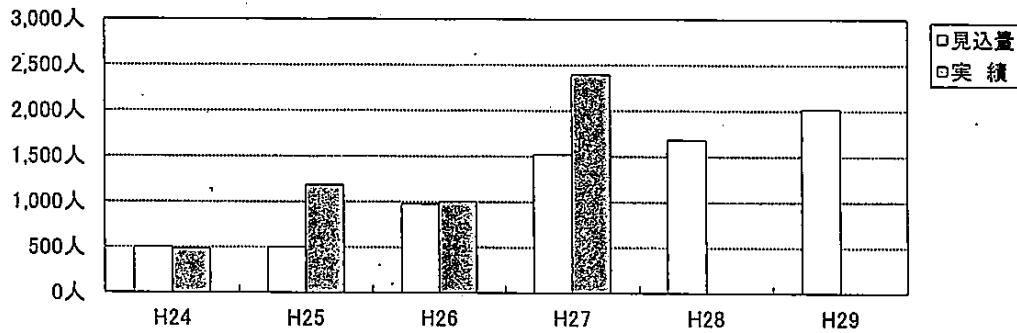
### <事業概要>

認知症サポーター養成講座を開催し、認知症についての正しい知識の普及と、サポーターの存在意義について参加者に対して講話や寸劇等を行います。

### <認知症サポーター養成人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	1,520	1,680	2,020
実績	2,394		
達成率	157.5%		



### <点検評価>

## (6) 認知症ケアパス構築事業

### <事業概要>

認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続け、また、認知症の人やその家族が安心できるよう、状態に応じた適切なサービスが提供できるような流れを構築します。

※評価指標については、数値による評価が適さない事業のため設けていません。

### <点検評価>

**(7) 認知症地域支援推進員設置事業**

**<事業概要>**

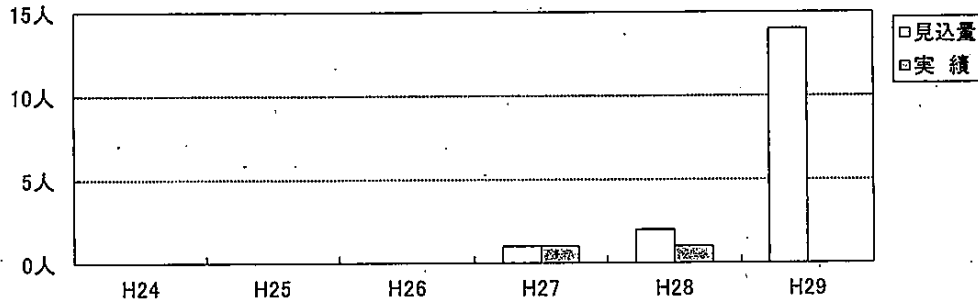
認知症の人ができる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けることができるよう、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行います。

**<推進員設置人数>**

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	1	2	14
実績	1	1	
達成率	100.0%	50.0%	

※H27開始事業



**<点検評価>**

**(8) 認知症初期集中支援事業**

**<事業概要>**

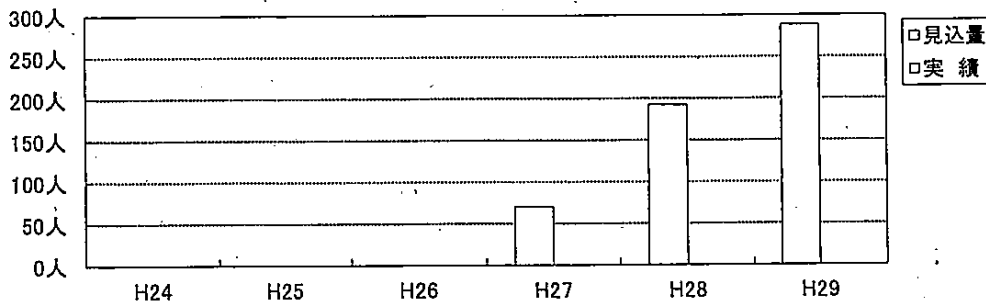
複数の専門職が、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメントや家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立した生活のサポートを行います。

**<支援対象者訪問人数>**

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	70	192	288
実績	0		
達成率	0.0%		

※H28開始事業



**<点検評価>**

### (9) 成年後見制度利用支援事業

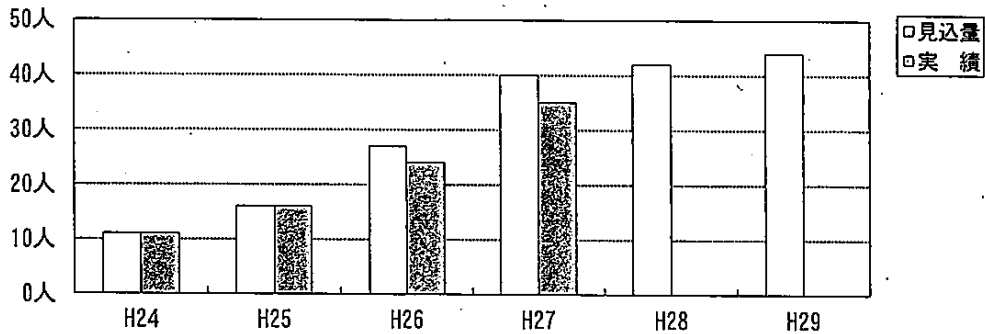
<事業概要>

市長が行う成年後見申立てにおいて、低所得の高齢者に係る審判請求にかかる費用及び後見人等に対する報酬を助成します。

<助成人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	40	42	44
実績	35		
達成率	87.5%		



<点検評価>

### (10) おだわら市民後見人養成事業

<事業概要>

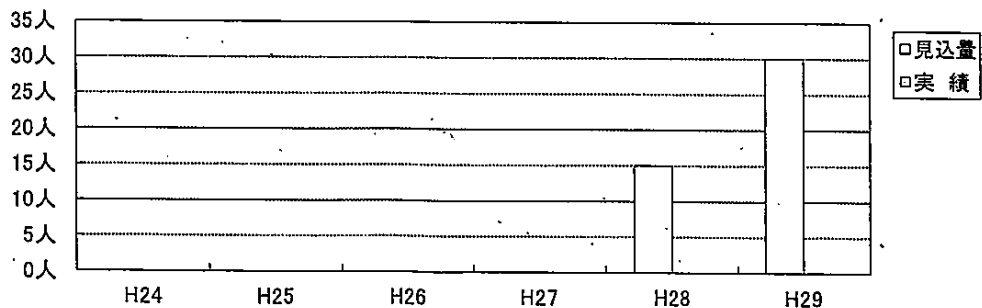
認知症などにより判断能力が十分ではない高齢者の生活を身近な立場で支援し、後見活動を行う「市民後見人」を養成し、後見活動を安定的に行うための支援を行います。

<講座受講人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	—	15	30
実績	—		
達成率	—		

※H28開始事業



<点検評価>



## (11) 家族介護教室開催事業

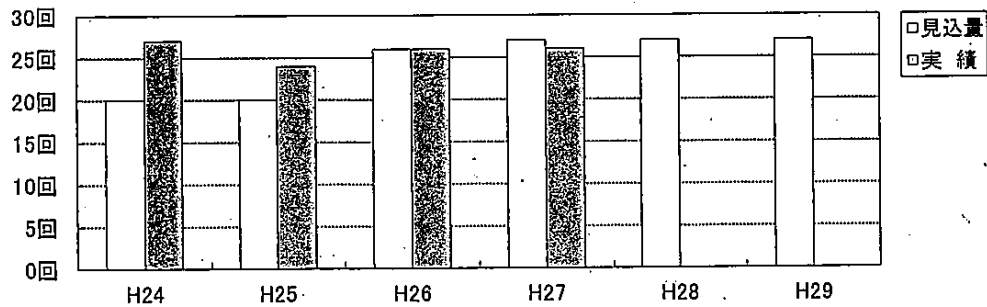
### <事業概要>

在宅で高齢者等を介護している家族を対象に、介護方法を学ぶ講座（家族介護教室）と家族同士が日ごろの介護に対する悩み等を意見交換する交流会を開催します。

### <教室等開催数>

単位：回

	H27	H28	H29
見込量	27	27	27
実績	26		
達成率	96.2%		



### <点検評価>

## (12) 家族介護用品支給事業

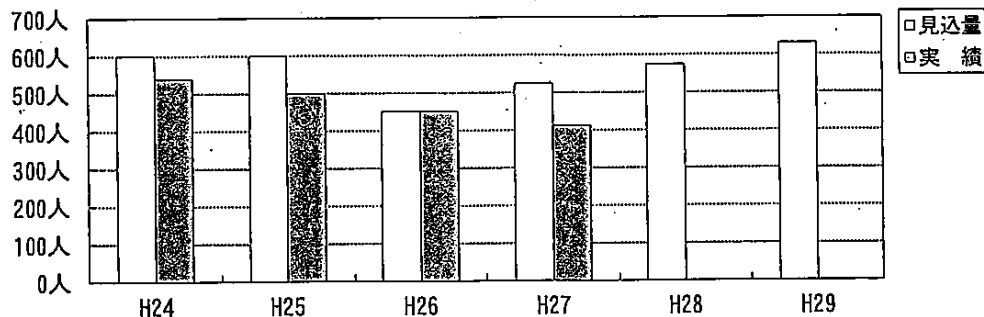
### <事業概要>

在宅でねたきりや重度認知症の高齢者を介護する家族等に対し、紙おむつ等の介護用品を支給し、介護の経済的負担の軽減を図ります。

### <支給者数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	523	574	630
実績	412		
達成率	78.7%		
対象者数	2,090	2,140	



### <点検評価>

**(13) 徘徊認知症高齢者探索事業**

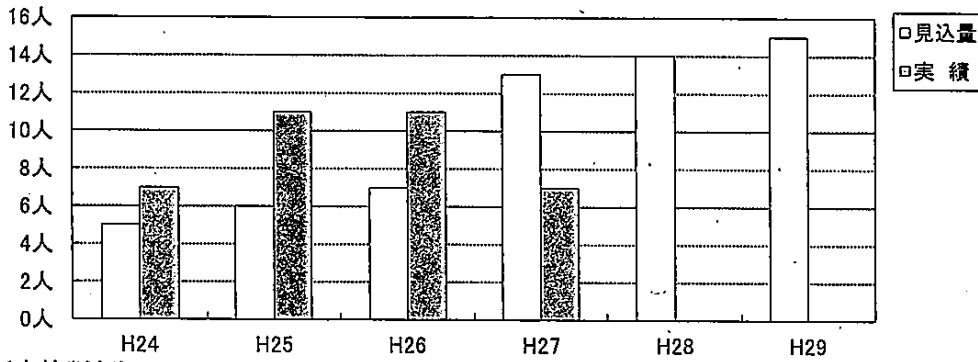
＜事業概要＞

徘徊の恐れのある認知症高齢者に位置情報端末を貸与し、居場所が分からなくなった時に位置探索サービス会社がGPS電波を利用して所在を特定し、家族等に知らせる体制を築きました。平成27年度末で廃止しました。

＜登録者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	13	14	15
実績	7	—	—
達成率	53.0%	—	—



＜点検評価＞

-----

**(14) 徘徊高齢者SOSネットワーク事業**

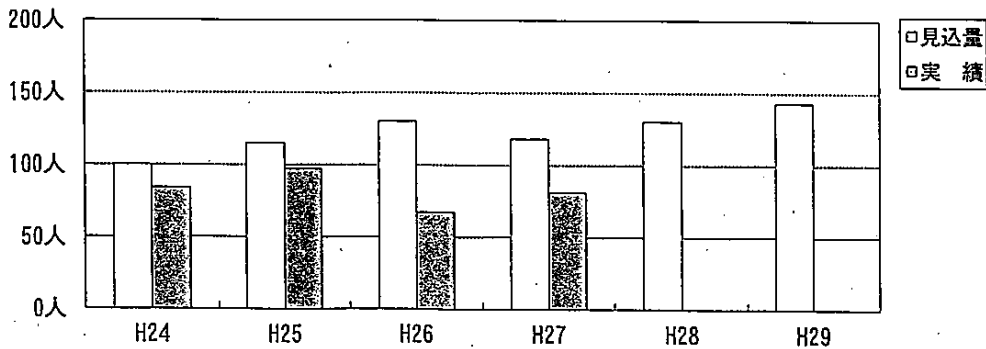
＜事業概要＞

徘徊の恐れのある高齢者を登録し、所在不明となった場合に、警察の捜査と並行して関係協力機関に登録者の情報を提供し探索します。

＜登録者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	118	130	143
実績	81		
達成率	68.8%		



＜点検評価＞

-----

**(15) 介護マーク普及事業**

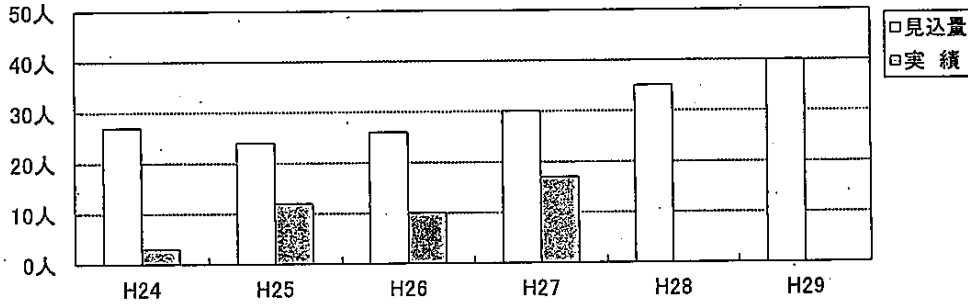
＜事業概要＞

認知症の高齢者を介護する家族を対象に、希望者に対して「介護マーク」を配布し、介護しやすい地域づくりの体制整備をします。

＜配布人数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	30	35	40
実績	17		
達成率	56.6%		



＜点検評価＞

**(16) 家族介護者外出支援研究事業**

＜事業概要＞

自宅で生活する認知症の方の外出の機会を増やし、家族介護者の休息の時間を作ることにより、認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにします。

※評価指標については、数値による評価が適さない事業のため設けていません。

＜点検評価＞

**(17) 高齢者救急要請カード配布事業**

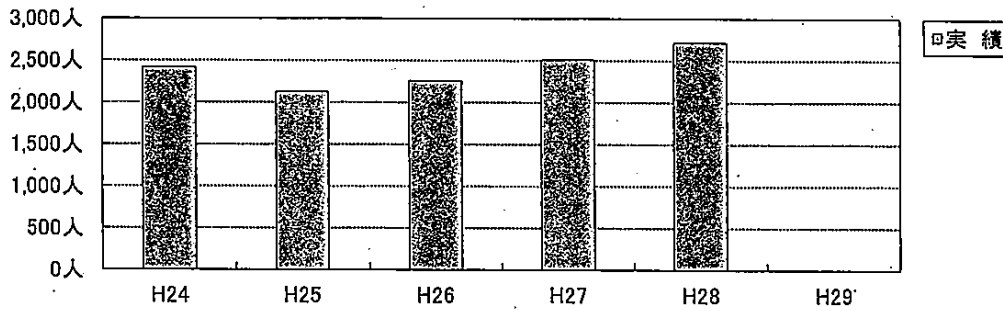
＜事業概要＞

在宅で生活している概ね75歳以上の高齢者に対して、あらかじめ持病やかかりつけ医などの緊急時に必要となる情報を記載し、救急搬送時に利用するための「救急要請カード」を配布します。

＜配布者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
実績	2,504	2,712	
対象者数	2,576	2,794	
配布率	97.2%	97.1%	



＜点検評価＞

-----

**(18) 独居老人等緊急通報システム事業**

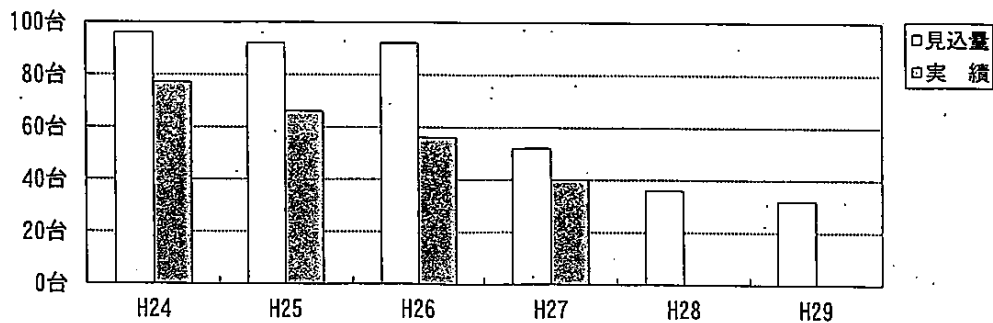
＜事業概要＞

独居高齢者及び高齢者のみの世帯の方が、日常生活を安心して暮らせるようにするとともに、在宅で生活を送れるようにするため、緊急事態が発生し救助を要請したいときに、簡単な操作で警備保障会社に通報するシステムのサービスを提供します。

＜システム設置台数＞

単位：台

	H27	H28	H29
見込量	52	36	32
実績	40		
達成率	76.9%		



＜点検評価＞

-----

**(19) 福祉タクシー利用助成事業**

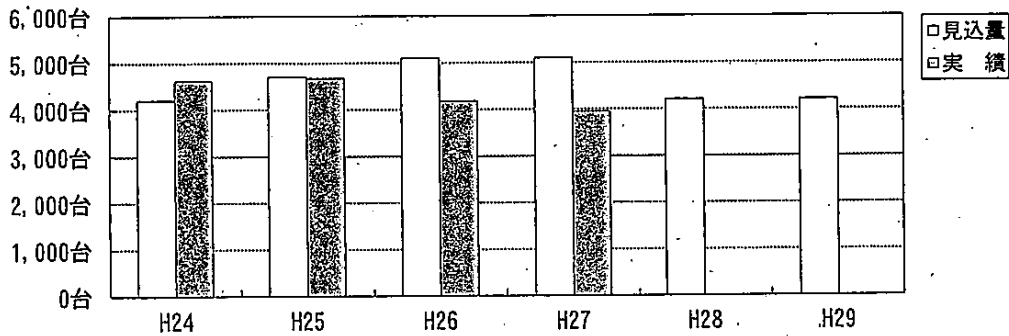
＜事業概要＞

在宅の要介護3以上の高齢者が通院時等にタクシーを利用した場合に、初乗り運賃相当分を助成します。

＜利用台数＞

単位：台

	H27	H28	H29
見込量	5,100	4,200	4,200
実績	3,948		
達成率	77.4%		



＜点検評価＞

点検評価欄 (空欄)

**(20) 生活応援隊事業**

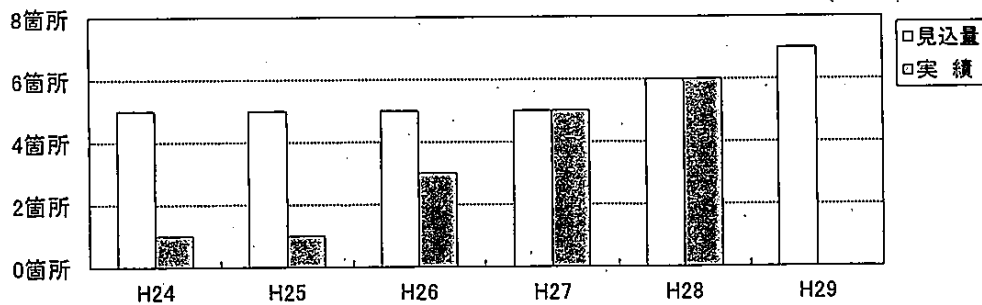
＜事業概要＞

地域の高齢者等を対象に、介護保険制度に該当しないような日常生活での些細な困りごとに対応する、有償ボランティアによるサービス事業（ゴミ出し、室内の清掃、草取りなど）を実施する地区に対し、その運営にかかる経費の一部を助成し、その取組を支援します。

＜取組地区数＞

単位：箇所

	H27	H28	H29
見込量	5	6	7
実績	5	6	
達成率	100.0%	100.0%	



＜点検評価＞

点検評価欄 (空欄)

**(21) 高齢者居住支援関連情報提供事業**

＜事業概要＞

高齢者の住まいの安定的な確保を図るという観点から、県や庁内関係課と連携し、サービス付き高齢者向け住宅や公的賃貸住宅等に関する情報を市ホームページで情報提供します。  
 ※評価指標については、数値による評価が適さない事業のため設けていません。

＜点検評価＞

[Empty dashed box for evaluation]

**(22) 要配慮者支援対策事業**

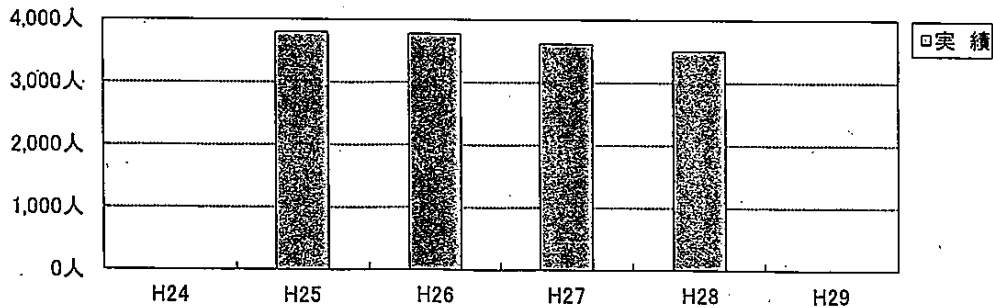
＜事業概要＞

災害時に高齢者等を支援するため、避難行動要支援者所在マップを作成、更新し、民生委員、自主防災組織の長、消防へ情報提供します。

＜要支援者登録者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
実績	3,610	3,499	



＜点検評価＞

[Empty dashed box for evaluation]

**(23) 高齢者見守り事業**

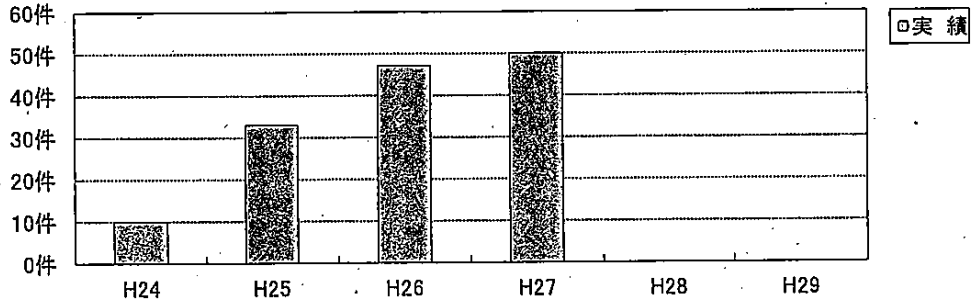
＜事業概要＞

民間事業者、県と協定を締結し、連携して地域見守り活動に関する協力体制の構築を進めます。

＜協定締結数＞

単位：件

	H27	H28	H29
実績	50		



＜点検評価＞

-----

**(24) 食の自立支援事業(任意事業分)**

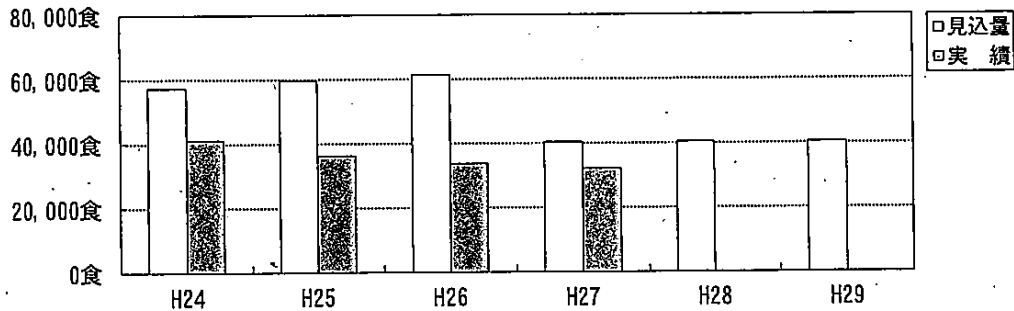
＜事業概要＞

独居等で自立的な食生活の維持が困難な高齢者を対象に、見守り活動を兼ねた配食サービスを提供します。

＜配食数＞

単位：食

	H27	H28	H29
見込量	40,320	40,320	40,320
実績	32,078		
達成率	79.6%		
利用者実数	231		



＜点検評価＞

-----

**(25) 老人ホーム入所判定事業**

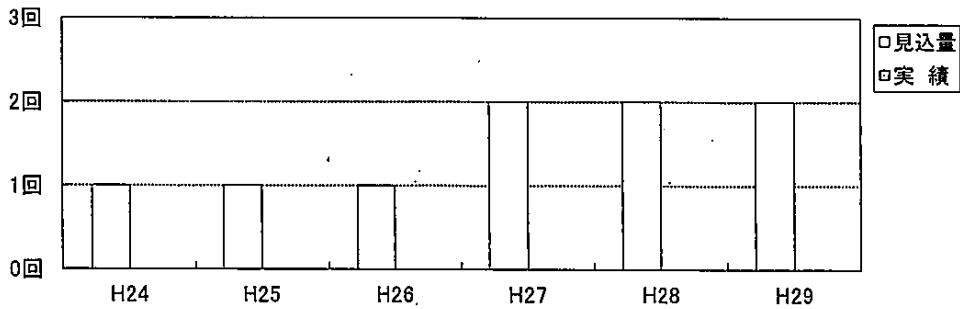
＜事業概要＞

養護老人ホームへの入所を希望する方に対し、環境、経済等の面から入所措置が妥当であるかを判定します。

＜委員会開催数＞

単位：回

	H27	H28	H29
見込量	2	2	2
実績	0		
達成率	0.0%		



＜点検評価＞

**(26) 緊急一時入所事業**

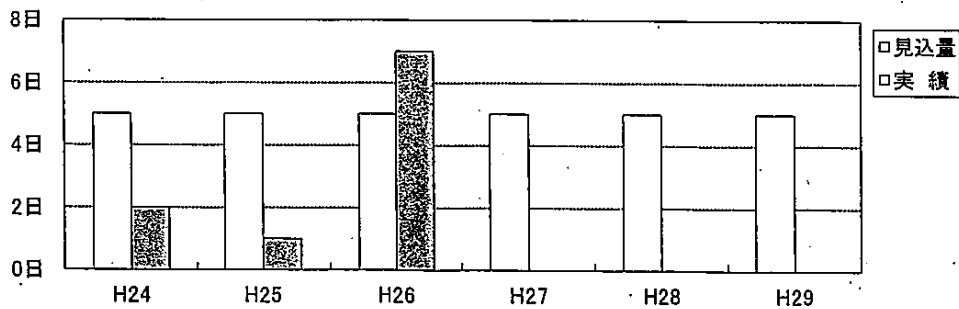
＜事業概要＞

家族からの虐待、介護者の疾病等により緊急一時的に保護が必要な高齢者に対し、介護保険施設の空床を利用し、介護保険給付の上限を超えた短期入所サービスを提供します。

＜利用日数＞

単位：日

	H27	H28	H29
見込量	5	5	5
実績	0		
達成率	0.0%		



＜点検評価＞



**(27) 高齢者虐待防止ネットワーク事業**

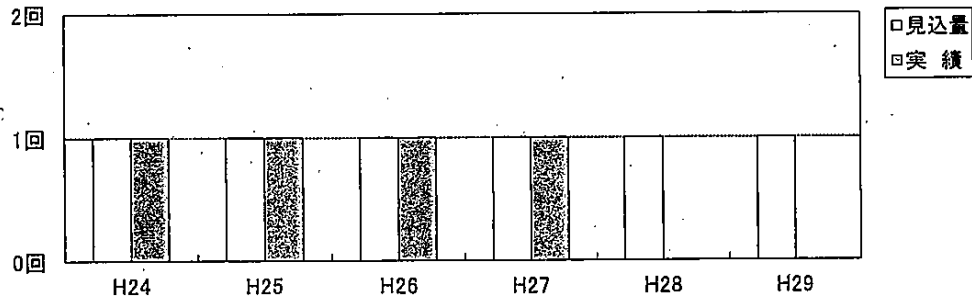
＜事業概要＞

高齢者虐待の防止や早期発見、適切な支援を行うため、市に虐待防止ネットワーク事務局を開設し、各地域包括支援センターに高齢者虐待防止・援助困難相談窓口を設置しました。また、関係機関等と連携し事業を実施していくためのネットワーク会議や虐待防止の研修会等を開催します。

＜研修会開催数＞

単位：回

	H27	H28	H29
見込量	1	1	1
実績	1		
達成率	100.0%		



＜点検評価＞

**(28) おだわら地域包括ケア推進会議開催事業**

＜事業概要＞

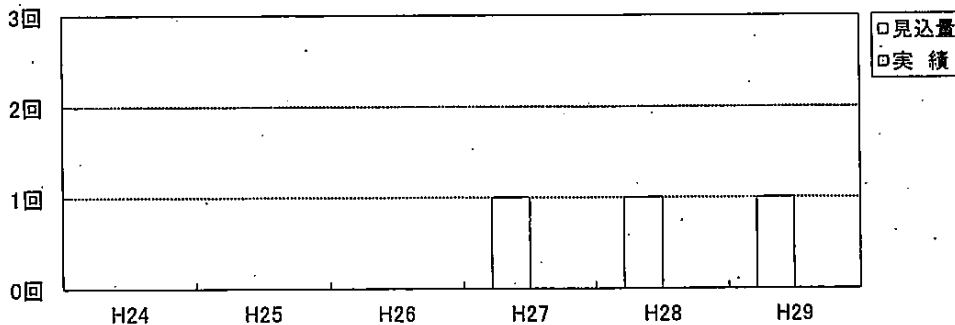
医療・介護の専門機関や住民組織等の代表者が集まり、市全体に係る地域課題について検討を行なう会議を開催します。

＜会議開催数＞

単位：回

	H27	H28	H29
見込量	1	1	1
実績	0		
達成率	0.0%		

※H25開始事業



＜点検評価＞

**(29) 在宅医療・介護連携事業**

＜事業概要＞

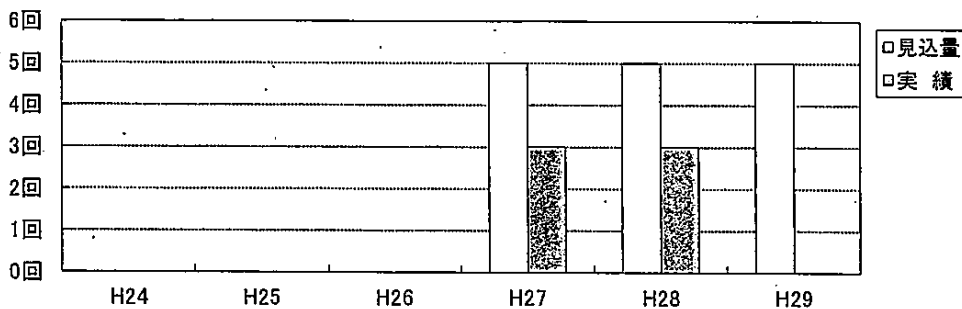
地域において医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療及び介護の提供をおこなうことができるよう、研修等を開催します。

＜研修会開催数＞

単位：回

	H27	H28	H29
見込量	5	5	5
実績	3	3	
達成率	60.0%	60.0%	

※H27開始事業



＜点検評価＞

-----

**(30) 在宅医療・介護サービス情報発信事業**

＜事業概要＞

在宅医療及び介護の様々なサービスを、広く市民に情報発信します。  
 ※評価指標については、数値による評価が適さない事業のため設けていません。

＜点検評価＞

-----

### 3 保険給付事業の円滑な運営

#### (1) 要支援・要介護認定事業

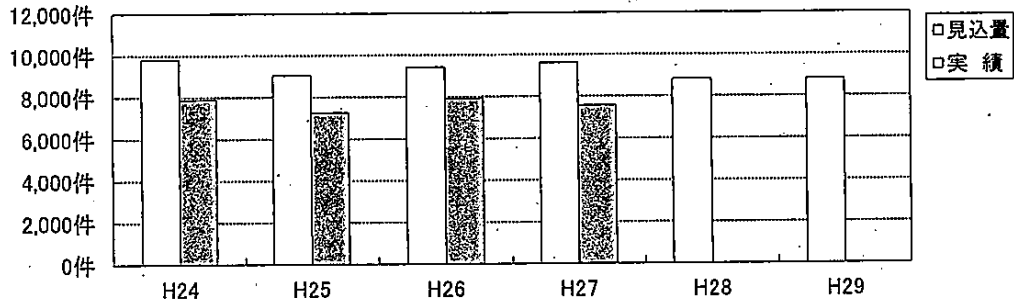
<事業概要>

被保険者からの申請を受けて、要支援・要介護認定を行うため、訪問調査の実施、介護認定審査会の開催等を円滑かつ適切に行います。

<要介護認定審査判定件数>

単位：件

	H27	H28	H29
見込量	9,600	8,800	8,800
実績	7,556		
達成率	78.7%		



<点検評価>

## (2) 訪問介護、介護予防訪問介護

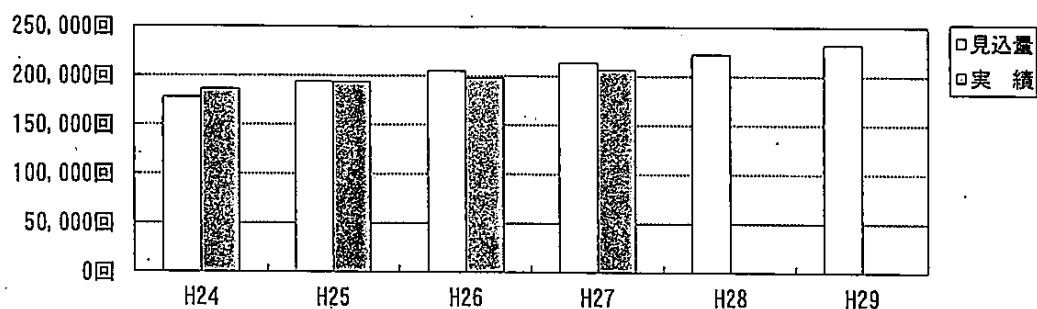
<利用回数（利用人数）>

単位：回（人/月）

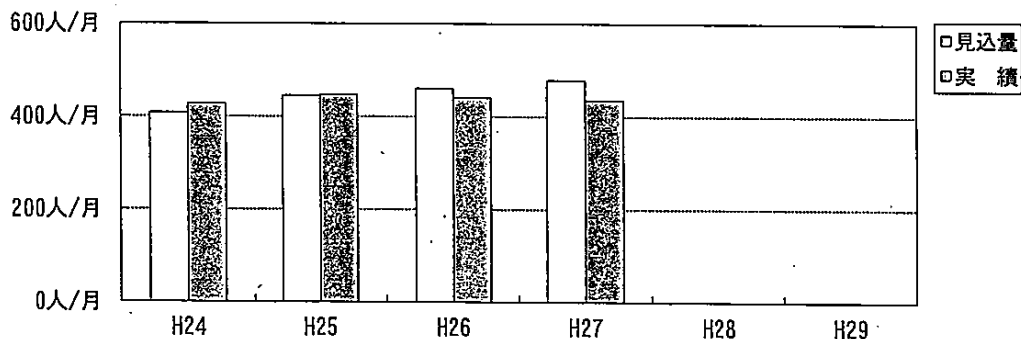
		H27	H28	H29
見込量	介護	213,329	222,005	231,794
	予防	478	—	—
実績	介護	206,268		
	予防	435		
達成率	介護	96.7%		
	予防	91.0%		

※ 介護予防分は、1か月あたり人数により設定しています。  
また、H27年の介護予防分の実績は、新しい総合事業移行前（9か月分）の1か月あたり人数を設定しています。

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

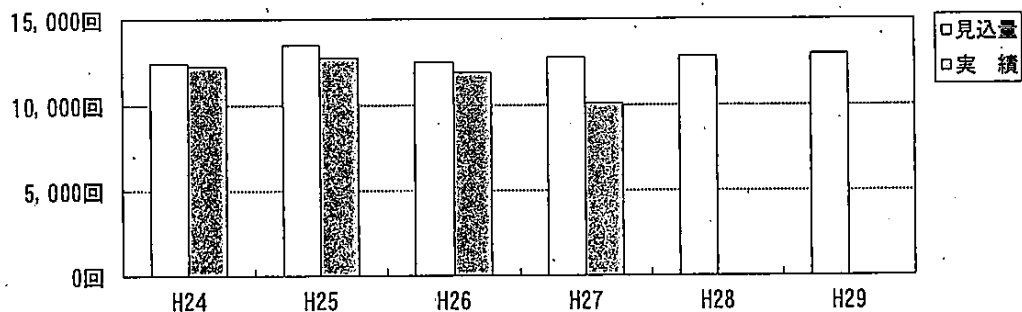
(3) 訪問入浴介護、介護予防訪問入浴介護

<利用回数>

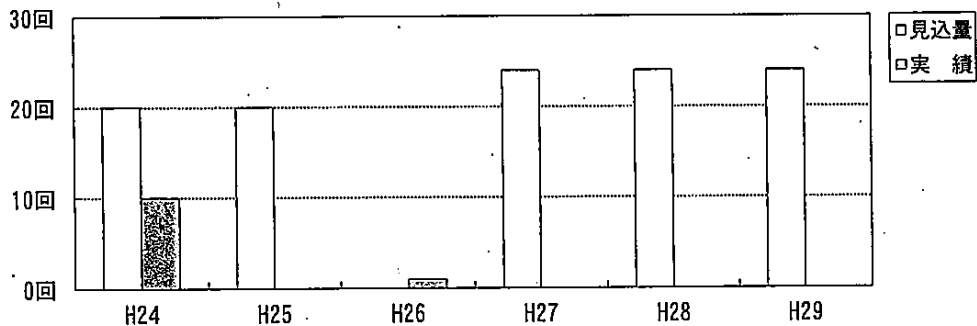
単位：回

		H27	H28	H29
見込量	介護	12,792	12,816	12,972
	予防	24	24	24
実績	介護	10,106		
	予防	0		
達成率	介護	79.0%		
	予防	0.0%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

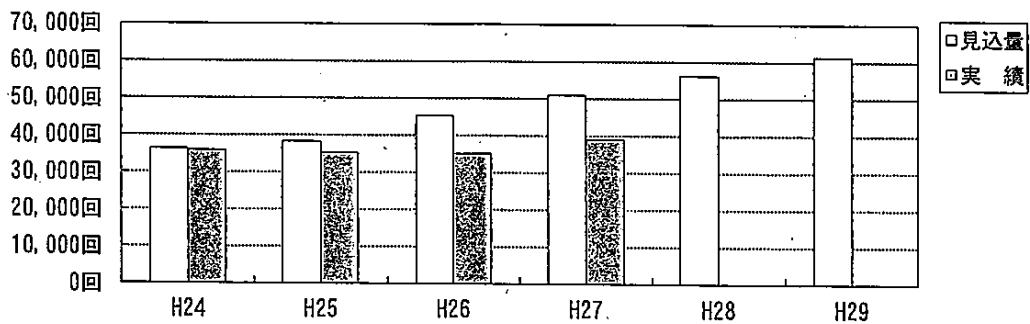
(4) 訪問看護、介護予防訪問看護

<利用回数>

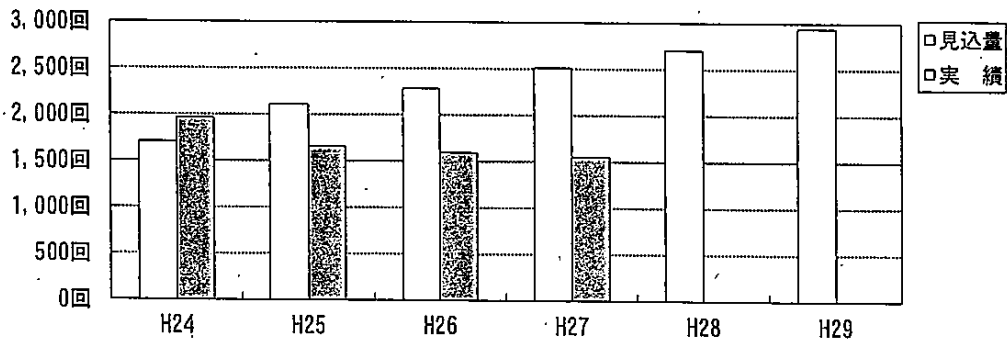
単位：回

		H27	H28	H29
見込量	介護	50,928	56,196	61,344
	予防	2,508	2,700	2,940
実績	介護	39,018		
	予防	1,549		
達成率	介護	76.6%		
	予防	61.8%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

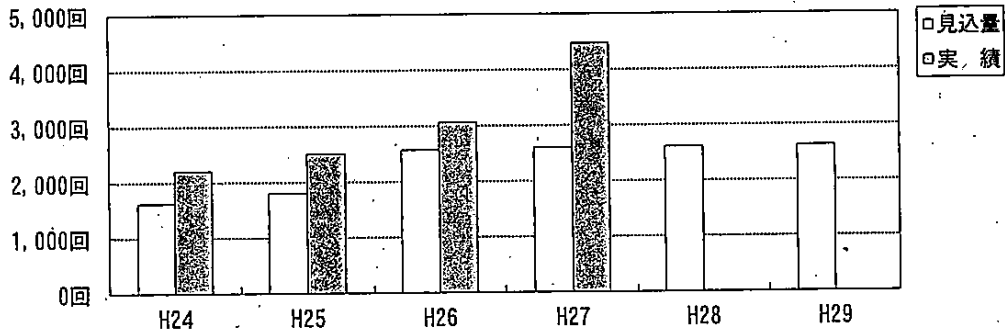
(5) 訪問リハビリテーション、介護予防訪問リハビリテーション

<利用回数>

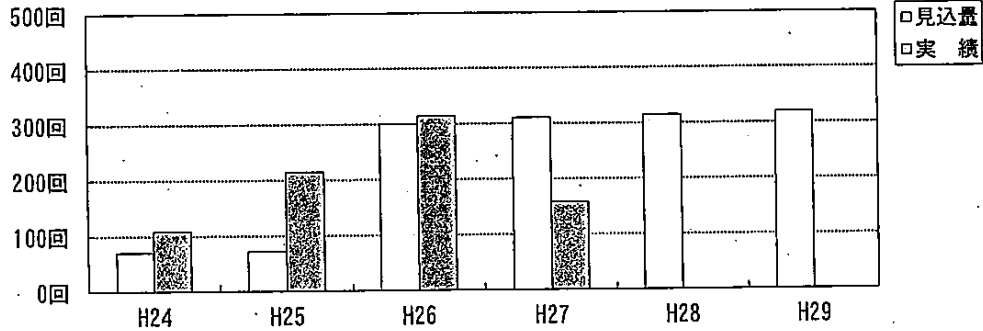
単位：回

		H27	H28	H29
見込量	介護	2,606	2,610	2,628
	予防	310	314	319
実績	介護	4,468		
	予防	158		
達成率	介護	171.5%		
	予防	51.0%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

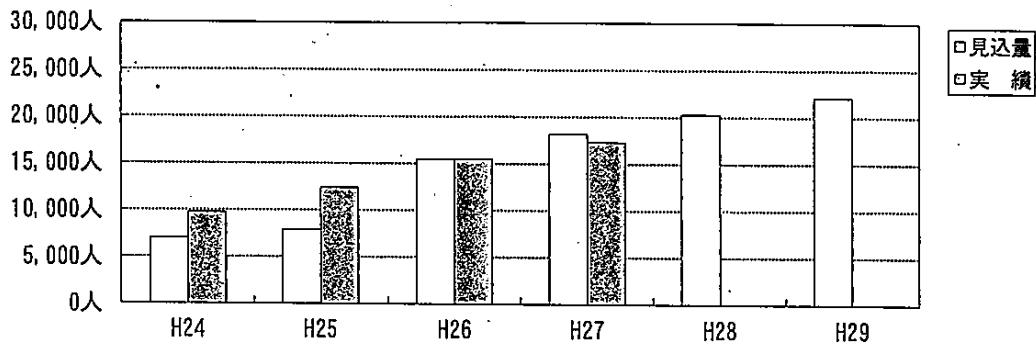
(6) 居宅療養管理指導、介護予防居宅療養管理指導

<利用回数>

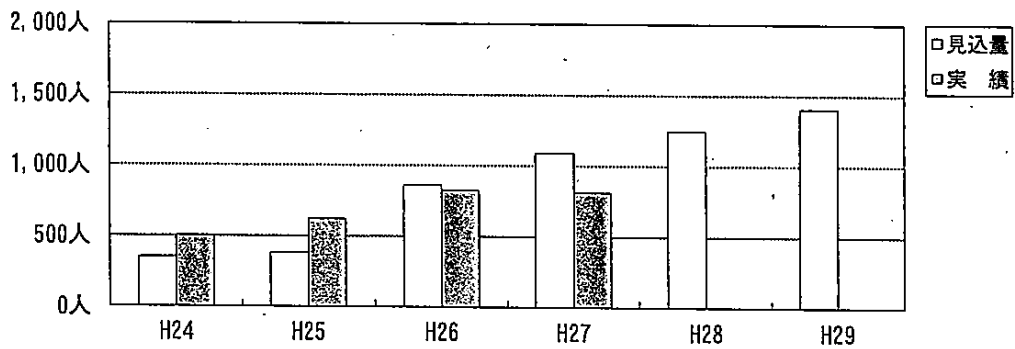
単位：人

		H27	H28	H29
見込量	介護	18,157	20,269	22,081
	予防	1,089	1,247	1,405
実績	介護	17,280		
	予防	811		
達成率	介護	95.2%		
	予防	74.5%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>



(7) 通所介護、介護予防通所介護

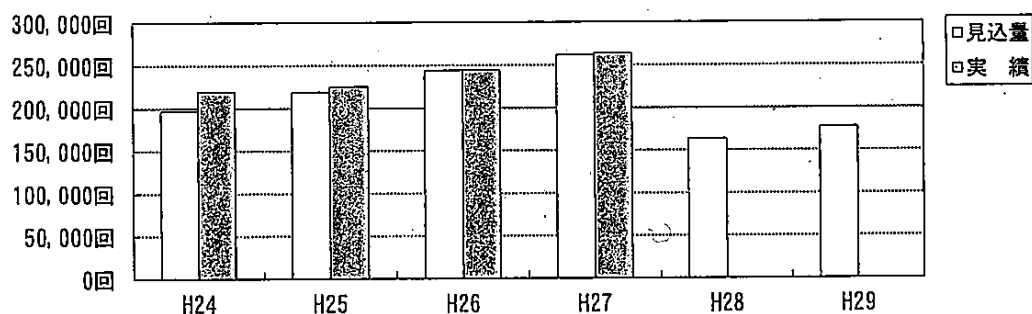
<利用回数 (利用人数)>

単位：回 (人/月)

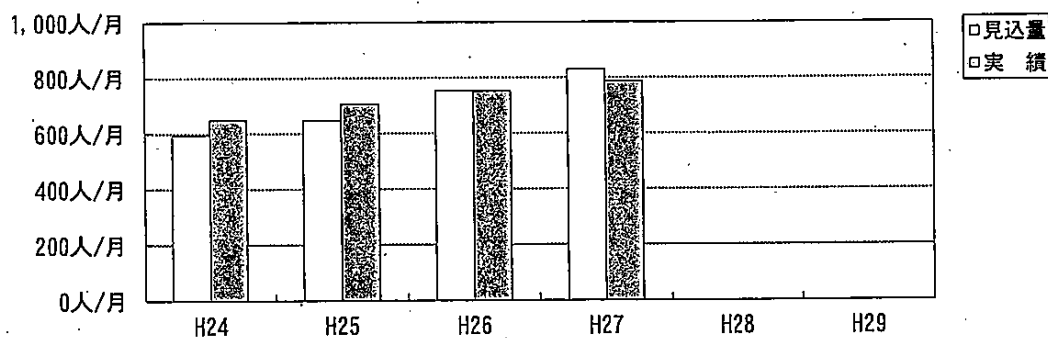
		H27	H28	H29
見込量	介護	261,924	163,284	177,108
	予防	830	—	—
実績	介護	264,074		
	予防	787		
達成率	介護	100.8%		
	予防	94.8%		

※ 介護予防分は、1か月あたり人数により設定しています。  
 また、H27年の介護予防分の実績は、新しい総合事業移行前（9か月分）の1か月あたり人数を設定しています。

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

**(8) 通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション**

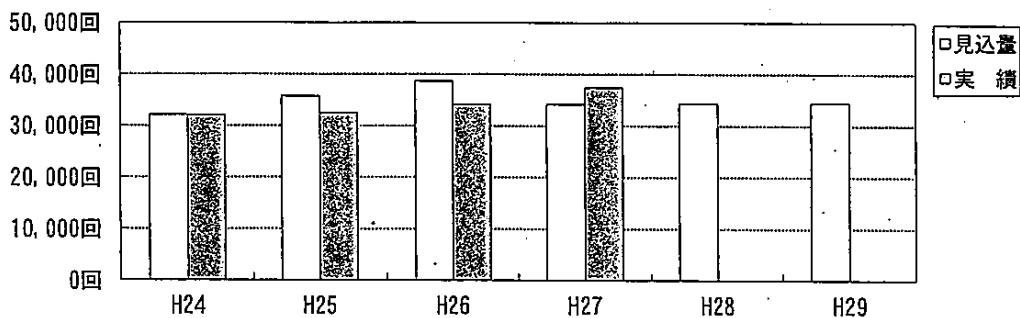
＜利用回数（利用人数）＞

単位：回（人/月）

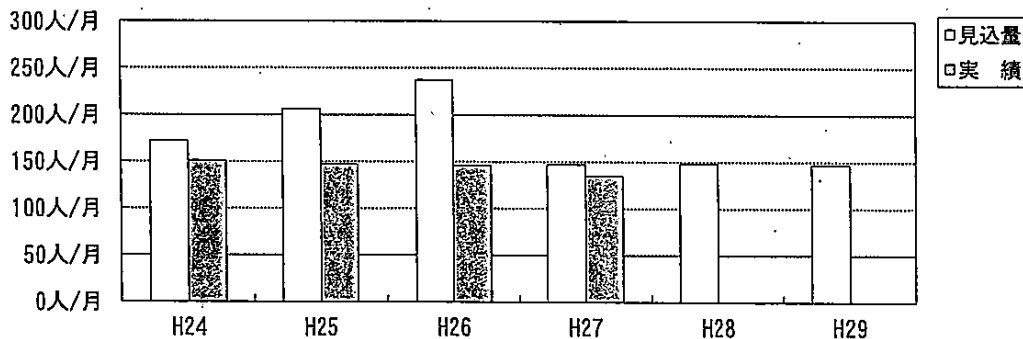
		H27	H28	H29
見込量	介護	34,152	34,284	34,452
	予防	147	148	147
実績	介護	37,374		
	予防	135		
達成率	介護	109.4%		
	予防	91.8%		

※ 介護予防分は、1か月あたり人数により設定しています。

＜介護給付分＞



＜予防給付分＞



＜点検評価＞

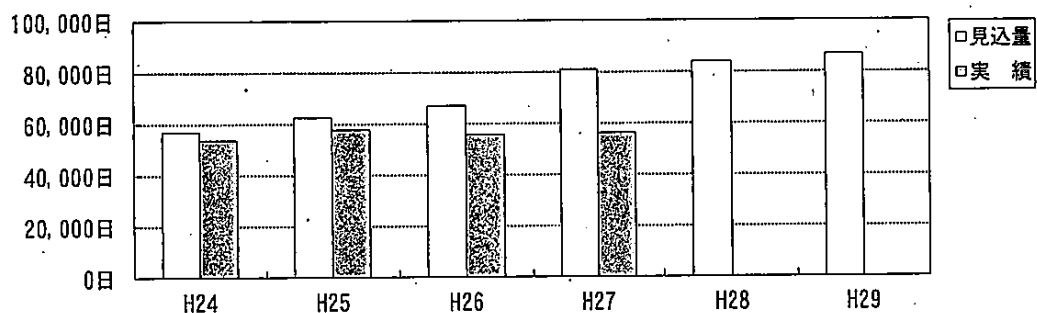
(9) 短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護

<利用日数>

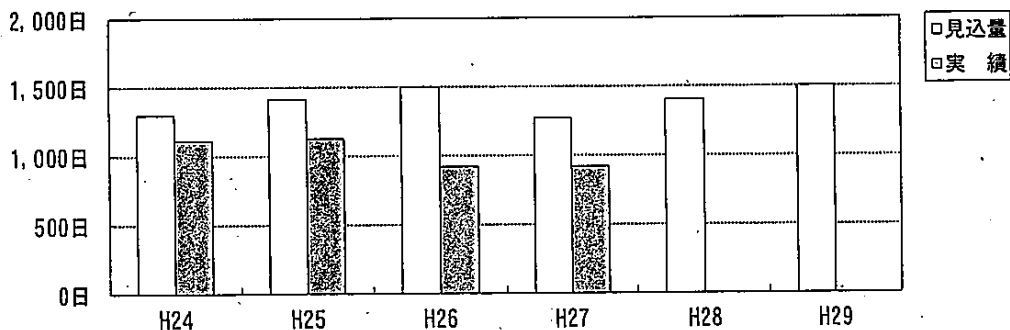
単位：日

		H27	H28	H29
見込量	介護	80,880	83,964	86,796
	予防	1,272	1,404	1,500
実績	介護	56,303		
	予防	947		
達成率	介護	69.6%		
	予防	74.4%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

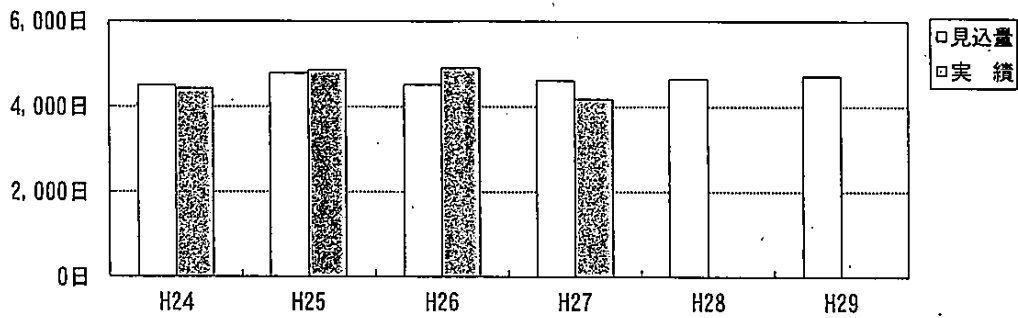
(10) 短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護

<利用日数>

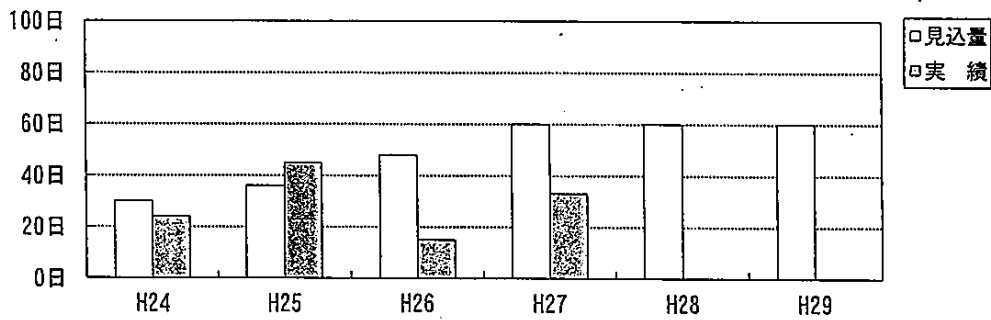
単位：日

		H27	H28	H29
見込量	介護	4,608	4,644	4,704
	予防	60	60	60
実績	介護	4,171		
	予防	33		
達成率	介護	90.5%		
	予防	55.0%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

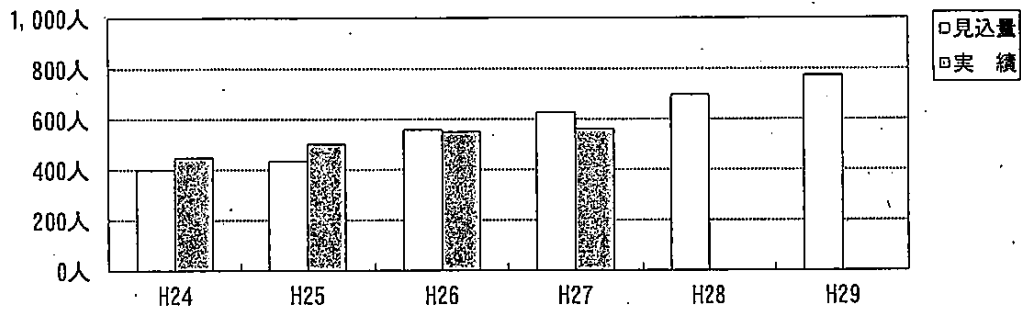
(11) 特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護

<利用人数>

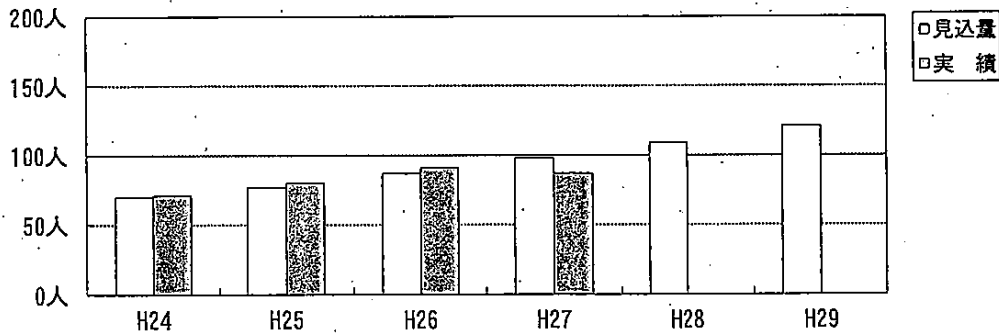
単位：人

		H27	H28	H29
見込量	介護	627	696	773
	予防	98	109	121
実績	介護	562		
	予防	87		
達成率	介護	89.6%		
	予防	88.8%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

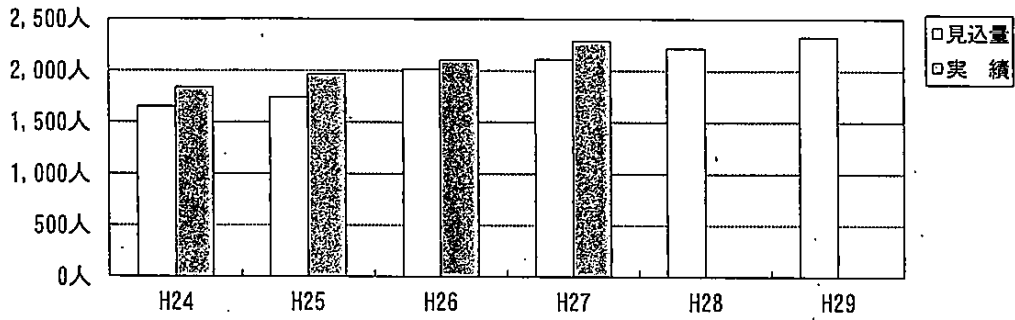
(12) 福祉用具貸与、介護予防福祉用具貸与

<利用人数>

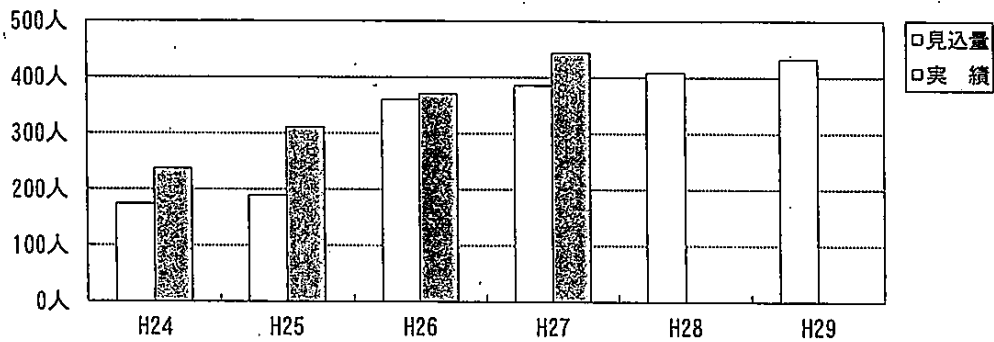
単位：人

		H27	H28	H29
見込量	介護	2,109	2,216	2,324
	予防	385	408	432
実績	介護	2,285		
	予防	443		
達成率	介護	108.3%		
	予防	115.1%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

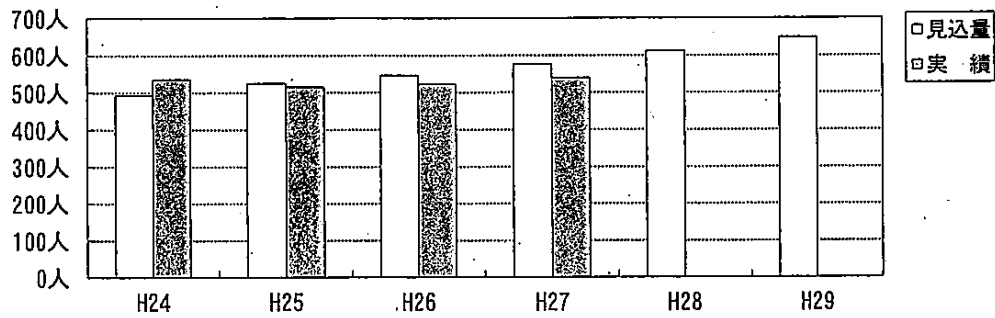
(13) 特定福祉用具購入費支給、特定介護予防福祉用具購入費支給

<支給人数>

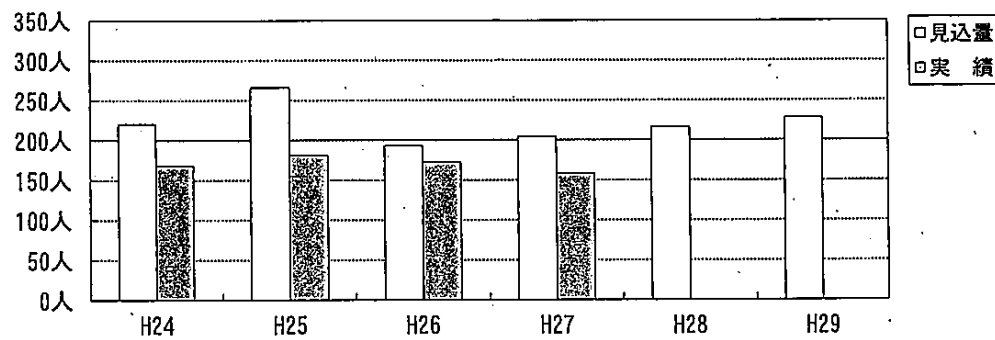
単位：人

		H27	H28	H29
見込量	介護	576	612	648
	予防	204	216	228
実績	介護	539		
	予防	158		
達成率	介護	93.6%		
	予防	77.5%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

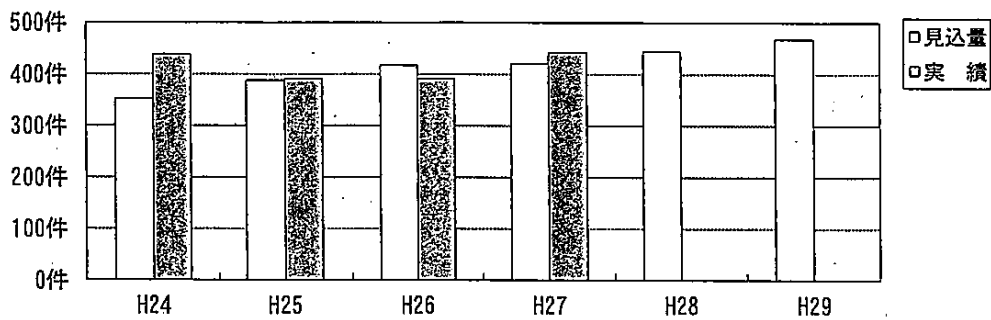
(14) 住宅改修費支給、介護予防住宅改修費支給

<支給件数>

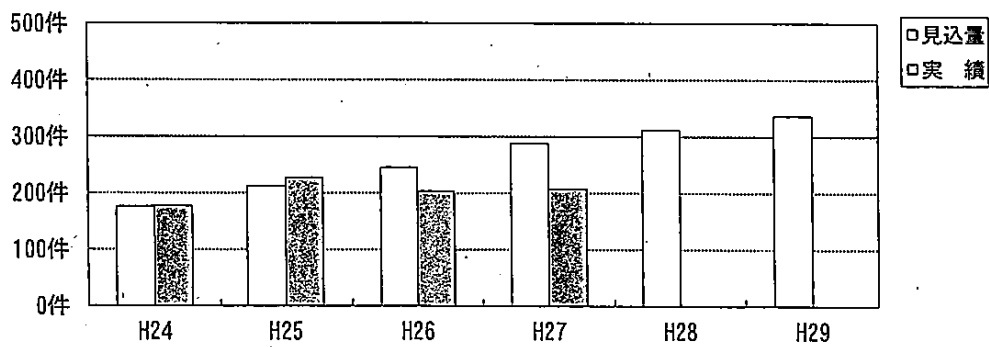
単位：件

		H27	H28	H29
見込量	介護	420	444	468
	予防	288	312	336
実績	介護	442		
	予防	207		
達成率	介護	105.2%		
	予防	71.9%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>



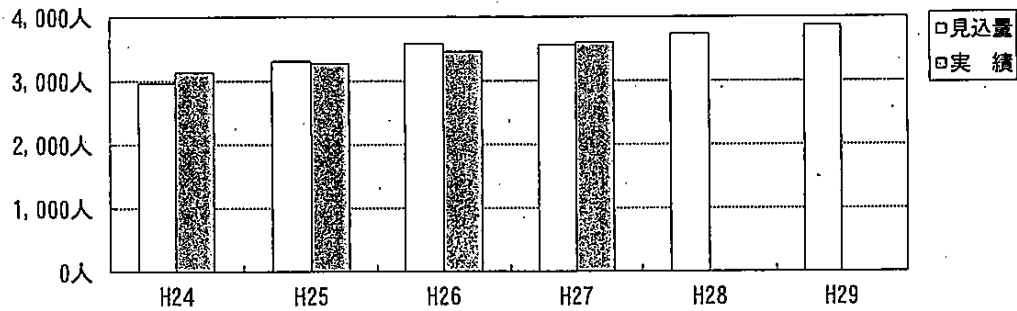
(15) 居宅介護支援、介護予防支援

<利用人数>

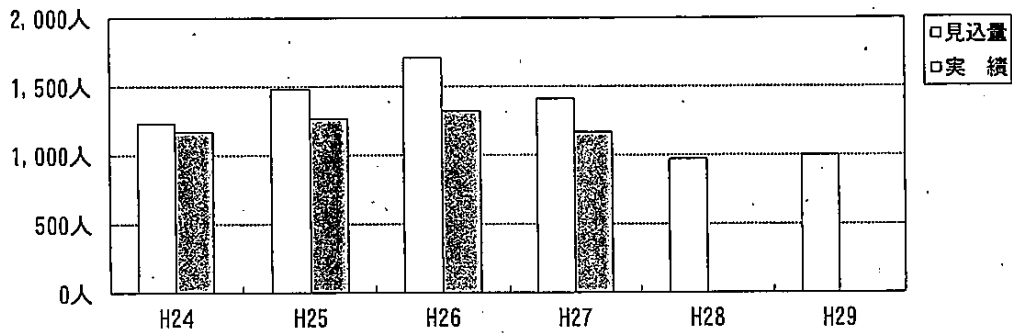
単位：人

		H27	H28	H29
見込量	介護	3,557	3,730	3,863
	予防	1,410	971	999
実績	介護	3,599		
	予防	1,167		
達成率	介護	101.2%		
	予防	82.8%		

<介護給付分>



<予防給付分>

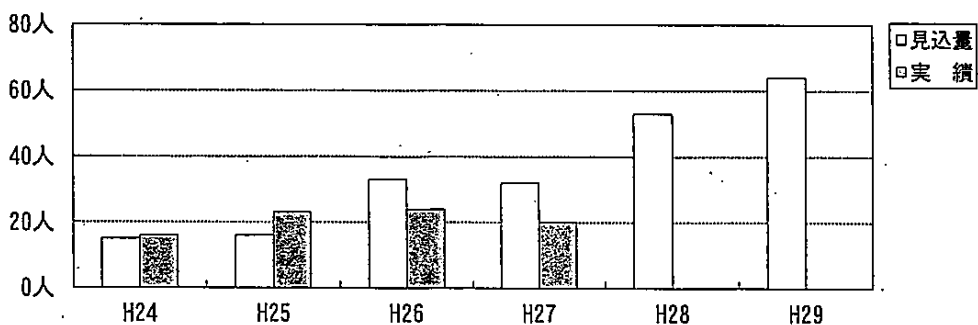


<点検評価>

(16) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

<利用人数> 単位：人

	H27	H28	H29
見込量	32	53	64
実績	20		
達成率	62.5%		

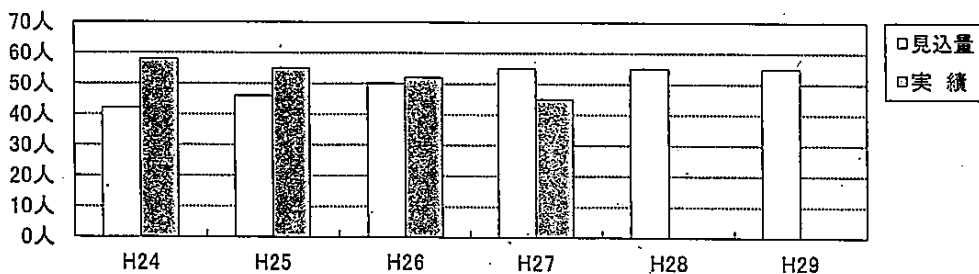


<点検評価>

(17) 夜間対応型訪問介護

<利用人数> 単位：人

	H27	H28	H29
見込量	55	55	55
実績	45		
達成率	81.8%		



<点検評価>

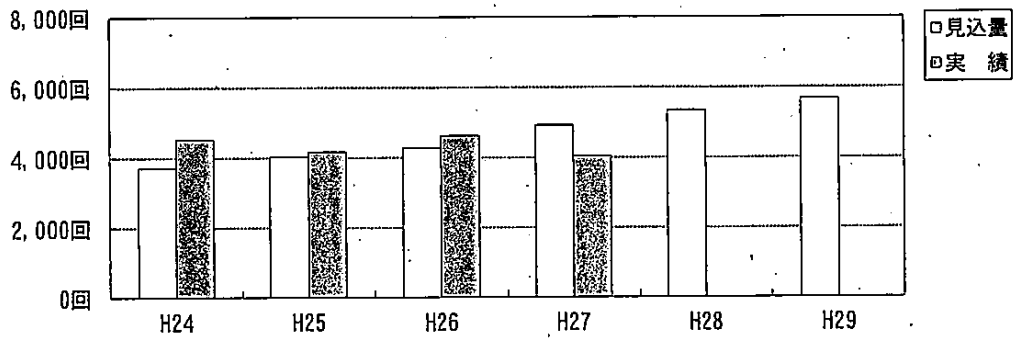
(18) 認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護

<利用回数>

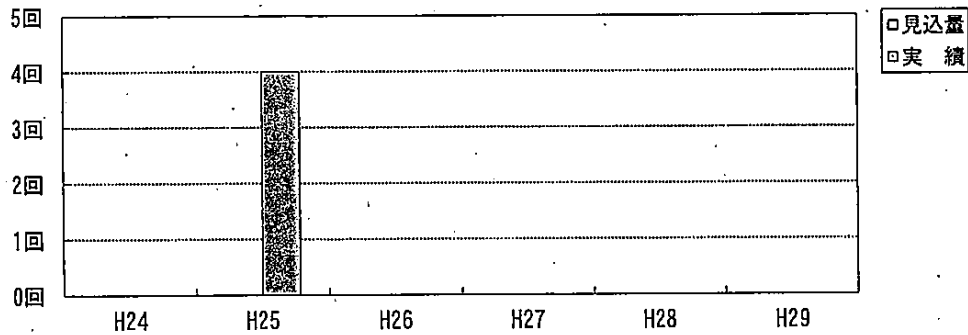
単位：回

		H27	H28	H29
見込量	介護	4,920	5,340	5,676
	予防	0	0	0
実績	介護	4,045		
	予防	0		
達成率	介護	82.2%		
	予防	0.0%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

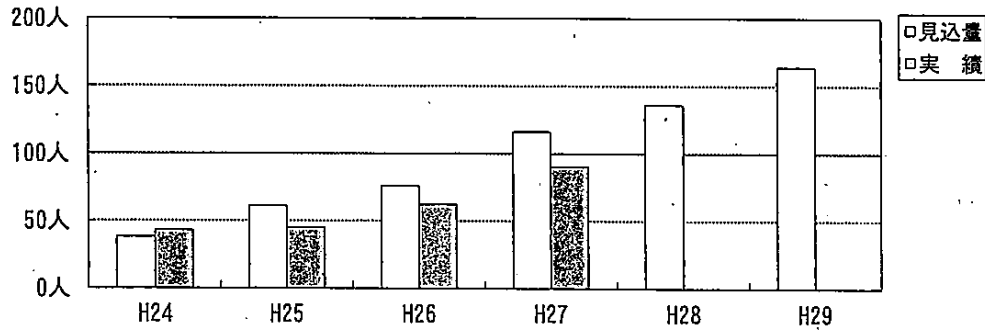
(19) 小規模多機能型居宅介護、介護予防小規模多機能型居宅介護

<利用人数>

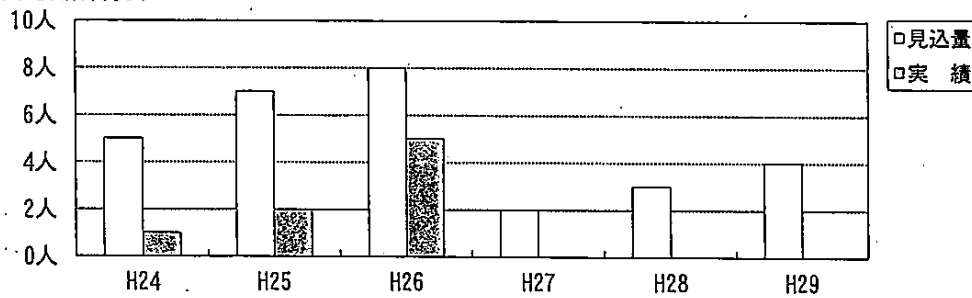
単位：人

		H27	H28	H29
見込量	介護	116	136	164
	予防	2	3	4
実績	介護	90		
	予防	0		
達成率	介護	77.6%		
	予防	0.0%		

<介護給付分>



<予防給付分>



<点検評価>

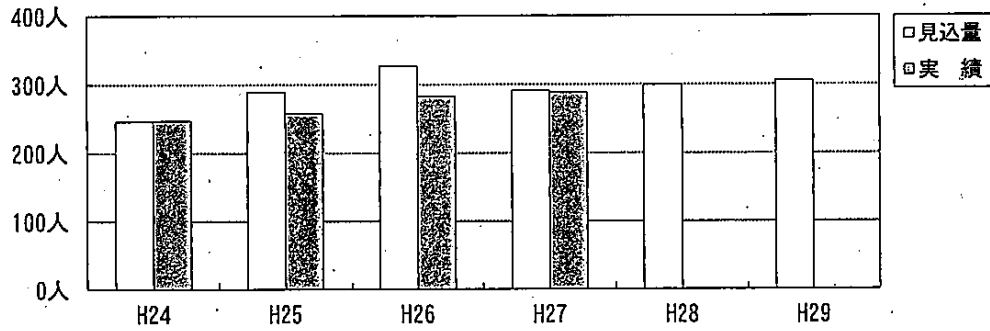
(20) 認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護

<利用人数>

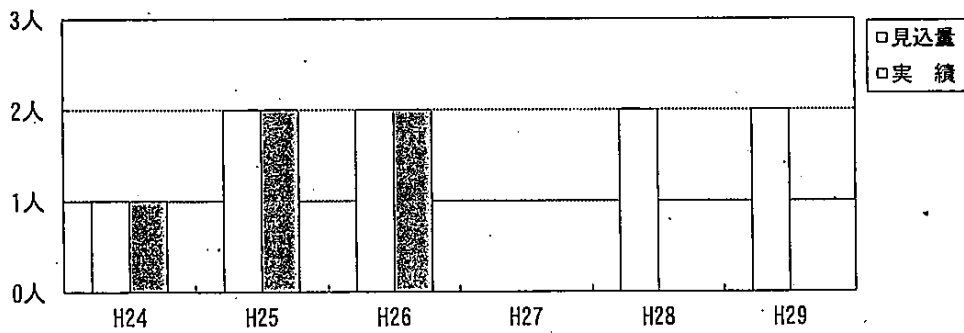
単位：人

		H27	H28	H29
見込量	介護	291	299	306
	予防	0	2	2
実績	介護	288		
	予防	0		
達成率	介護	99.0%		
	予防	0.0%		

<介護給付分>



<予防給付分>



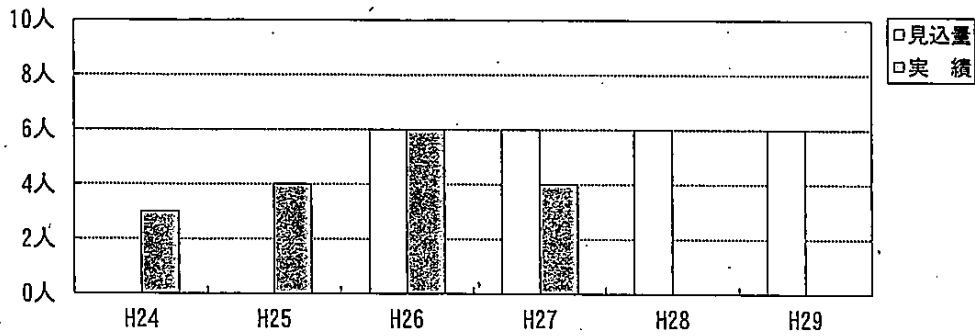
<点検評価>

**(21) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護**

<利用人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	6	6	6
実績	4		
達成率	66.7%		



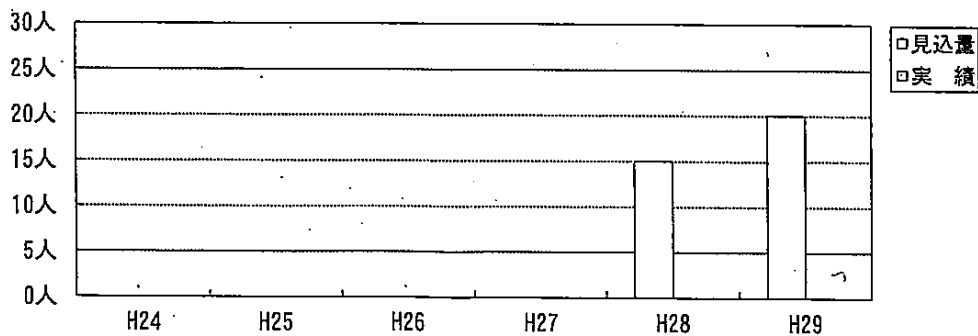
<点検評価>

**(22) 看護小規模多機能型居宅介護**

<利用人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	0	15	20
実績	0		
達成率	0.0%		



<点検評価>

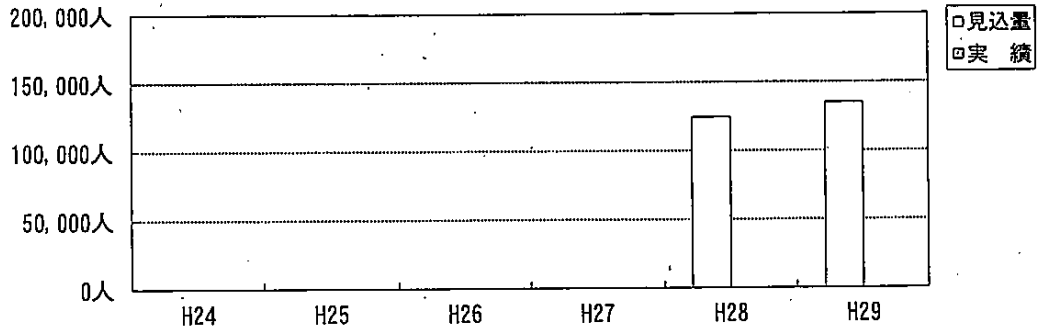
(23) 地域密着型通所介護

<利用人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	—	124,400	134,976
実績	—		
達成率	—		

※H28開始事業



<点検評価>

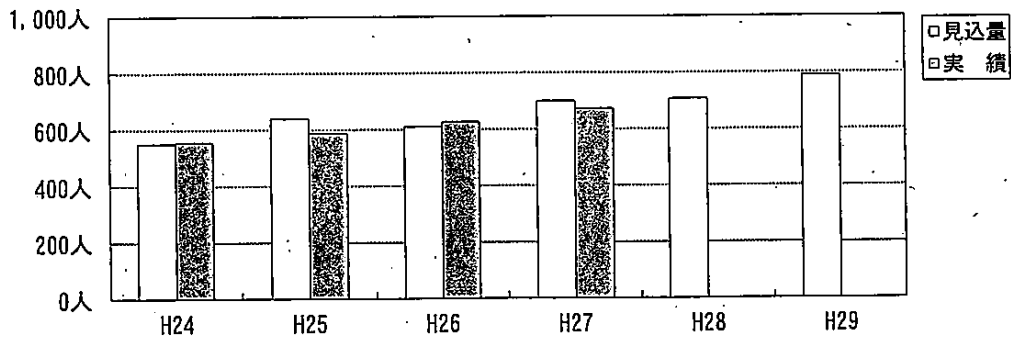
点検評価欄 (空欄)

(24) 介護老人福祉施設

<利用人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	700	707	790
実績	673		
達成率	96.1%		



<点検評価>

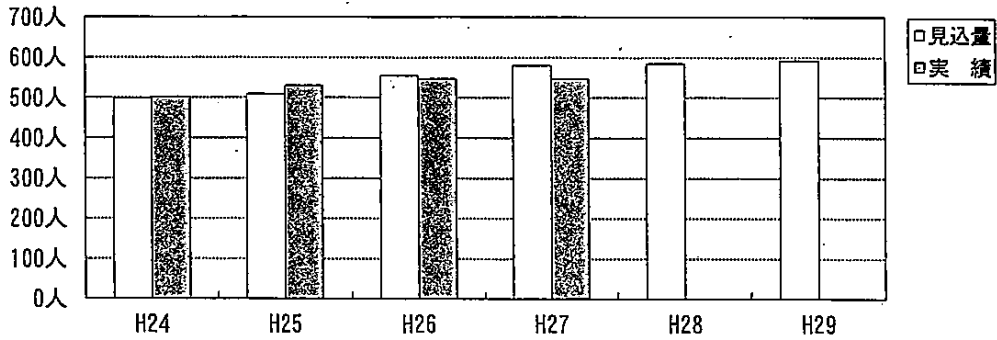
点検評価欄 (空欄)

(25) 介護老人保健施設

<利用人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	580	585	592
実績	547		
達成率	94.3%		



<点検評価>

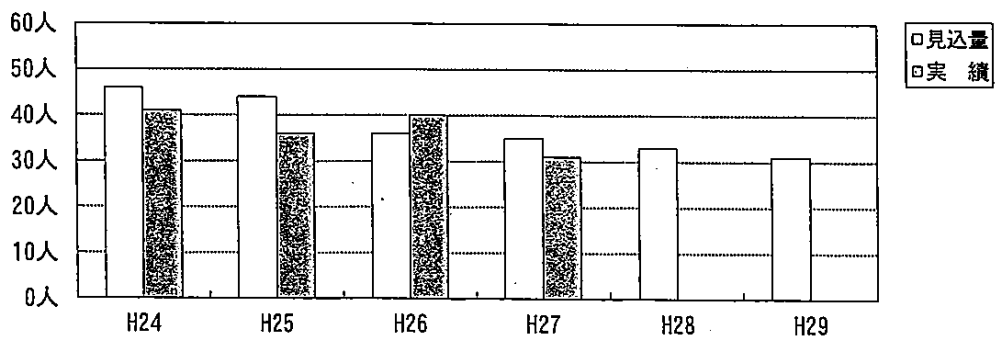
点検評価欄 (空欄)

(26) 介護療養型医療施設

<利用人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	35	33	31
実績	31		
達成率	88.6%		



<点検評価>

点検評価欄 (空欄)



(27) 介護保険施設等整備事業

①介護保険施設

a介護老人福祉施設

単位：床

	H26末	H27	H28	H29	計
計画	808			100	908
実績					808
施設名	西湘老人ホーム	118			
	潤生園	100			
	陽光の園	80			
	ルビーホーム	80			
	たちばなの里	130			
	芳徳の郷ほなみ	80			
	いこい	100			
	ジョイヴィレッジ	120			

b介護老人保健施設

単位：床

	H26末	H27	H28	H29	計
計画	560				560
実績					560
施設名	水之尾	100			
	わかば	90			
	リバーイースト	90			
	悠久	100			
	葵の園	180			

c介護療養型医療施設

単位：床

	H26末	H27	H28	H29	計
計画	12				12
実績					12
施設名	小林病院	12			

<点検評価>

②居住系施設

a介護専用型特定施設

単位：人（定員数）

	H26末	H27	H28	H29	計
計画					79
実績	79				79
施設名	ニチイケアセンターこゆるぎ 79				

b介護専用型以外の特定施設

単位：人（定員数）

	H26末	H27	H28	H29	計
計画					1,123
実績	1,123				1,123
施設名	長寿園 220 デンマークINN小田原 115 レストヴィラ南鴨宮 65 ジョイアス城山 57 慶愛苑 58 ふじロマンズ 60 アミーユ鴨宮 50 ツクイ・サンシャイン 90 シニアメゾン 30 はなことば 65 湘南ふれあいの園 56 レストヴィラ南鴨宮貳号館 85 はなことば2号館 45 らいふ小田原 69				

<点検評価>

③その他の関係施設等

a短期入所施設

単位：人（定員数）

	H26末	H27	H28	H29	計
計画					281
実績	281		△ 20		261
施設名	早川高齢者ふれあいセンター 17 潤生園高齢者総合サービスセンター 30 ルビーセンター 20 陽光の園 介護サービスセンター 20 ジョイアスらいふケアセンター 20 潤生園れんげの里 40 芳徳の郷ほなみ 20 清見の里 20 いこい 20 あおいホームケア 20 エミーズ鴨宮 54	H28 清見の里			△ 20

<点検評価>

④地域密着型サービスの拠点

a 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

単位：箇所

		H26末	H27	H28	H29	計
計画			0	1	0	2
実績		1	0	1	0	2
第1 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第2 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第3 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第4 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第5 圏域	計画	1				1
	実績					1
	施設名	潤生園ホームヘルプサービス				
第6 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第7 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第8 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第9 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第10 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第11 圏域	計画		※1			1
	実績		1			1
	施設名	H28 潤生園東部ホームヘルプサービス				
第12 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					

※平成28年度の計画1箇所は、第8～12圏域のいずれかに整備するもの。

<点検評価>

b夜間対応型訪問介護

単位：箇所

		H26末	H27	H28	H29	計
計画		1	0	0	0	1
実績			0	0	0	1
第1 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第2 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第3 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第4 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第5 圏域	計画	1				1
	実績					1
	施設名	潤生園ホームヘルプサービス				
第6 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第7 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第8 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第9 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第10 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第11 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第12 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					

<点検評価>

c 認知症高齢者グループホーム

単位：床

		H26末	H27	H28	H29	計
計画			0	0	0	297
実績		297	△ 9	△ 9	0	279
第1 圏域	計画					18
	実績	18				18
	施設名	へいあん荻窪 18				
第2 圏域	計画					18
	実績	18				18
	施設名	ローズハウス 18				
第3 圏域	計画					45
	実績	45		△ 9		36
	施設名	ぼぼ箱根板橋 18	H28			
		うめの木園 18	陽光の園			△ 9
陽光の園 9						
第4 圏域	計画					18
	実績	18				18
	施設名	愛の家久野 18				
第5 圏域	計画					27
	実績	27	△ 9			18
	施設名	悠久ほたるだ 18	H27			
		はなくらぶ 9	はなくらぶ			△ 9
第6 圏域	計画					36
	実績	36				36
	施設名	はーもにー 18 ツクイ小田原富水 18				
第7 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第8 圏域	計画					18
	実績	18				18
	施設名	イリーゼ小田原鴨宮 18				
第9 圏域	計画					36
	実績	36				36
	施設名	へいあん鴨宮 18 めろでいー 18				
第10 圏域	計画					27
	実績	27				27
	施設名	西湘グループホームえん 18 ハーティオセアン小田原 9				
第11 圏域	計画					36
	実績	36				36
	施設名	潤生園よりあいどころ田島 18 愛の家小田原前川 18				
第12 圏域	計画					18
	実績	18				18
	施設名	みさき前川 18				

<点検評価>

d小規模多機能型居宅介護拠点

単位：箇所

		H26末	H27	H28	H29	計
計画		5	0	1	0	6
実績			0	0	1	6
第1 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第2 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第3 圏域	計画	1				1
	実績					1
	施設名					ふじの花
第4 圏域	計画	1				1
	実績					1
	施設名					潤生園みんなの家はくさん
第5 圏域	計画	1				1
	実績					1
	施設名					潤生園みんなの家ほたるだ
第6 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第7 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第8 圏域	計画	1				1
	実績					1
	施設名					こやわた
第9 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第10 圏域	計画	1				1
	実績					1
	施設名					西湘ケアホームえん
第11 圏域	計画			※1	1	1
	実績			1		1
	施設名			H29(予定) 潤生園みんなの家たじま		
第12 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					

※平成28年度の計画1箇所は、第11・12圏域のいずれかに整備するもの。

<点検評価>

e看護小規模多機能型居宅介護

単位：箇所

		H26末	H27	H28	H29	計
計画		0	0	1	0	1
実績			0	0	1	1
第1 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第2 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第3 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第4 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第5 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第6 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第7 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第8 圏域	計画		※1			1
	実績			1		1
	施設名	H29（予定） （仮称）やまびこ				
第9 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第10 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第11 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					
第12 圏域	計画					0
	実績					0
	施設名					

※平成28年度の計画1箇所は、全圏域のいずれかに整備するもの。

<点検評価>

**(28) 介護サービス事業者の指定**

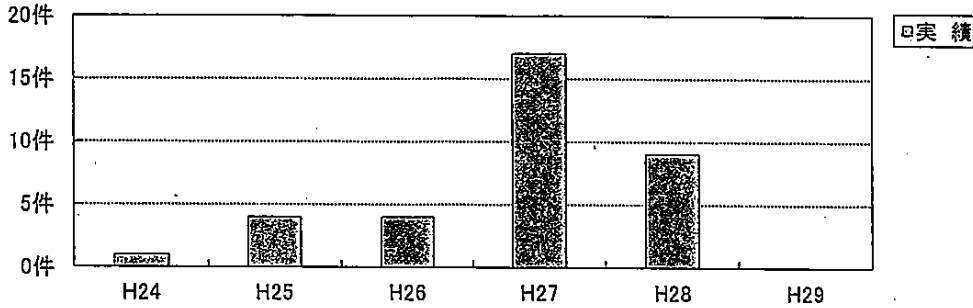
＜事業概要＞

市内で地域密着型サービス事業及び介護予防・日常生活支援総合事業を開始する事業所からの指定申請を受け付け、審査後、指定通知を送付します。  
 この他に、既に指定を受けている事業所の指定更新申請、登録内容の変更の届出、市外地域密着サービス事業所の指定申請の受付を行います。

＜新規事業所指定数＞

単位：件

	H27	H28	H29
実績	17	9	0



＜点検評価＞

-----

**(29) 介護人材確保支援事業**

＜事業概要＞

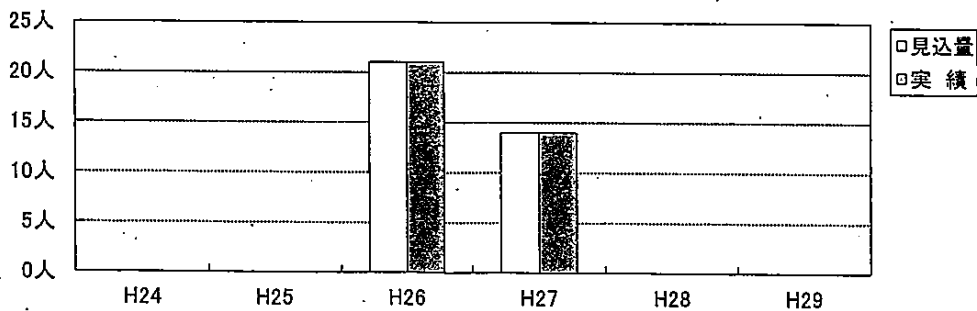
介護サービス事業者と連携し、介護分野での就労未経験者を有期雇用して介護人材として育成する事業や、福祉・介護の仕事の魅力とやりがいに関する情報発信等に取り組むほか、介護人材の処遇改善等に関して、国や県に対する働きかけを行います。

＜育成・就業支援事業対象者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	14	—	—
実績	14	—	—
達成率	100.0%	—	—

※H26～27実施事業



＜点検評価＞

-----



**(30) 介護サービス事業者指導・監査事業**

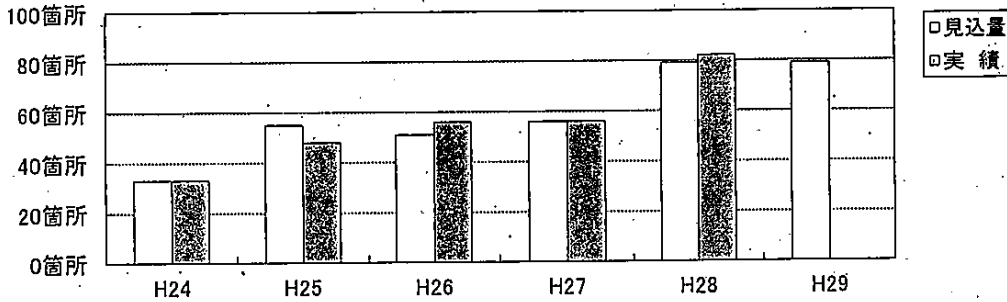
＜事業概要＞

介護（介護予防）サービスを提供する事業所や施設に対し、計画的に実地指導及び集団指導を行うほか、介護サービス事業者の不正等が疑われる場合は監査を実施し、事実確認の上必要な是正勧告等を行います。

＜実地指導訪問事業所数＞

単位：箇所

	H27	H28	H29
見込量	56	79	79
実績	56	82	
達成率	100.0%	103.8%	



＜点検評価＞

-----

**(31) 介護サービス事業者支援事業**

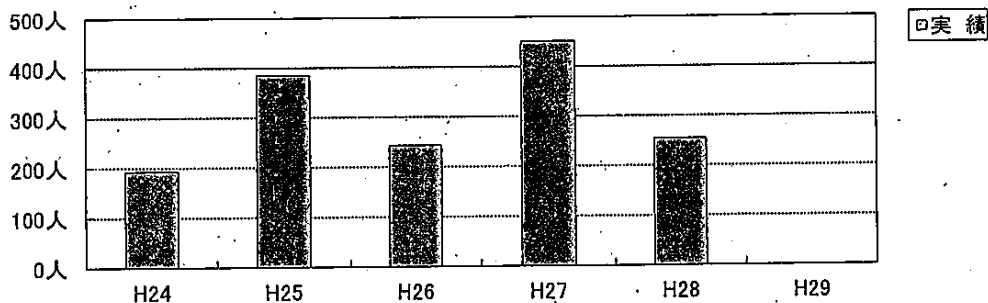
＜事業概要＞

介護サービス事業者を対象とする連絡会等を開催し、制度運営に係る情報を提供するとともに、情報交換及び相互連携を促し、制度の円滑運営のための事業者環境の形成・強化を図ります。

＜連絡会等参加者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
実績	451	254	



＜点検評価＞

-----

(32) ケアマネジメント技術向上支援事業

①介護従事者医療連携研修

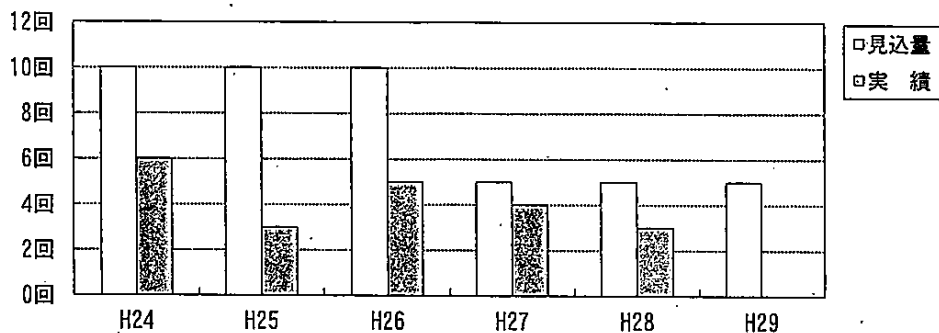
<事業概要>

居宅介護支援事業所及び介護保険施設等に所属する介護支援専門員に対し、ケアマネジメント技術向上のための研修会を開催します。(H24については、地域包括支援センター主催により開催)

<研修会開催回数>

単位：回

	H27	H28	H29
見込量	5	5	5
実績	4	3	
達成率	80.0%	60.0%	



<点検評価>

-----

②ケアプラン点検事業

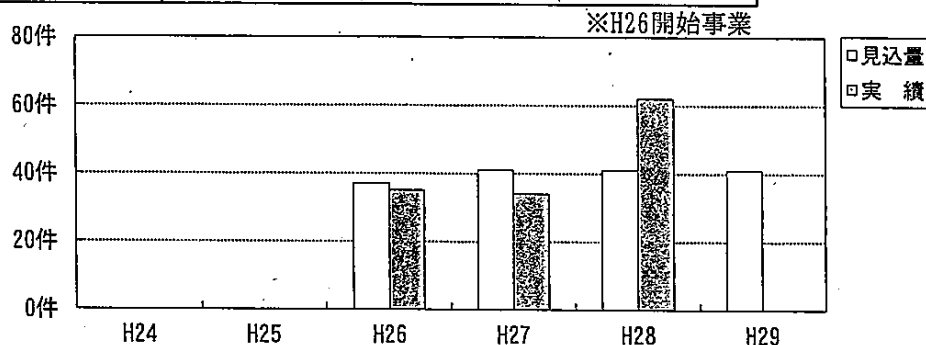
<事業概要>

自立支援に資するケアプランを作成できるようにするため、市内の事業所に所属する介護支援専門員が作成したケアプランを点検します。平成28年度からは、地域包括支援センターの職員も点検対象としています。

<ケアプラン点検数>

単位：件

	H27	H28	H29
見込量	41	41	41
実績	34	62	
達成率	82.9%	151.2%	



<点検評価>

-----

### (33) 介護相談員派遣事業

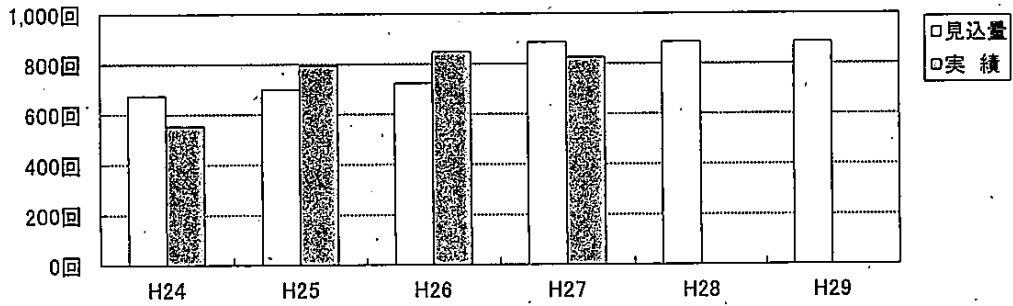
#### <事業概要>

利用者の不満の解消や、事業者のサービスの質の向上を図るために、介護サービスを提供する施設等に介護相談員を派遣します。

#### <延べ派遣回数>

単位：回

	H27	H28	H29
見込量	886	886	886
実績	825		
達成率	93.1%		



#### <点検評価>

**(34) 介護給付適正化事業**

① 医療情報との突合

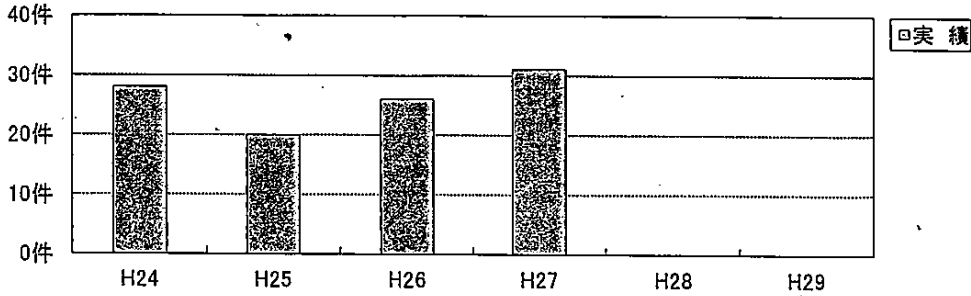
<事業概要>

神奈川県国民健康保険団体連合会への業務委託により、医療給付情報と介護給付情報を突合し、疑義がある内容について事業所に確認のうえ、過誤調整を行います。

<過誤申立件数>

単位：件

	H27	H28	H29
実績	31		



<点検評価>

② 縦覧点検

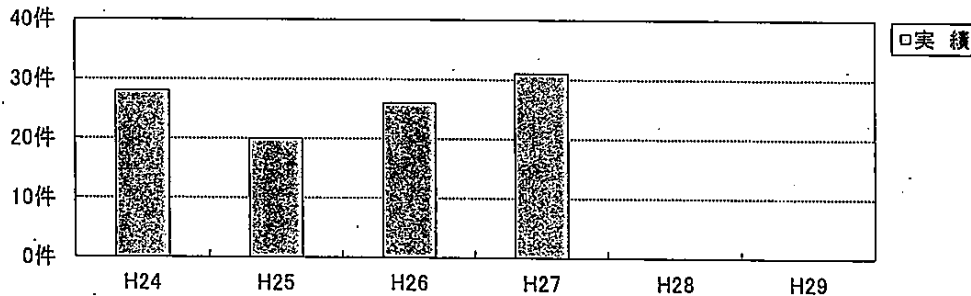
<事業概要>

神奈川県国民健康保険団体連合会への業務委託により、算定期間回数制限、重複請求、居宅介護支援におけるサービス実施状況等をチェックし、疑義がある内容について事業所に確認のうえ、過誤調整を行います。

<過誤申立件数>

単位：件

	H27	H28	H29
実績	121		



<点検評価>

**(35) 居宅介護支援事業者等補助事業**

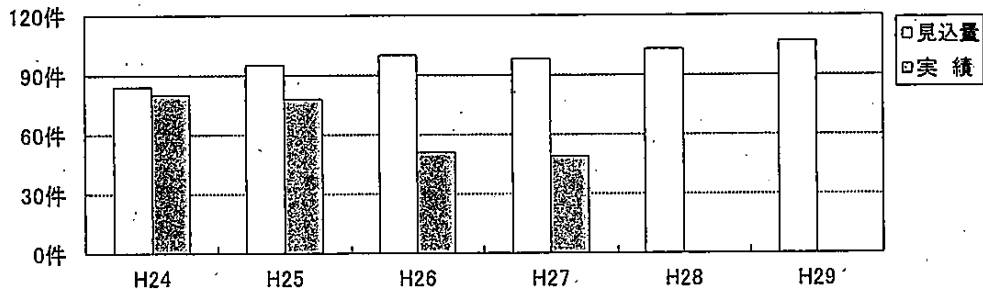
＜事業概要＞

介護保険サービスの住宅改修を行う場合、「住宅改修理由書」が必要となりますが、居宅介護（介護予防）サービスを利用していない要介護者及び要支援者からの依頼を受け、この理由書を作成する場合、作成にかかる経費については介護保険から給付されないため、理由書を作成した介護支援専門員を雇用する居宅介護（介護予防）支援事業者等に対して、その業務に対する費用の一部を助成します。

＜支給件数＞

単位：件

	H27	H28	H29
見込量	98	103	107
実績	49		
達成率	50.0%		



＜点検評価＞

点検評価欄（空欄）

**(36) 社会福祉法人等利用者負担軽減事業**

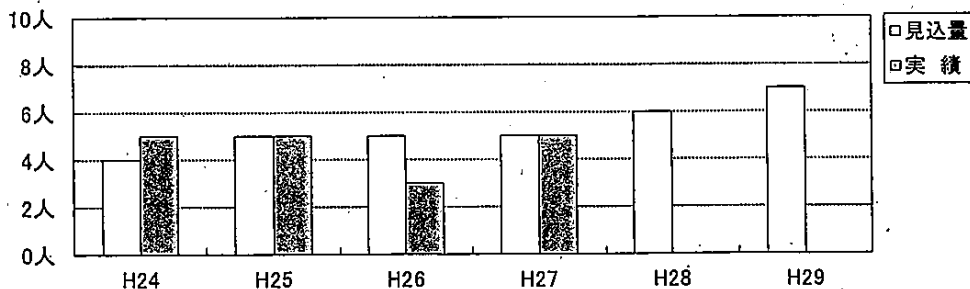
＜事業概要＞

介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等が、その社会的な役割にかんがみ、低所得者で生計が困難である者の介護費負担分、食費・居住費（滞在費）及び宿泊費を軽減した場合に、軽減分の一部を社会福祉法人等に助成します。

＜認定者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	5	6	7
実績	5		
達成率	100.0%		



＜点検評価＞

点検評価欄（空欄）

**(37) 高額介護サービス費等の給付**

**<事業概要>**

介護（介護予防）サービスに係る利用者負担額が上限額を超えた場合に、超えた分を高額介護サービス費として支給します。

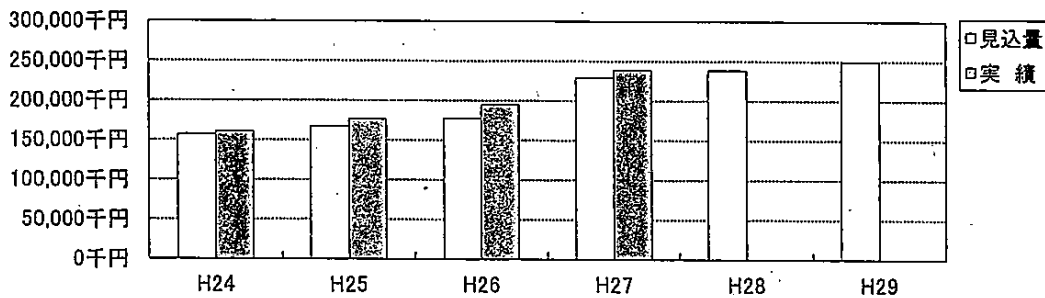
介護保険と医療保険の自己負担合計額が一定の負担限度額を超えた場合に高額医療合算サービス費を支給します。

所得が低い利用者が施設サービスを利用した場合に、居住費と食費について所得に応じた自己負担の限度額を設け、これを超えた分を特定入所者介護サービス費として支給します。

**<高額介護サービス費>**

単位：千円

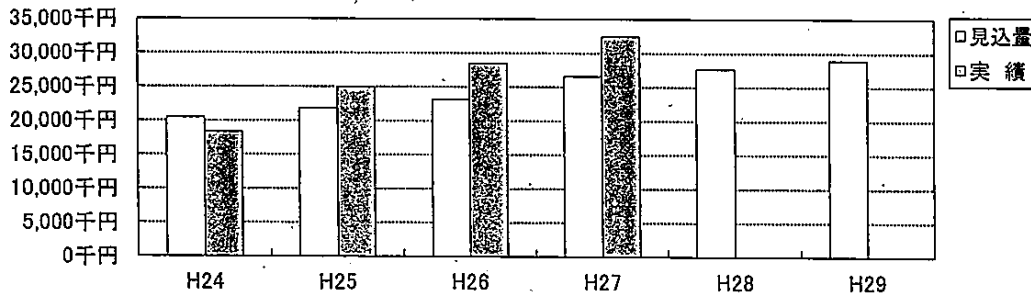
	H27	H28	H29
見込量	228,950	238,516	249,368
実績	238,941		
達成率	104.4%		



**<高額医療合算合算サービス費>**

単位：千円

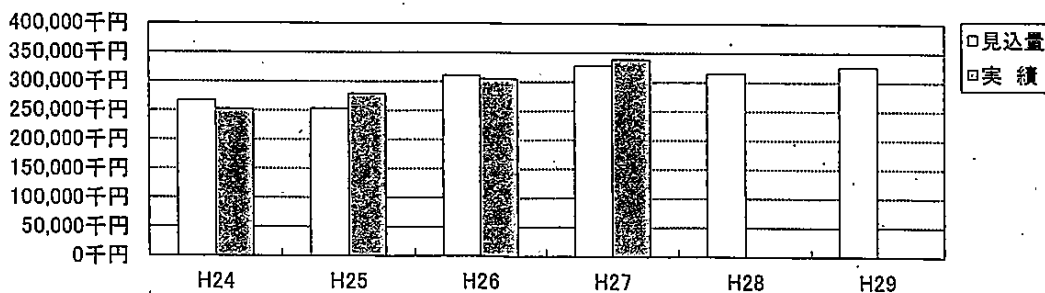
	H27	H28	H29
見込量	26,528	27,637	28,894
実績	32,438		
達成率	122.3%		



**<特定入所者介護サービス費等給付費>**

単位：千円

	H27	H28	H29
見込量	327,469	314,960	325,545
実績	338,539		
達成率	103.4%		



**<点検評価>**

**(38) 介護サービス情報公表**

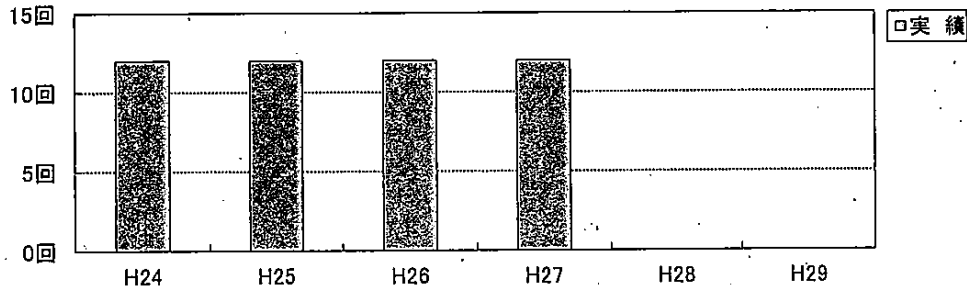
＜事業概要＞

市内の介護事業所の一覧を作成し、窓口での配架、ホームページへの掲載等で情報を公表をしており、月に一度、内容を最新のものに更新します。

＜更新回数＞

単位：回

	H27	H28	H29
実績	12		



＜点検評価＞

点検評価欄 (空欄)

**4 新しい総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)の円滑な運営**

**(1) 生活支援協議体の設置**

＜事業概要＞

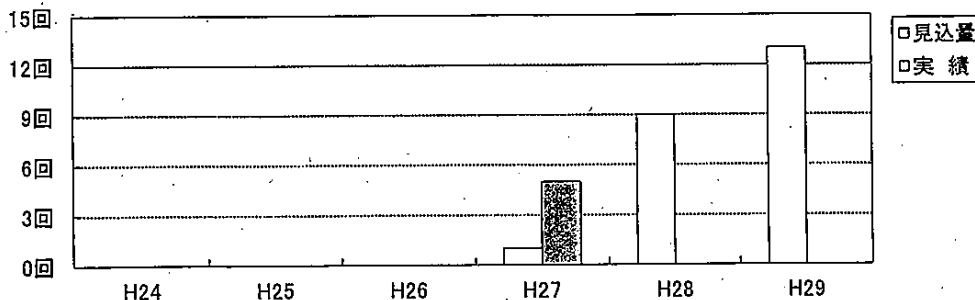
生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、多様な主体間の情報の共有・連携強化の場として、協議体を設置します。

＜協議体会議開催数＞

単位：回

	H27	H28	H29
見込量	1	9	13
実績	5		
達成率	500.0%		

※H27開始事業



＜点検評価＞

点検評価欄 (空欄)

## (2) 生活支援コーディネーターの配置

### <事業概要>

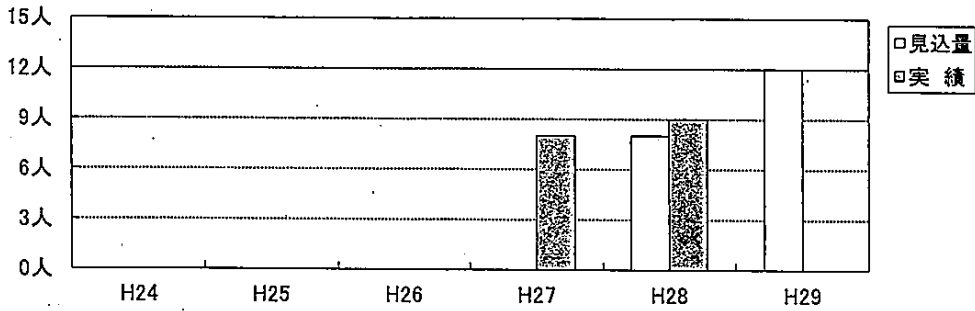
多様な主体による多様な取組のコーディネート機能を担い、一体的な活動を推進する生活支援コーディネーターを配置します。

### <コーディネーター配置数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	—	8	12
実績	8	9	
達成率	—	112.5%	

※H27開始事業



### <点検評価>

## (3) 生活支援事業主体の育成・支援

### <事業概要>

多様な生活支援サービスが利用できるよう、生活支援サービスを行う事業主体の育成・支援を行います。

※評価指標については、数値による評価が適さない事業のため設けていません。

### <点検評価>



**(4) 地域の生活支援・介護予防サービスの情報提供**

＜事業概要＞

多様な生活支援・介護予防サービスの情報を収集し、広く提供します。  
 ※評価指標については、数値による評価が適さない事業のため設けていません。

＜点検評価＞

-----

**(5) 訪問型サービス事業**

＜事業概要＞

平成28年1月から、介護予防訪問介護を国基準訪問型サービスに移行するとともに、基準緩和訪問型サービス及び住民主体訪問型サービスを開始しました。

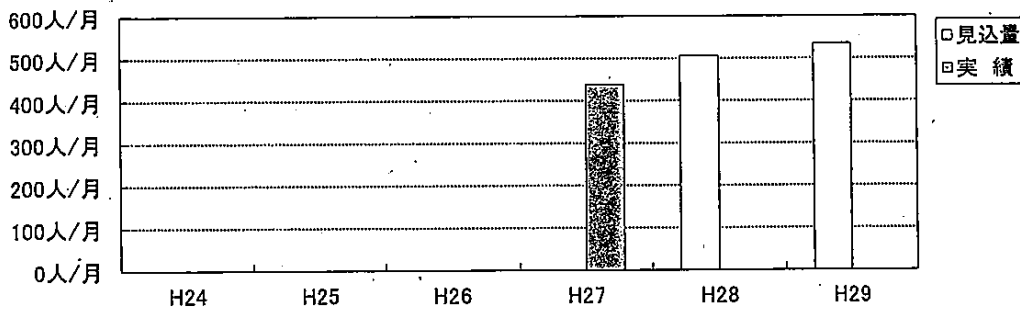
＜利用者数＞

単位：人/月

	H27	H28	H29
見込量	—	506	535
実績	438		
達成率	—		

※H27開始事業

※見込量の内、閉じこもり、認知症、うつ予防等訪問型介護予防事業を除く



＜点検評価＞

-----

**(6) 閉じこもり、認知症、うつ予防等訪問型介護予防事業**

**<事業概要>**

閉じこもり、軽度認知障害または抑うつ傾向の認められる高齢者、低栄養状態と認められる高齢者、口腔機能低下が認められる高齢者に対し、居宅を看護師が訪問及び、管理栄養士による電話・訪問相談を行うことで、予防支援サービスを提供します。

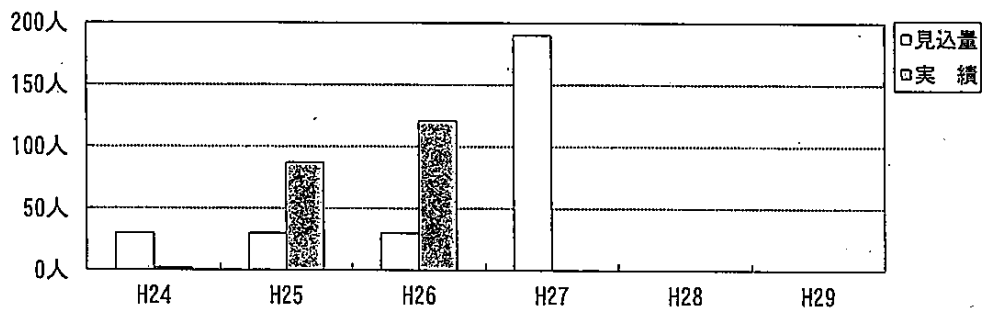
※平成28年1月から総合事業に移行したことにより、短期集中訪問型サービスとなります。

**①総合事業移行前（平成27年度分）**

**<利用者数>**

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	190	—	—
実績	0		
達成率	0.0%		

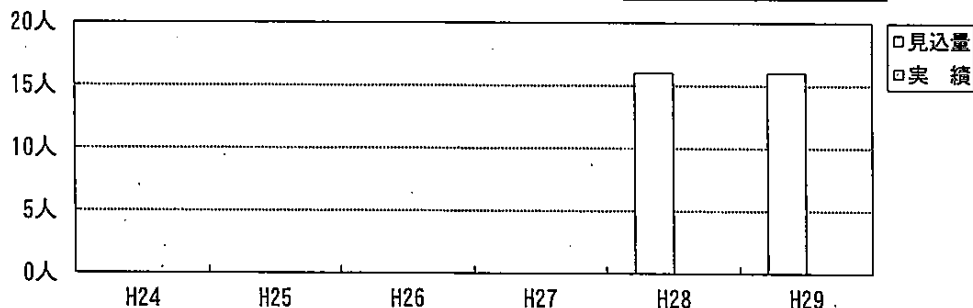


**②総合事業移行後（平成28年度分）**

**<利用者数>**

単位：人/月

	H27	H28	H29
見込量	—	16	16
実績	—		
達成率	—		



**<点検評価>**

**(7) 食の自立支援事業(介護予防事業分)**

**<事業概要>**

栄養状態の改善の必要性が認められる高齢者を対象に、アセスメントに基づく配食サービスを行います。

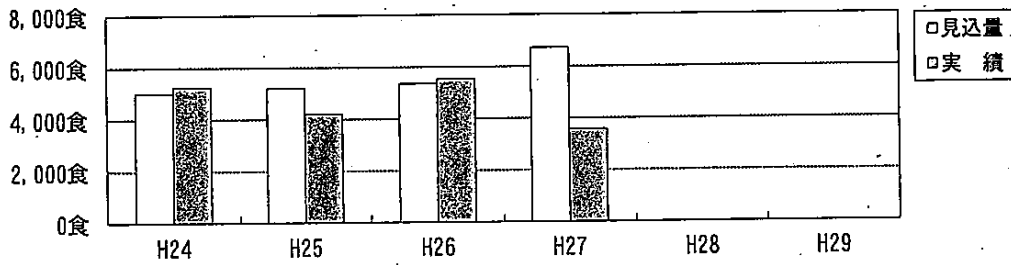
※平成28年1月から総合事業に移行したことにより、短期集中訪問型サービスとなる。

**①総合事業移行前(平成27年度分)**

**<配食数>**

単位：食

	H27	H28	H29
見込量	6,720	—	—
実績	3,578	—	—
達成率	53.2%	—	—
利用者実数	31人	—	—



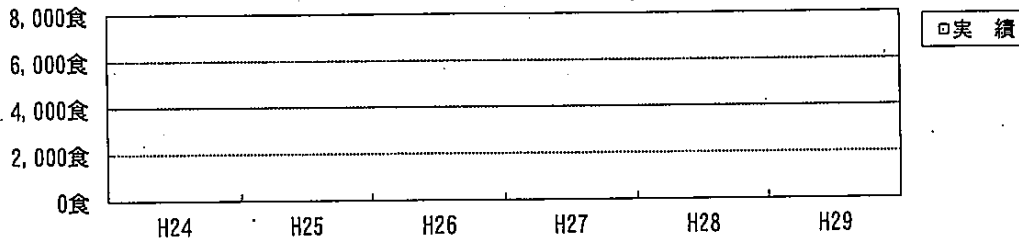
**<点検評価>**

**②総合事業移行後(平成28年度分)**

**<配食数>**

単位：食

	H27	H28	H29
実績	—	—	—
利用者実数	—	—	—



**<点検評価>**

**(8) 通所型サービス事業**

＜事業概要＞

平成28年1月から、介護予防通所介護を国基準通所型サービスに移行するとともに、基準緩和通所型サービス及び住民主体通所型サービスを開始しました。

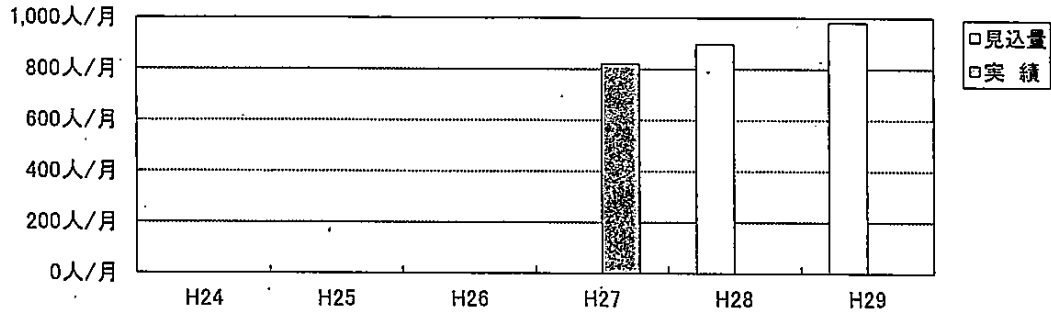
＜利用者数＞

単位：人/月

	H27	H28	H29
見込量	—	896	980
実績	819		
達成率	—		

※H27開始事業

※見込量の内、複合型介護予防教室を除く



＜点検評価＞

**(9) 複合型介護予防教室運営事業**

**<事業概要>**

生活機能の低下が見られる高齢者の介護予防事業参加を促進し、生活機能の向上を図り、要介護・要支援の状態に陥らないようにするため、総合的な介護予防教室を実施します。

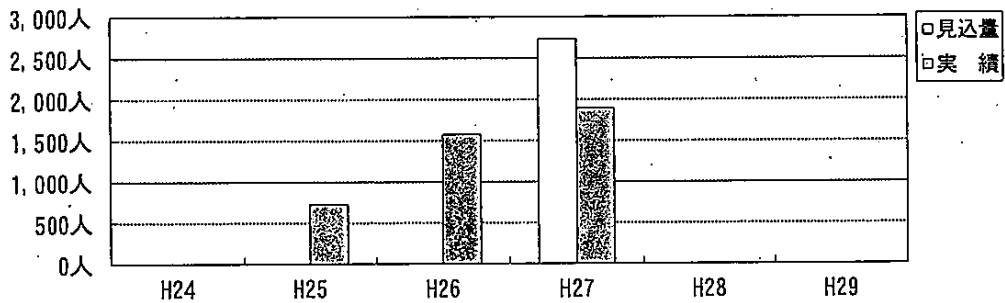
※平成28年1月から総合事業に移行したことにより、短期集中通所型サービスとなる。

**①総合事業移行前（平成27年度分）**

**<参加延べ人数>**

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	2,730	—	—
実績	1,893		
達成率	69.3%		
開催延べ回数	84回		

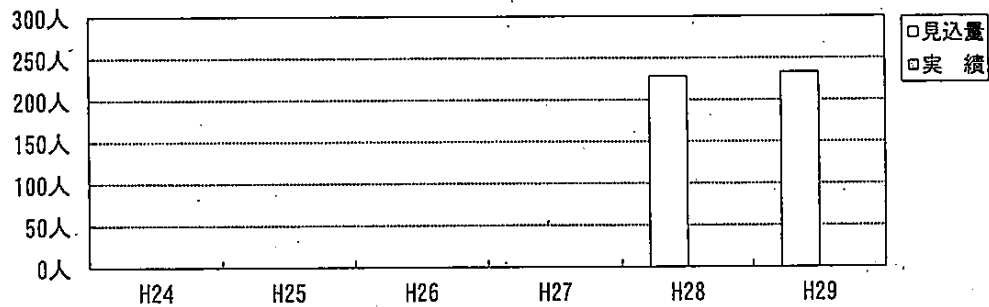


**②総合事業移行後（平成28年度分）**

**<参加者>**

単位：人/月

	H27	H28	H29
見込量	—	228	233
実績	—		
達成率	—		
開催延べ回数	—		



**<点検評価>**

**(10) その他生活支援事業**

＜事業概要＞

栄養改善を目的とした配食を提供するほか、住民ボランティア等が行う見守り活動を支援します。  
 ※評価指標については、数値による評価が適さない事業のため設けていません。

＜点検評価＞

-----

**(11) 介護予防ケアマネジメントの実施**

＜事業概要＞

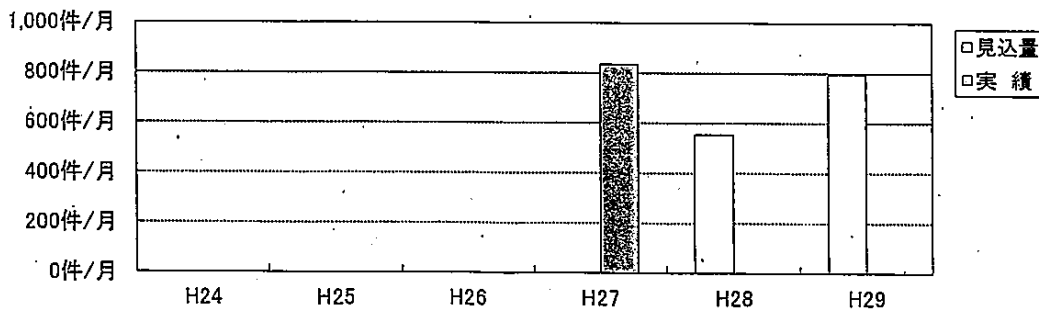
要支援者等に対し、介護予防と自立支援を目的として、心身の状況要に応じた適切なサービスが提供されるよう、専門的観点から、必要な援助を行ないます。

＜利用件数＞

単位：件/月

	H27	H28	H29
見込量	—	553	795
実績	834		
達成率	—		

※H27開始事業



＜点検評価＞

-----

(12) 介護予防把握事業

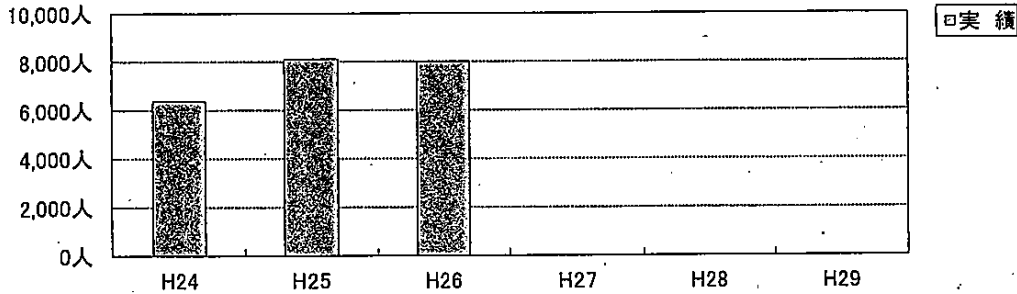
<事業概要>

高齢者の生活実態を調査することで、生活機能の低下がみられ、要支援・要介護状態に陥るおそれのある者を早期に把握し、適切な支援・サービスに繋げるとともに、調査結果から、市全体及び日常生活圏域別の地域特性を把握するために実施します。

<参加延べ人数>

単位：人

	H27	H28	H29
実績	0	0	



<点検評価>

点検評価欄 (空欄)

(13) 高齢者筋力向上トレーニング事業(基幹型・地域型)

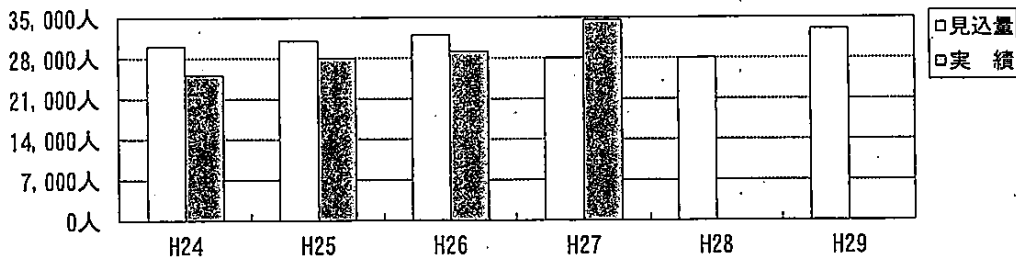
<事業概要>

生きがいふれあいセンター及び小田原アリーナ等で教室を開催し、個別計画に基づく運動サービスを提供し、介護予防の知識普及や意識啓発を行うとともに、一人ひとりの自己実現のための取り組みを支援します。また、市内各地域で自主グループに対する講師派遣を実施し、介護予防の知識普及や意識啓発を行うとともに、地域における主体的・継続的な活動を促進します。

<参加延べ人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	28,000	28,000	33,000
実績	34,561		
達成率	123.4%		
開催延べ回数	860回		



<点検評価>

点検評価欄 (空欄)

## (14) 高齢者栄養改善・口腔機能向上事業

### <事業概要>

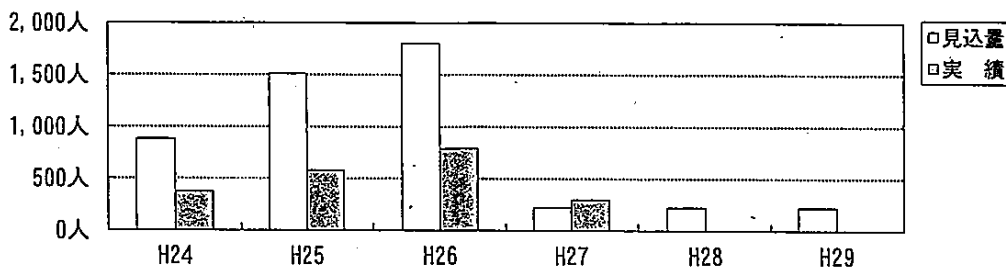
高齢者の低栄養状態の予防改善を目的に、講義と調理実習を組み合わせた教室等の開催を通して、介護予防の意識を啓発し、自分らしい生活と自己実現を支援します。

※H27年度から口腔機能向上事業については、複合型介護予防教室運営事業内のプログラムとして実施。H29年度からは事業名を高齢者栄養改善事業へ変更。

### <参加延べ人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	220	220	220
実績	294		
達成率	133.6%		
開催延べ回数	11回		



### <点検評価>

## (15) 認知症予防事業

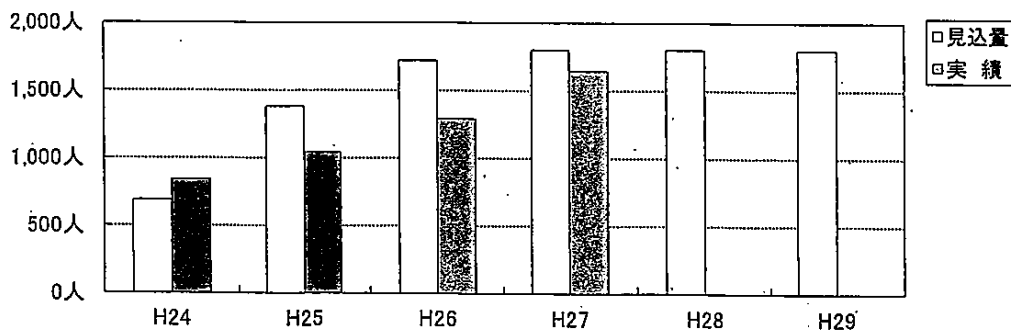
### <事業概要>

認知症の予防を図るため、脳の活性化を促すゲームやウォーキングなどの有酸素運動、グループワークを通じたコミュニケーションなどを内容とした教室を開催します。

### <参加延べ人数>

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	1,800	1,800	1,800
実績	1,643		
達成率	91.3%		
開催延べ回数	84回		



### <点検評価>



**(16) 介護予防普及啓発事業**

＜事業概要＞

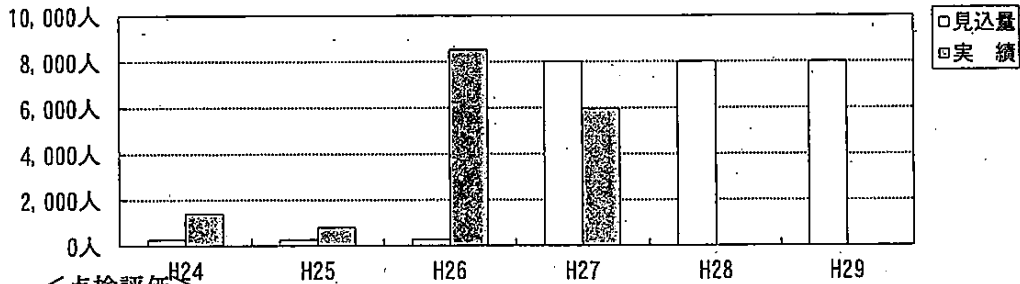
地域の高齢者等を対象に、自ら行える介護予防についての講座を開催し、介護予防の意識を啓発します。また、平成26年度より、おだわら総合医療福祉会館で地域の高齢者の憩いの場となる介護予防対策室を運営します。

※平成26年度に介護予防対策室が開設。平成27年度から予算は一般会計から移管。

＜参加延べ人数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	8,000	8,000	8,000
実績	5,942		
達成率	74.3%		
開催延べ回数	237回		



＜点検評価＞

**(17) 生きがいふれあいフェスティバル開催事業**

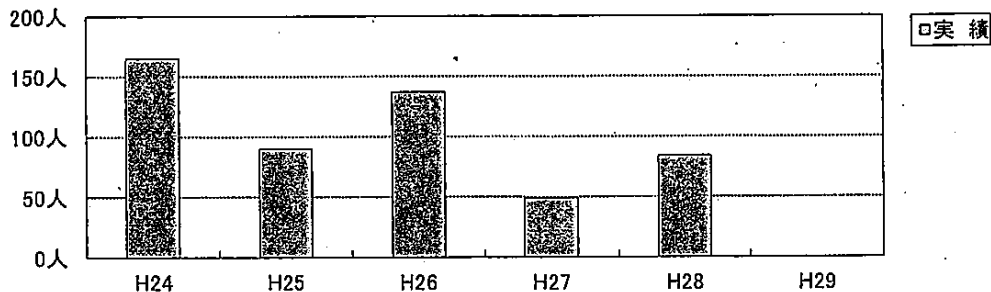
＜事業概要＞

生きがいふれあいフェスティバル内で介護予防の重要性を普及啓発し、一人ひとりの関心と実践意欲を高めるために介護予防講演会等を開催します。

＜事業対象者数＞

単位：人

	H27	H28	H29
実績	49	84	



＜点検評価＞

**(18) 高齢者体操教室開催事業**

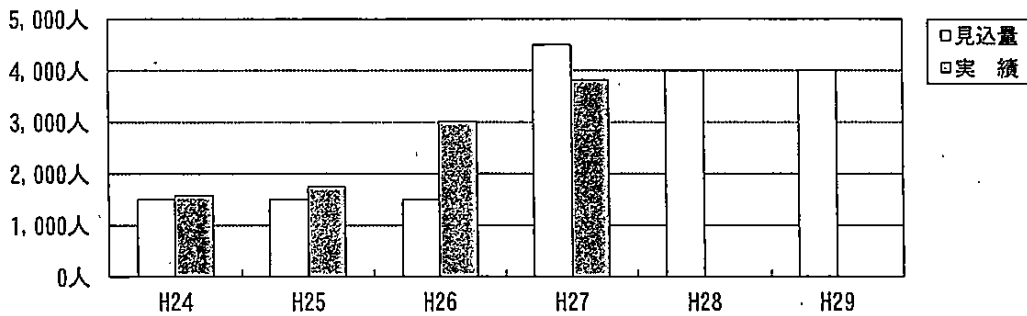
＜事業概要＞

軽体操、ストレッチ、レクリエーション活動等の教室を通じて、介護予防の意識を啓発し、継続的な取り組みを促進・支援します。

＜参加延べ人数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	4,500	4,000	4,000
実績	3,818		
達成率	84.8%		
開催延べ回数	128回		



＜点検評価＞

-----

**(19) いきいき健康事業**

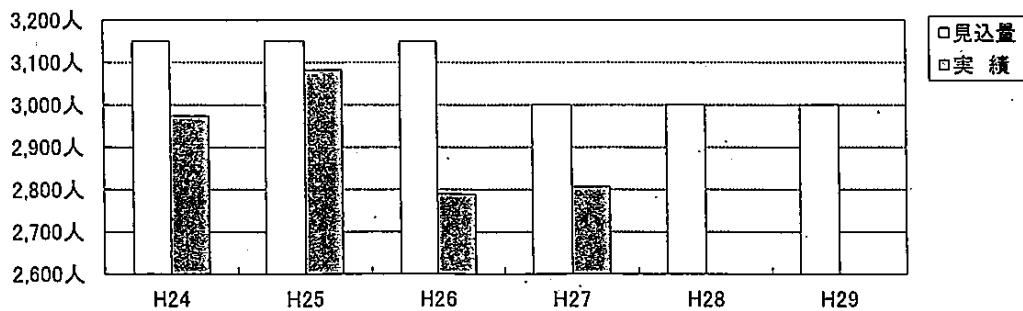
＜事業概要＞

地区社会福祉協議会の主導により、地区の実情や要望に応じた教室、レク活動、交流事業などを行い、地域における介護予防意識の醸成を図ります。

＜参加延べ人数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	3,000	3,000	3,000
実績	2,806		
達成率	93.5%		
開催延べ回数	78回		



＜点検評価＞

-----

**(20) 地域介護予防活動支援事業**

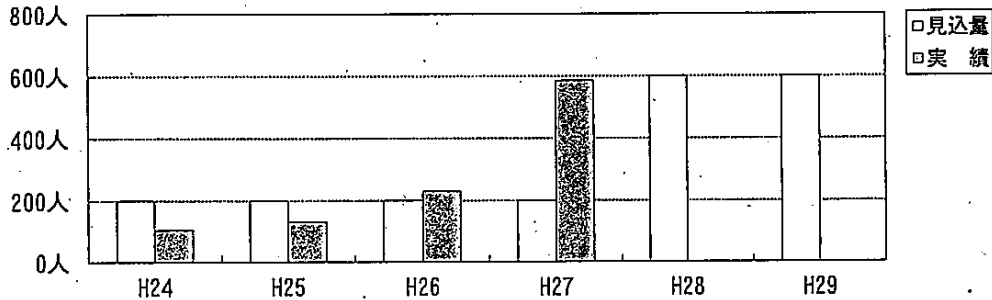
＜事業概要＞

高齢者を最も身近な場所で支える「地域」において、介護予防の意識を高め、住民の主体的な取り組み・活動を活性化するため、地域の高齢者福祉の担い手に対して介護予防に資する講座を開催します。

＜参加延べ人数＞

単位：人

	H27	H28	H29
見込量	200	600	600
実績	585		
達成率	292.5%		
開催延べ回数	6回		



＜点検評価＞

-----

**(21) ふれあい担い手発掘事業**

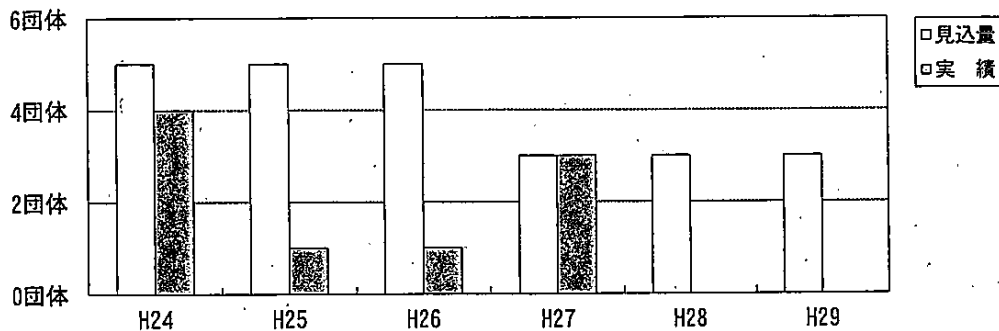
＜事業概要＞

地域における自主的な介護予防活動を実施する団体等に対して、初期費用を助成し、その継続的な活動を支援します。

＜助成対象数＞

単位：団体

	H27	H28	H29
見込量	3	3	3
実績	3		
達成率	100.0%		



＜点検評価＞

-----

**(22) 介護予防事業評価事業**

＜事業概要＞

介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等を検証し、介護予防事業の評価を行います。  
 ※評価指標については、数値による評価が適さない事業のため設けていません。

＜点検評価＞

[Dotted box for evaluation]

**(23) 地域リハビリテーション活動支援事業**

＜事業概要＞

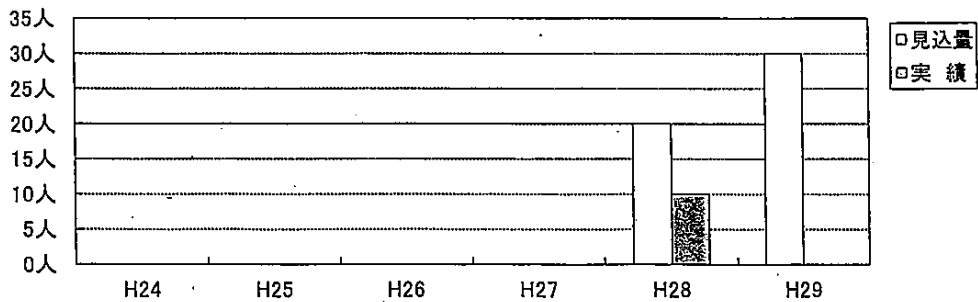
地域における介護予防の取り組みを強化するため、通いの場などへのリハビリテーション専門職の積極的な関与を図ります。

＜研修参加者数＞

単位：人

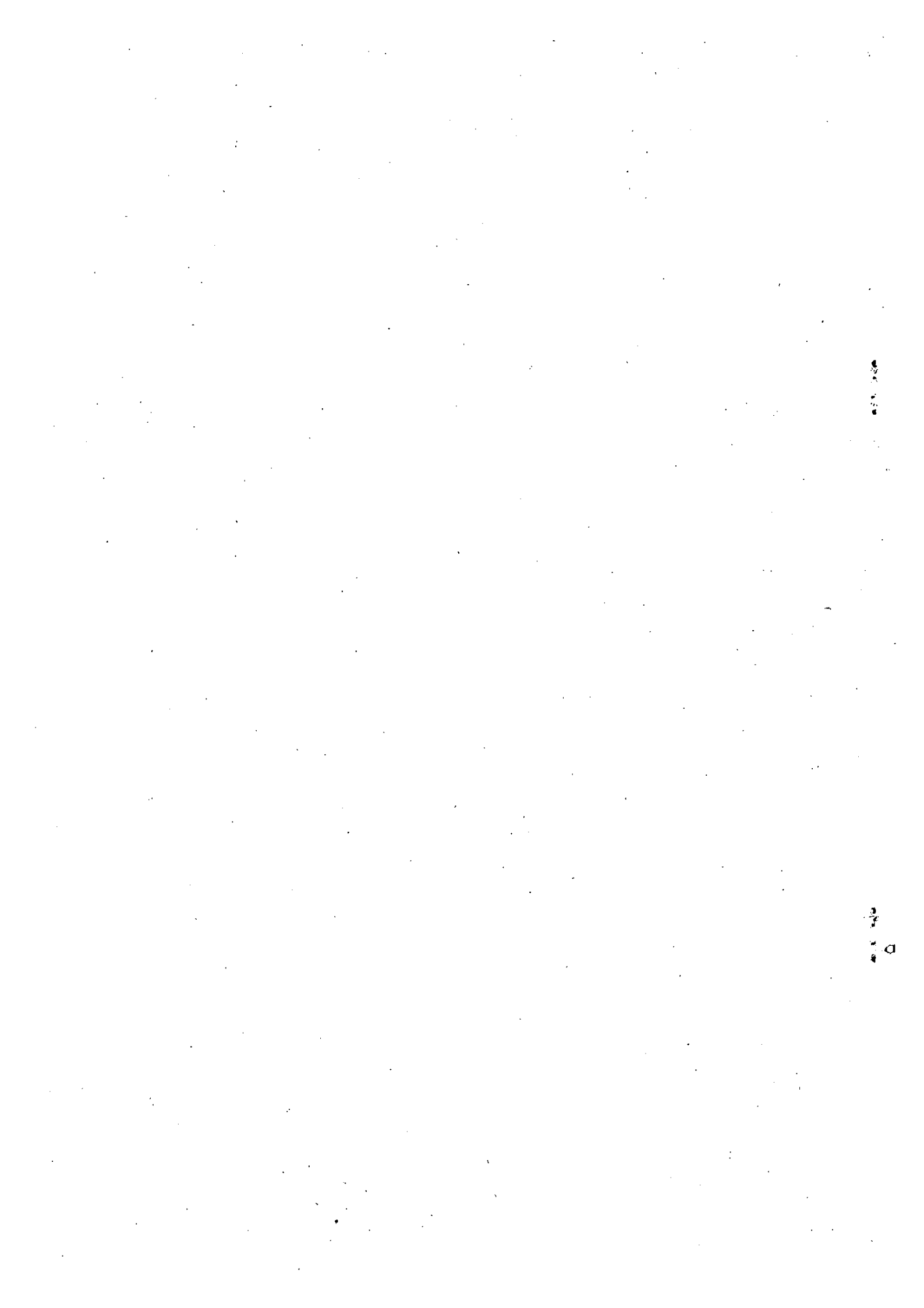
	H27	H28	H29
見込量	—	20	30
実績	—	10	
達成率	—	50.0%	

※H28開始事業



＜点検評価＞

[Dotted box for evaluation]



小田原市  
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査  
調査結果報告書

平成29年3月

小田原市



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	回収状況 .....	1
	(1) 性別・年齢階級別回収状況 .....	1
	(2) 要介護状態区分・年齢階級別回収状況 .....	1
	(3) 圏域・年齢階級別回収状況 .....	2
6	調査結果の表示方法 .....	2
7	圏域区分 .....	3
<b>II</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>5</b>
1	あなたのご家族や生活状況について .....	6
2	からだを動かすことについて .....	11
3	食べることについて .....	19
4	毎日の生活について .....	25
5	地域での活動について .....	38
6	あなたとまわりの人の「たすけあい」について .....	52
7	健康について .....	69
<b>III</b>	<b>要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析</b> .....	<b>79</b>
1	要介護状態になるリスクの発生状況 .....	80
	(1) 運動器機能低下 .....	80
	(2) 閉じこもり傾向 .....	82
	(3) 転倒リスク .....	84
	(4) 低栄養状態 .....	86
	(5) 口腔機能低下 .....	88
	(6) 認知機能低下 .....	90
	(7) うつ傾向 .....	92
2	日常生活 .....	94
	(1) 手段的自立度 (IADL) .....	94
3	社会参加 .....	96
	(1) 知的能動性 .....	96
	(2) 社会的役割 .....	98



<b>IV</b>	<b>圏域別地域特性</b> .....	<b>101</b>
	【第1圏域】(緑、万年、幸、芦子) .....	102
	【第2圏域】(新玉、山王網一色、足柄) .....	103
	【第3圏域】(十字、片浦、早川、大窪) .....	104
	【第4圏域】(二川、久野) .....	105
	【第5圏域】(東富水) .....	106
	【第6圏域】(富水) .....	107
	【第7圏域】(桜井) .....	108
	【第8圏域】(酒匂・小八幡、富士見) .....	109
	【第9圏域】(下府中) .....	110
	【第10圏域】(豊川、上府中) .....	111
	【第11圏域】(曾我、下曾我、国府津) .....	112
	【第12圏域】(橘南、橘北) .....	113
<b>V</b>	<b>資料</b> .....	<b>115</b>
	1 自由記載回答 .....	115
	2 調査票 .....	117

## I 調査の概要

---



## I 調査の概要

### 1 調査の目的

「第7期おだわら高齢者福祉介護計画」の策定に向けて、高齢者福祉及び介護保険事業の施策形成のための基礎資料として、調査を実施するものです。

### 2 調査対象

要介護1～5の認定を受けていない小田原市在住の65歳以上の方から無作為抽出

### 3 調査期間

平成29年1月6日から平成29年1月20日

### 4 調査方法

郵送による配布・回収

### 5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
7,500 通	5,274 通	70.3%

#### (1) 性別・年齢階級別回収状況

上段：件数、下段：%

	全 体	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳以上	不明
全 体	5,274 100.0	1,601 30.4	1,344 25.5	1,132 21.5	749 14.2	446 8.5	2 0.0
男性	2,402 100.0	789 32.8	623 25.9	498 20.7	320 13.3	172 7.2	— —
女性	2,870 100.0	812 28.3	721 25.1	634 22.1	429 14.9	274 9.5	— —

#### (2) 要介護状態区分・年齢階級別回収状況

上段：件数、下段：%

	全 体	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳以上	不明
全 体	5,274 100.0	1,601 30.4	1,344 25.5	1,132 21.5	749 14.2	446 8.5	2 0.0
一般高齢者	5,063 100.0	1,588 31.4	1,324 26.2	1,102 21.8	675 13.3	374 7.4	— —
要支援者	180 100.0	12 6.7	14 7.8	26 14.4	63 35.0	65 36.1	— —
事業対象者※	29 100.0	1 3.4	6 20.7	4 13.8	11 37.9	7 24.1	— —

※事業対象者とは、介護予防・日常生活支援総合事業の対象者のことを言います。

I 調査の概要

(3) 圏域・年齢階級別回収状況

上段：件数、下段：%

	全 体	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳以上	不明
全 体	5,274 100.0	1601 30.4	1344 25.5	1132 21.5	749 14.2	446 8.5	2 0.0
第1圏域	434 100.0	124 28.6	110 25.3	86 19.8	65 15.0	49 11.3	- -
第2圏域	446 100.0	125 28.0	125 28.0	82 18.4	74 16.6	40 9.0	- -
第3圏域	425 100.0	134 31.5	95 22.4	86 20.2	61 14.4	49 11.5	- -
第4圏域	441 100.0	130 29.5	128 29.0	92 20.9	51 11.6	40 9.1	- -
第5圏域	449 100.0	123 27.4	108 24.1	100 22.3	79 17.6	39 8.7	- -
第6圏域	427 100.0	121 28.3	98 23.0	102 23.9	67 15.7	39 9.1	- -
第7圏域	440 100.0	128 29.1	115 26.1	94 21.4	63 14.3	40 9.1	- -
第8圏域	413 100.0	127 30.8	96 23.2	92 22.3	62 15.0	36 8.7	- -
第9圏域	455 100.0	135 29.7	124 27.3	105 23.1	64 14.1	27 5.9	- -
第10圏域	426 100.0	148 34.7	117 27.5	104 24.4	39 9.2	18 4.2	- -
第11圏域	453 100.0	149 32.9	110 24.3	101 22.3	59 13.0	34 7.5	- -
第12圏域	463 100.0	157 33.9	118 25.5	88 19.0	65 14.0	35 7.6	- -

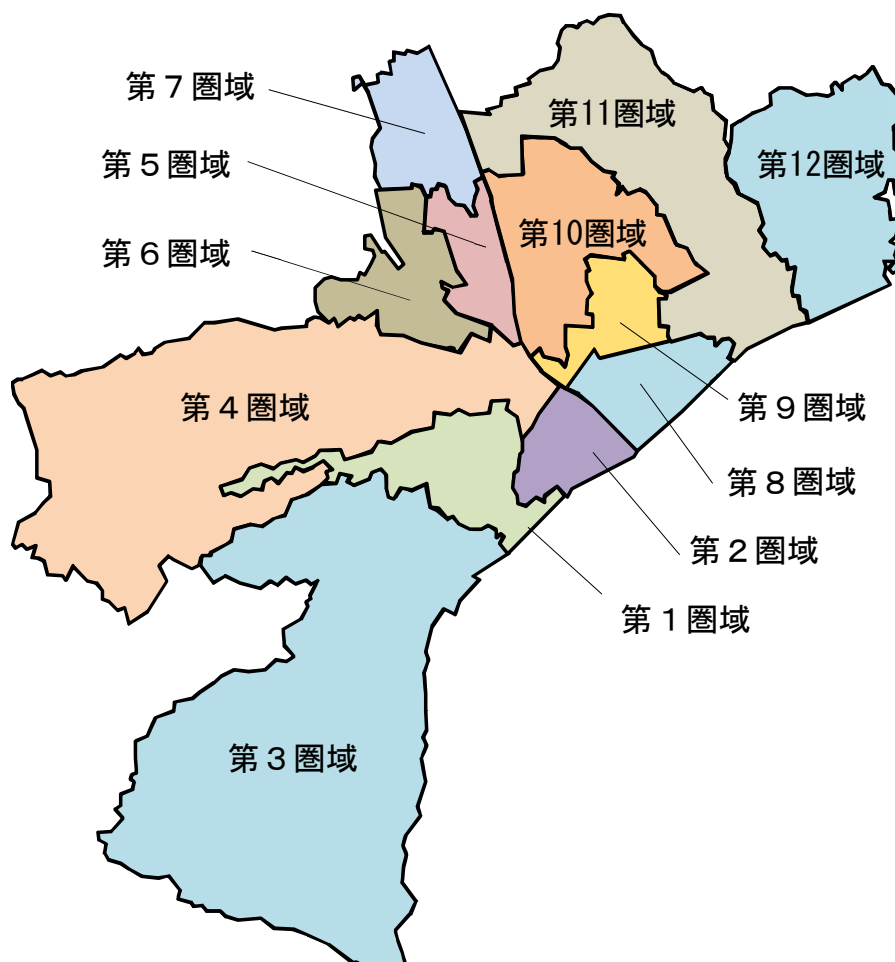
※圏域については、3 ページ「7 圏域区分」を参照。

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、折れ線グラフのうち、実線のものの数値については下線を引いています。
- ・調査票のうち、自由記載欄の調査結果については、115 ページ以降のV 資料1 自由記載回答に掲載しています。

## 7 圏域区分

圏域区分は、「第6期おだわら高齢者福祉介護計画」における日常生活圏域に合わせ、次のとおりとなっています。



圏域	自治会連合会名
第1圏域	緑、万年、幸、芦子
第2圏域	新玉、山王網一色、足柄
第3圏域	十字、片浦、早川、大窪
第4圏域	二川、久野
第5圏域	東富水
第6圏域	富水
第7圏域	桜井
第8圏域	酒匂・小八幡、富士見
第9圏域	下府中
第10圏域	豊川、上府中
第11圏域	曾我、下曾我、国府津
第12圏域	橘南、橘北



## II 調査結果

---

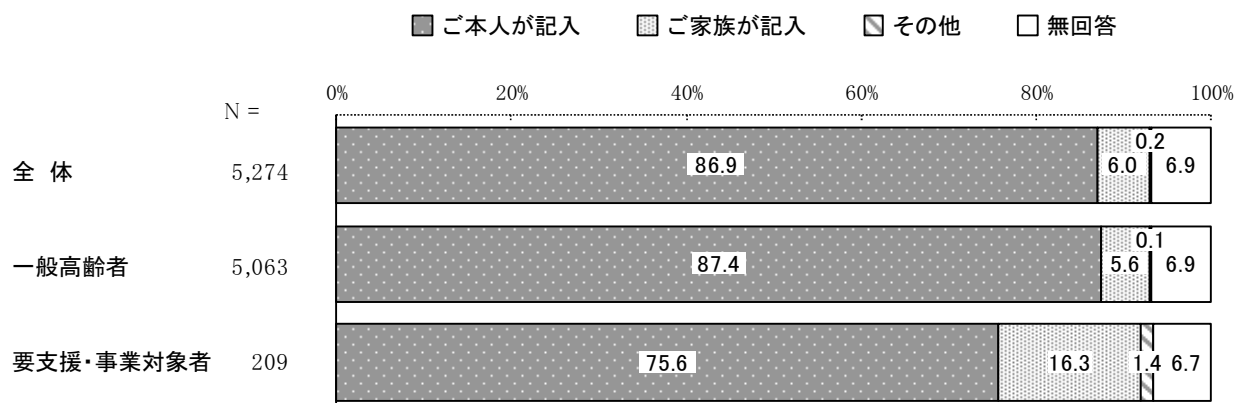




## Ⅱ 調査結果

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

「ご本人が記入」の割合が86.9%、「ご家族が記入」の割合が6.0%となっています。  
 一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「ご家族が記入」の割合が高くなっています。



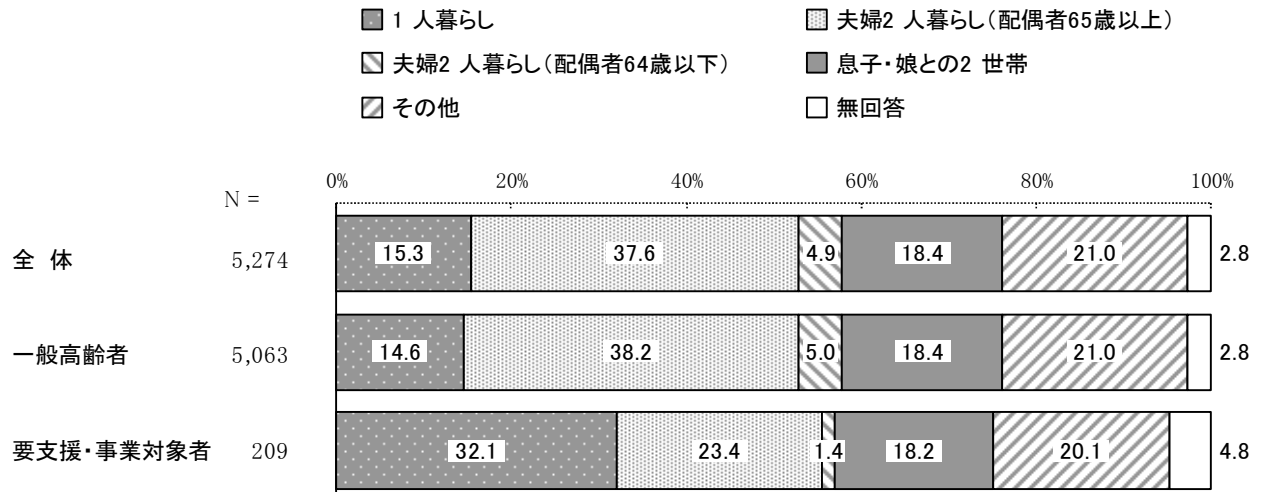
## II 調査結果

### 1 あなたのご家族や生活状況について

#### 問1 家族構成をお教えてください（1つを選択）

「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が37.6%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が18.4%、「1人暮らし」の割合が15.3%となっています。

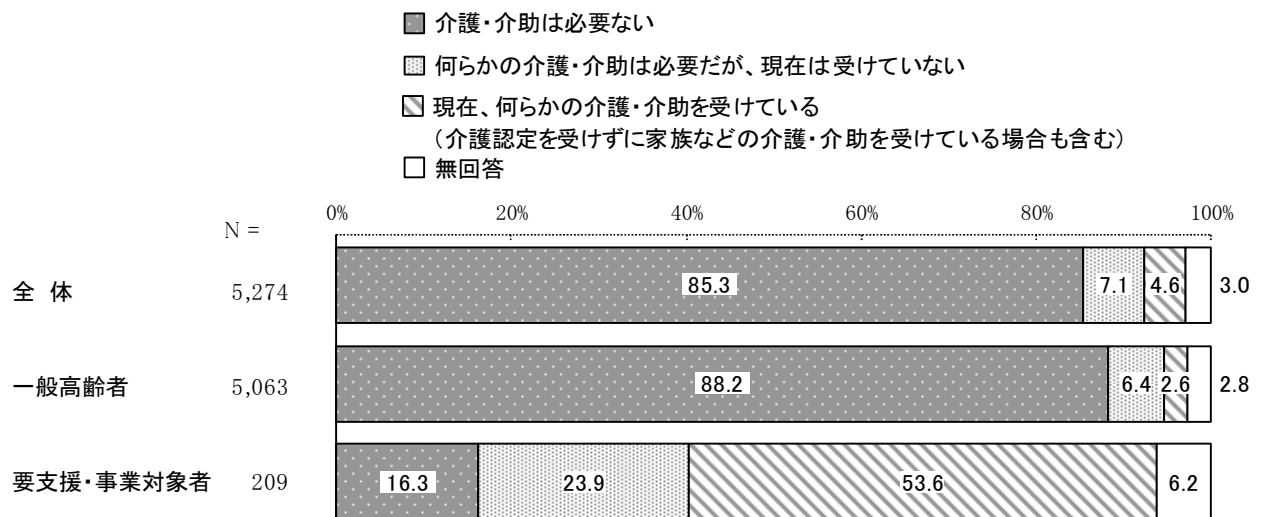
一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「1人暮らし」の割合が高くなっています。また、要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が高くなっています。



#### 問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つを選択）

「介護・介助は必要ない」の割合が85.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が7.1%、「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）」の割合が4.6%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。

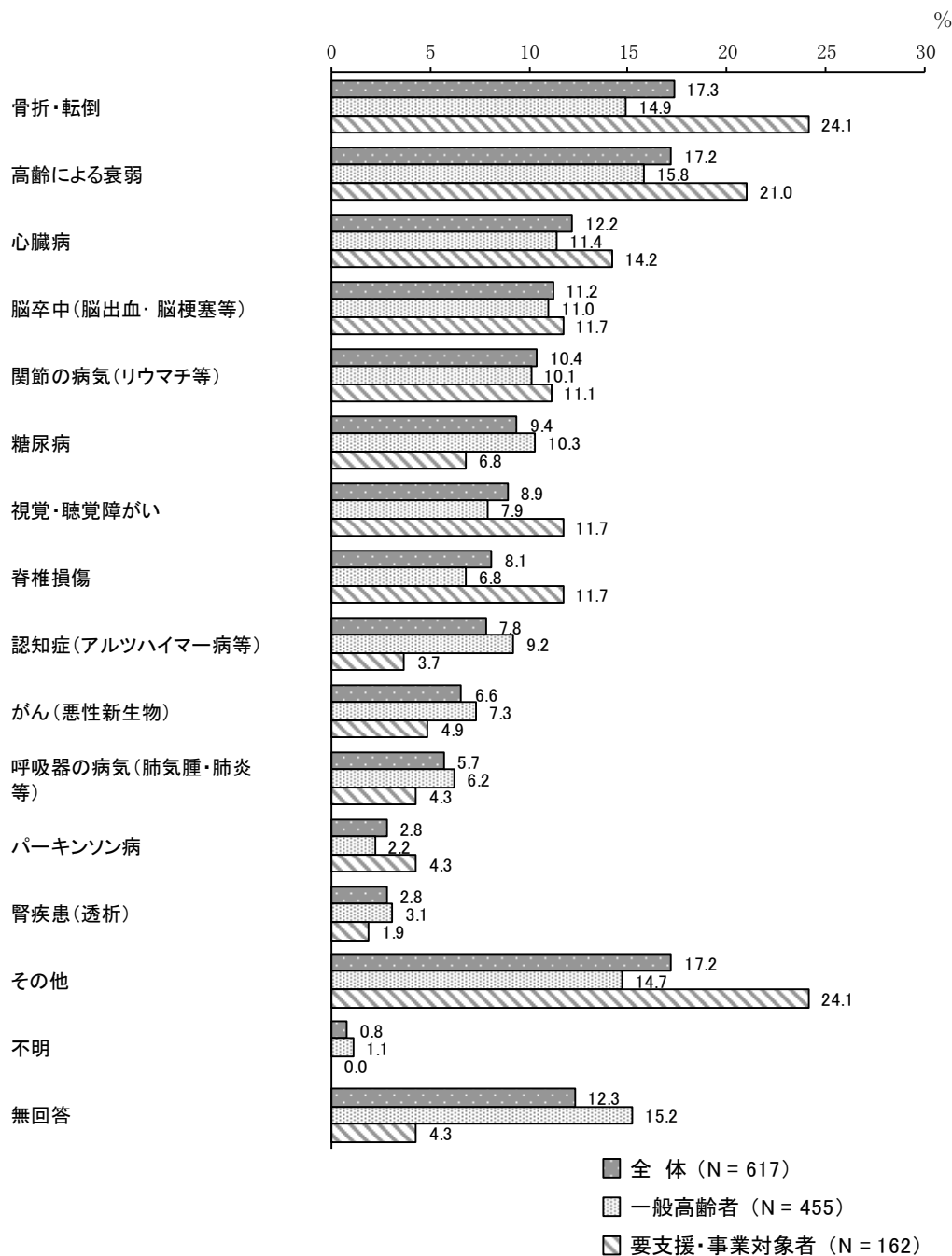


問2で「2」「3」と回答した方にお伺いします。

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（複数選択可）

「骨折・転倒」の割合が17.3%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」の割合が17.2%、「心臓病」の割合が12.2%となっています。

一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。



## II 調査結果

### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、80歳以上で「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。

単位：%

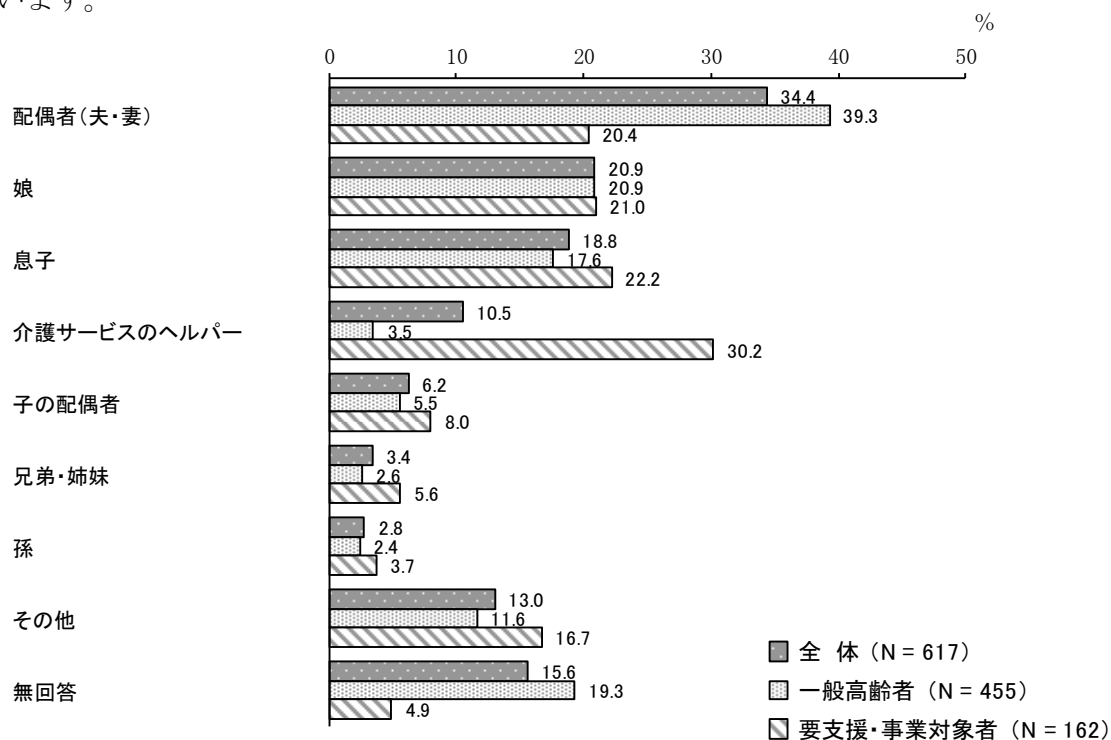
区分	有効回答数 (件)	(脳卒中・ 脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	(呼吸器の病 気腫・肺炎等)	(関節の病 気マチ等)	(認知症 アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
65～69歳	82	17.1	14.6	6.1	3.7	9.8	6.1	4.9	11.0
70～74歳	90	16.7	10.0	11.1	7.8	8.9	7.8	5.6	14.4
75～79歳	122	14.8	8.2	9.8	6.6	9.8	7.4	4.1	10.7
80～84歳	157	8.3	13.4	5.1	3.8	9.6	8.3	1.3	9.6
85歳以上	166	5.4	13.9	3.6	6.6	12.7	8.4	0.6	4.8

区分	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障 がい	骨折・転 倒	脊椎損 傷	高齢に よる衰 弱	その他	不明	無回 答
65～69歳	6.1	4.9	13.4	4.9	6.1	26.8	1.2	11.0
70～74歳	5.6	5.6	12.2	5.6	4.4	17.8	2.2	7.8
75～79歳	3.3	8.2	12.3	9.8	13.1	17.2	—	16.4
80～84歳	0.6	9.6	22.9	9.6	19.1	16.6	0.6	15.3
85歳以上	1.2	12.7	20.5	8.4	30.7	12.7	0.6	9.6

**問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか（複数選択可）**

「配偶者（夫・妻）」の割合が34.4%と最も高く、次いで「娘」の割合が20.9%、「息子」の割合が18.8%となっています。

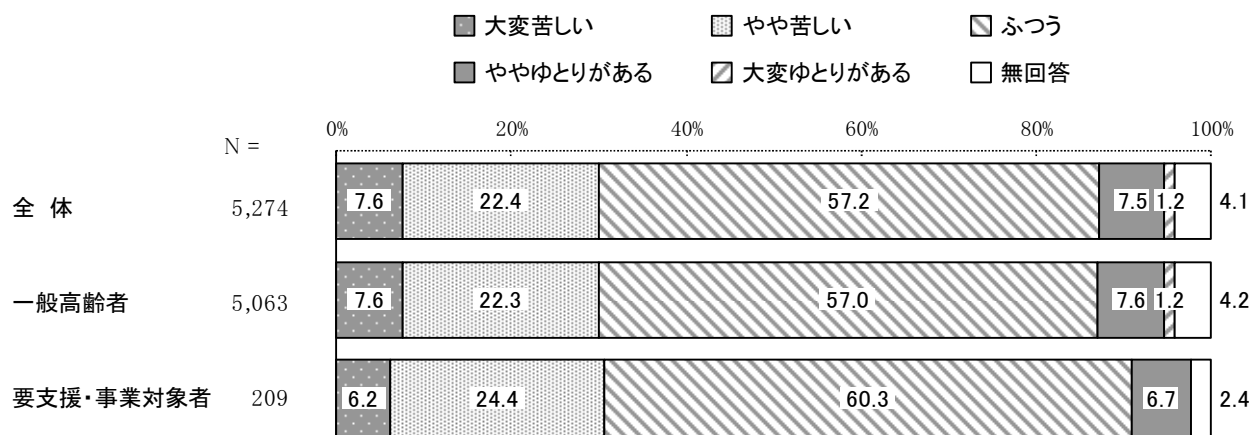
要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「配偶者（夫・妻）」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。



**問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つを選択）**

「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が30.0%、「ふつう」の割合が57.2%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が8.7%となっています。

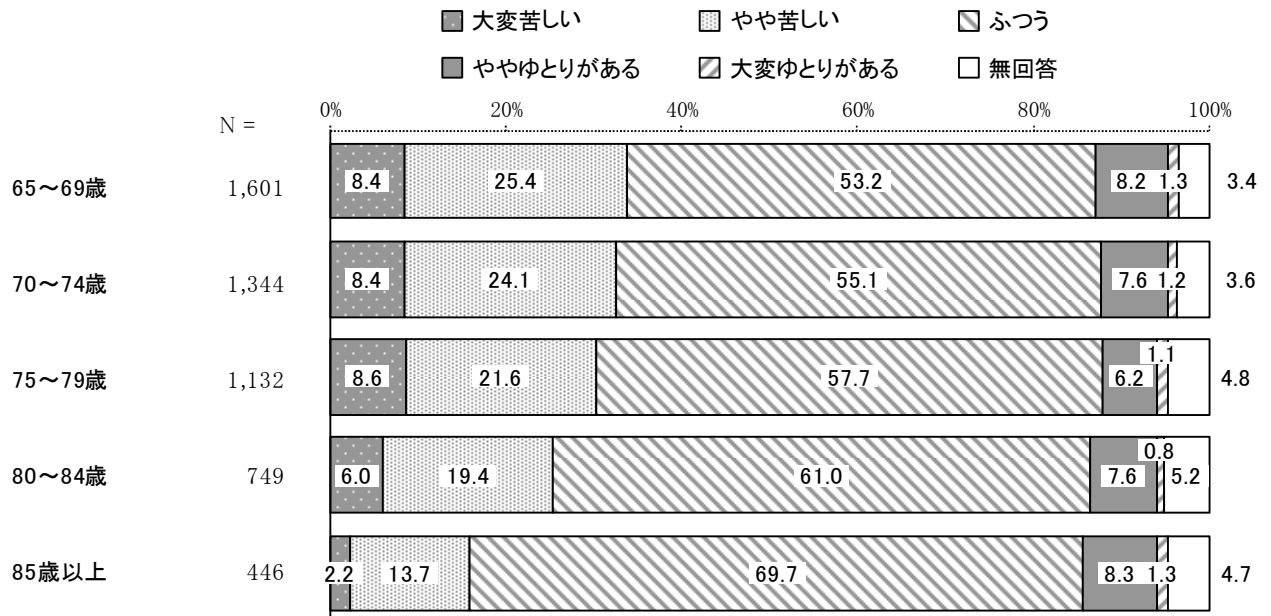
一般高齢者と要支援・事業対象者で大きな差異はありません。



## II 調査結果

### 【年齢階級別】

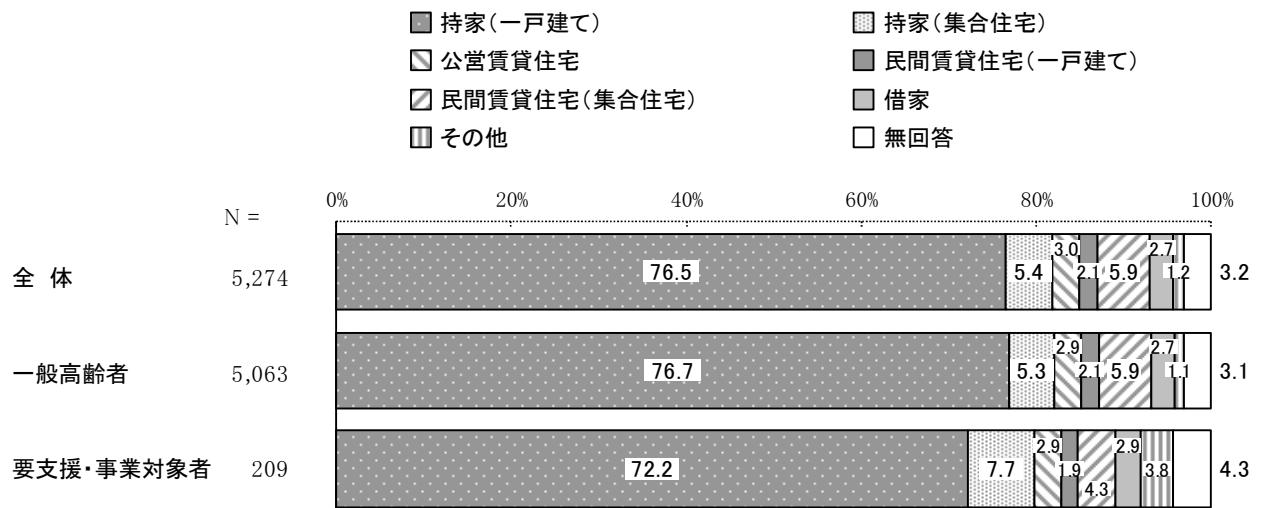
年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれて、“苦しい”の割合が低くなっています。



### 問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つを選択）

「持家（一戸建て）」の割合が76.5%と最も高くなっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「持ち家（一戸建て）」の割合が高くなっています。

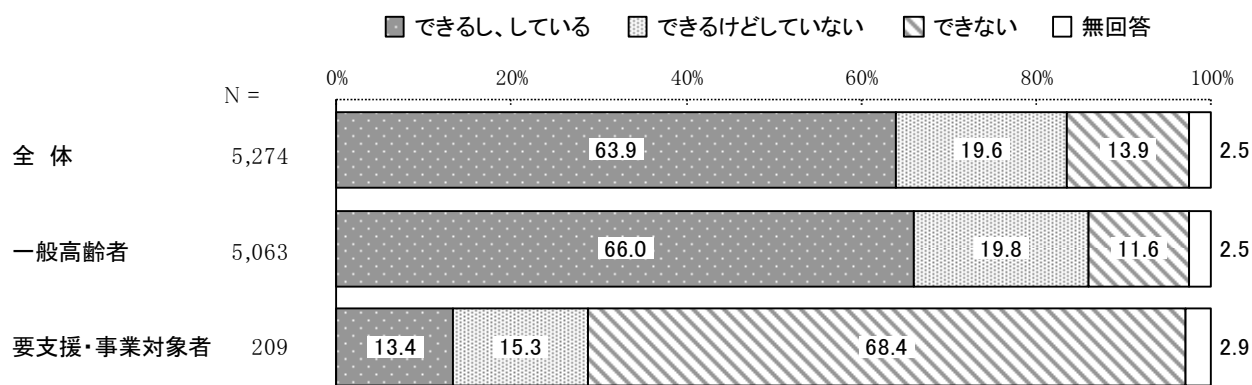


## 2 からだを動かすことについて

### 問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つを選択）

「できるし、している」の割合が63.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が19.6%、「できない」の割合が13.9%となっています。

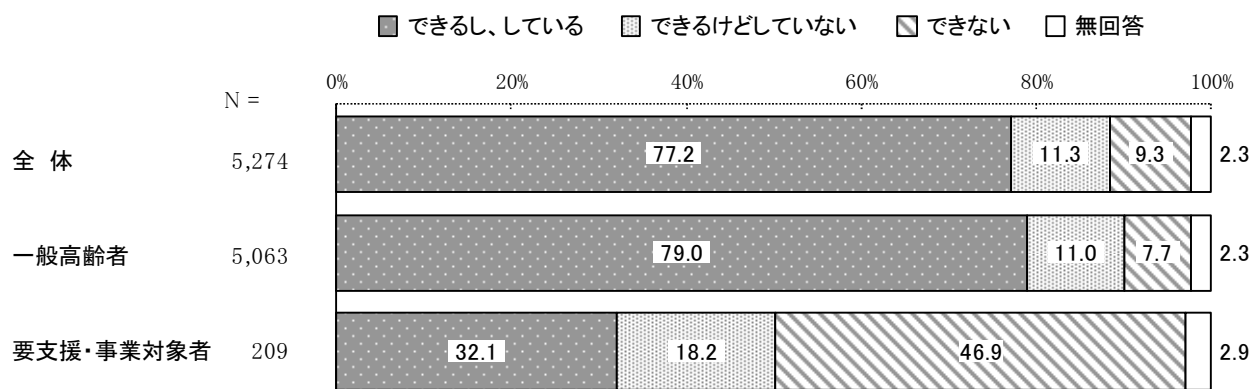
「できない」の割合は、一般高齢者で11.6%、要支援・事業対象者で68.4%となっており、56.8ポイントの差となっています。



### 問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つを選択）

「できるし、している」の割合が77.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.3%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で7.7%、要支援・事業対象者で46.9%となっており、39.2ポイントの差となっています。



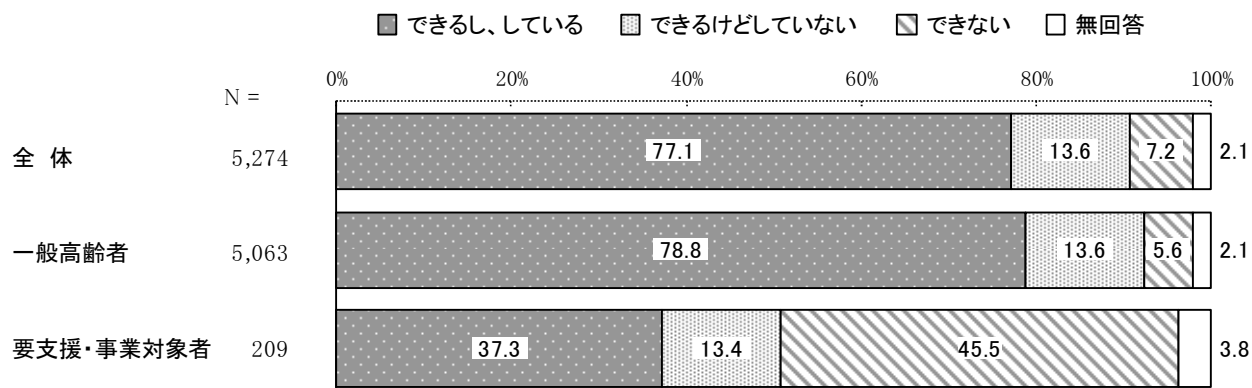


## II 調査結果

### 問7 15分位続けて歩いていますか（1つを選択）

「できるし、している」の割合が77.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.6%となっています。

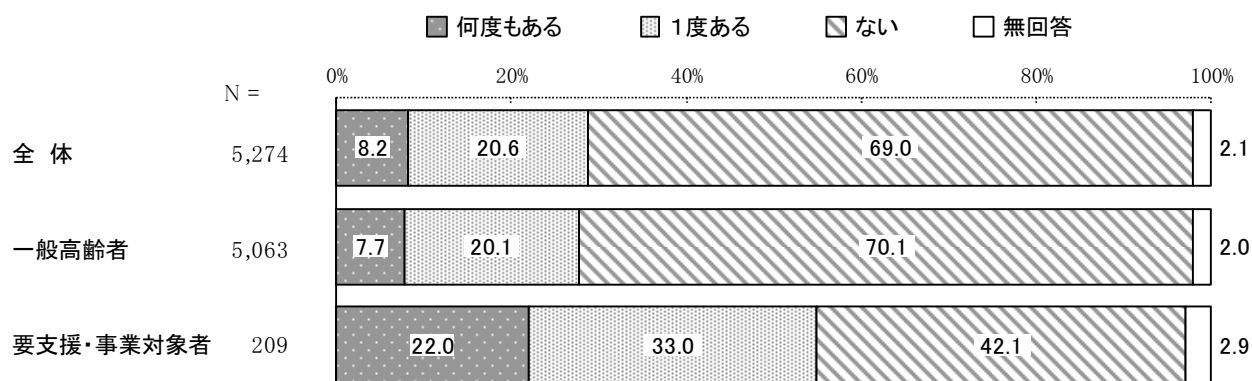
「できない」の割合は、一般高齢者で5.6%、要支援・事業対象者で45.5%となっており、39.9ポイントの差となっています。



### 問8 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つを選択）

「何度もある」と「1度ある」を合わせた“過去1年間に転んだ経験がある人”の割合が28.8%、「ない」の割合が69.0%となっています。

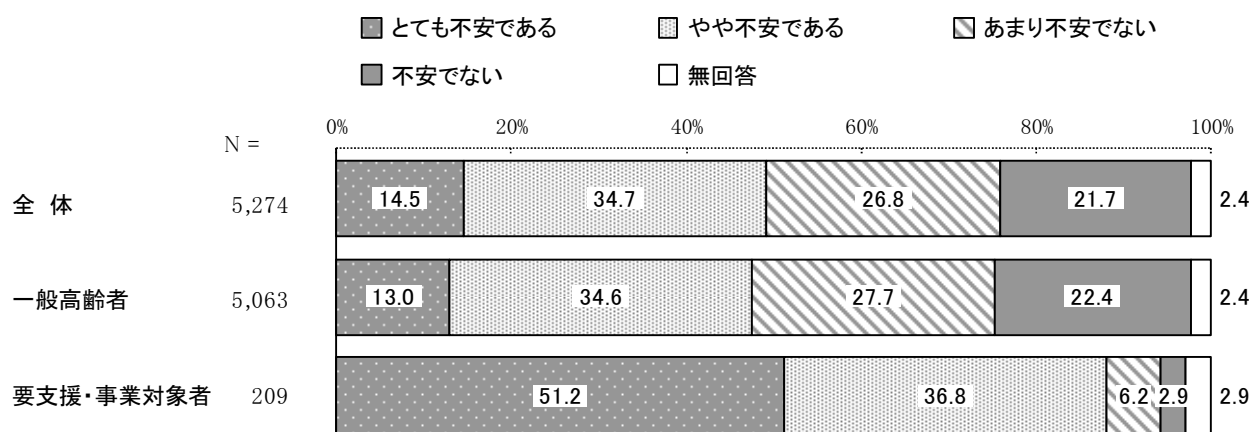
“過去1年間に転んだ経験がある人”の割合は、一般高齢者で27.8%、要支援・事業対象者で55.0%となっており、27.2ポイントの差となっています。



**問9 転倒に対する不安は大きいですか（1つを選択）**

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた“転倒に対して不安な人”の割合が49.2%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた“転倒に対して不安でない人”の割合が48.5%となっています。

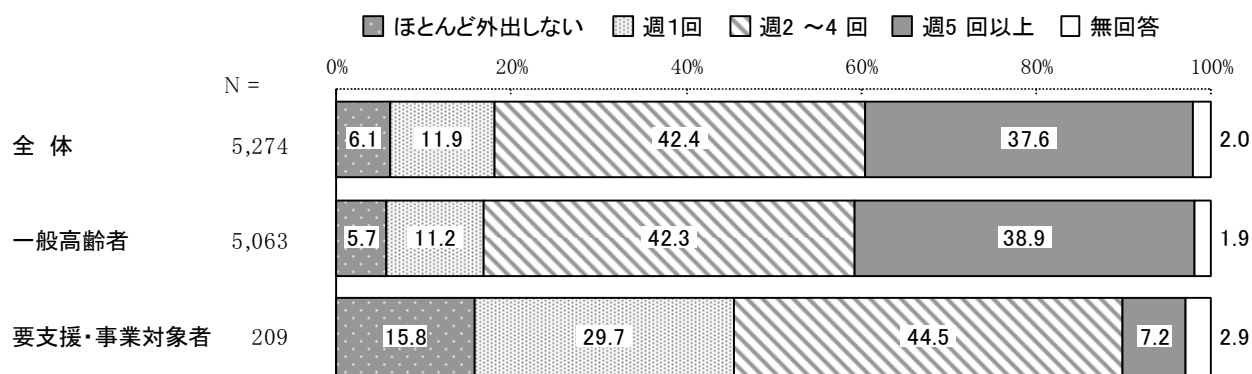
“転倒に対して不安な人”の割合は、一般高齢者で47.6%、要支援・事業対象者で88.0%となっており、40.4ポイントの差となっています。



**問10 週に1回以上は外出していますか（1つを選択）**

「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた“閉じこもり傾向のある人”の割合が18.0%、「週2~4回」の割合が42.4%、「週5回以上」の割合が37.6%となっています。

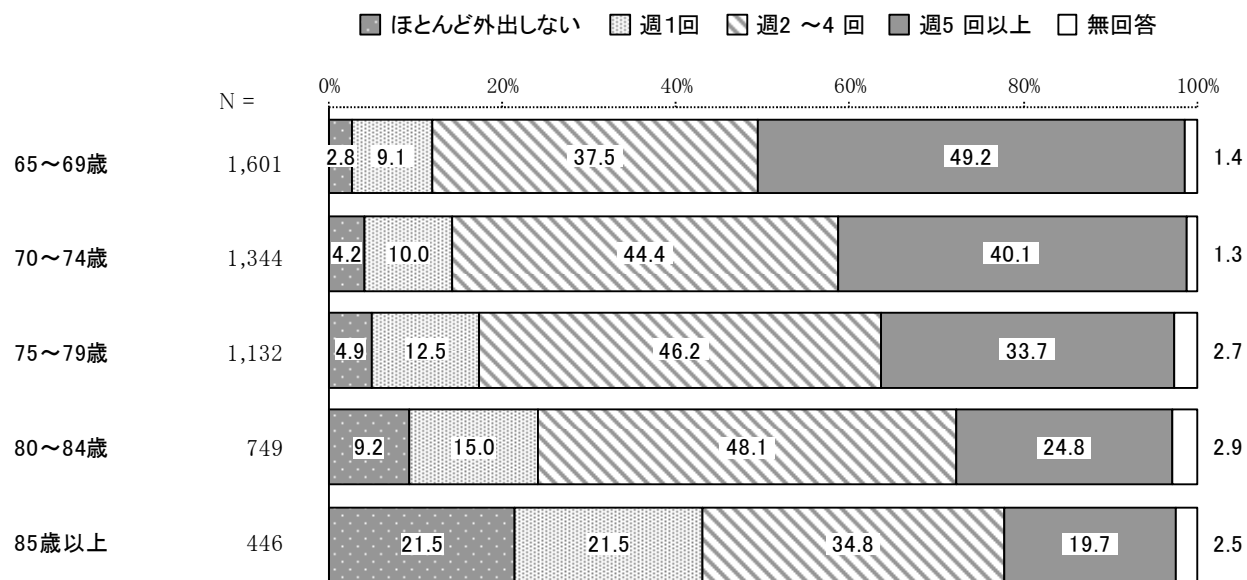
“閉じこもり傾向のある人”の割合は、一般高齢者で16.9%、要支援・事業対象者で45.5%となっており、28.6ポイントの差となっています。



## II 調査結果

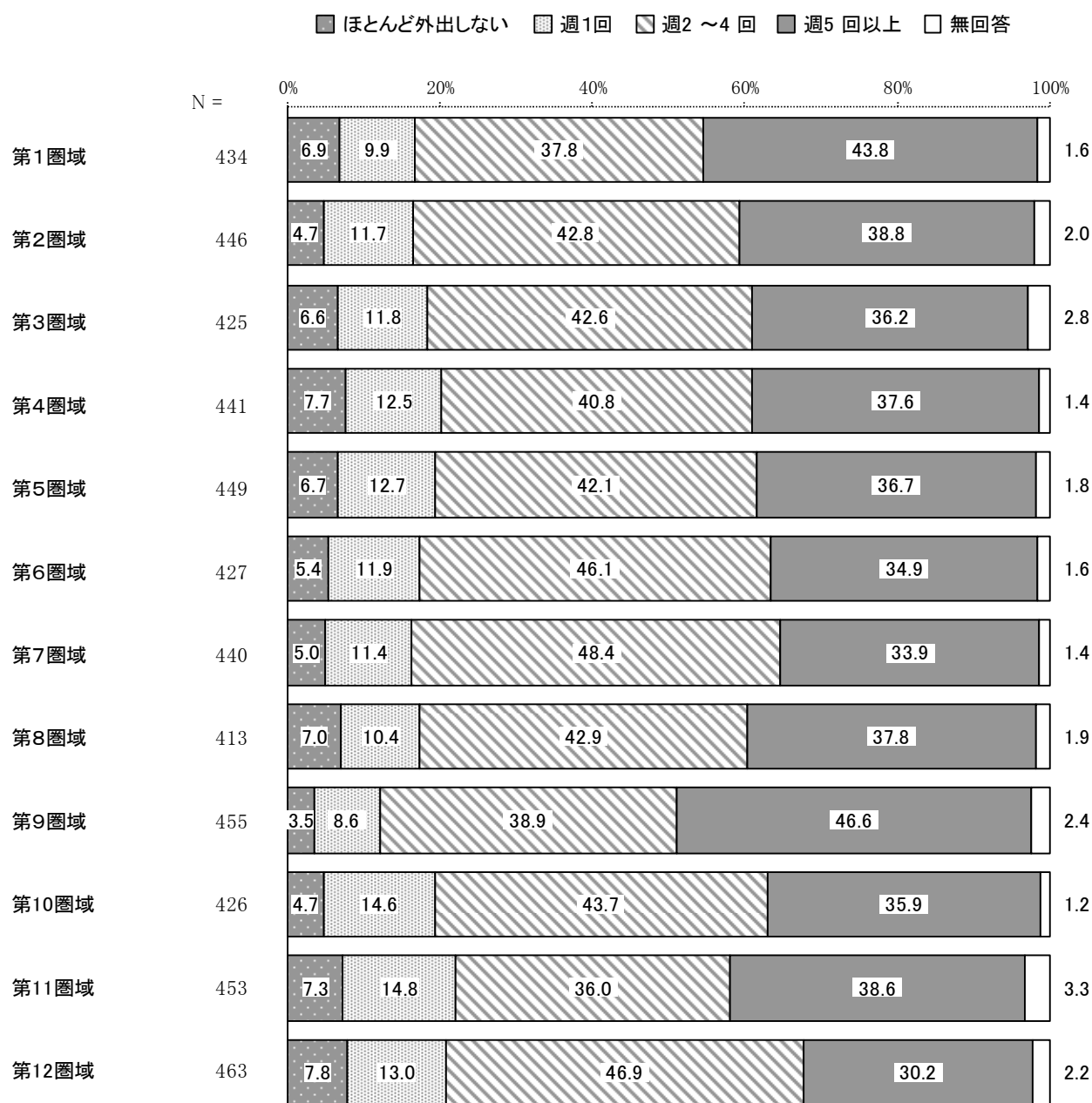
### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第1圏域、第9圏域で「週5回以上」の割合が高くなっています。

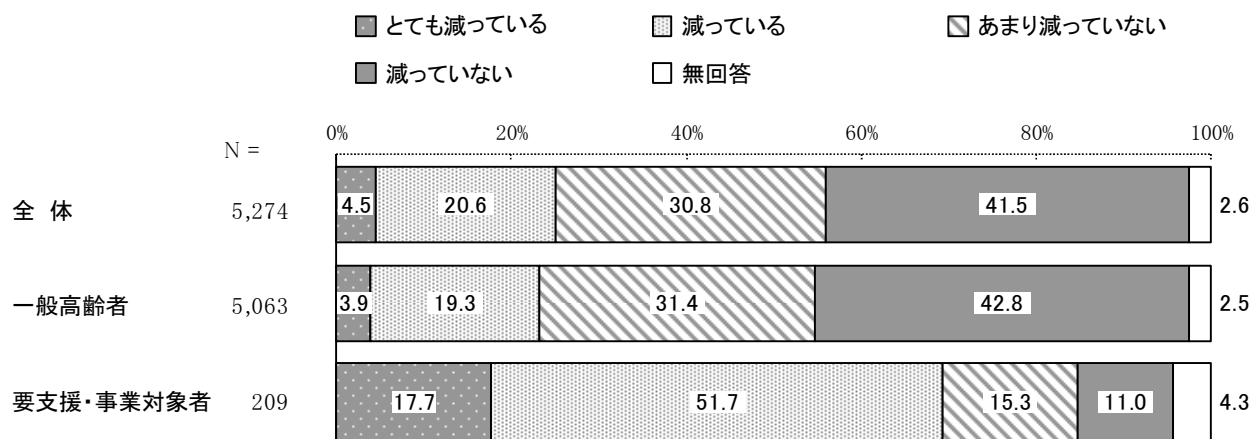


## II 調査結果

### 問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つを選択）

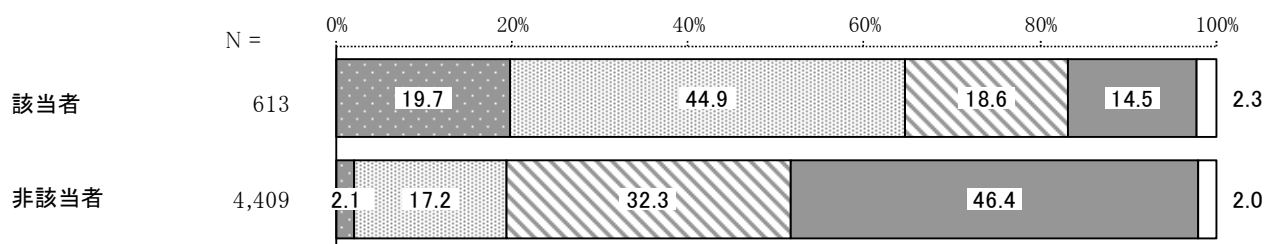
「とても減っている」と「減っている」を合わせた“外出の回数が減っている人”の割合が 25.1%、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた“外出の回数が減っていない人”の割合が 72.3%となっています。

“外出の回数が減っている人”の割合は、一般高齢者で 23.2%、要支援・事業対象者で 69.4%となっており、46.2 ポイントの差となっています。



#### 【運動器リスク該当状況別】

運動器リスク該当状況別でみると、“外出の回数が減っている人”の割合は、非該当者に比べ、該当者の割合が高くなっています。

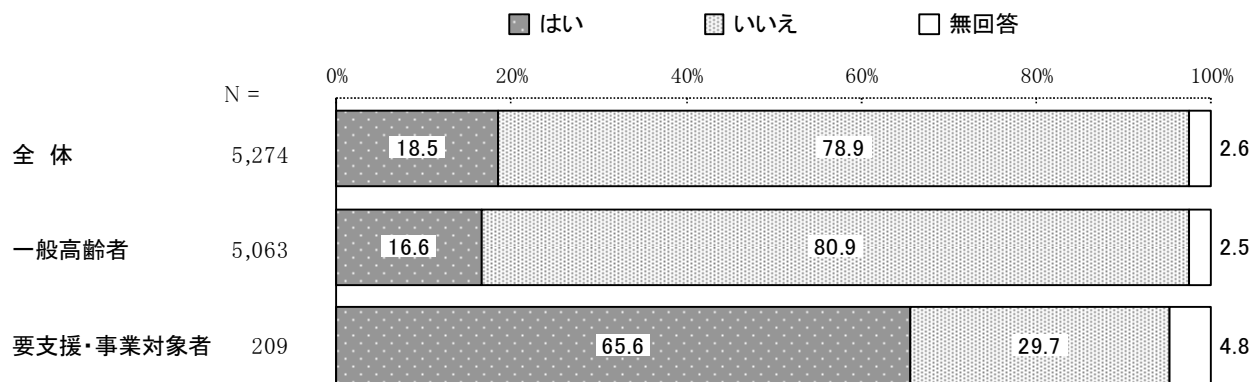


※「運動器リスク該当者」とは、80 ページに掲載している「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。」「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。」「15 分位続けて歩いていますか。」「過去 1 年間に転んだ経験がありますか。」「転倒に対する不安は大きいですか。」で、5 項目のうち 3 項目以上に該当する人を言います。

問12 外出を控えていますか（1つを選択）

「はい」の割合が18.5%、「いいえ」の割合が78.9%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で16.6%、要支援・事業対象者で65.6%となっており、49.0ポイントの差となっています。

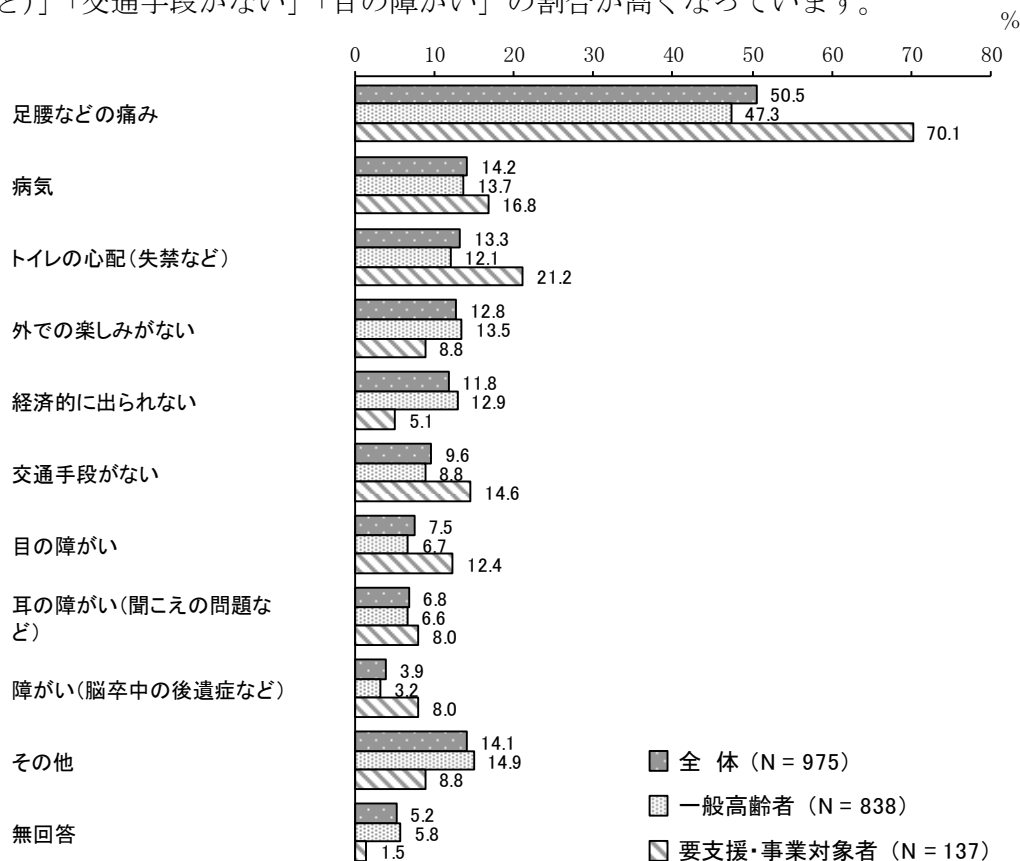


問12で「1」と回答した方にお伺いします。

問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（複数選択可）

「足腰などの痛み」の割合が50.5%と最も高く、次いで「病気」の割合が14.2%、「トイレの心配（失禁など）」の割合が13.3%となっています。

要支援・事業対象者と比べ、一般高齢者では「経済的に出られない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者と比べ、要支援・事業対象者では「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など）」「交通手段がない」「目の障がい」の割合が高くなっています。

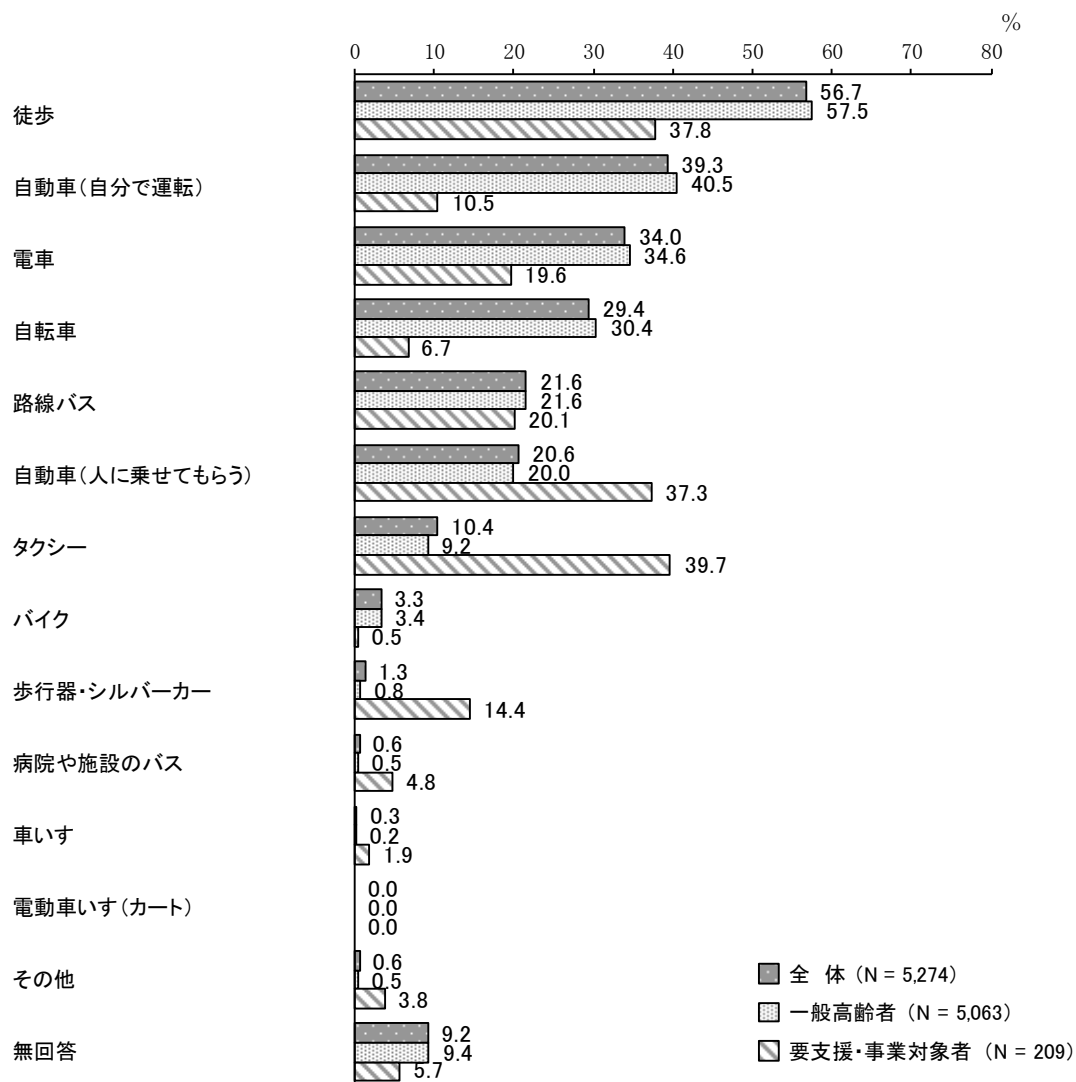


## II 調査結果

### 問13 外出する際の移動手段は何ですか（複数選択可）

「徒歩」の割合が56.7%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」の割合が39.3%、「電車」の割合が34.0%となっています。

要支援・事業対象者と比べ、一般高齢者では「徒歩」「自動車（自分で運転）」「電車」「自転車」の割合が高くなっています。また、一般高齢者と比べ、要支援・事業対象者では「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」「歩行器・シルバーカー」の割合が高くなっています。



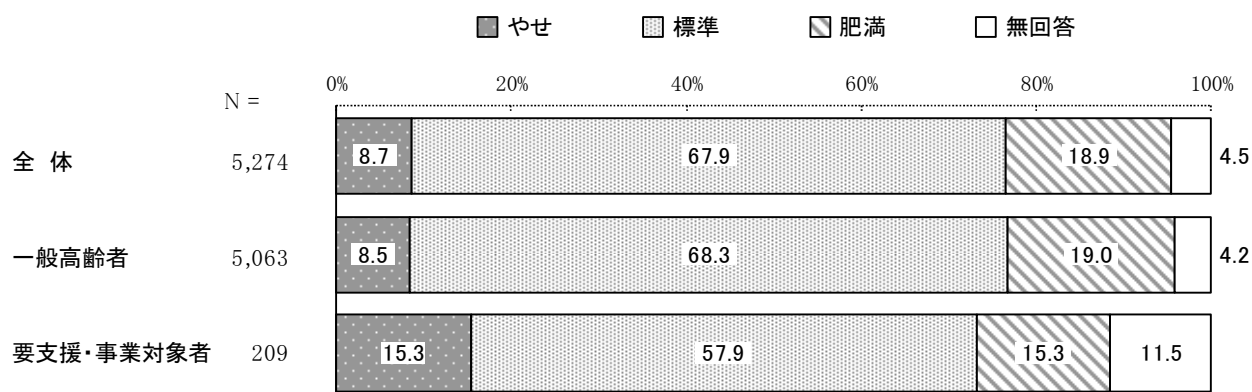
### 3 食べることについて

#### 問 14 身長・体重をご記入ください

<p><b>【BMI（体格指数）】</b></p> <p>BMIとは、体重と身長の関係から算出される肥満度を示す体格指数です。</p> <p><math>BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}</math></p>	<p><b>【BMIに基づく肥満度の判定基準】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">BMI</th> <th style="text-align: center;">判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">18.5未満</td> <td style="text-align: center;">やせ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">18.5以上～25未満</td> <td style="text-align: center;">標準</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25以上</td> <td style="text-align: center;">肥満</td> </tr> </tbody> </table>	BMI	判定	18.5未満	やせ	18.5以上～25未満	標準	25以上	肥満
BMI	判定								
18.5未満	やせ								
18.5以上～25未満	標準								
25以上	肥満								

「標準」の割合が67.9%と最も高く、次いで「肥満」の割合が18.9%となっています。

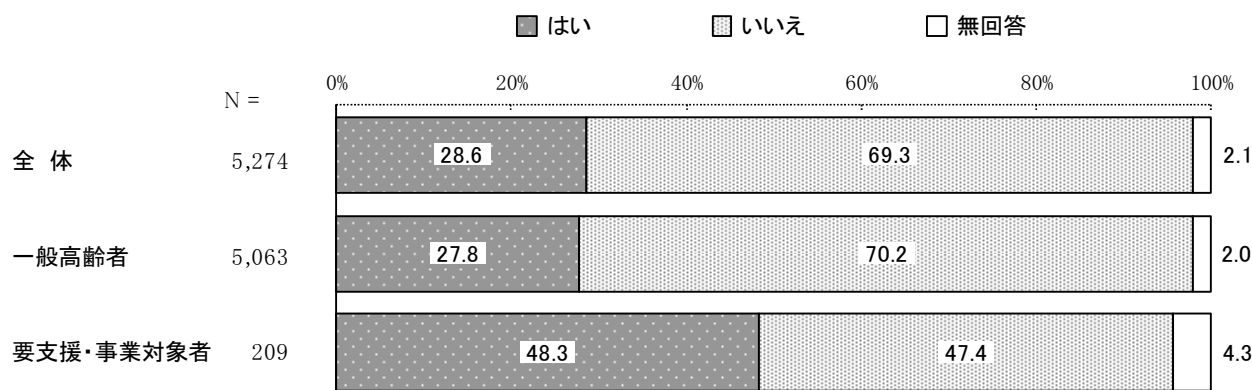
「やせ」の割合は、一般高齢者で8.5%、要支援・事業対象者で15.3%、「標準」の割合は、一般高齢者で68.3%、要支援・事業対象者で57.9%、「肥満」の割合は、一般高齢者で19.0%、要支援・事業対象者で15.3%となっています。



#### 問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つを選択）

「はい」の割合が28.6%、「いいえ」の割合が69.3%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で27.8%、要支援・事業対象者で48.3%となっており、20.5ポイントの差となっています。



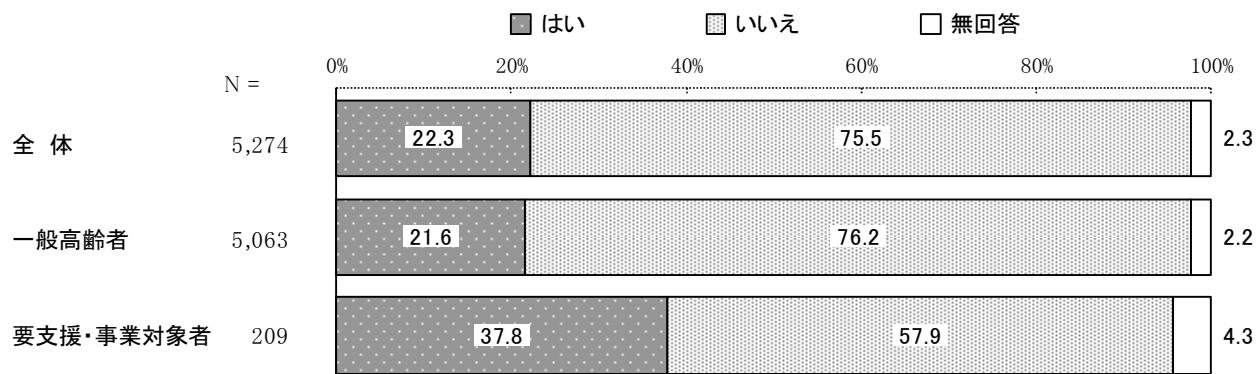


## II 調査結果

### 問 16 お茶や汁物等でむせることがありますか（1つを選択）

「はい」の割合が22.3%、「いいえ」の割合が75.5%となっています。

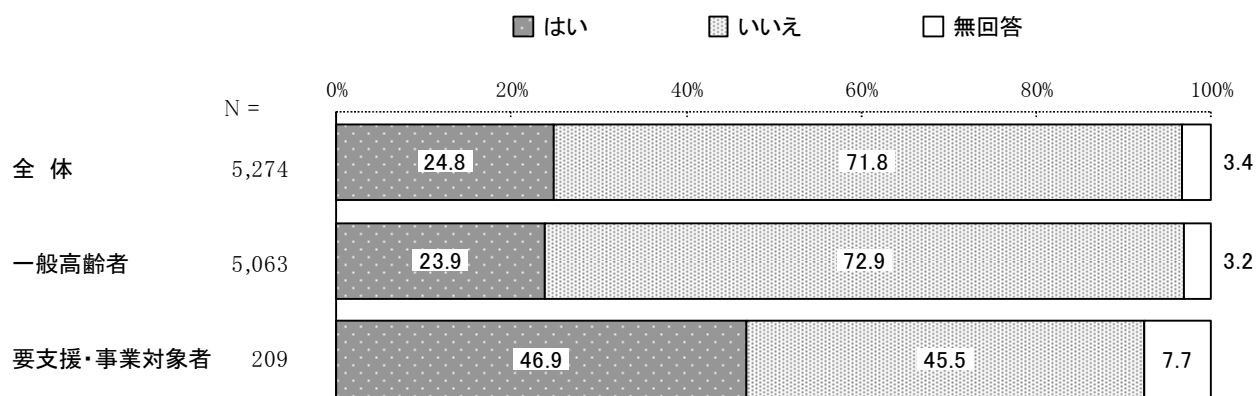
「はい」の割合は、一般高齢者で21.6%、要支援・事業対象者で37.8%となっており、16.2ポイントの差となっています。



### 問 17 口の渇きが気になりますか（1つを選択）

「はい」の割合が24.8%、「いいえ」の割合が71.8%となっています。

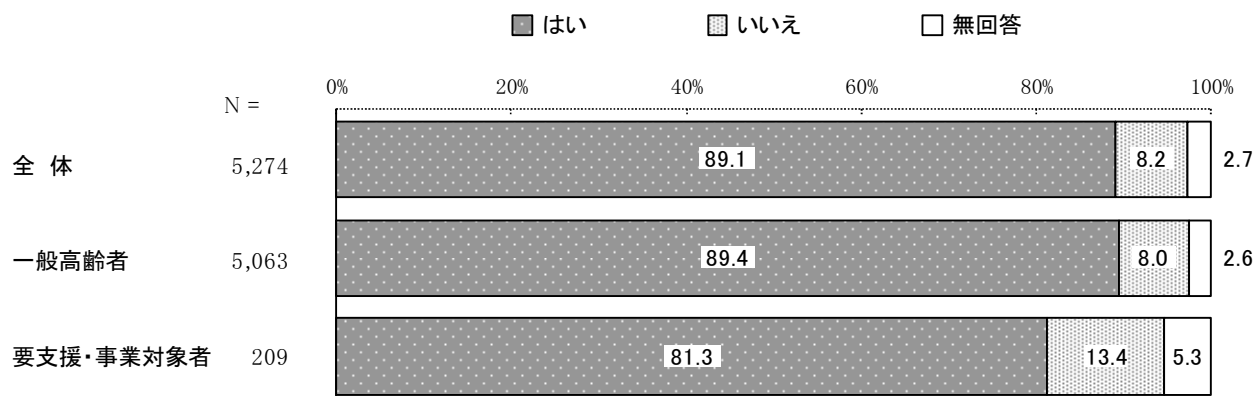
「はい」の割合は、一般高齢者で23.9%、要支援・事業対象者で46.9%となっており、23.0ポイントの差となっています。



**問 18 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つを選択）**

「はい」の割合が89.1%、「いいえ」の割合が8.2%となっています。

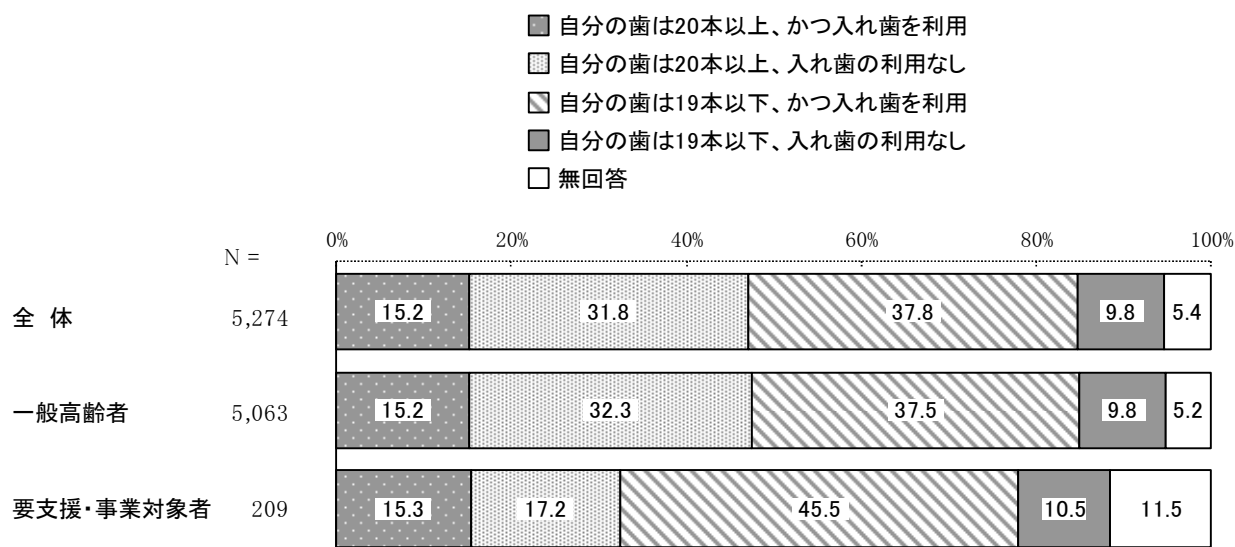
「いいえ」の割合は、一般高齢者で8.0%、要支援・事業対象者で13.4%となっており、5.4ポイントの差となっています。



**問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）（1つを選択）**

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が37.8%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が31.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が15.2%となっています。

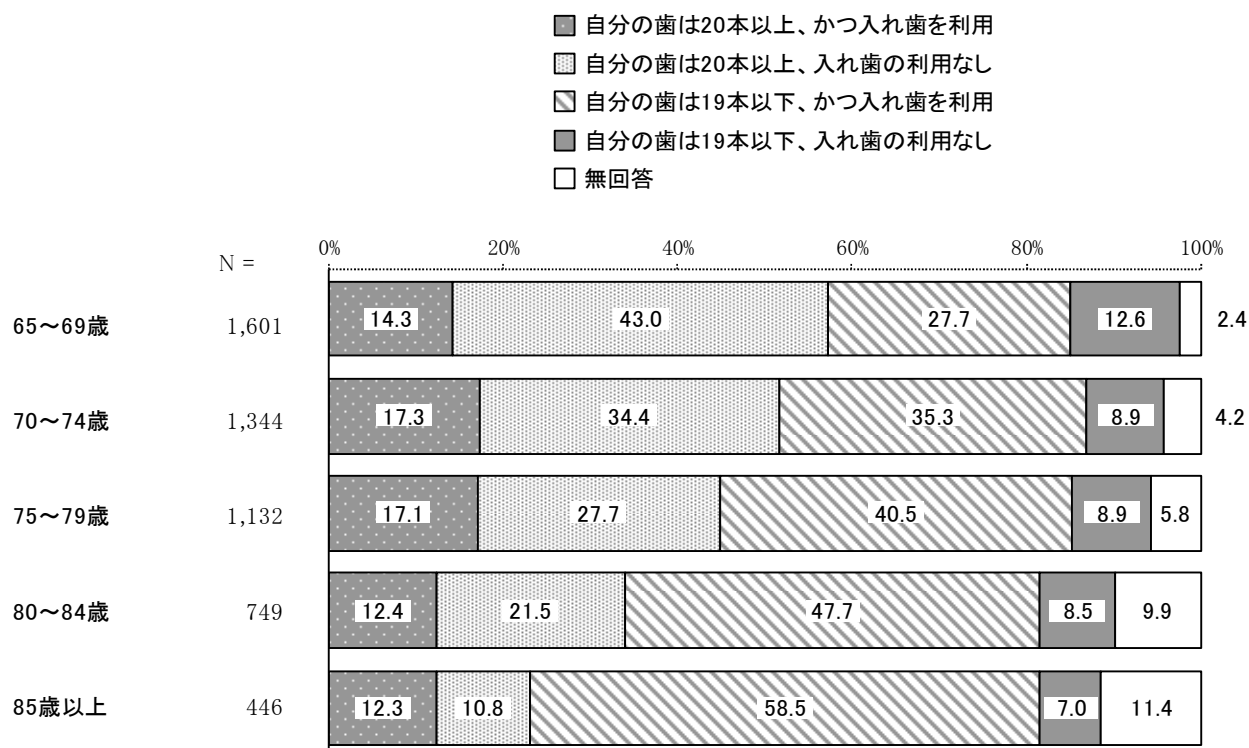
「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた“自分の歯は20本以上の人”の割合は、一般高齢者で47.5%、要支援・事業対象者で32.5%となっており、15.0ポイントの差となっています。また、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた“入れ歯を利用している人”の割合は、一般高齢者で52.7%、要支援・事業対象者で60.8%となっており、8.1ポイントの差となっています。



## II 調査結果

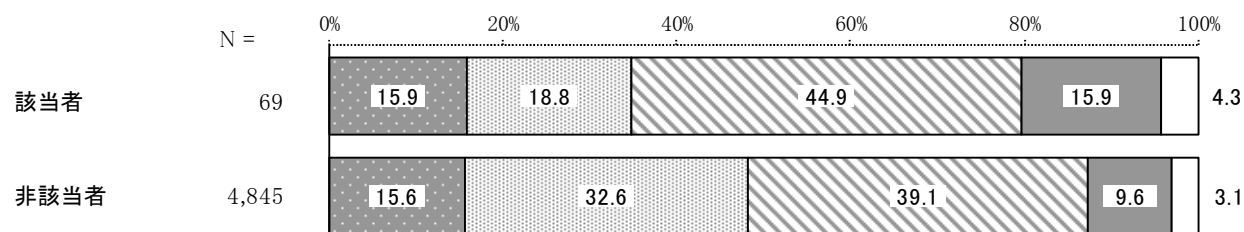
### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、“自分の歯は20本以上の人”の割合が低くなっています。



### 【低栄養状態別】

低栄養状態別で見ると、低栄養状態リスクの該当者に比べ、非該当者で“自分の歯は20本以上の人”の割合が高くなっています。

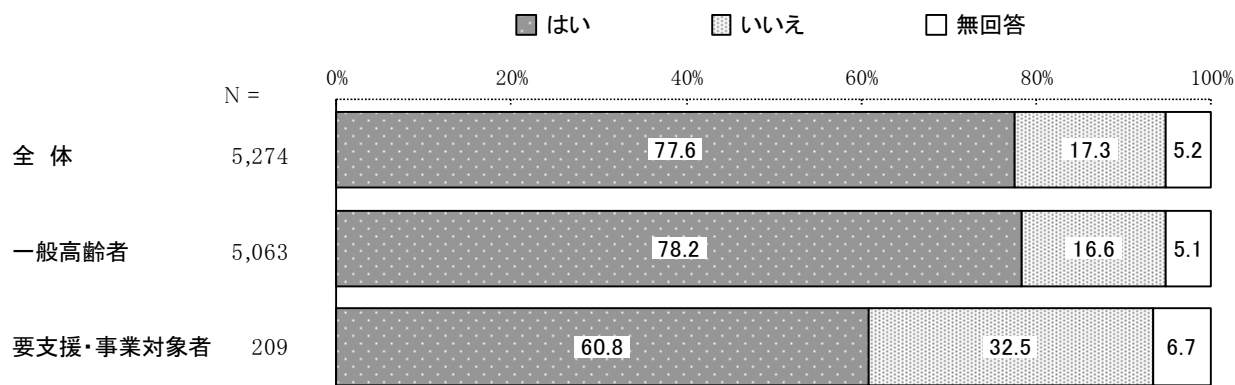


※「低栄養状態リスクの該当者」とは、86 ページに掲載しているBMI 18.5 未満及び6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人を言います。

問 19-1 噛み合わせは良いですか（1つを選択）

「はい」の割合が77.6%、「いいえ」の割合が17.3%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で16.6%、要支援・事業対象者で32.5%となっており、15.9ポイントの差となっています。

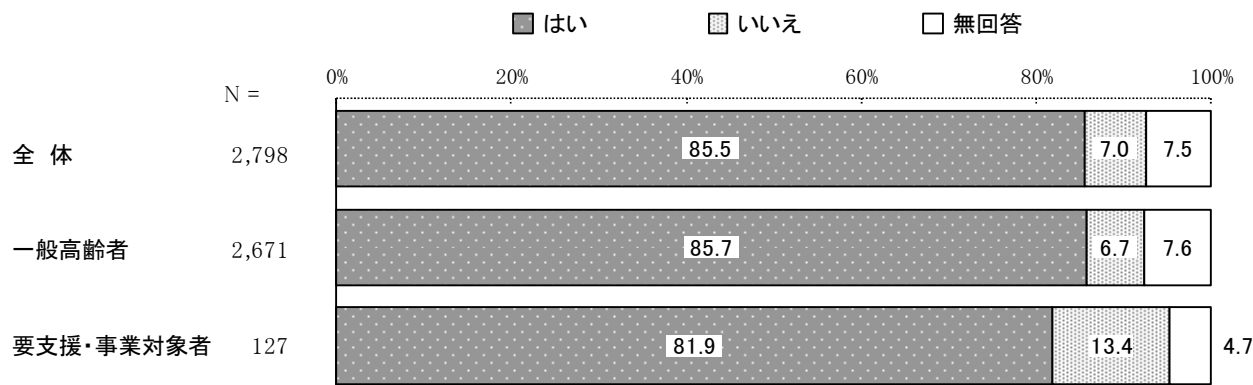


問 19 で「1」「3」と回答した方にお伺いします。

問 19-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つを選択）

「はい」の割合が85.5%、「いいえ」の割合が7.0%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で6.7%、要支援・事業対象者で13.4%となっており、6.7ポイントの差となっています。

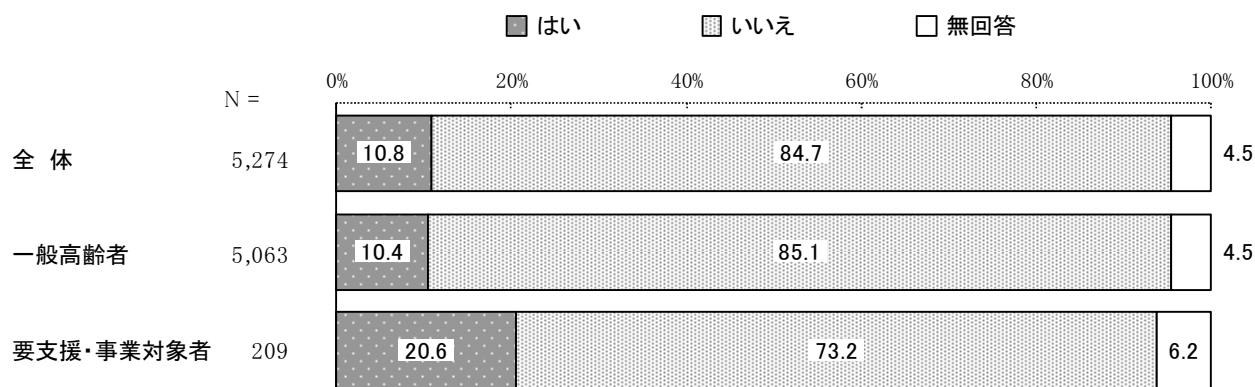


## II 調査結果

### 問 20 6 か月間で 2～3 kg 以上の体重減少がありましたか（1つを選択）

「はい」の割合が 10.8%、「いいえ」の割合が 84.7%となっています。

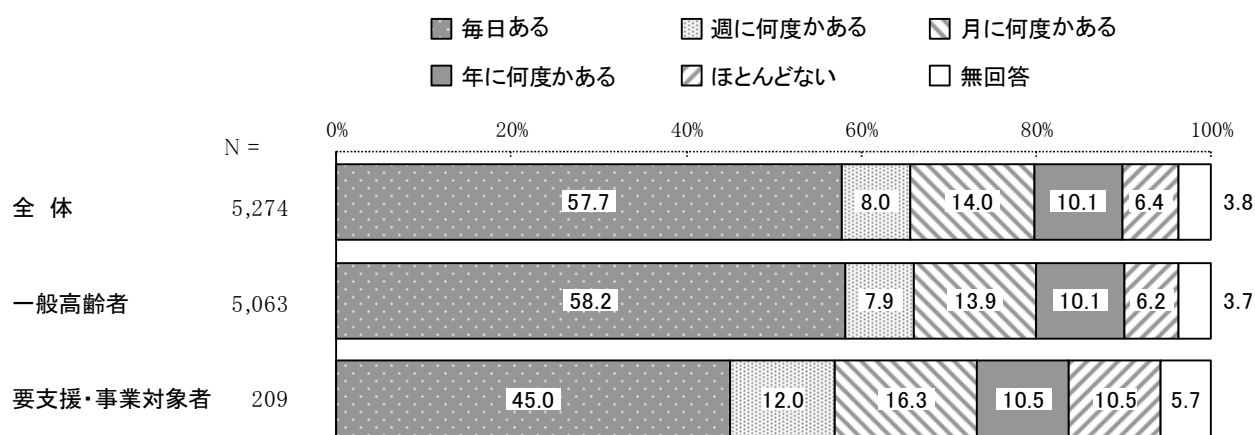
「はい」の割合は、一般高齢者で 10.4%、要支援・事業対象者で 20.6%となっており、10.2ポイントの差となっています。



### 問 21 どなたかと食事をとる機会がありますか（1つを選択）

「毎日ある」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 14.0%、「年に何度かある」の割合が 10.1%となっています。

「毎日ある」の割合は、一般高齢者で 58.2%、要支援・事業対象者で 45.0%となっており、13.2ポイントの差となっています。また、「ほとんどない」の割合は、一般高齢者で 6.2%、要支援・事業対象者で 10.5%となっており、4.3ポイントの差となっています。

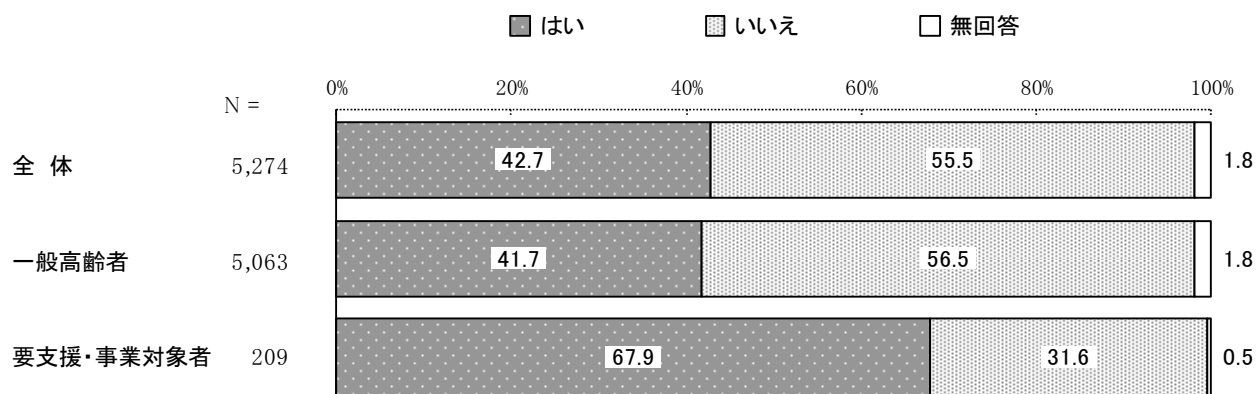


## 4 毎日の生活について

## 問 22 物忘れが多いと感じますか（1つを選択）

「はい」の割合が42.7%、「いいえ」の割合が55.5%となっています。

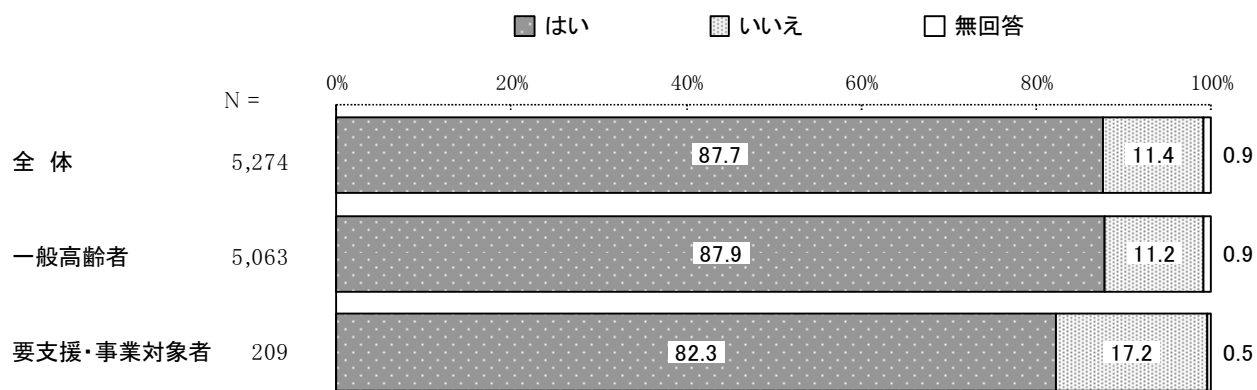
「はい」の割合は、一般高齢者で41.7%、要支援・事業対象者で67.9%となっており、26.2ポイントの差となっています。



## 問 23 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つを選択）

「はい」の割合が87.7%、「いいえ」の割合が11.4%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で11.2%、要支援・事業対象者で17.2%となっており、6.0ポイントの差となっています。

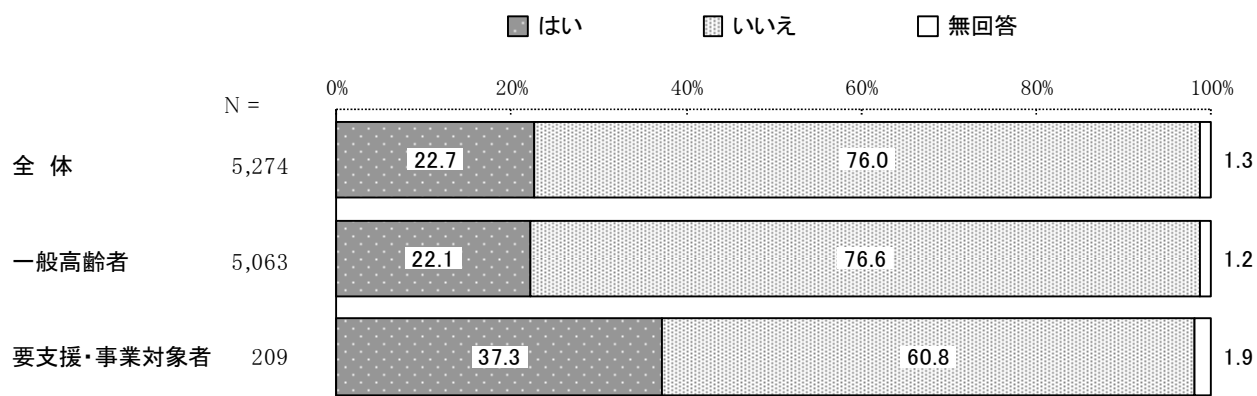


## II 調査結果

### 問 24 今日が何月何日かわからない時がありますか（1つを選択）

「はい」の割合が22.7%、「いいえ」の割合が76.0%となっています。

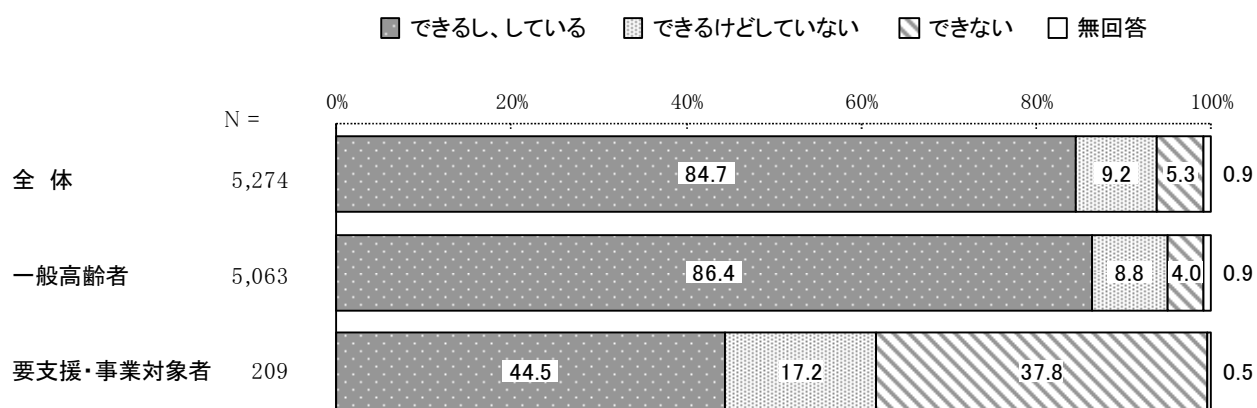
「はい」の割合は、一般高齢者で22.1%、要支援・事業対象者で37.3%となっており、15.2ポイントの差となっています。



### 問 25 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つを選択）

「できるし、している」の割合が84.7%、「できるけどしていない」の割合が9.2%、「できない」の割合が5.3%となっています。

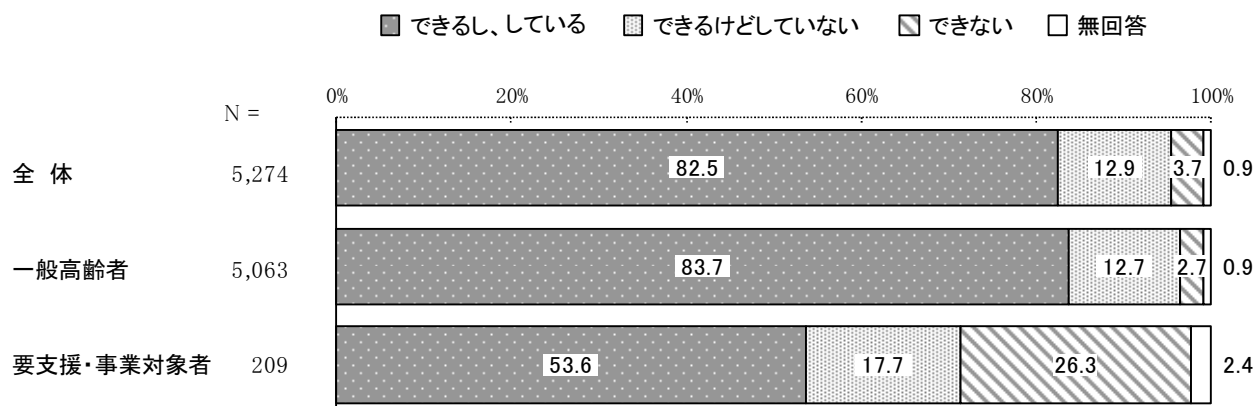
「できない」の割合は、一般高齢者で4.0%、要支援・事業対象者で37.8%となっており、33.8ポイントの差となっています。



問 26 自分で食品・日用品の買物をしていますか（1つを選択）

「できるし、している」の割合が 82.5%、「できるけどしていない」の割合が 12.9%、「できない」の割合が 3.7%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 2.7%、要支援・事業対象者で 26.3%となっており、23.6ポイントの差となっています。



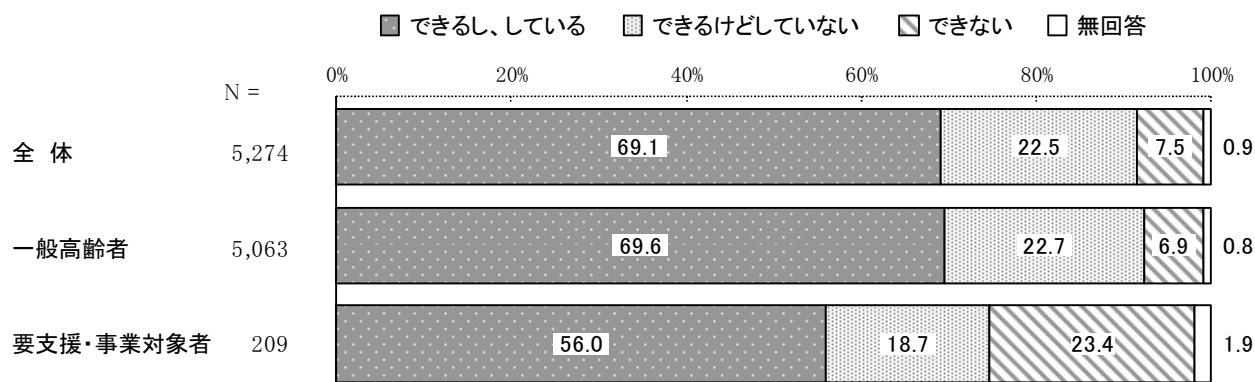


## II 調査結果

### 問 27 自分で食事の用意をしていますか（1つを選択）

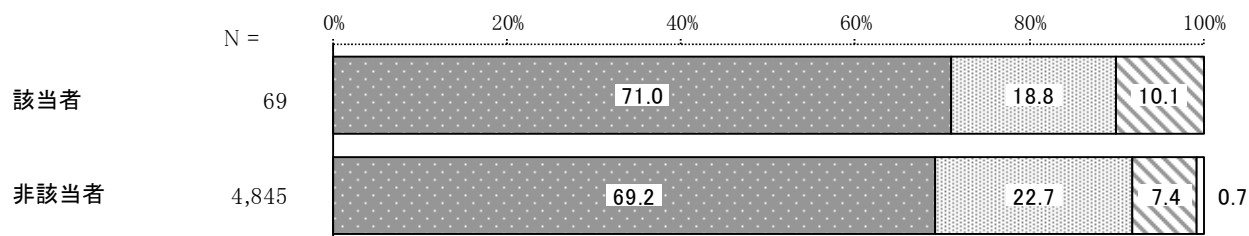
「できるし、している」の割合が 69.1%、「できるけどしていない」の割合が 22.5%、「できない」の割合が 7.5%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 6.9%、要支援・事業対象者で 23.4%となっており、16.5ポイントの差となっています。



#### 【低栄養状態別】

低栄養状態別でみると、「できるし、している」の割合は、低栄養状態リスクの非該当者に比べ、該当者でわずかに割合が高くなっています。

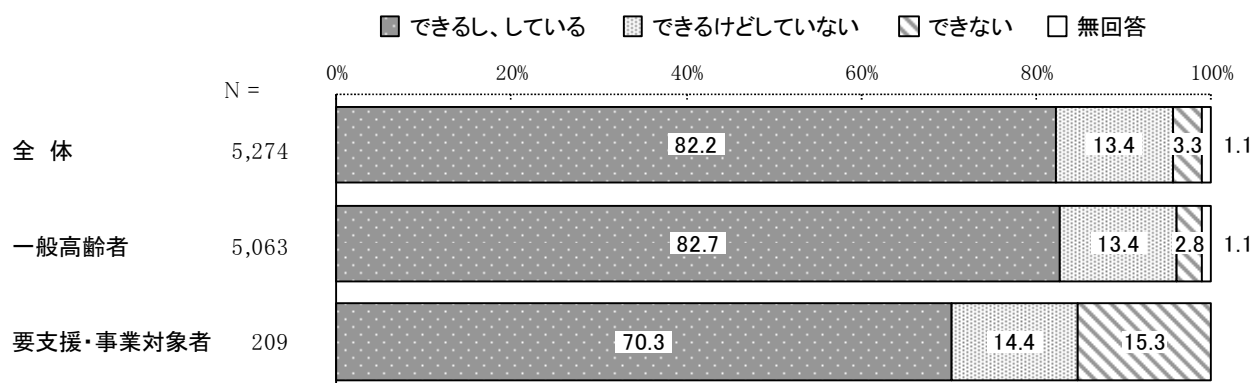


※ 「低栄養状態リスクの該当者」とは、86 ページに掲載している BMI 18.5 未満及び6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人を言います。

**問 28 自分で請求書の支払いをしていますか（1つを選択）**

「できるし、している」の割合が 82.2%、「できるけどしていない」の割合が 13.4%、「できない」の割合が 3.3%となっています。

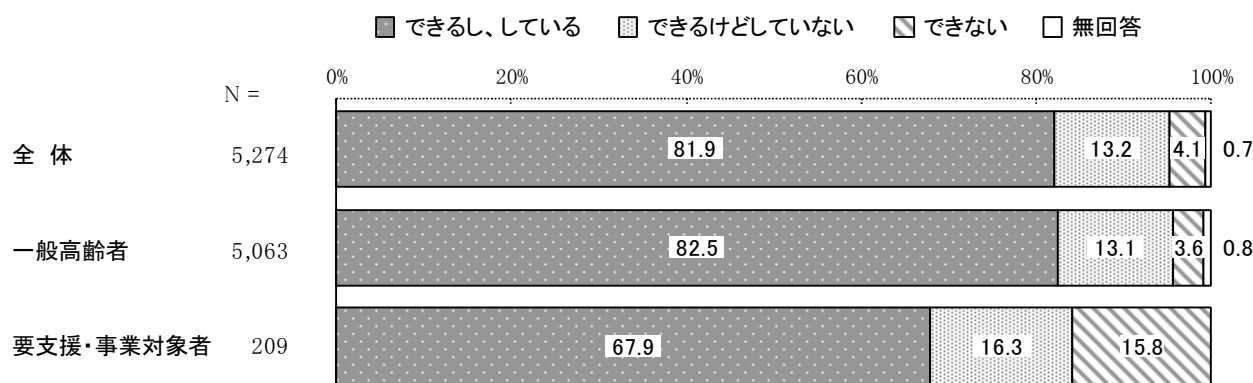
「できない」の割合は、一般高齢者で 2.8%、要支援・事業対象者で 15.3%となっており、12.5ポイントの差となっています。



**問 29 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つを選択）**

「できるし、している」の割合が 81.9%、「できるけどしていない」の割合が 13.2%、「できない」の割合が 4.1%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 3.6%、要支援・事業対象者で 15.8%となっており、12.2ポイントの差となっています。

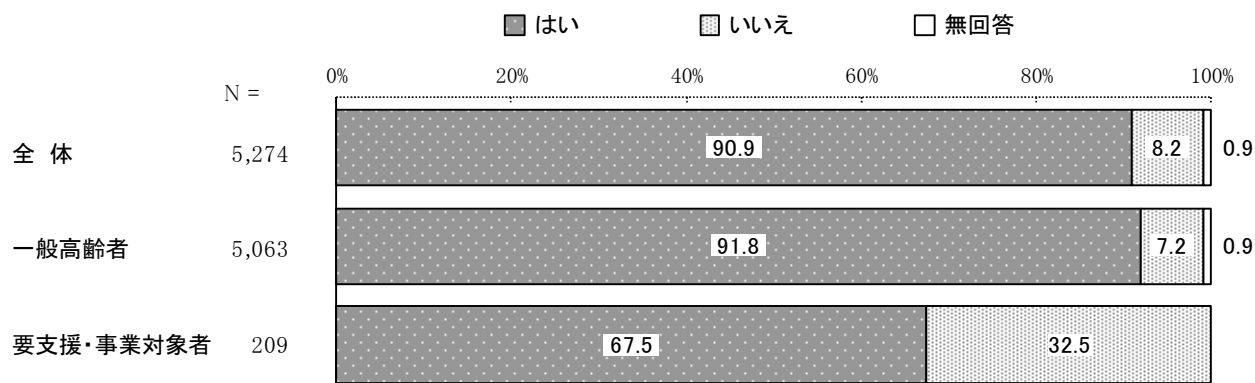


## II 調査結果

### 問 30 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つを選択）

「はい」の割合が90.9%、「いいえ」の割合が8.2%となっています。

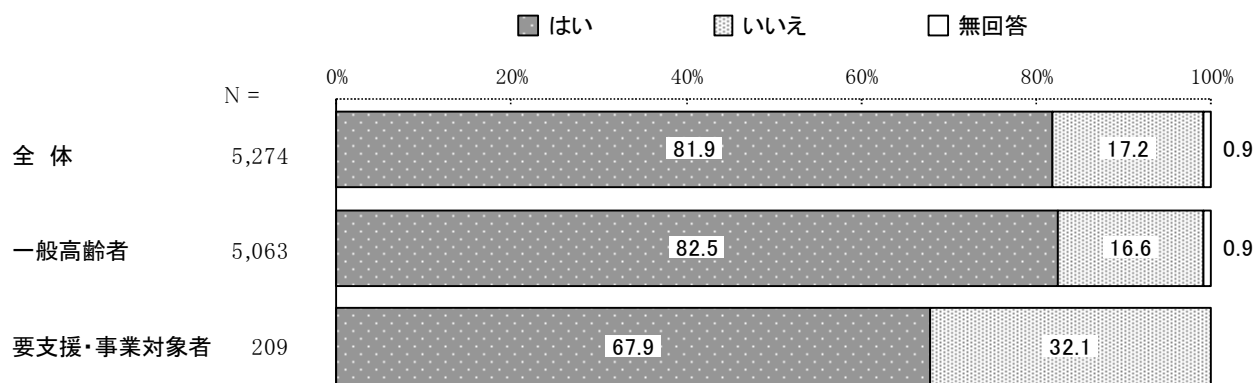
「いいえ」の割合は、一般高齢者で7.2%、要支援・事業対象者で32.5%となっており、25.3ポイントの差となっています。



### 問 31 新聞を読んでいますか（1つを選択）

「はい」の割合が81.9%、「いいえ」の割合が17.2%となっています。

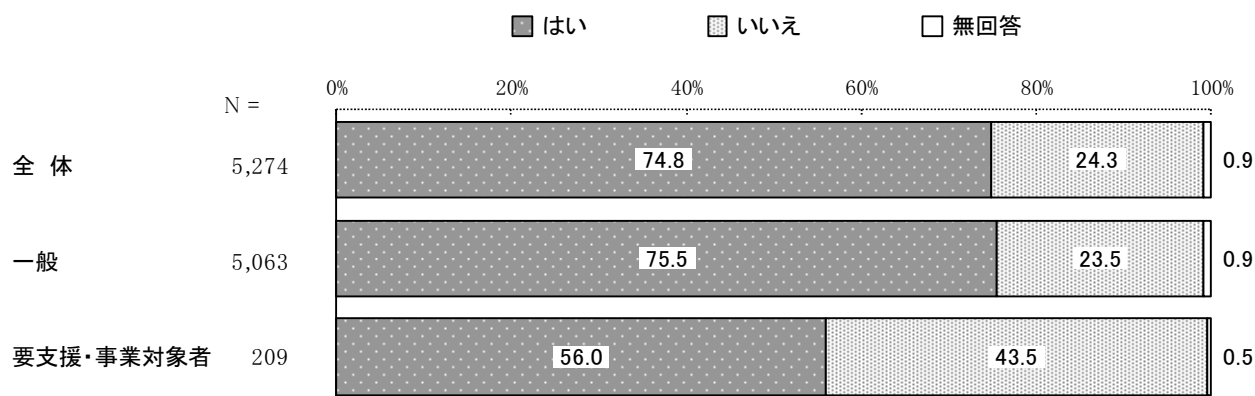
「いいえ」の割合は、一般高齢者で16.6%、要支援・事業対象者で32.1%となっており、15.5ポイントの差となっています。



問 32 本や雑誌を読んでいますか（1つを選択）

「はい」の割合が74.8%、「いいえ」の割合が24.3%となっています。

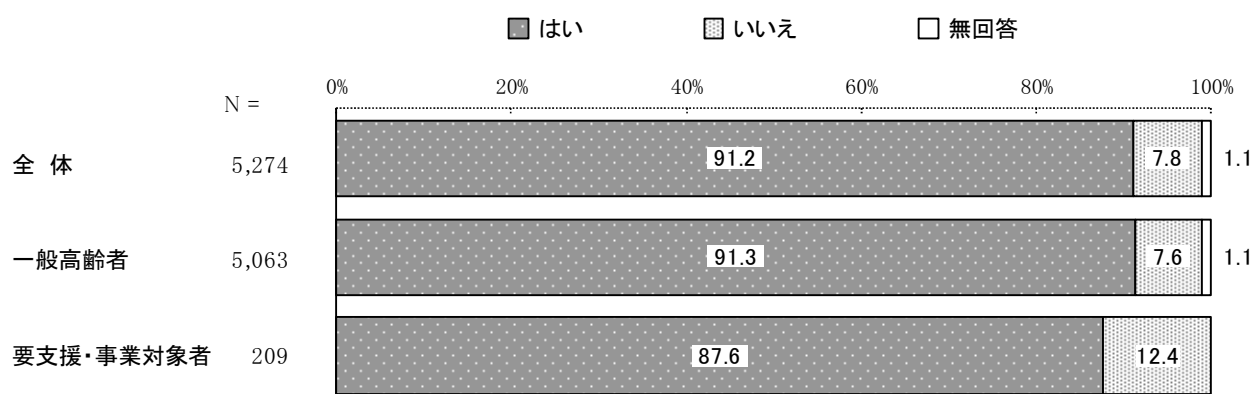
「いいえ」の割合は、一般高齢者で23.5%、要支援・事業対象者で43.5%となっており、20.0ポイントの差となっています。



問 33 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つを選択）

「はい」の割合が91.2%、「いいえ」の割合が7.8%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で7.6%、要支援・事業対象者で12.4%となっており、4.8ポイントの差となっています。

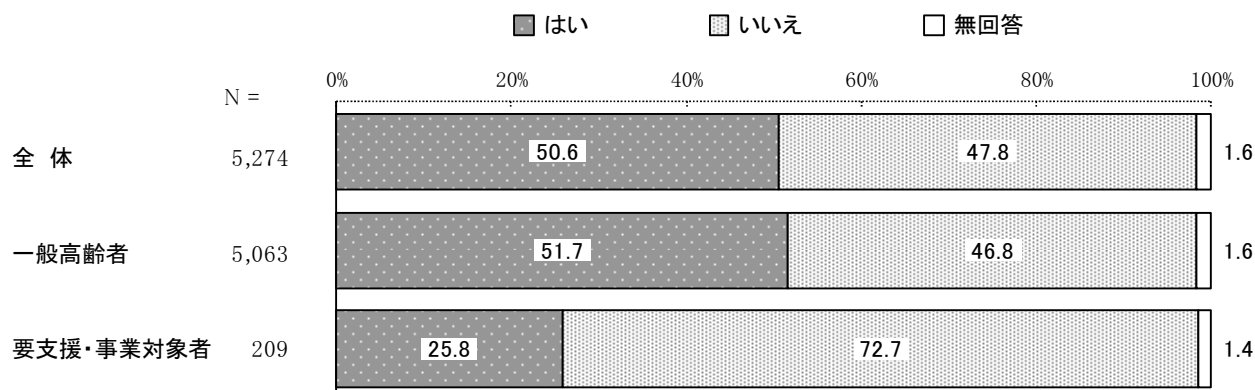


## II 調査結果

### 問 34 友人の家を訪ねていますか（1つを選択）

「はい」の割合が50.6%、「いいえ」の割合が47.8%となっています。

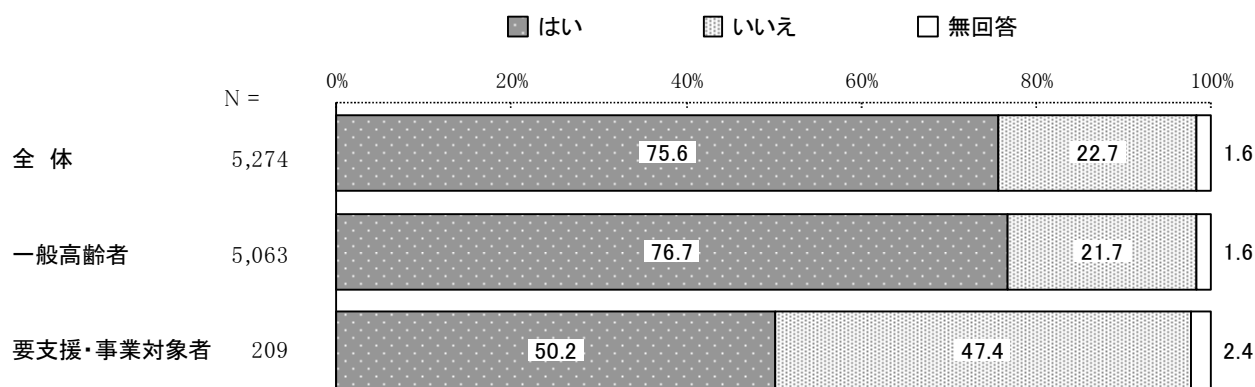
「いいえ」の割合は、一般高齢者で46.8%、要支援・事業対象者で72.7%となっており、25.9ポイントの差となっています。



### 問 35 家族や友人の相談にのっていますか（1つを選択）

「はい」の割合が75.6%、「いいえ」の割合が22.7%となっています。

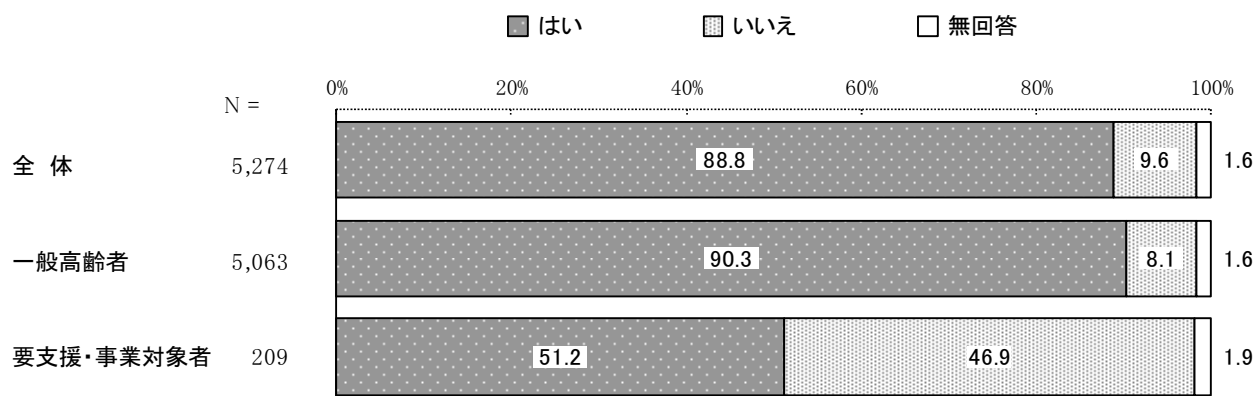
「いいえ」の割合は、一般高齢者で21.7%、要支援・事業対象者で47.4%となっており、25.7ポイントの差となっています。



問 36 病人を見舞うことができますか（1つを選択）

「はい」の割合が88.8%、「いいえ」の割合が9.6%となっています。

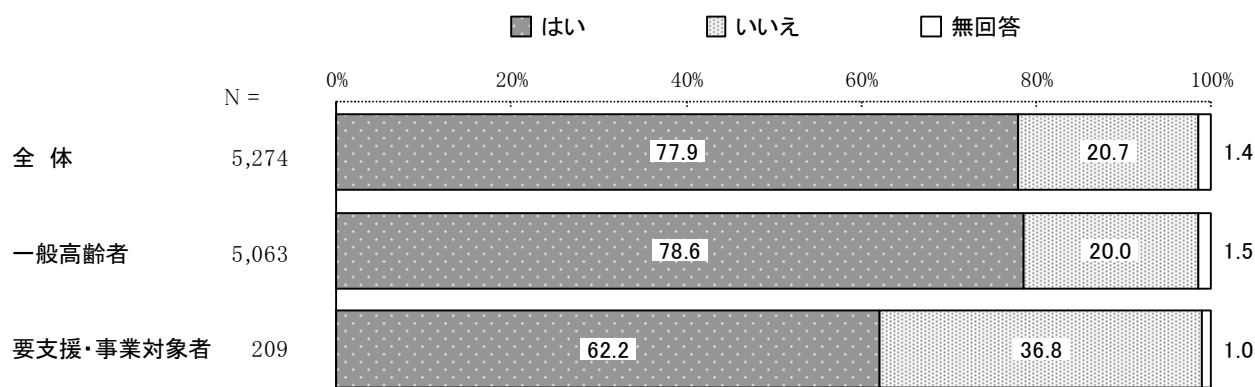
「いいえ」の割合は、一般高齢者で8.1%、要支援・事業対象者で46.9%となっており、38.8ポイントの差となっています。



問 37 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つを選択）

「はい」の割合が77.9%、「いいえ」の割合が20.7%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で20.0%、要支援・事業対象者で36.8%となっており、16.8ポイントの差となっています。

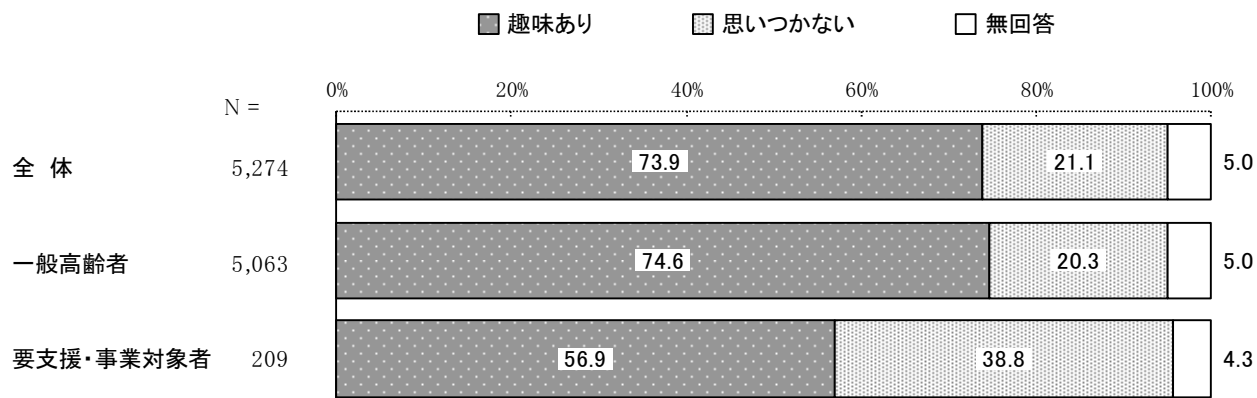


## II 調査結果

### 問 38 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（1つを選択）

「趣味あり」の割合が73.9%、「思いつかない」の割合が21.1%となっています。

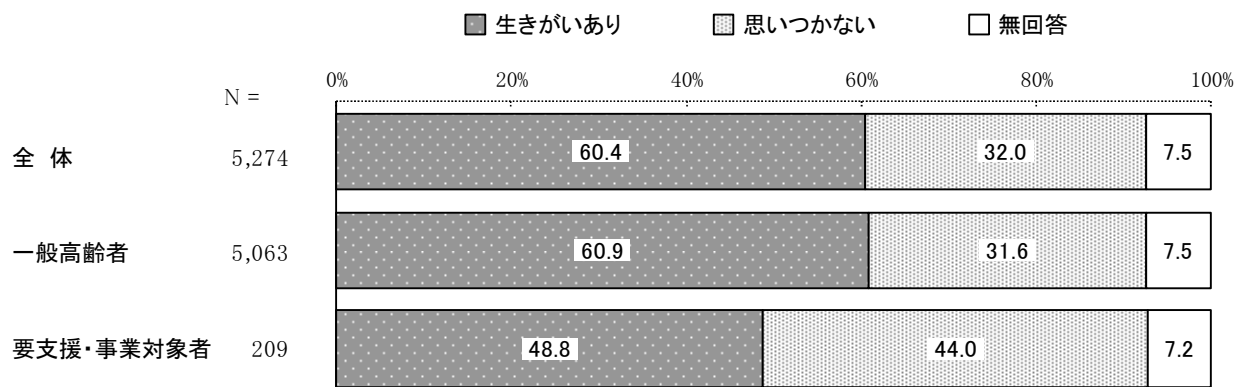
「趣味あり」の割合は、一般高齢者で74.6%、要支援・事業対象者で56.9%となっており、17.7ポイントの差となっています。



### 問 39 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（1つを選択）

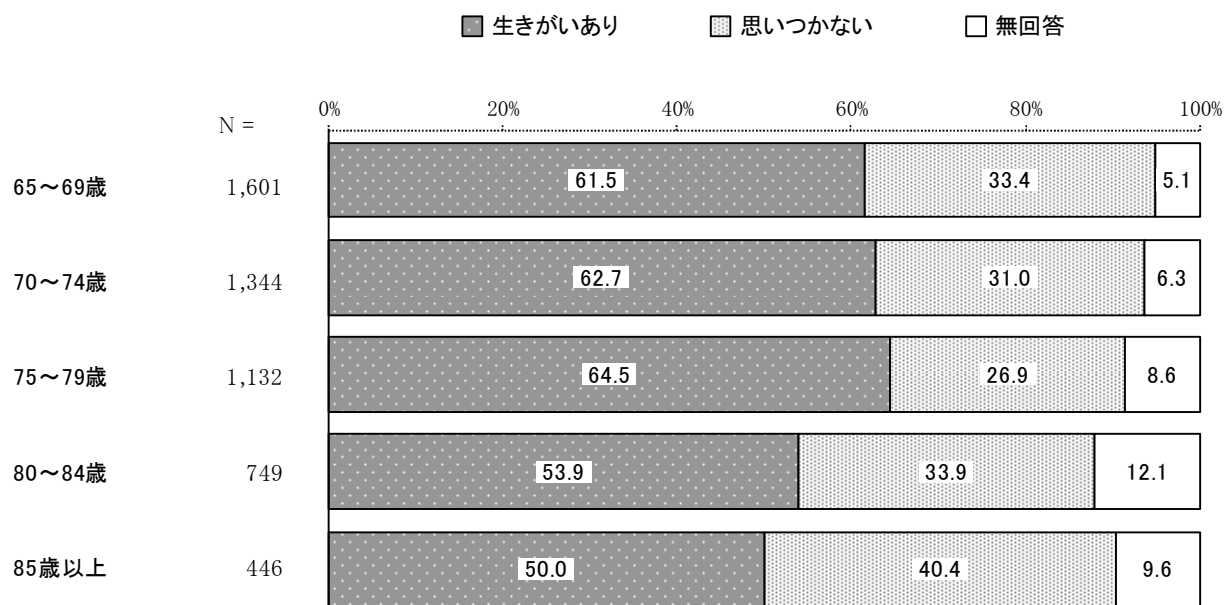
「生きがいあり」の割合が60.4%、「思いつかない」の割合が32.0%となっています。

「生きがいあり」の割合は、一般高齢者で60.9%、要支援・事業対象者で48.8%となっており、12.1ポイントの差となっています。



【年齢階級別】

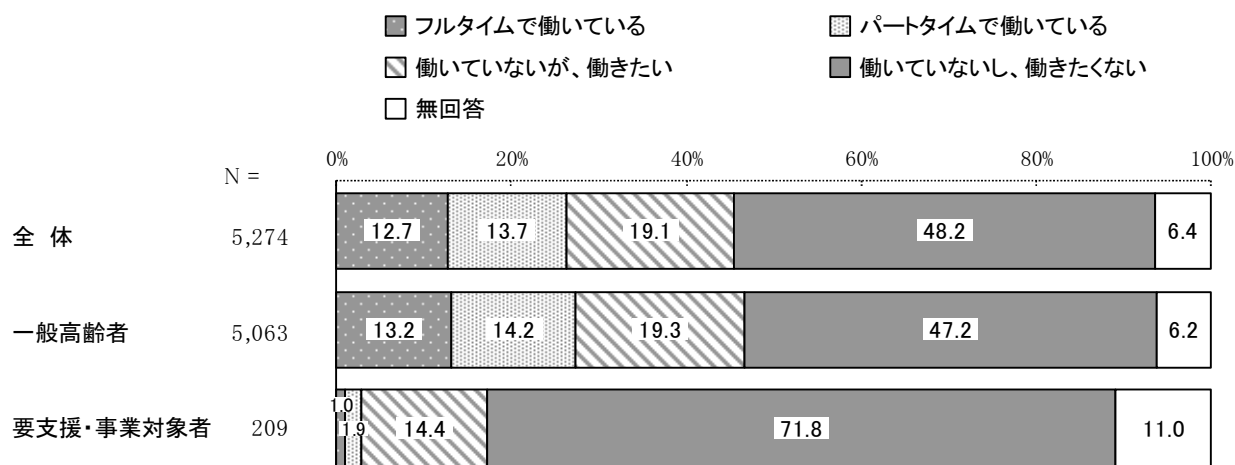
年齢階級別で見ると、他に比べ、80歳以上で「生きがいあり」の割合が低くなっています。



問 40 現在働いていますか（1つを選択）

「働いていないし、働きたくない」の割合が48.2%と最も高く、次いで「働いていないが、働きたい」の割合が19.1%、「パートタイムで働いている」の割合が13.7%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「働いていないし、働きたくない」の割合が高くなっています。

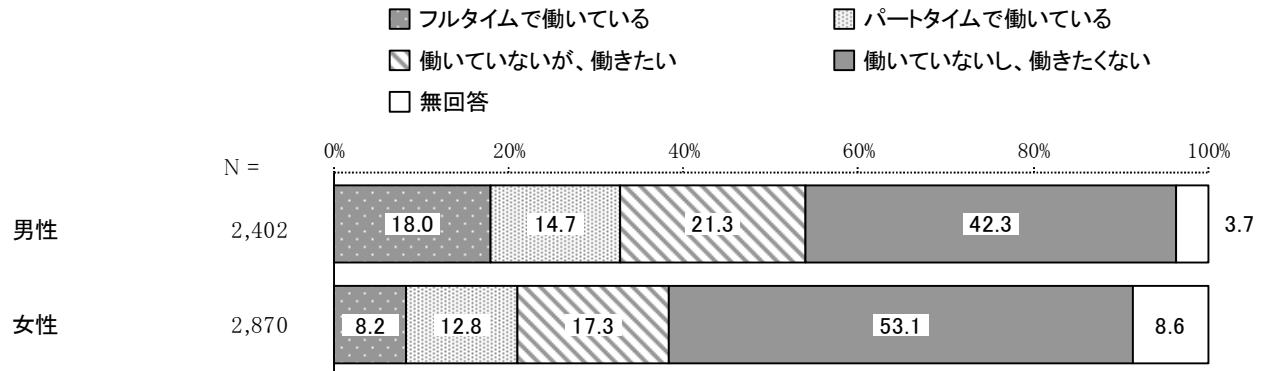




## II 調査結果

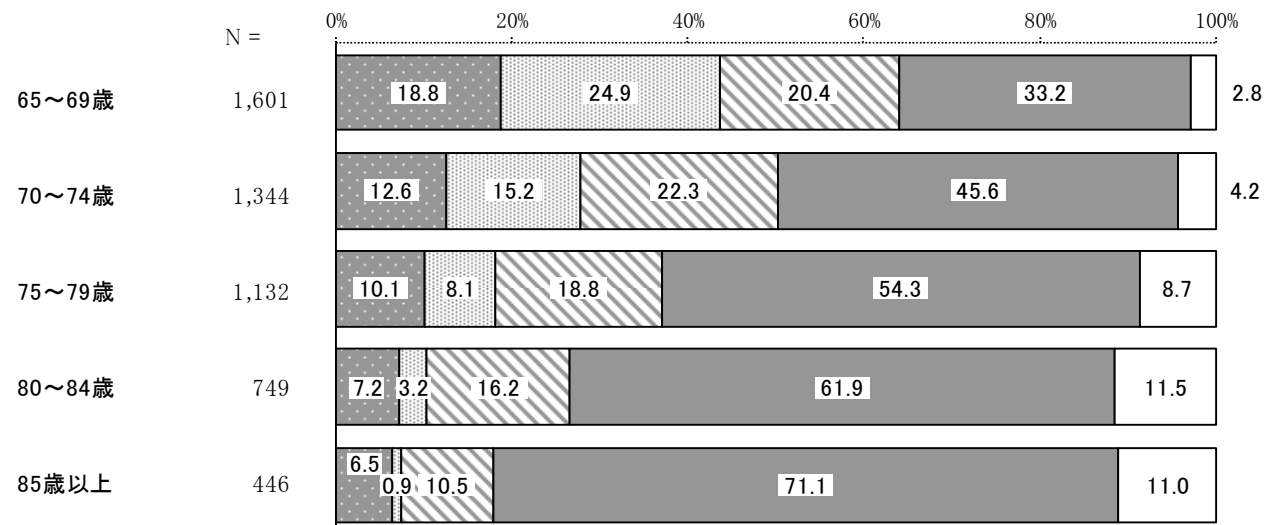
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「フルタイムで働いている」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「働いていないし、働きたくない」の割合が高くなっています。



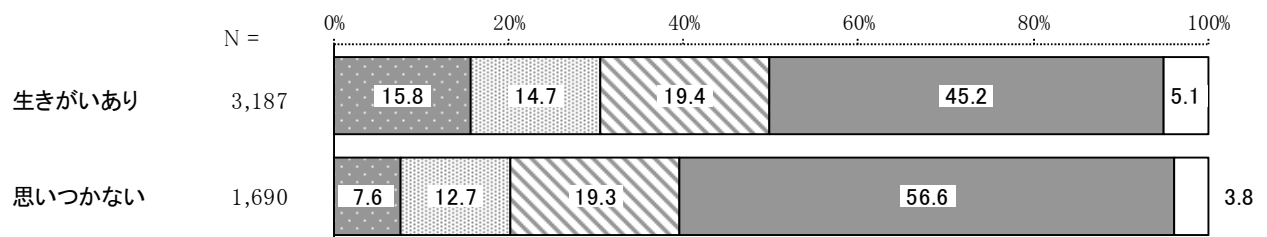
### 【年齢階級別】

年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれて、「働いていないし、働きたくない」の割合が高くなっています。



### 【問 39 とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、思いつかないに比べ、生きがいありで「フルタイムで働いている」の割合が高くなっています。また、生きがいありに比べ、思いつかないで「働いていないし、働きたくない」の割合が高くなっています。

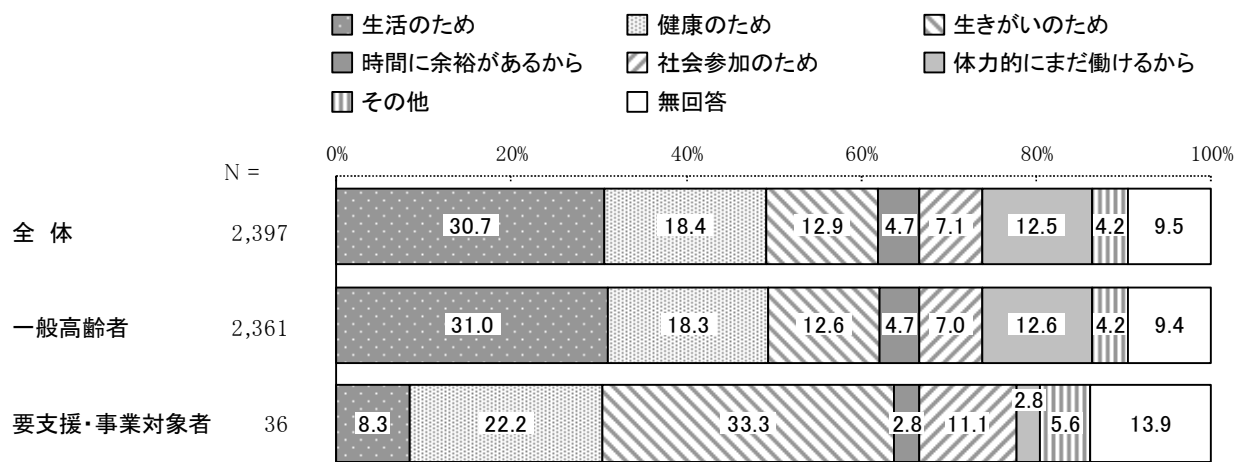


問 40 で「1」「2」「3」と回答した方にお伺いします。

問 40-1 働く理由、働きたい理由はなんですか（1つを選択）

「生活のため」の割合が 30.7%と最も高く、次いで「健康のため」の割合が 18.4%、「生きがいのため」の割合が 12.9%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「生活のため」「体力的にまだ働けるから」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「生きがいのため」の割合が高くなっています。

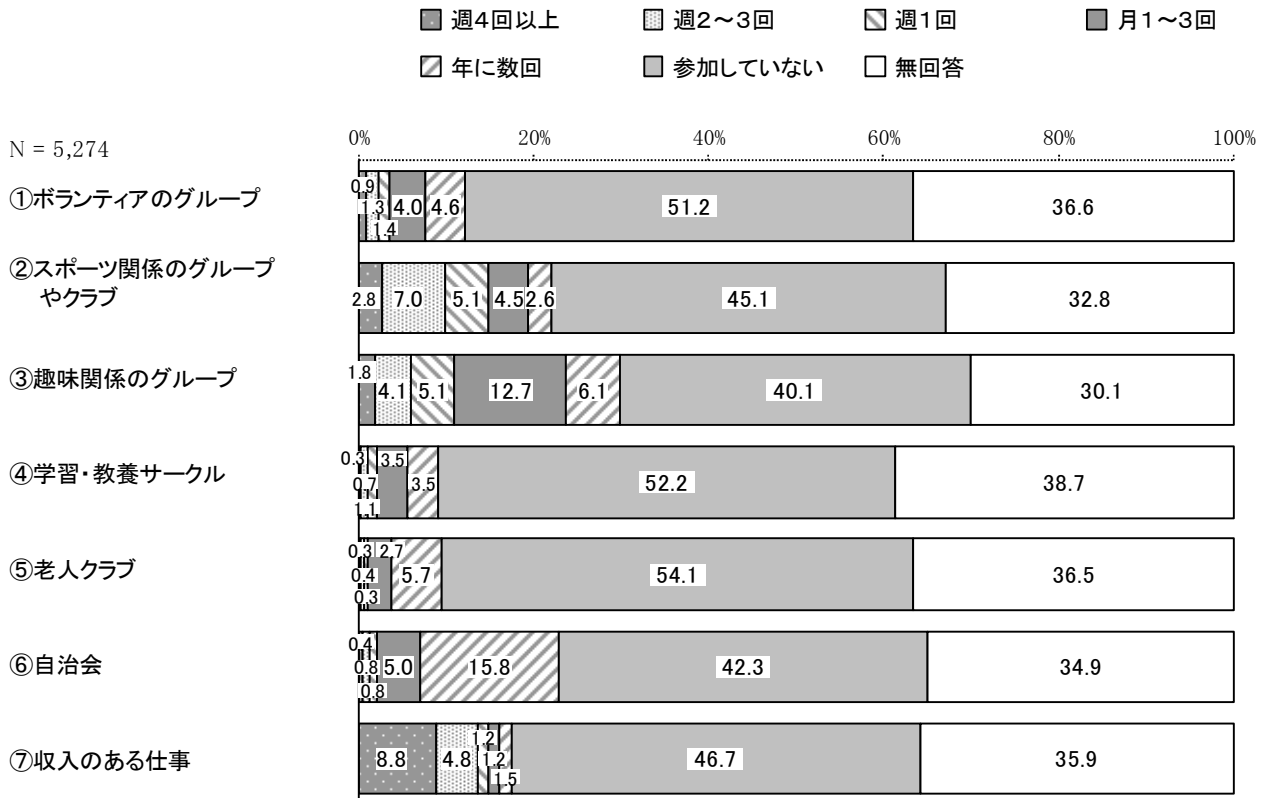


II 調査結果

5 地域での活動について

問 41 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

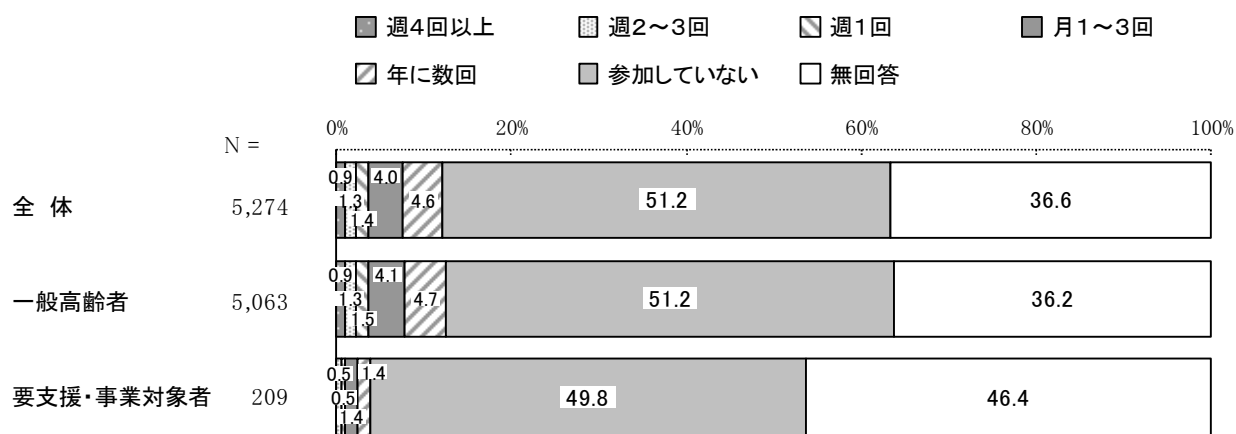
年に数回以上参加している割合は、③趣味関係のグループが 29.8%と最も高く、次いで、⑥自治会が 22.8%、②スポーツ関係のグループやクラブが 22.0%となっています。



①ボランティアのグループ

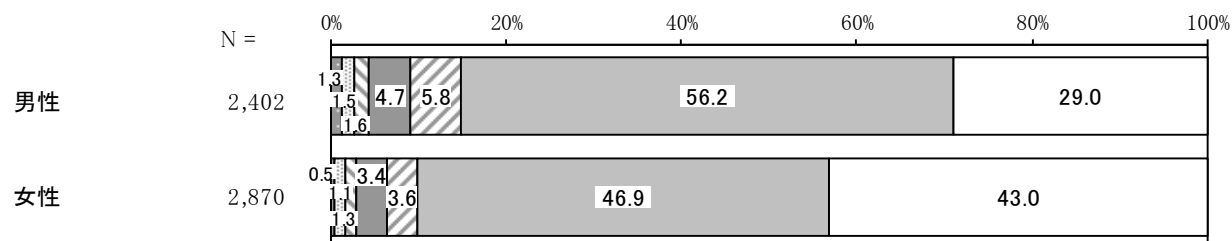
「参加していない」の割合が51.2%と最も高くなっています。

年に数回以上参加している割合は、一般高齢者で12.5%、要支援・事業対象者で3.8%となっており、8.7ポイントの差となっています。



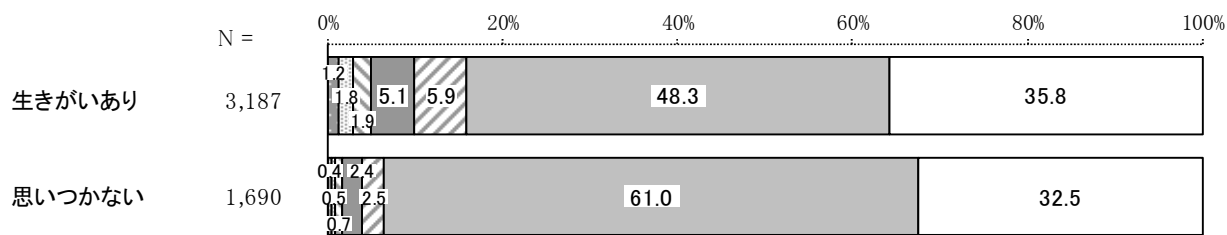
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



【問 39 とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、生きがいありに比べ、思いつかないで「参加していない」の割合が高くなっています。

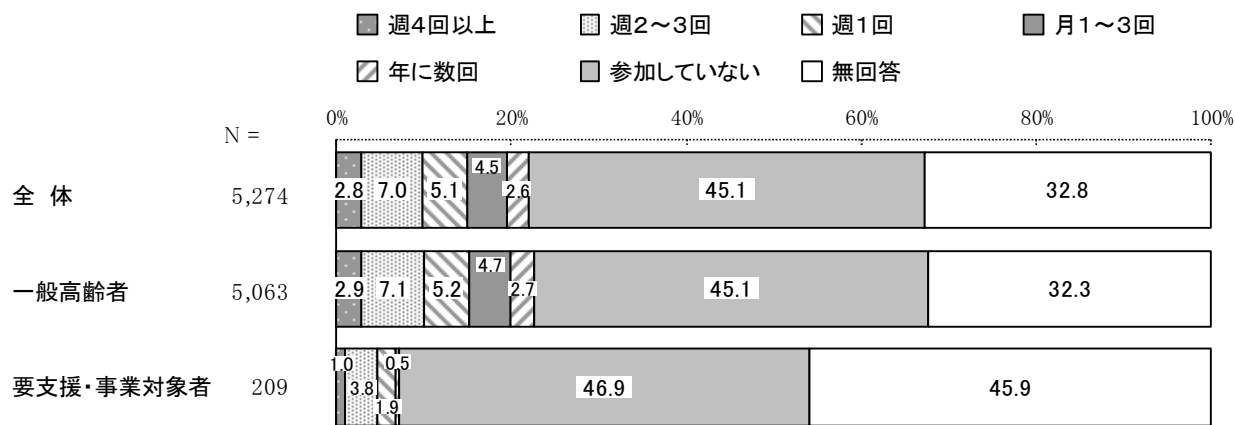


## II 調査結果

### ②スポーツ関係のグループやクラブ

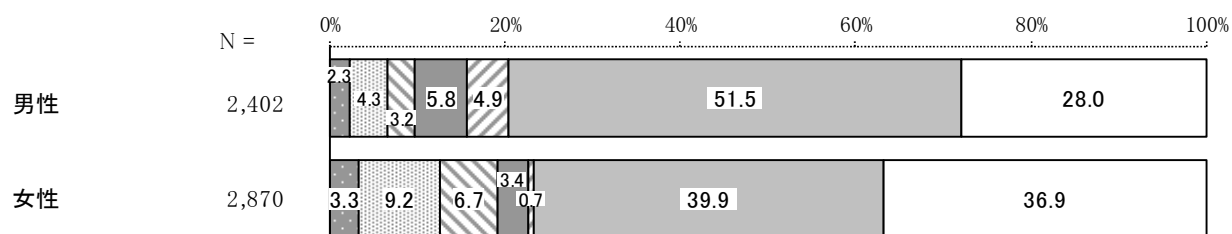
「参加していない」の割合が45.1%と最も高くなっています。

年に数回以上参加している割合は、一般高齢者で22.6%、要支援・事業対象者で7.2%となっており、15.4ポイントの差となっています。



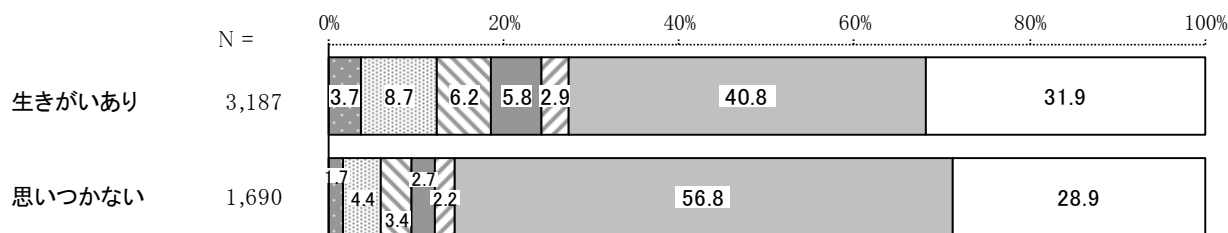
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



### 【問39とのクロス集計 生きがいの有無別】

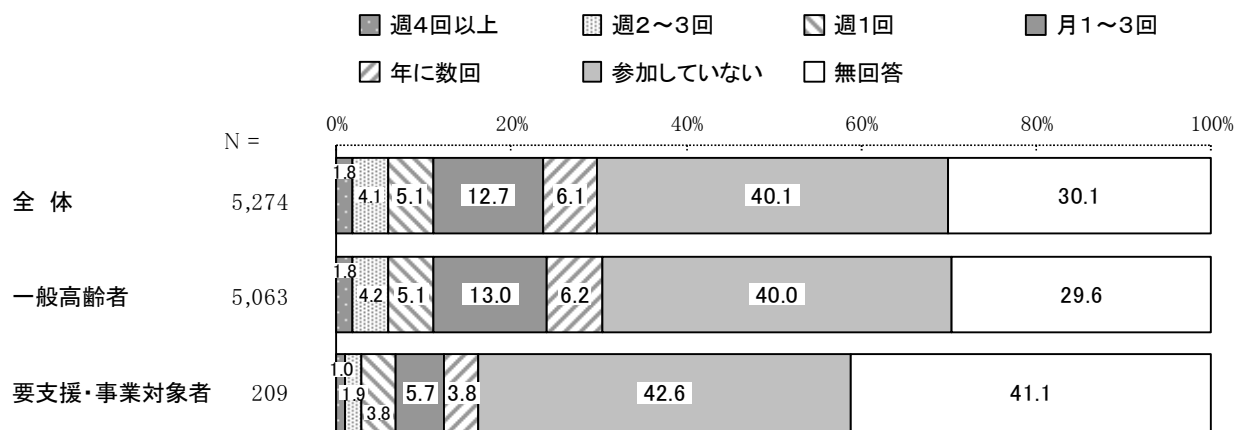
生きがいの有無別でみると、生きがいありに比べ、思いつかないで「参加していない」の割合が高くなっています。



### ③趣味関係のグループ

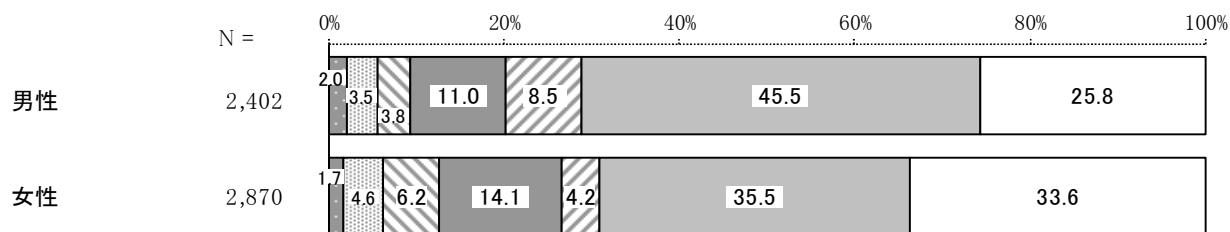
「参加していない」の割合が40.1%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が12.7%となっています。

年に数回以上参加している割合は、一般高齢者で30.3%、要支援・事業対象者で16.2%となっており、14.1ポイントの差となっています。



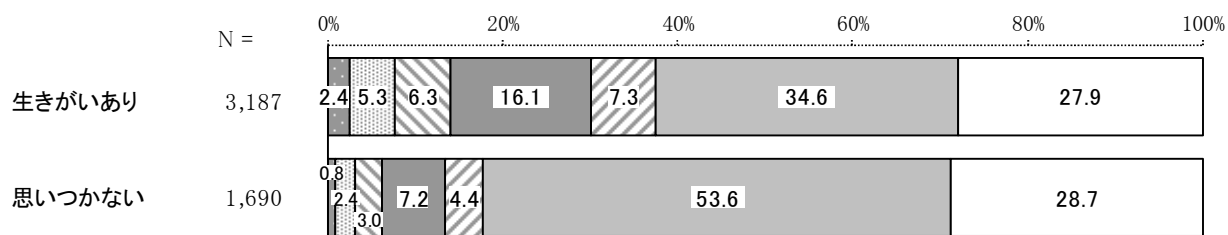
### 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



### 【問39とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別で見ると、思いつかないに比べ、生きがいありで「月1～3回」の割合が高くなっています。また、生きがいありに比べ、思いつかないで「参加していない」の割合が高くなっています。

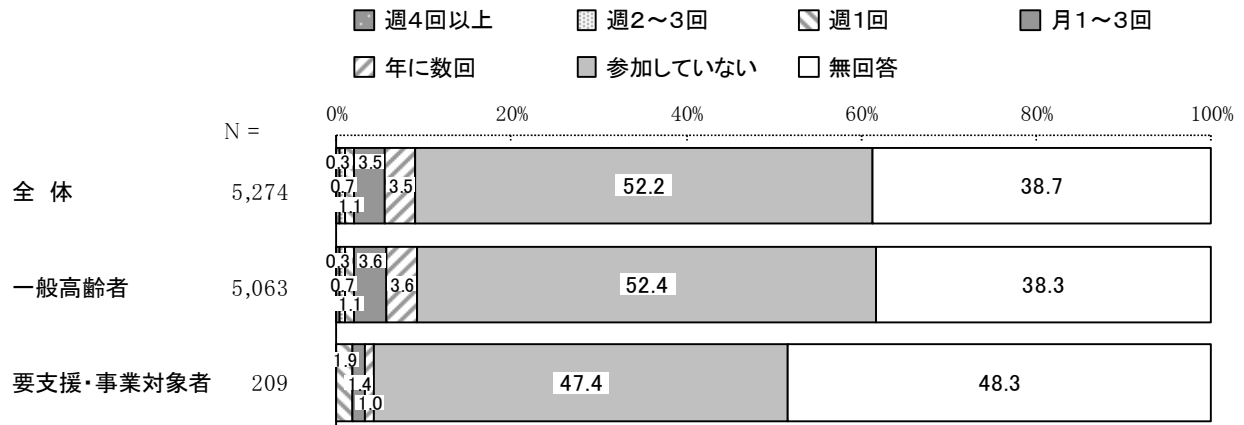


## II 調査結果

### ④学習・教養サークル

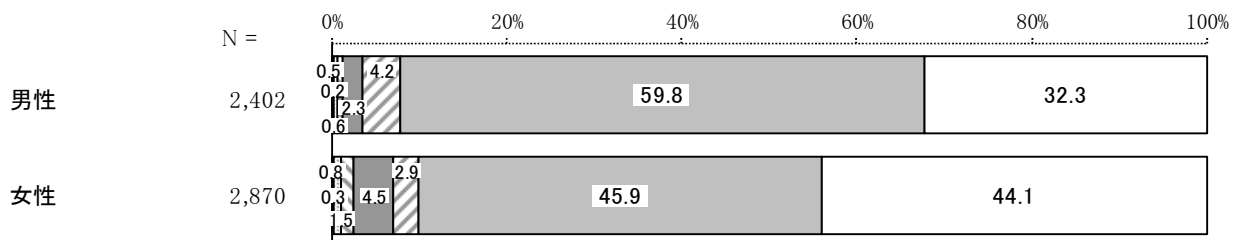
「参加していない」の割合が52.2%と最も高くなっています。

年に数回以上参加している割合は、一般高齢者で9.3%、要支援・事業対象者で4.3%となっており、5.0ポイントの差となっています。



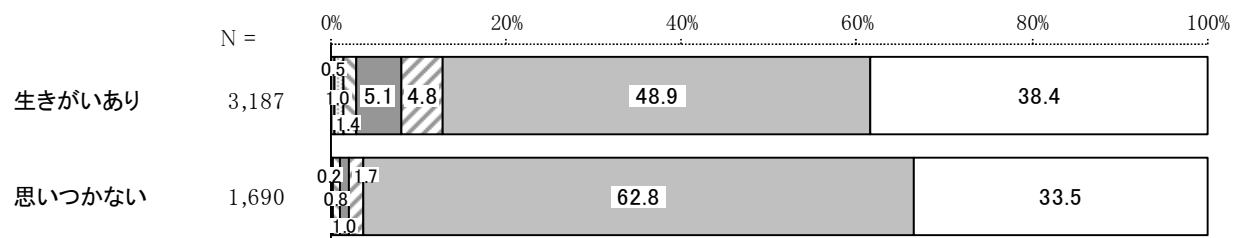
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



### 【問39とのクロス集計 生きがいの有無別】

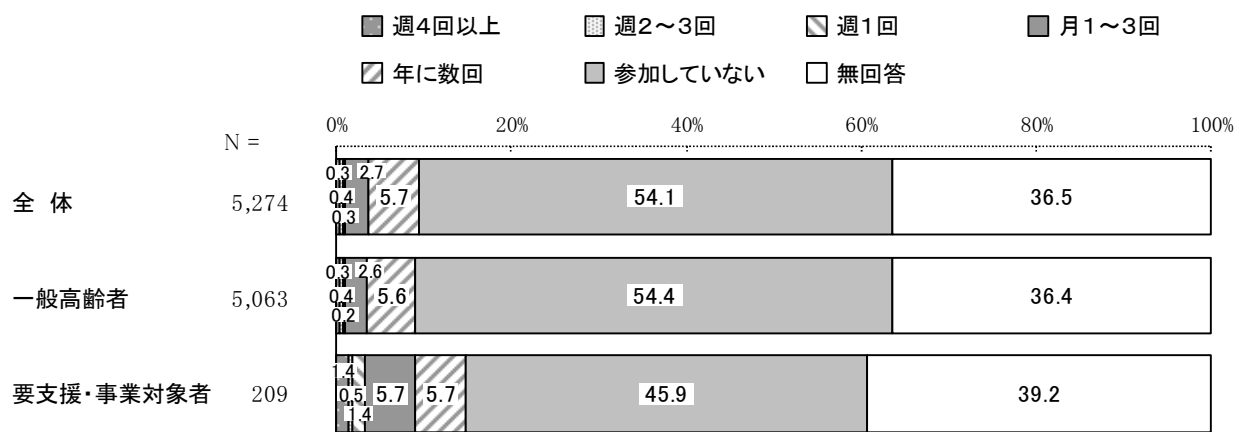
生きがいの有無別でみると、生きがいありに比べ、思いつかないで「参加していない」の割合が高くなっています。



⑤老人クラブ

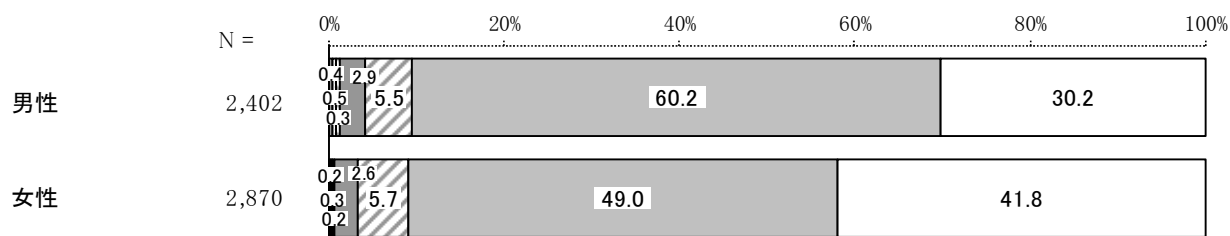
「参加していない」の割合が54.1%と最も高くなっています。

年に数回以上参加している割合は、一般高齢者で9.1%、要支援・事業対象者で14.7%となっており、5.6ポイントの差となっています。



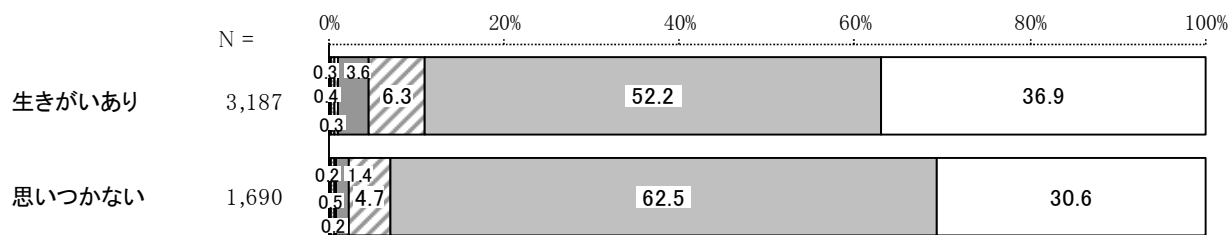
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



【問 39 とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、生きがいありに比べ、思いつかないで「参加していない」の割合が高くなっています。



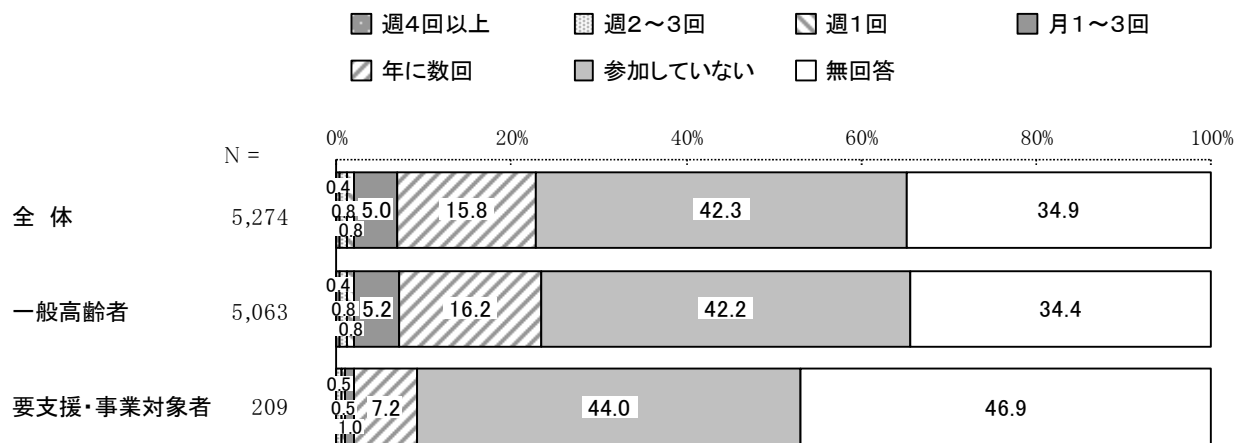


## II 調査結果

### ⑥自治会

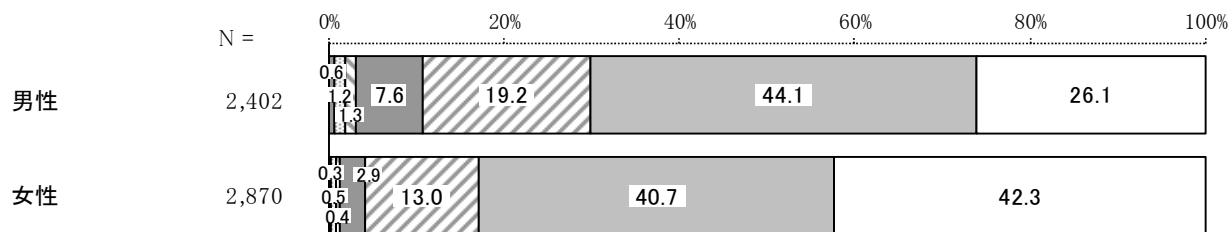
「参加していない」の割合が42.3%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が15.8%となっています。

年に数回以上参加している割合は、一般高齢者で23.4%、要支援・事業対象者で9.2%となっており、14.2ポイントの差となっています。



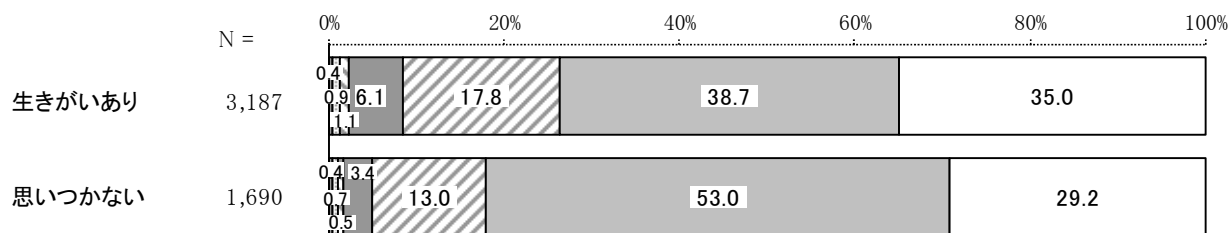
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「年に数回」の割合が高くなっています。



### 【問39とのクロス集計 生きがいの有無別】

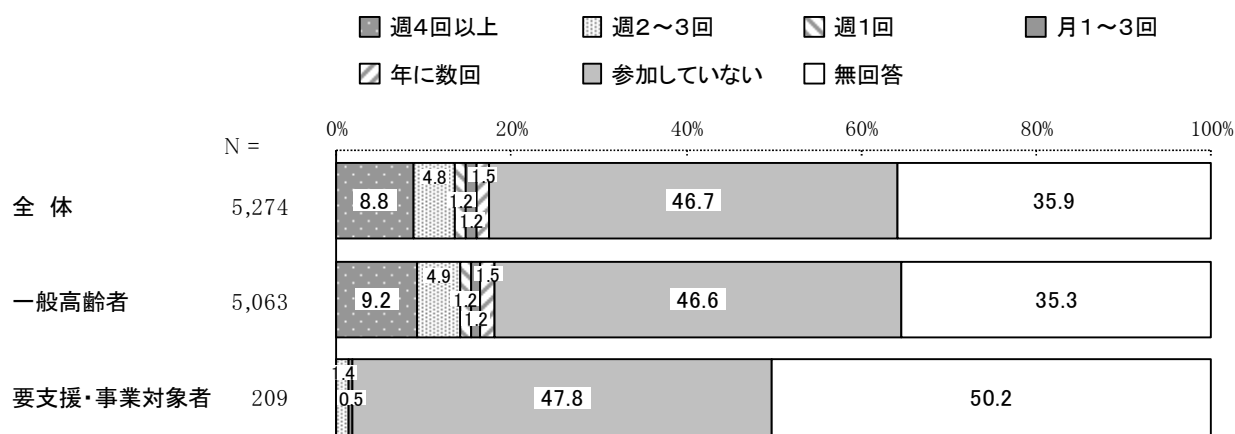
生きがいの有無別でみると、生きがいありに比べ、思いつかないで「参加していない」の割合が高くなっています。



⑦収入のある仕事

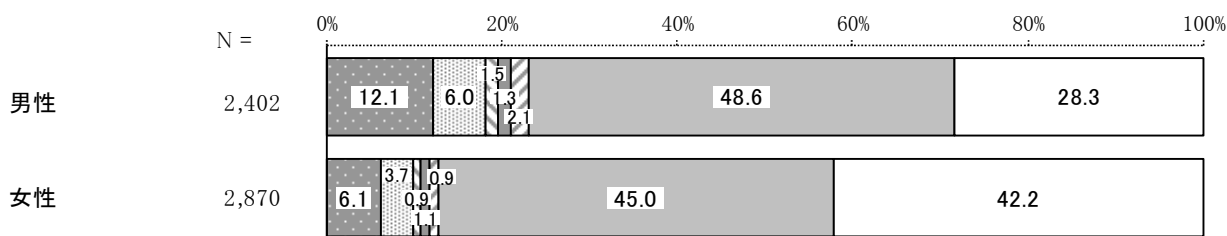
「参加していない」の割合が46.7%と最も高くなっています。

年に数回以上参加している割合は、一般高齢者で18.0%、要支援・事業対象者で1.9%となっており、16.1ポイントの差となっています。



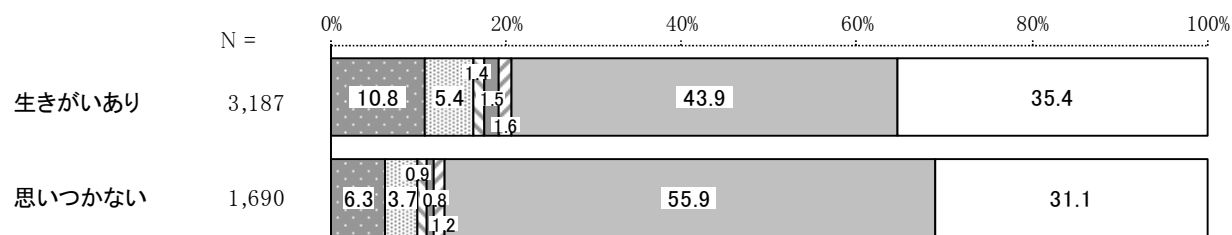
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「週4回以上」の割合が高くなっています。



【問39とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、生きがいありに比べ、思いつかないで「参加していない」の割合が高くなっています。

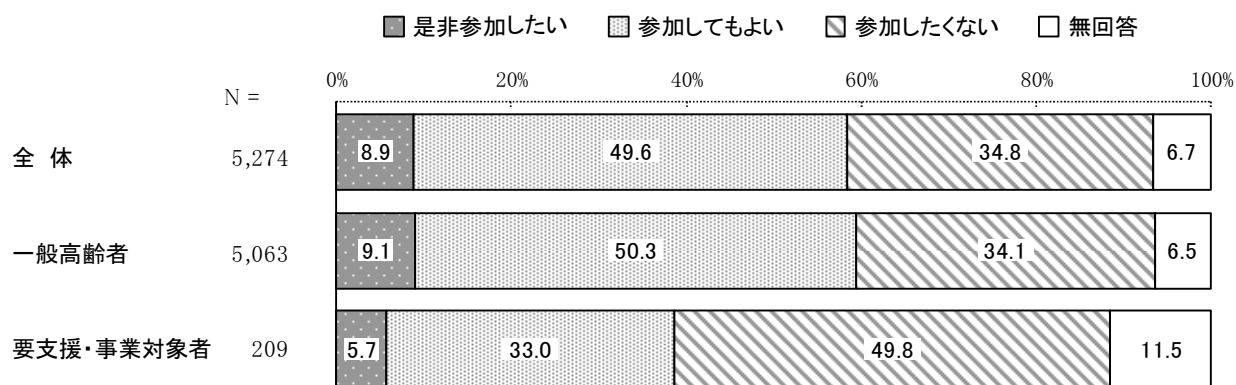


## II 調査結果

問 42 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つを選択）

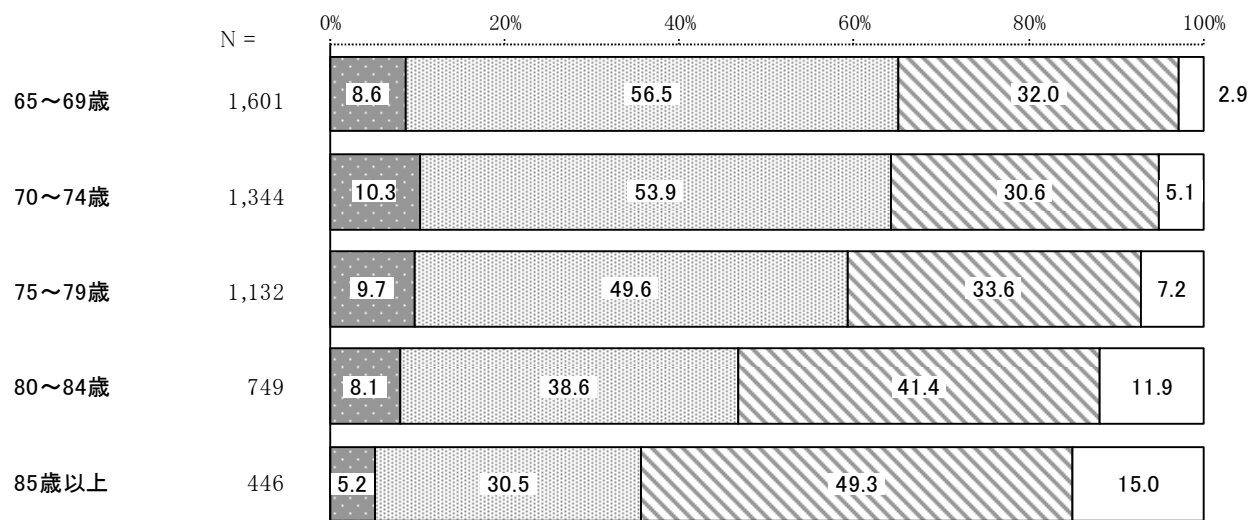
「参加してもよい」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 34.8%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「是非参加したい」「参加してもよい」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「参加したくない」の割合が高くなっています。



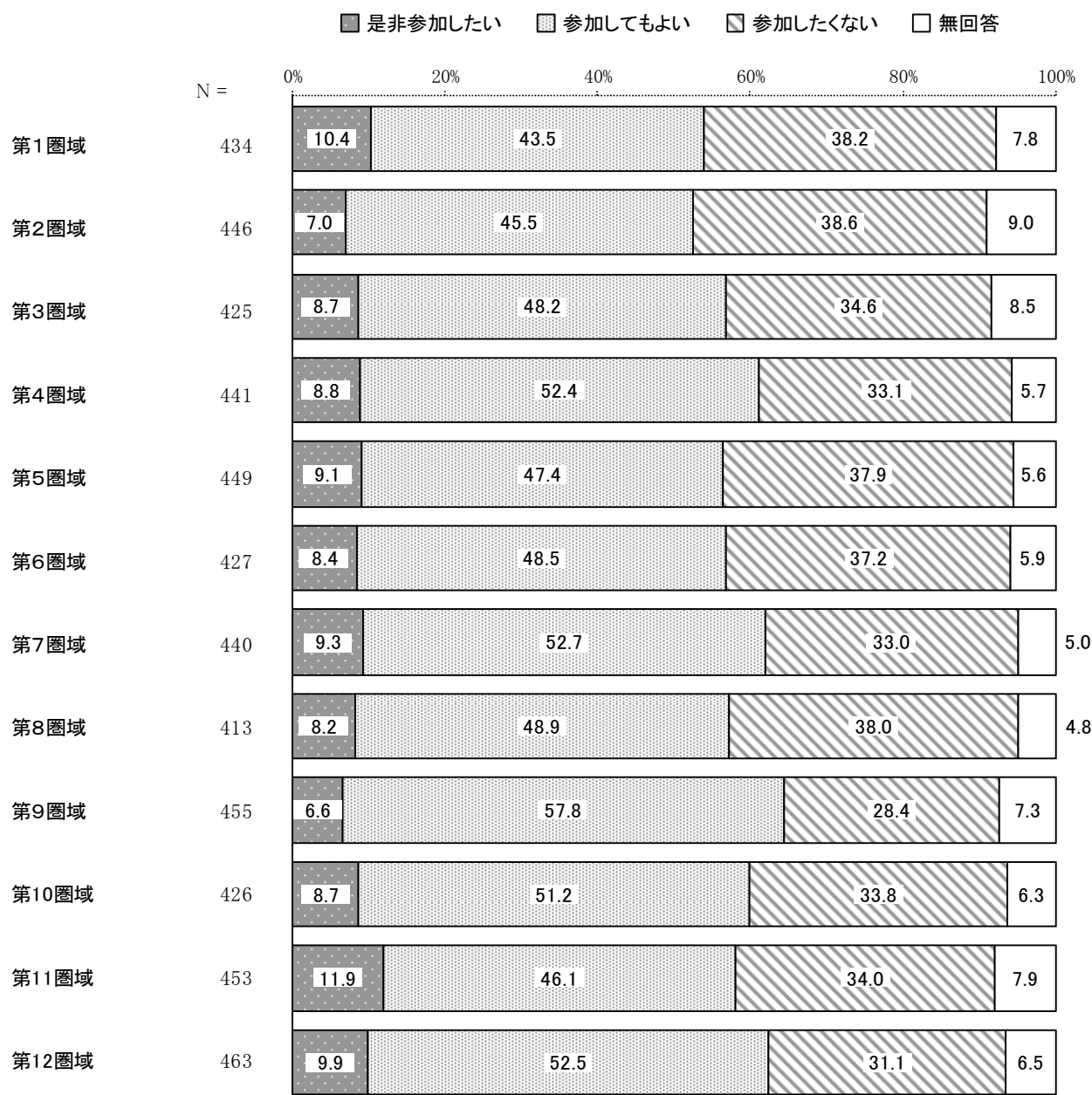
### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「参加してもよい」の割合が低くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第9圏域で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

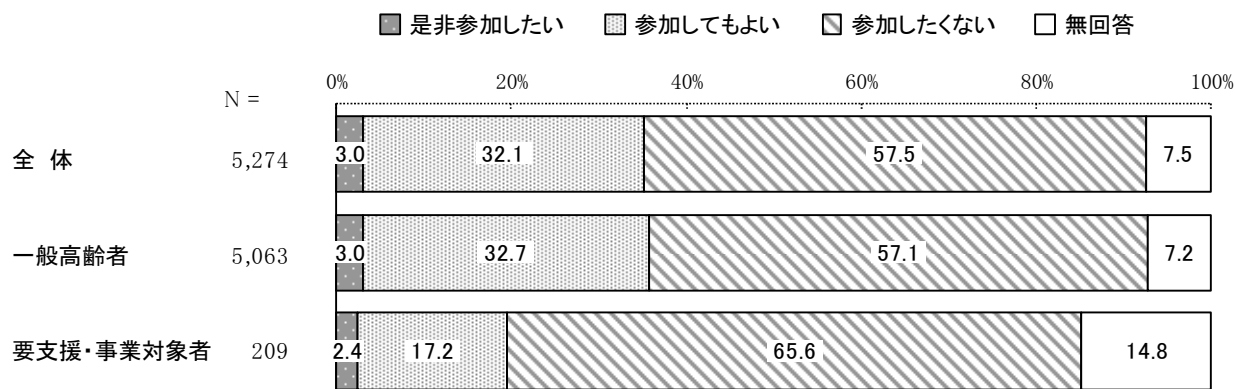


## II 調査結果

問 43 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つを選択）

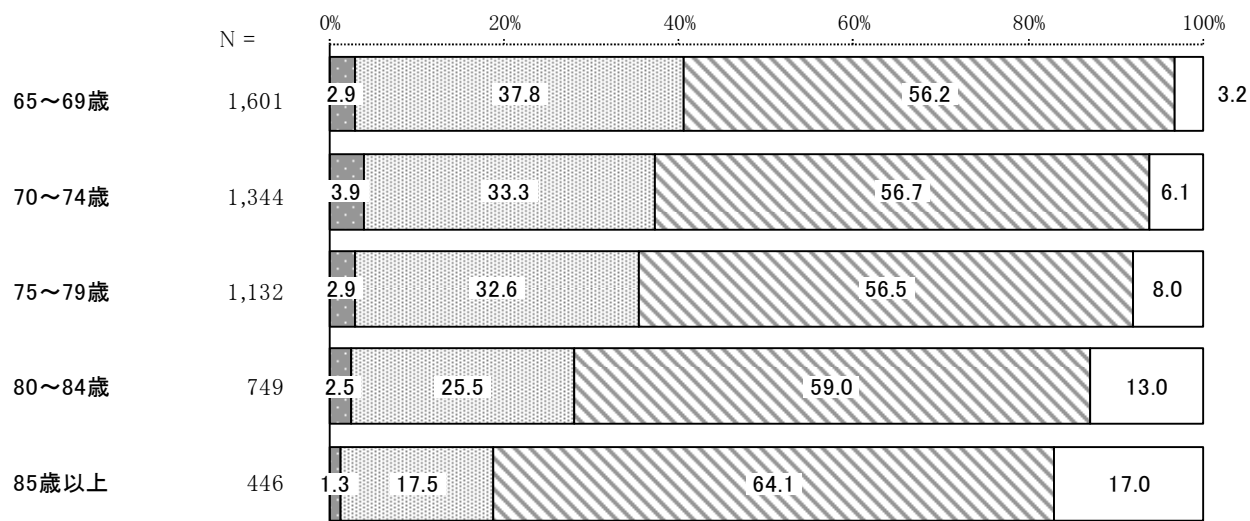
「参加したくない」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 32.1%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「参加したくない」の割合が高くなっています。



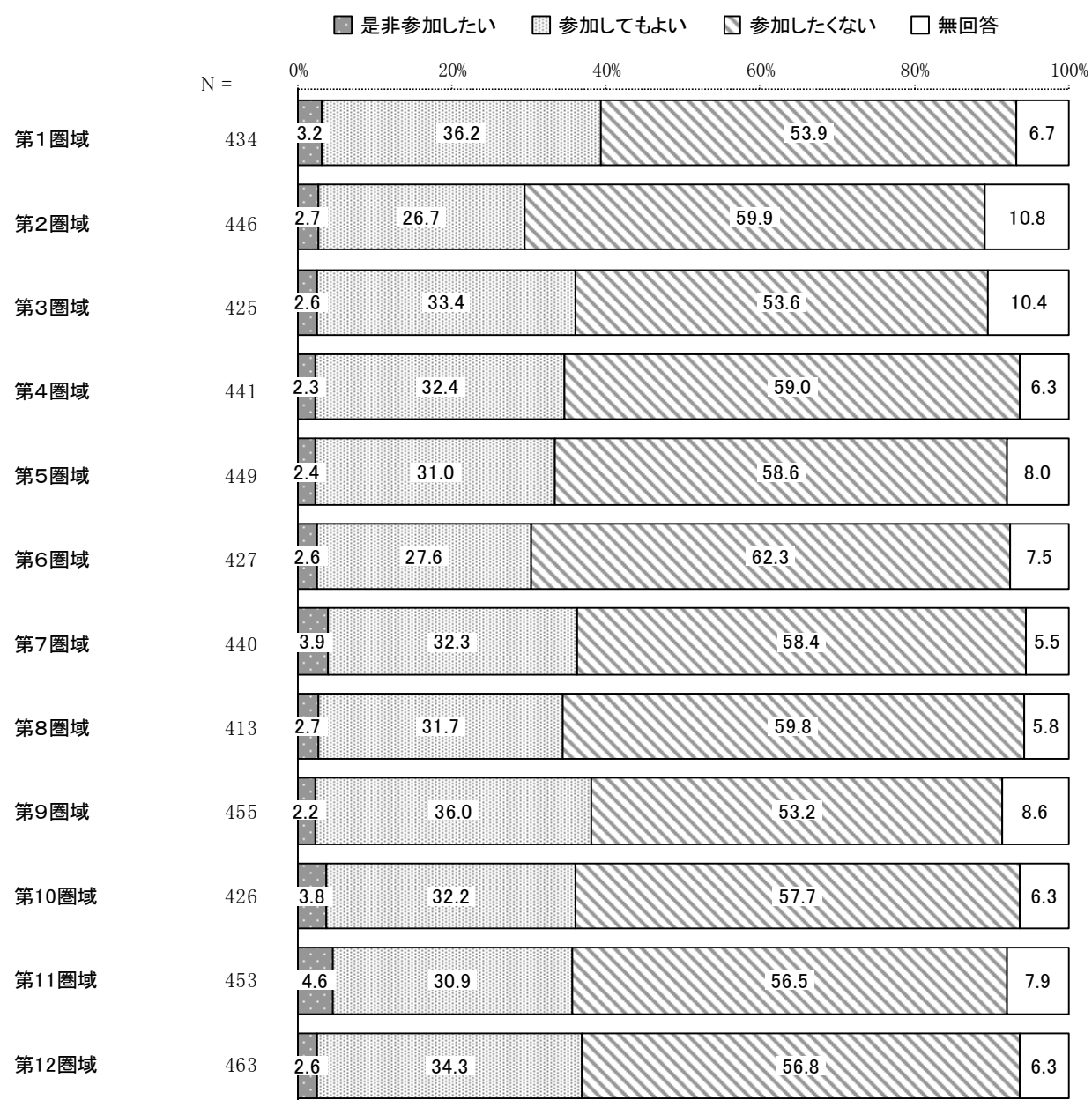
### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「参加してもよい」の割合が低くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第1圏域、第9圏域で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

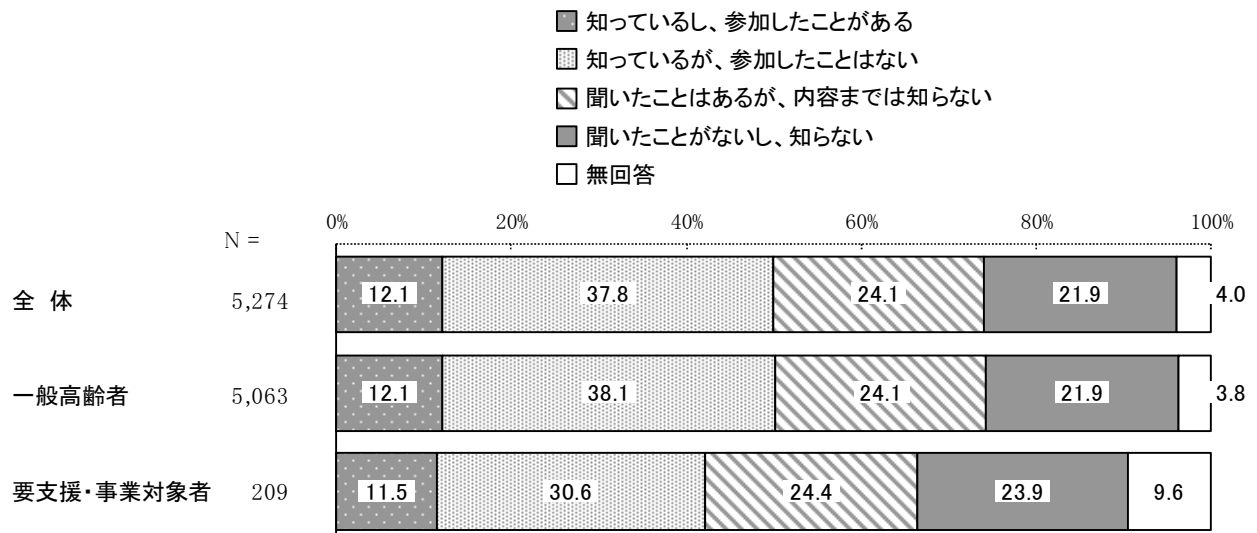


## II 調査結果

### 問 44 市が開催している介護予防事業（65 歳からの筋トレ教室、食で生き生き。栄養教室など）を知っていますか（1つを選択）

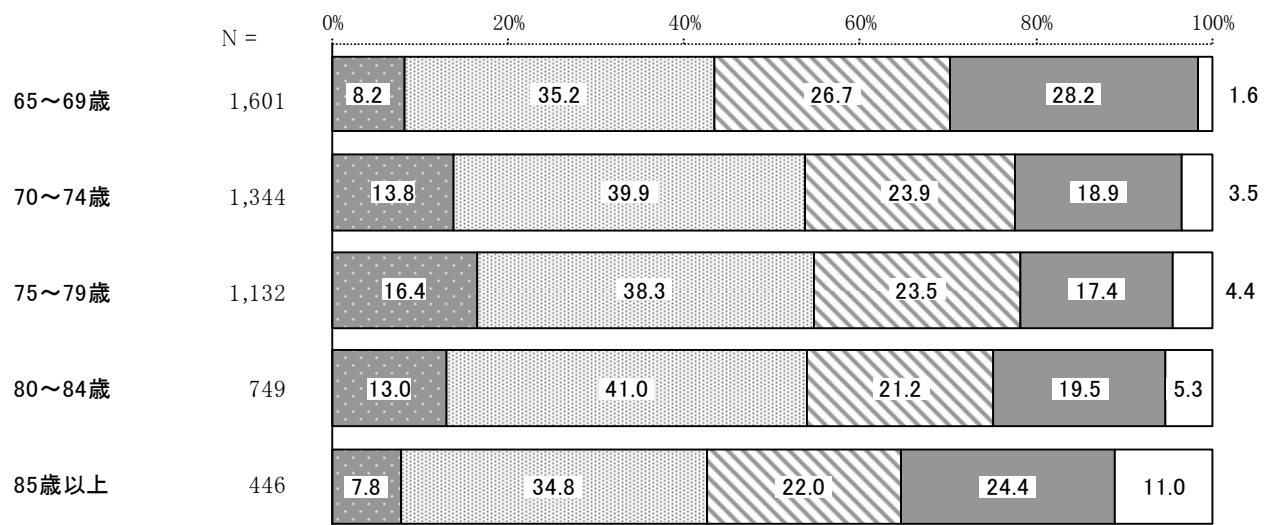
「知っているが、参加したことはない」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」の割合が 24.1%、「聞いたことがないし、知らない」の割合が 21.9%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「知っているが、参加したことはない」の割合が高くなっています。



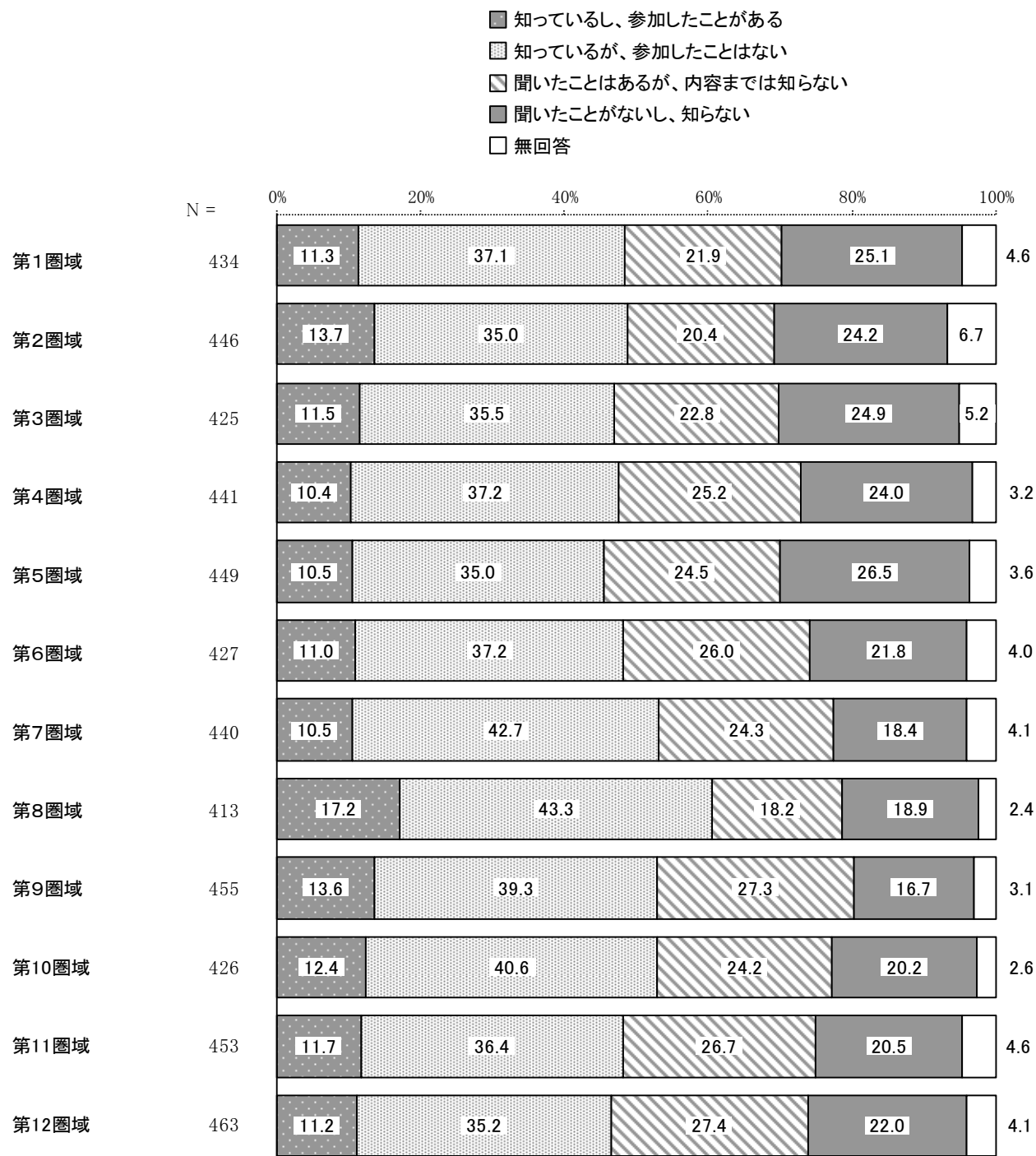
#### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、他に比べ、65 歳～69 歳、85 歳以上で「知っているし、参加したことがある」の割合が低くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第8圏域で「知っているし、参加したことがある」の割合がわずかに高くなっています。





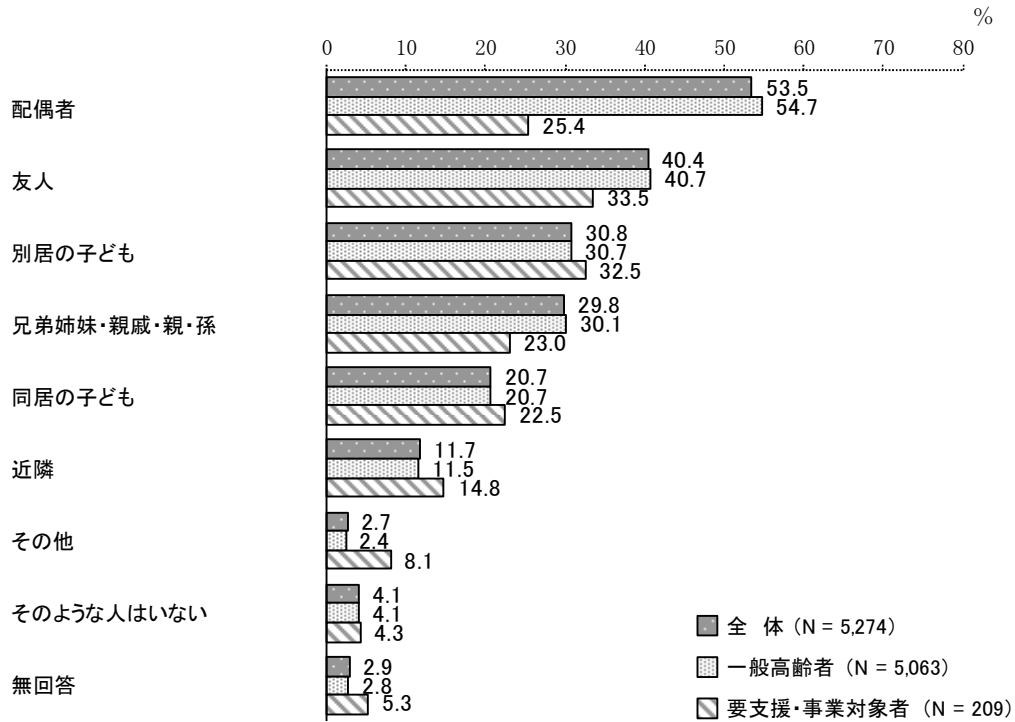
II 調査結果

6 あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問 45 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数選択可）

「配偶者」の割合が53.5%と最も高く、次いで「友人」の割合が40.4%、「別居の子ども」の割合が30.8%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「友人」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。



【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「同居の子ども」の割合が高く、「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
65～69歳	1,601	63.3	18.6	30.0	31.5	10.2	48.8	2.4	4.7	1.3
70～74歳	1,344	58.2	18.6	31.9	31.5	12.8	45.1	2.9	4.0	2.6
75～79歳	1,132	49.5	18.6	31.1	30.0	13.8	37.8	2.6	3.8	3.4
80～84歳	749	43.3	23.9	30.3	26.8	11.2	30.2	2.9	3.9	4.3
85歳以上	446	32.1	35.4	30.0	23.8	8.7	19.7	2.7	3.8	6.3

【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第1圏域、第2圏域、第3圏域で「配偶者」の割合が低くなっています。また、第11圏域、第12圏域で「近隣」の割合が高くなっている一方で、第1圏域で低くなっています。

単位：%

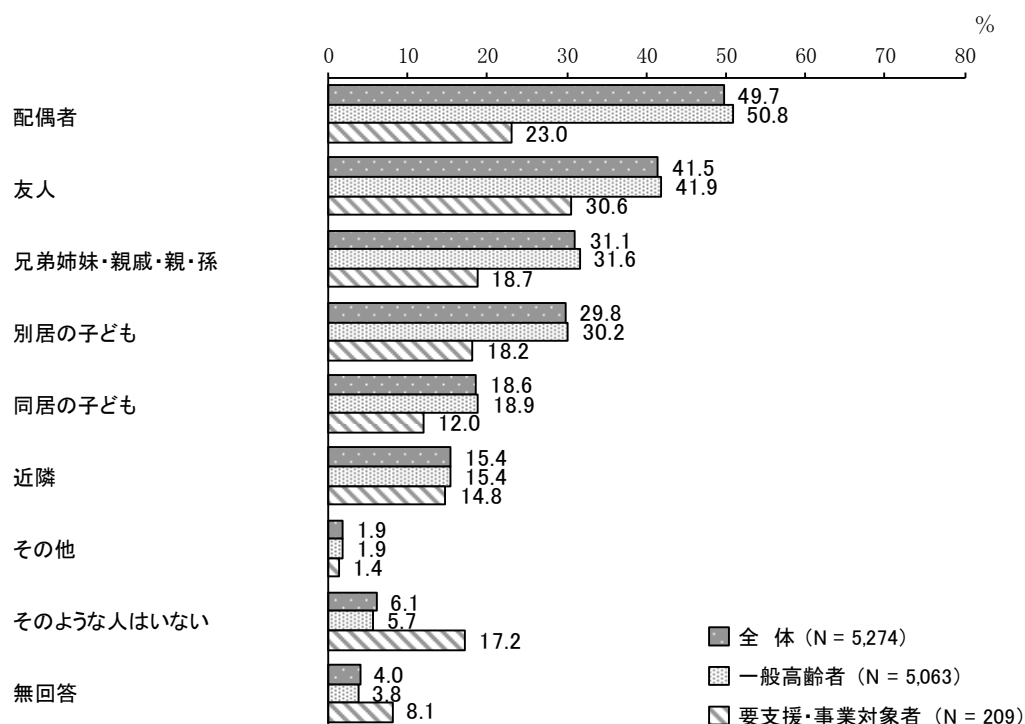
区分	有効回答数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
第1圏域	434	48.6	21.9	32.7	29.7	6.9	43.5	2.8	4.8	3.9
第2圏域	446	46.2	19.3	29.8	29.6	10.5	40.1	3.8	4.7	4.7
第3圏域	425	48.2	20.5	30.6	30.8	12.7	42.4	3.5	4.5	3.8
第4圏域	441	56.7	21.1	30.6	32.2	12.7	36.1	2.5	4.3	2.5
第5圏域	449	49.4	20.7	31.8	26.9	11.4	35.9	3.6	5.1	3.1
第6圏域	427	58.8	19.0	32.1	30.2	14.1	39.1	2.8	2.8	3.0
第7圏域	440	55.2	23.4	30.2	29.5	13.6	41.6	2.3	4.8	3.2
第8圏域	413	53.3	21.1	29.3	28.8	8.5	39.2	2.9	4.8	1.5
第9圏域	455	57.1	20.7	28.1	30.5	8.6	42.9	2.4	3.1	2.0
第10圏域	426	57.0	21.6	33.3	33.1	11.0	45.8	2.6	3.8	1.6
第11圏域	453	57.0	22.7	31.8	28.3	14.6	39.1	2.0	3.3	2.2
第12圏域	463	54.6	17.3	29.2	28.7	15.1	39.5	1.1	3.7	3.7

## II 調査結果

### 問 46 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（複数選択可）

「配偶者」の割合が49.7%と最も高く、次いで「友人」の割合が41.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が31.1%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「友人」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「別居の子ども」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。



#### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「配偶者」「別居の子ども」「友人」の割合が低くなっています。

区分	有効回答数（件）	単位：%								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
65～69歳	1,601	59.3	19.6	33.4	33.8	14.2	49.9	2.1	5.1	1.9
70～74歳	1,344	55.3	18.8	32.6	33.9	16.6	45.8	2.2	4.0	2.9
75～79歳	1,132	46.1	17.0	28.1	29.9	16.8	39.5	1.6	6.4	4.6
80～84歳	749	37.9	17.8	24.2	26.8	15.1	30.7	1.9	8.9	5.7
85歳以上	446	27.8	20.2	21.7	23.1	12.6	21.3	0.7	11.2	10.5

【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第2圏域、第3圏域で「配偶者」の割合が低く、第12圏域で「同居の子ども」の割合が低くなっています。

単位：%

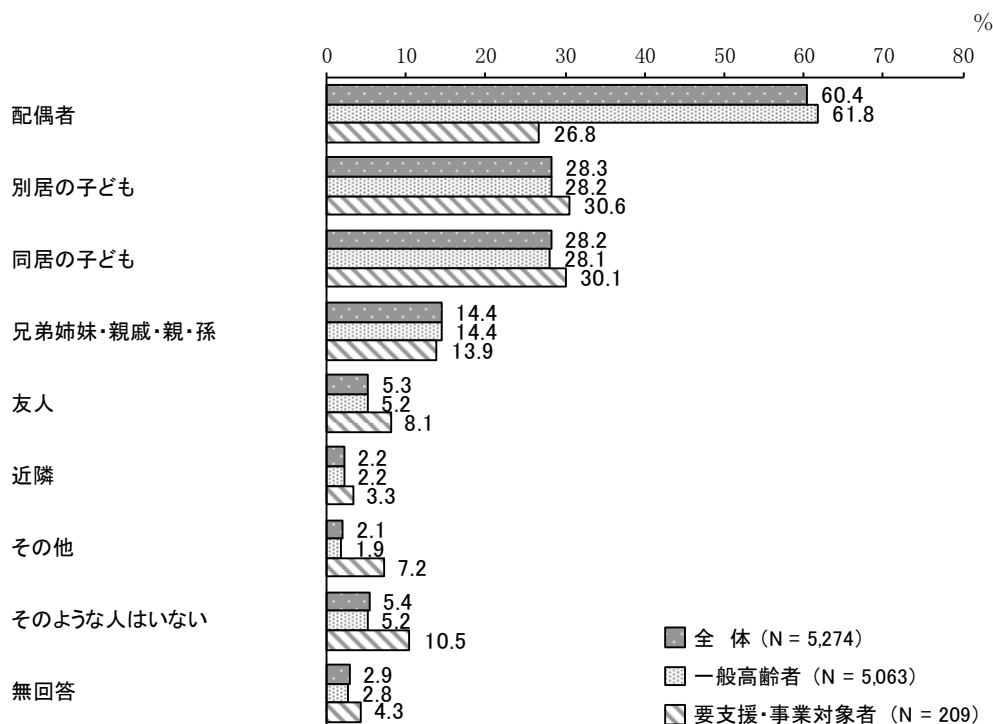
区分	有効回答数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
第1圏域	434	46.5	20.0	30.4	31.3	13.1	44.2	2.3	8.5	4.4
第2圏域	446	43.0	18.2	26.2	30.9	12.3	40.6	1.6	7.0	6.1
第3圏域	425	44.7	14.4	31.8	29.6	16.9	43.5	3.3	6.4	6.1
第4圏域	441	50.1	17.9	27.9	32.7	15.6	36.5	2.0	7.5	5.0
第5圏域	449	45.2	19.6	27.2	28.7	14.5	37.9	2.4	7.1	3.3
第6圏域	427	53.9	18.5	28.1	31.6	16.4	41.7	1.6	3.3	4.7
第7圏域	440	53.6	19.1	29.5	30.5	18.2	41.6	1.4	6.4	3.0
第8圏域	413	51.8	20.1	31.2	31.7	12.6	43.1	1.0	6.1	2.2
第9圏域	455	53.8	21.3	30.3	34.7	14.3	43.5	2.0	4.8	3.3
第10圏域	426	50.9	19.7	33.8	32.2	14.8	45.8	2.6	5.6	2.8
第11圏域	453	53.4	20.5	32.0	30.9	17.0	38.6	1.3	5.1	3.3
第12圏域	463	49.7	13.8	28.7	28.3	18.4	41.3	0.9	6.0	3.9

## II 調査結果

### 問 47 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数選択可）

「配偶者」の割合が60.4%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が28.3%、「同居の子ども」の割合が28.2%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「配偶者」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。



#### 【年齢階級別】

年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれて、「同居の子ども」の割合が高く、「配偶者」の割合が低くなっています。

区分	有効回答数 (件)	単位：%								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
65～69歳	1,601	71.1	24.9	24.6	14.7	1.5	5.7	2.2	5.8	1.7
70～74歳	1,344	66.9	25.6	28.8	14.3	2.4	6.1	1.8	5.3	2.7
75～79歳	1,132	56.3	26.4	30.9	15.2	2.8	5.8	1.4	5.3	3.9
80～84歳	749	47.9	33.4	29.2	12.4	2.7	4.0	2.5	6.0	2.7
85歳以上	446	33.6	43.9	31.4	14.6	1.8	2.7	3.4	3.6	5.6

【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第2圏域、第3圏域で「配偶者」の割合が低く、第12圏域で「同居の子ども」の割合が低くなっています。

単位：%

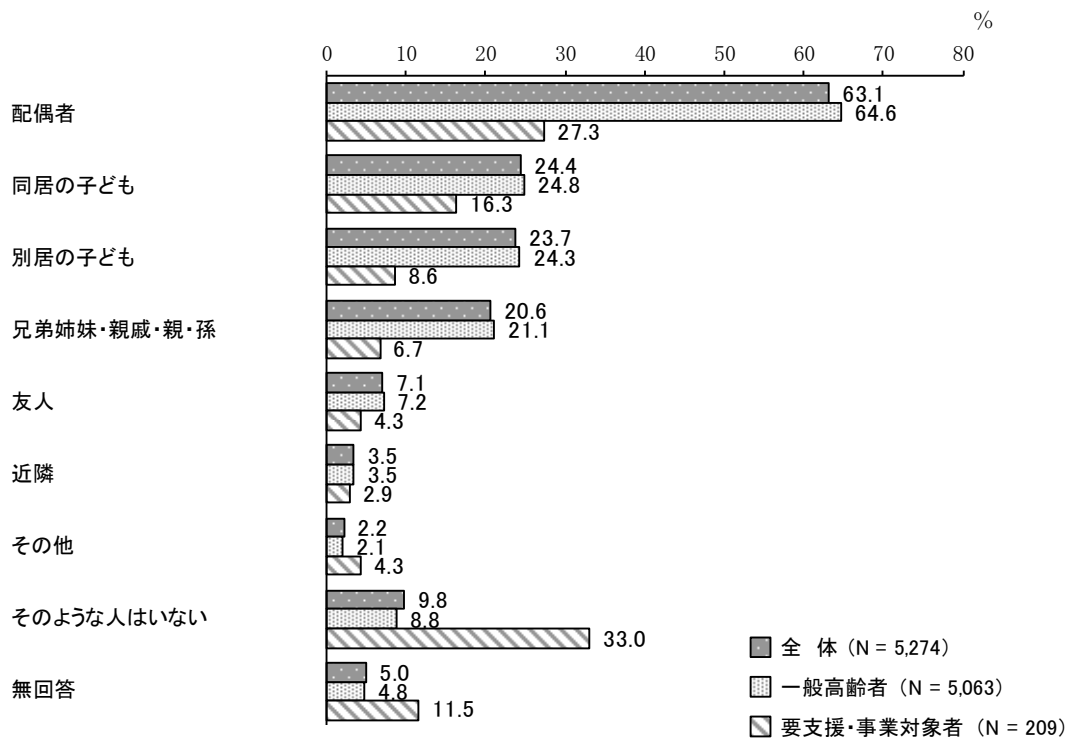
区分	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
第1圏域	434	55.8	31.1	28.6	14.1	0.9	5.8	1.8	6.2	2.8
第2圏域	446	51.1	24.7	24.7	18.6	3.1	7.2	2.9	6.5	4.5
第3圏域	425	52.5	28.2	28.2	15.1	3.1	6.1	2.1	6.8	4.5
第4圏域	441	60.8	27.7	27.9	15.9	2.5	4.3	2.0	3.4	2.7
第5圏域	449	57.2	27.8	29.2	14.5	1.8	4.9	2.4	6.7	3.6
第6圏域	427	66.5	26.7	32.3	14.8	2.1	5.6	1.2	4.0	1.9
第7圏域	440	66.1	30.9	25.9	13.6	3.0	4.3	2.5	5.9	3.2
第8圏域	413	58.6	32.4	29.8	13.8	1.2	4.6	1.9	6.1	1.5
第9圏域	455	64.8	28.4	27.5	13.2	1.8	5.5	2.4	5.1	2.4
第10圏域	426	65.3	30.8	28.4	13.8	2.6	4.7	2.3	5.6	2.3
第11圏域	453	63.1	28.3	29.4	12.4	1.8	6.4	1.3	3.8	3.1
第12圏域	463	62.4	22.5	27.6	13.0	2.6	4.5	1.9	5.0	2.2

## II 調査結果

### 問 48 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人（複数選択可）

「配偶者」の割合が63.1%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が24.4%、「別居の子ども」の割合が23.7%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。



#### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が低くなっています。

区分	有効回答数 (件)	単位：%								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
65～69歳	1,601	72.8	27.4	29.8	27.5	2.7	8.5	2.4	6.9	2.2
70～74歳	1,344	71.1	23.7	27.7	21.1	4.2	8.3	1.6	6.8	3.3
75～79歳	1,132	60.6	21.3	21.2	18.2	4.8	7.3	1.8	9.1	6.3
80～84歳	749	49.1	25.2	15.2	15.5	2.7	4.3	1.9	13.1	7.6
85歳以上	446	34.1	22.6	10.3	8.7	1.8	2.9	4.7	25.3	12.8

【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第2圏域、第3圏域で「配偶者」の割合が低く、第12圏域で「同居の子ども」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
第1圏域	434	59.0	22.8	23.0	16.6	2.5	6.2	2.5	12.0	6.7
第2圏域	446	55.4	21.1	20.4	22.6	5.4	7.2	2.9	11.7	7.4
第3圏域	425	56.7	22.6	22.6	21.6	3.3	7.8	2.6	7.8	7.5
第4圏域	441	63.0	22.2	22.0	20.9	2.9	6.6	2.3	9.5	4.8
第5圏域	449	60.6	23.4	22.7	18.0	3.3	6.0	2.2	12.7	3.8
第6圏域	427	67.7	25.1	24.8	23.2	4.7	6.6	1.9	6.6	4.0
第7圏域	440	67.0	26.6	24.8	21.8	3.0	7.7	3.0	10.7	5.0
第8圏域	413	63.9	30.3	25.4	18.4	3.6	7.7	1.0	8.5	3.4
第9圏域	455	67.0	29.0	25.1	23.3	2.4	7.7	1.8	8.1	3.7
第10圏域	426	68.1	27.0	26.5	21.1	3.3	8.7	2.3	8.0	4.9
第11圏域	453	65.1	24.9	23.2	19.4	2.6	6.2	1.5	10.6	4.4
第12圏域	463	63.5	19.0	24.0	19.7	4.3	7.3	2.4	10.8	4.8

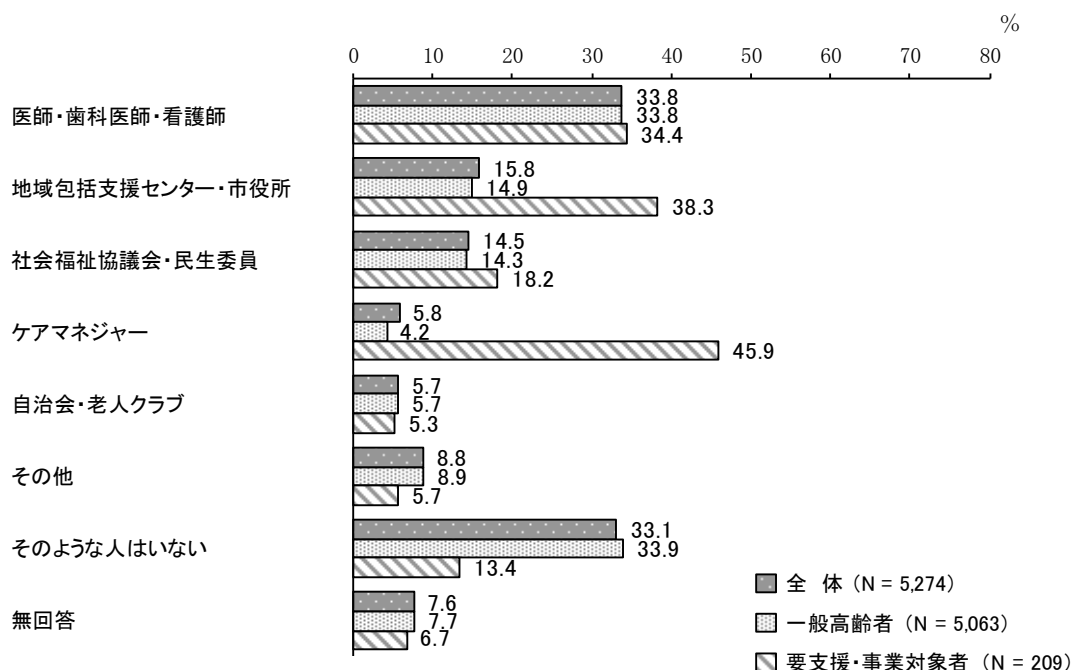


## II 調査結果

### 問 49 家族や友人・知人以外で、あなたが何かあったときに相談する人（複数選択可）

「医師・歯科医師・看護師」の割合が33.8%と最も高く、次いで「そのような人はいない」の割合が33.1%、「地域包括支援センター・市役所」の割合が15.8%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「地域包括支援センター・市役所」「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。



#### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「自治会・老人クラブ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	自治会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
65～69歳	1,601	4.1	9.3	4.4	31.5	14.9	11.2	41.4	4.4
70～74歳	1,344	5.1	11.1	4.2	32.0	15.1	9.3	36.5	6.6
75～79歳	1,132	5.9	20.6	6.4	33.4	16.6	7.7	28.5	9.5
80～84歳	749	7.5	19.8	8.3	40.3	17.9	6.4	23.2	9.6
85歳以上	446	9.4	18.8	10.3	37.7	15.2	5.6	21.3	14.3

【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第1圏域、第10圏域で「医師・歯科医師・看護師」の割合が高くなっています。また、第12圏域で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：%

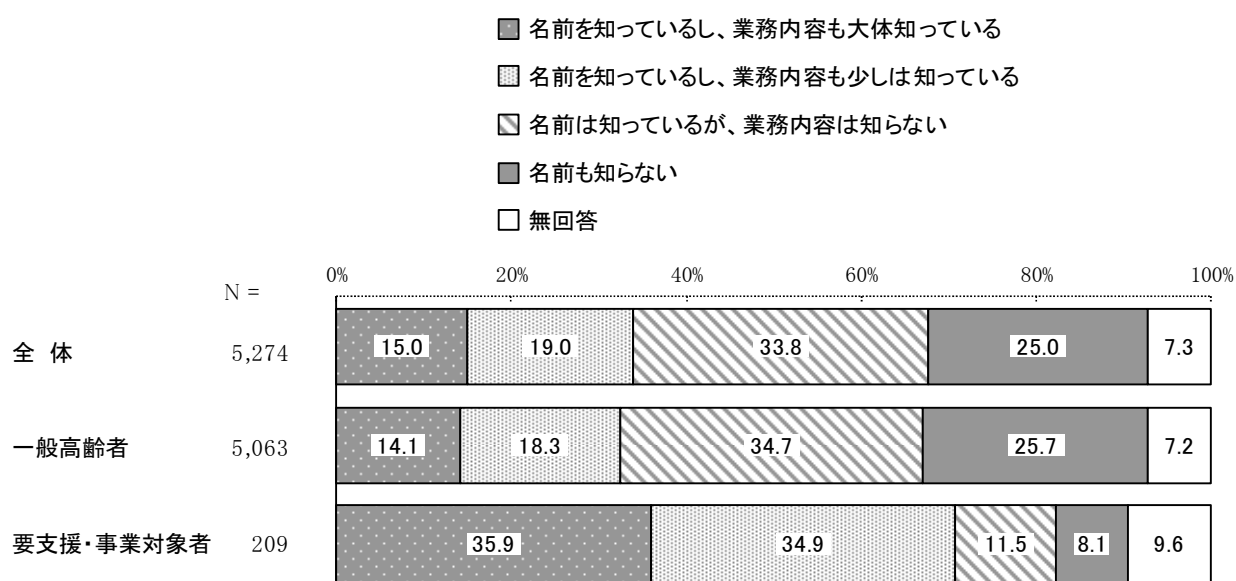
区分	有効回答数 (件)	自治会・老人クラブ	民生福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター	その他	そのような人はいない	無回答
第1圏域	434	4.8	13.4	7.8	38.2	17.5	10.1	29.3	6.7
第2圏域	446	4.7	11.4	5.4	34.1	15.9	8.7	32.3	9.9
第3圏域	425	4.0	16.5	6.8	30.4	14.8	7.8	35.3	9.4
第4圏域	441	4.8	13.4	5.9	34.0	18.4	10.7	32.7	7.0
第5圏域	449	4.7	15.4	4.9	30.3	16.3	8.2	35.0	8.0
第6圏域	427	4.7	18.0	6.3	32.1	15.9	8.2	32.1	7.7
第7圏域	440	6.8	17.3	5.2	33.9	15.2	7.5	31.6	9.5
第8圏域	413	6.5	13.6	5.1	34.4	15.3	10.7	34.9	4.6
第9圏域	455	7.0	11.2	7.3	34.5	14.9	7.9	33.6	7.3
第10圏域	426	3.8	13.4	4.7	37.6	16.2	9.4	30.0	6.8
第11圏域	453	7.9	17.0	5.5	34.0	13.7	8.2	33.3	7.9
第12圏域	463	7.8	13.4	5.2	32.6	15.3	8.6	37.1	6.7

## II 調査結果

### 問 50 地域包括支援センターを知っていますか（1つを選択）

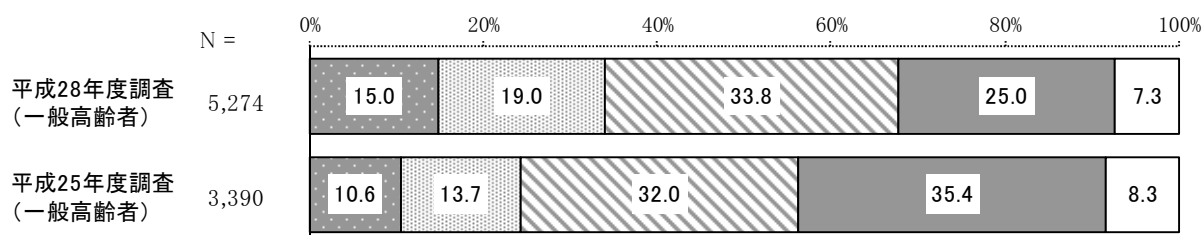
「名前は知っているが、業務内容は知らない」の割合が33.8%と最も高く、次いで「名前も知らない」の割合が25.0%、「名前を知っているし、業務内容も少しは知っている」の割合が19.0%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「名前は知っているが、業務内容は知らない」「名前も知らない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「名前を知っているし、業務内容も大体知っている」「名前を知っているし、業務内容も少しは知っている」の割合が高くなっています。



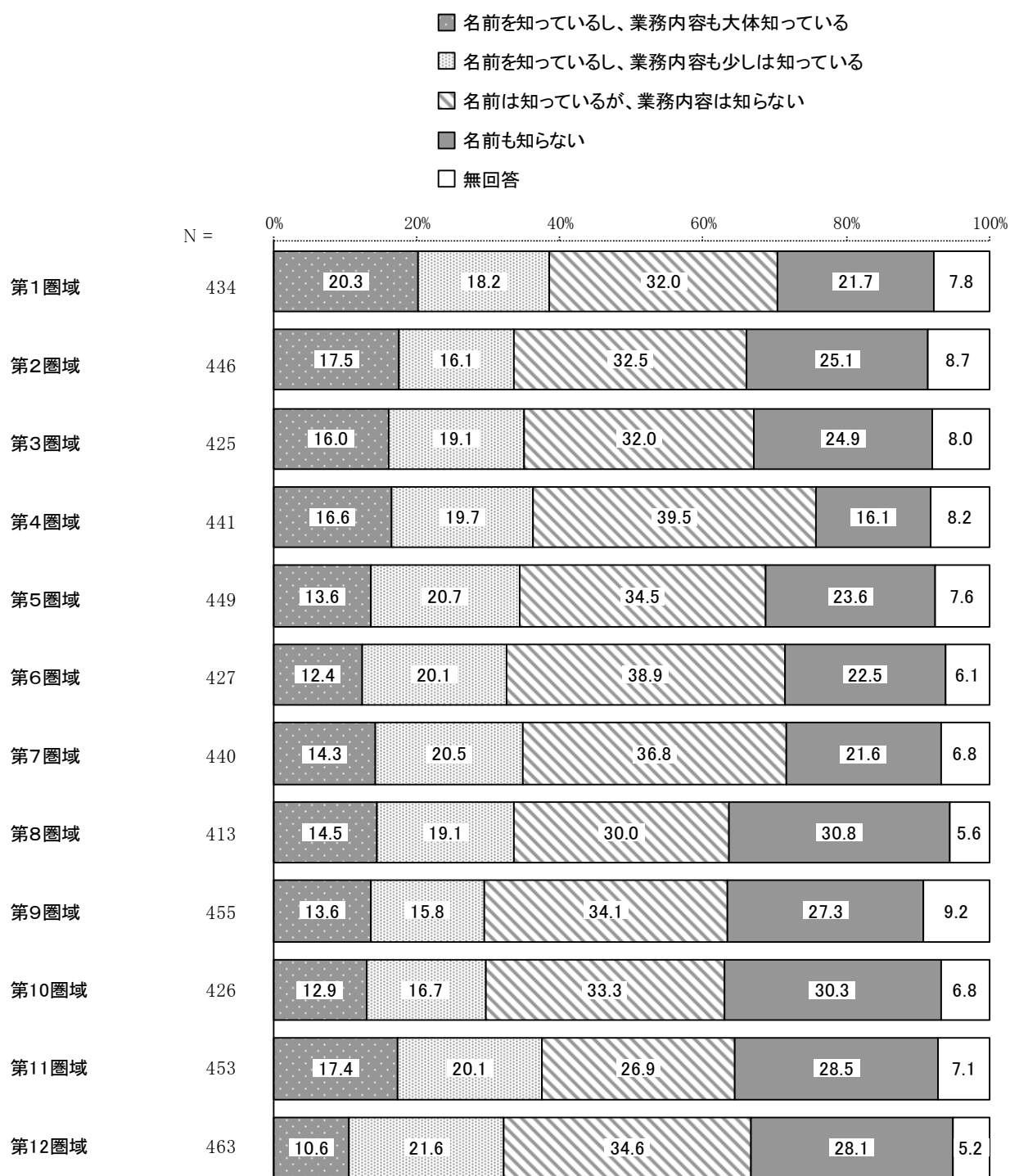
#### 【前回比較】

平成25年度調査と比べ、「名前も知らない」の割合が10.4ポイント低くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第1圏域、第4圏域、第5圏域、第6圏域、第7圏域で「名前を知っているし、業務内容も大体知っている」と「名前を知っているし、業務内容も少しは知っている」、「名前は知っているが、業務内容は知らない」を合わせた“名前を知っている”の割合が高くなっています。一方で第8圏域、第9圏域、第10圏域、第11圏域、第12圏域で「名前も知らない」の割合が高くなっています。

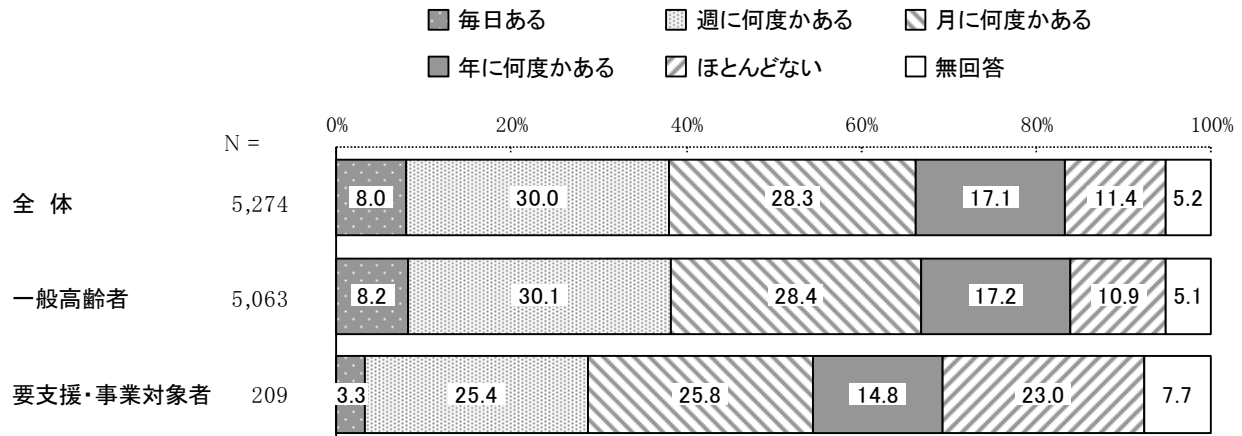


## II 調査結果

### 問 51 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つを選択）

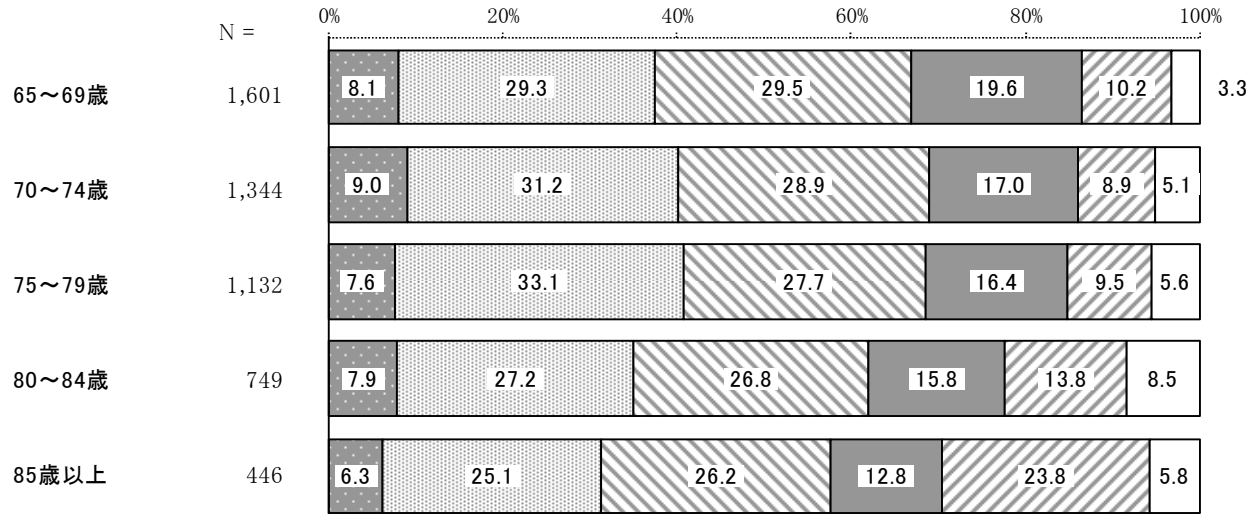
「週に何度かある」の割合が30.0%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が28.3%、「年に何度かある」の割合が17.1%となっています。

一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「ほとんどない」の割合が高くなっています。



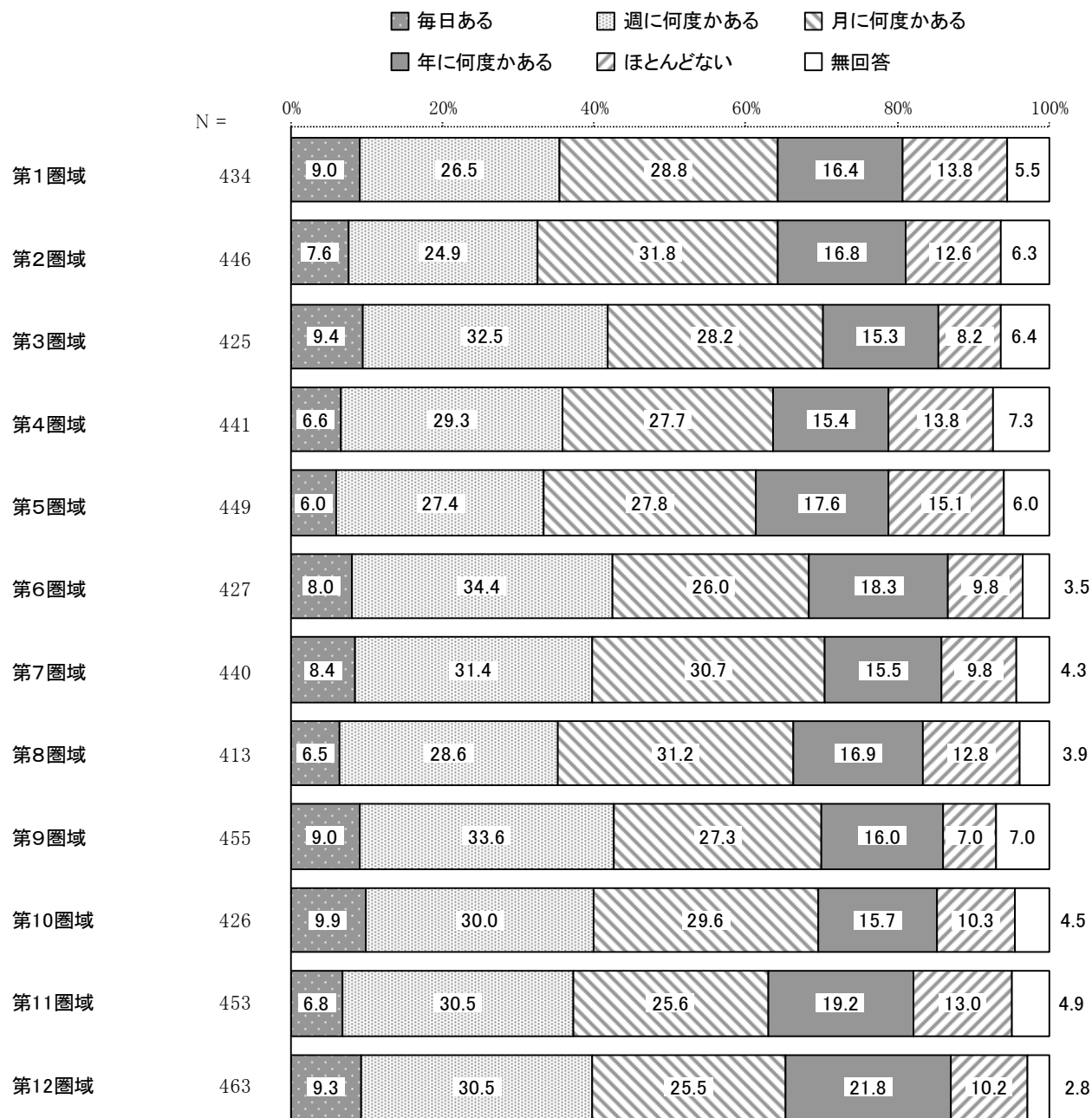
#### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「ほとんどない」の割合が高くなる傾向にあります。



【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第3圏域、第6圏域、第9圏域で「毎日ある」と「週に何度かある」を合わせた割合が高くなっています。一方で第6圏域、第11圏域、第12圏域で「ほとんどない」の割合が高くなっています。

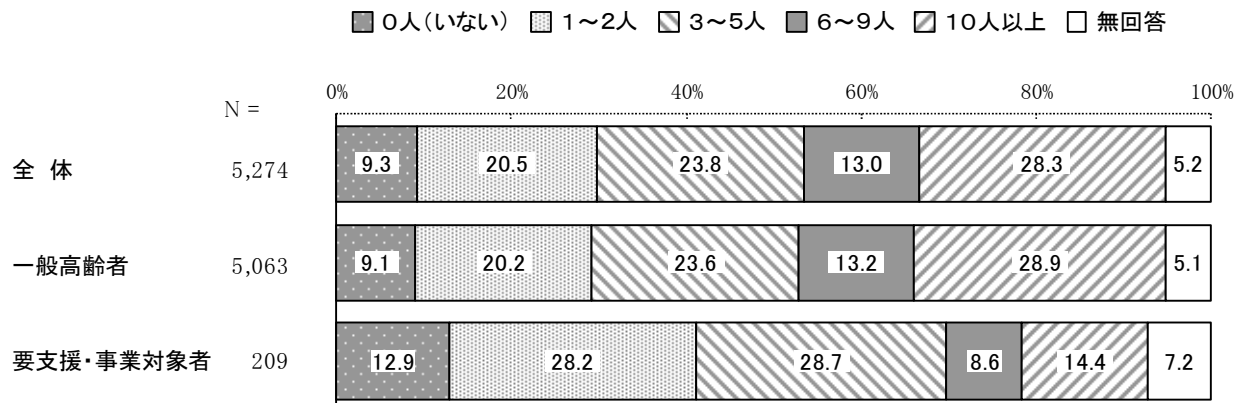


## II 調査結果

問 52 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つを選択)

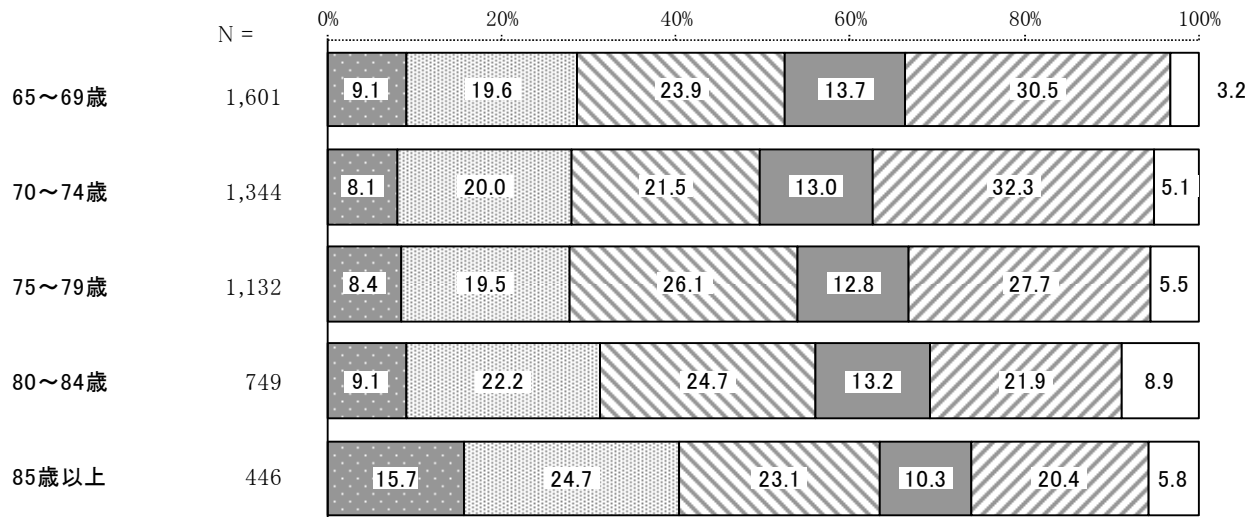
「10人以上」の割合が28.3%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が23.8%、「1～2人」の割合が20.5%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「10人以上」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「1～2人」「3～5人」の割合が高くなっています。



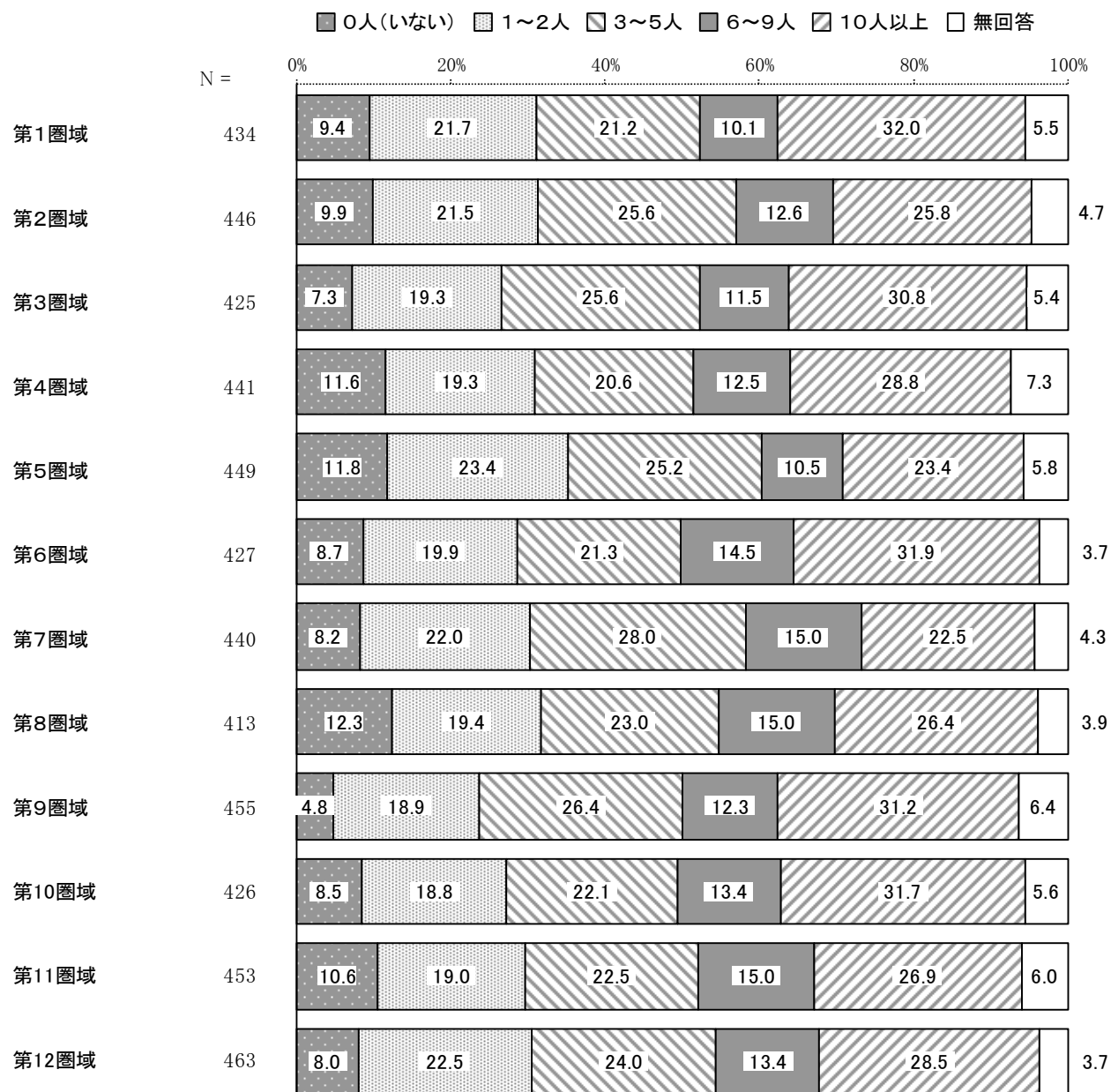
### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、他に比べ、85歳以上で「0人(いない)」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第1圏域、第3圏域、第6圏域、第9圏域、第10圏域で「10人以上」の割合が高くなっています。一方で、第4圏域、第5圏域、第8圏域、第11圏域で「0人(いない)」の割合が高くなっています。



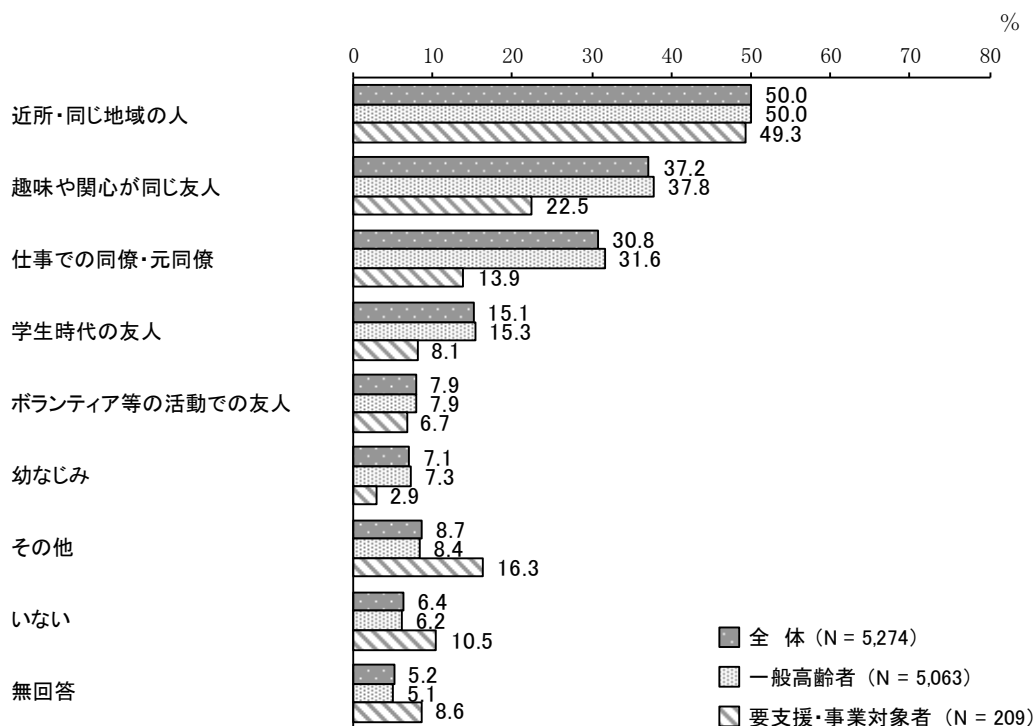


## II 調査結果

### 問 53 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（複数選択可）

「近所・同じ地域の人」の割合が50.0%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が37.2%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が30.8%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「趣味や関心が同じ友人」「仕事での同僚・元同僚」「学生時代の友人」の割合が高くなっています。



#### 【年齢階級別】

年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「近所・同じ地域の人」の割合が高くなっています。

単位：%

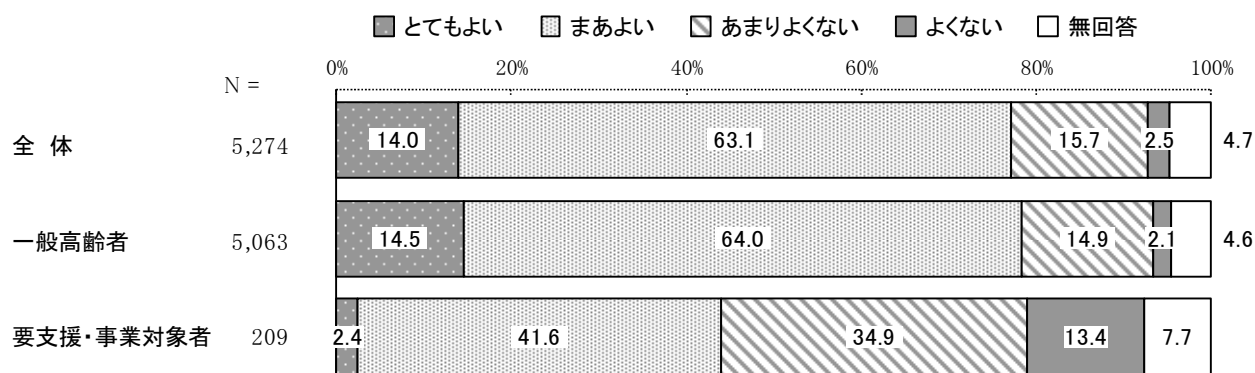
区分	有効回答数（件）	近所・同じ地域の	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の	その他	いない	無回答
65～69歳	1,601	43.6	8.5	18.4	44.2	38.3	8.6	9.6	6.1	3.2
70～74歳	1,344	50.2	7.1	16.0	33.6	39.7	8.8	9.4	4.8	4.6
75～79歳	1,132	52.9	7.2	14.3	24.9	40.0	8.6	7.2	6.2	5.5
80～84歳	749	53.0	6.0	12.0	17.5	34.0	5.6	7.5	6.9	8.8
85歳以上	446	59.9	4.3	7.2	12.3	23.3	4.7	9.4	11.0	7.4

## 7 健康について

### 問 54 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つを選択）

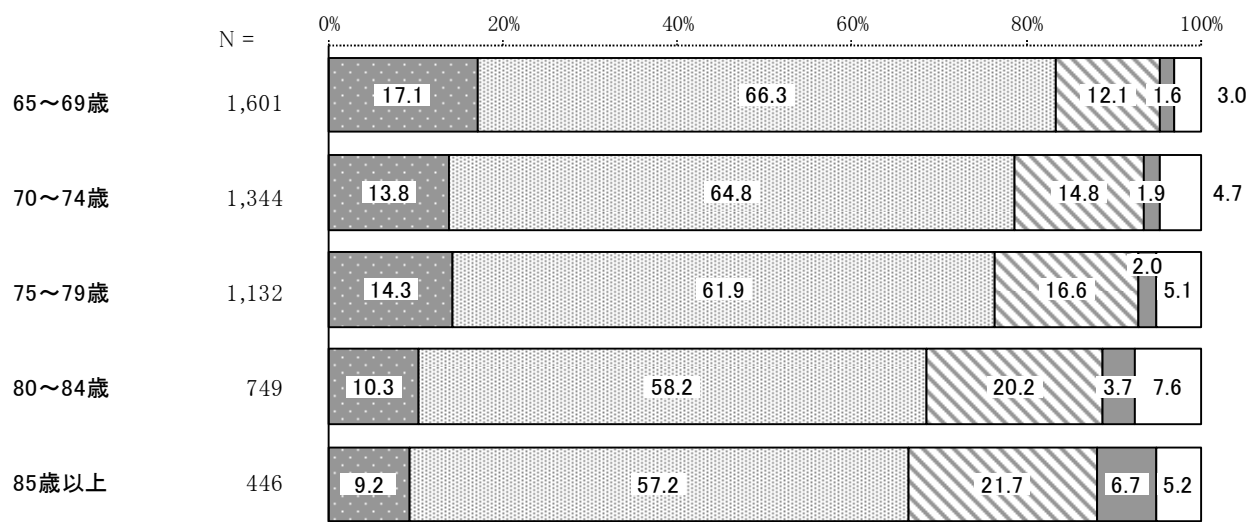
「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“健康状態がよい人”の割合が77.1%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた“健康状態がよくない人”の割合が18.2%となっています。

“健康状態がよい人”の割合は、一般高齢者で78.5%、要支援・事業対象者で44.0%となっており、34.5ポイントの差となっています。また、“健康状態がよくない人”の割合は、一般高齢者で17.0%、要支援・事業対象者で48.3%となっており、31.3ポイントの差となっています。



#### 【年齢階級別】

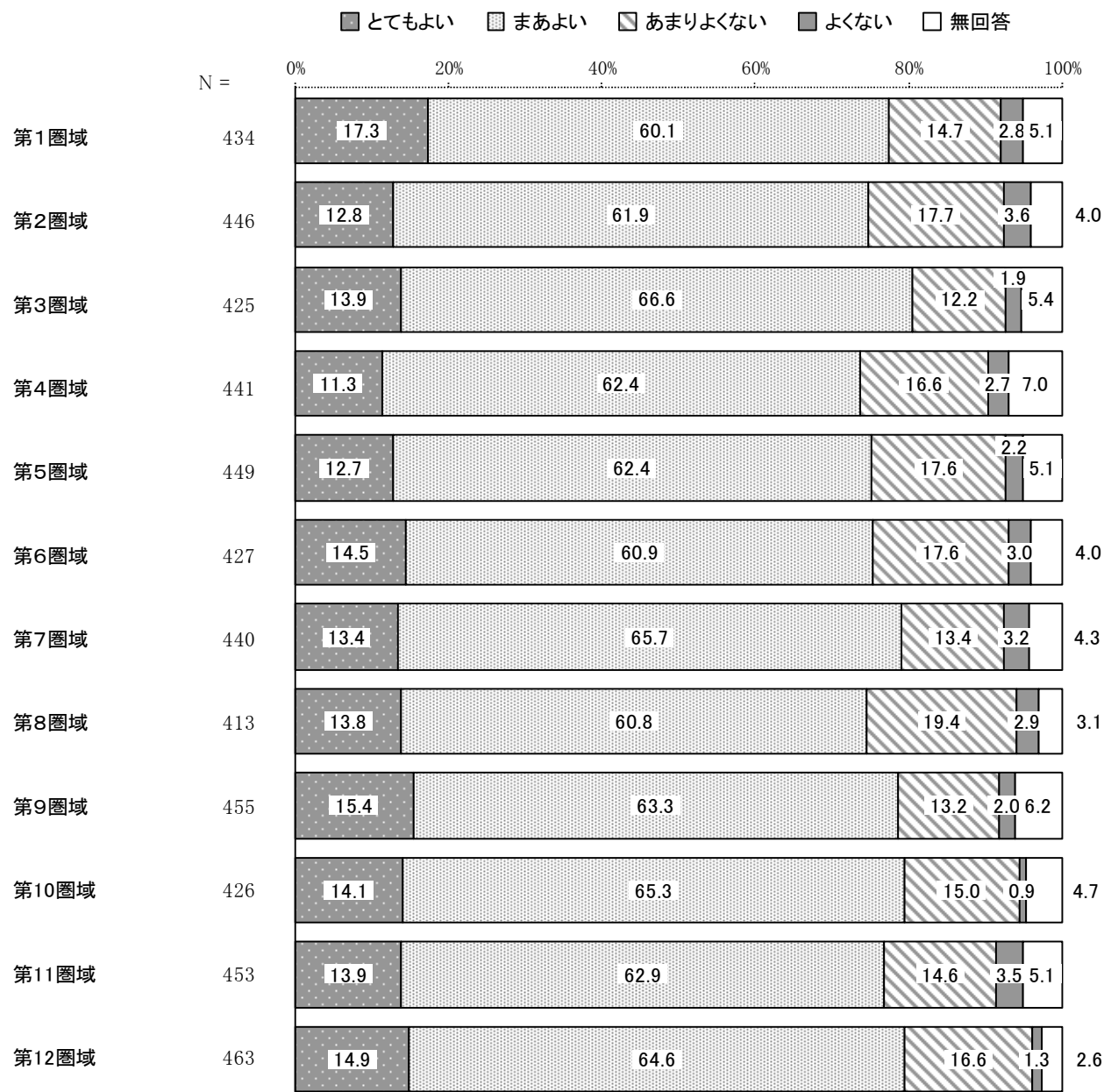
年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて、“健康状態がよくない人”の割合が高くなっています。



## II 調査結果

### 【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第3圏域、第7圏域、第9圏域、第10圏域、第12圏域で“健康状態がよい人”の割合が高くなっています。一方で第2圏域、第6圏域、第8圏域で“健康状態がよくない人”の割合が高くなっています。

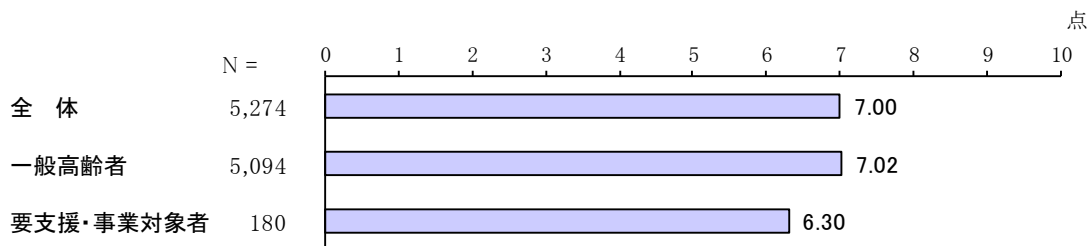


問 55 あなたは、現在どの程度幸せですか（1つを選択）

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とします。）

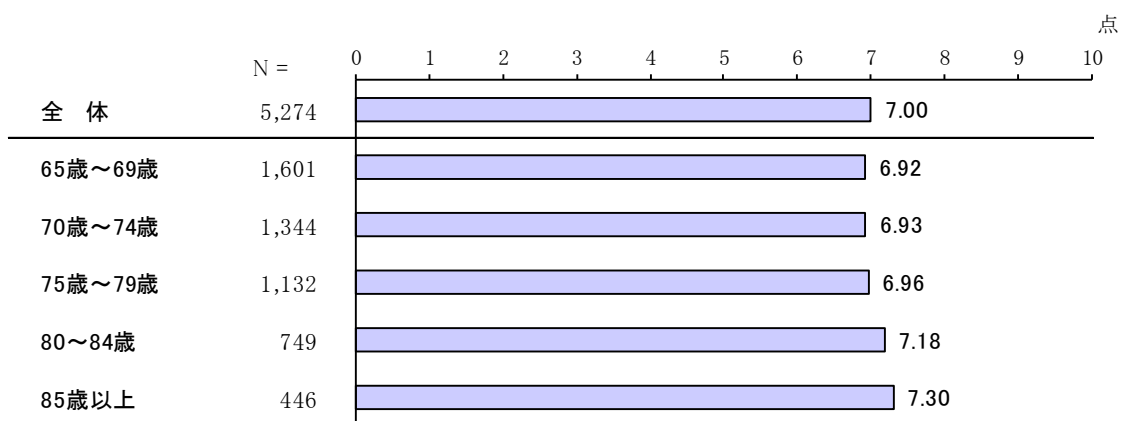
全体では、平均点が7.00となっています。

一般高齢者で7.02、要支援・事業対象者で6.30と、0.72の差となっています。



【年齢階級別】

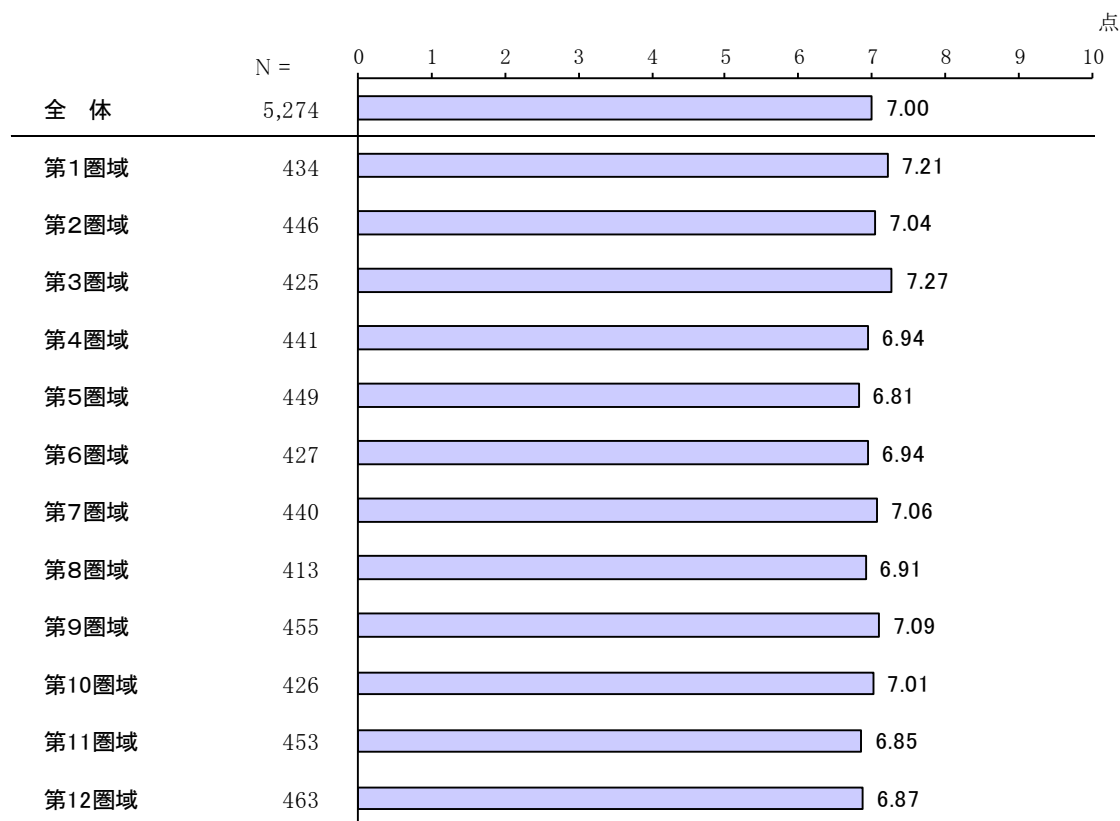
年齢階級別で見ると、年齢が高くなるにつれて平均点が高くなっています。



## II 調査結果

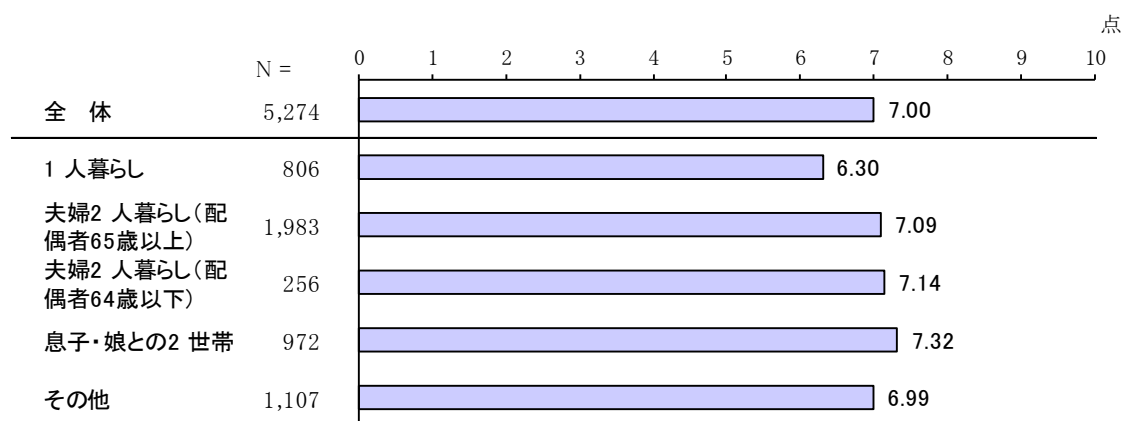
### 【圏域別】

圏域別でみると、他に比べ、第1圏域、第3圏域で平均点が高くなっています。



### 【問1とのクロス集計 家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、息子・娘との2世帯で平均点が高くなっています。



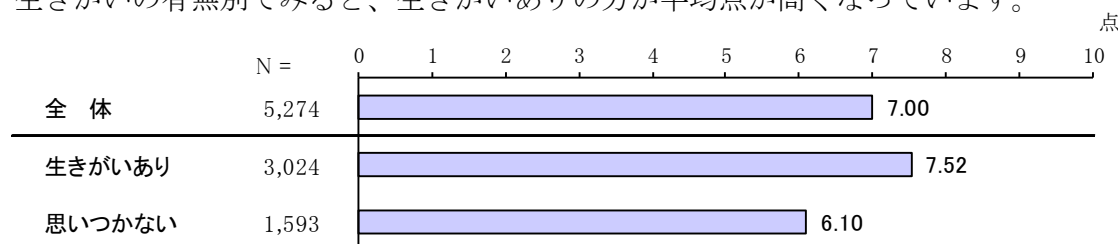
【問 38 とのクロス集計 趣味の有無別】

趣味の有無別でみると、趣味ありの方が平均点が高くなっています。



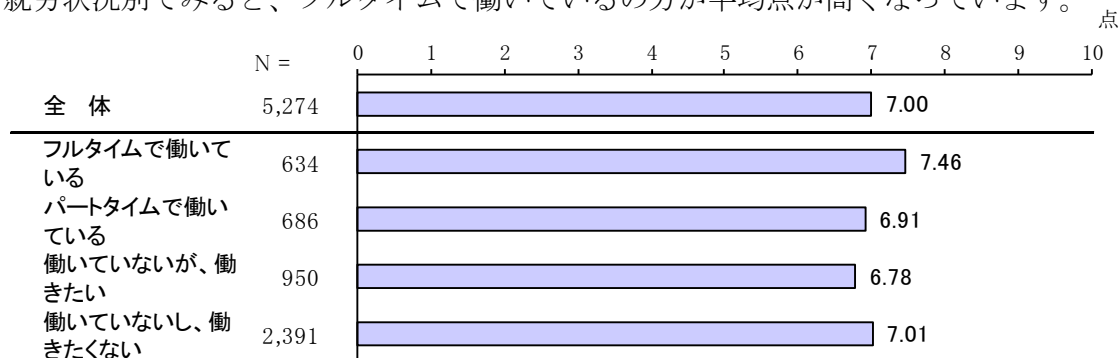
【問 39 とのクロス集計 生きがいの有無別】

生きがいの有無別でみると、生きがいありの方が平均点が高くなっています。



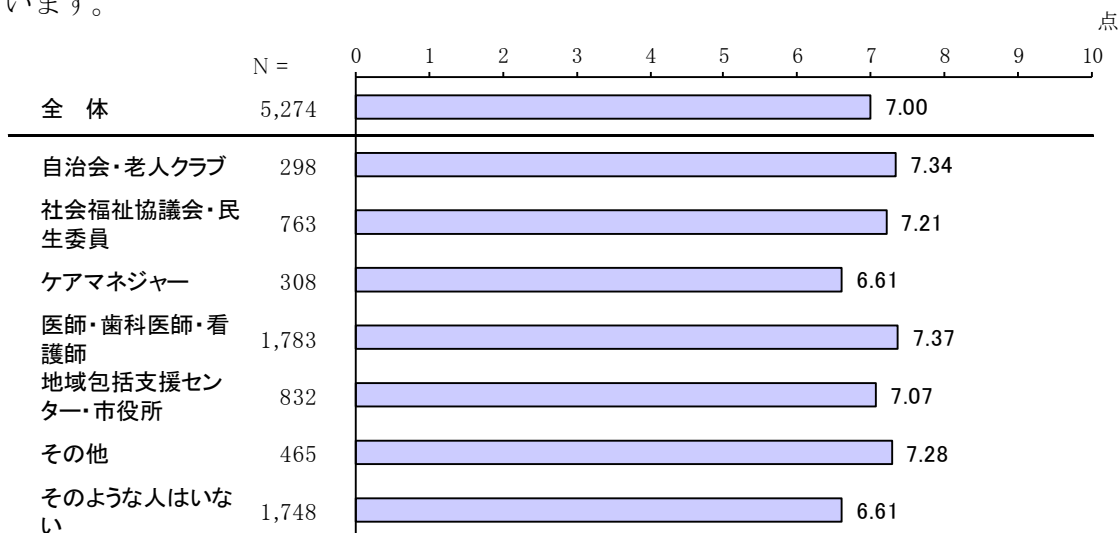
【問 40 とのクロス集計 就労状況別】

就労状況別でみると、フルタイムで働いているの方が平均点が高くなっています。



【問 49 とのクロス集計 相談者の有無別】

相談者の有無別でみると、自治会・老人クラブ、医師・歯科医師・看護師で平均点が高くなっています。

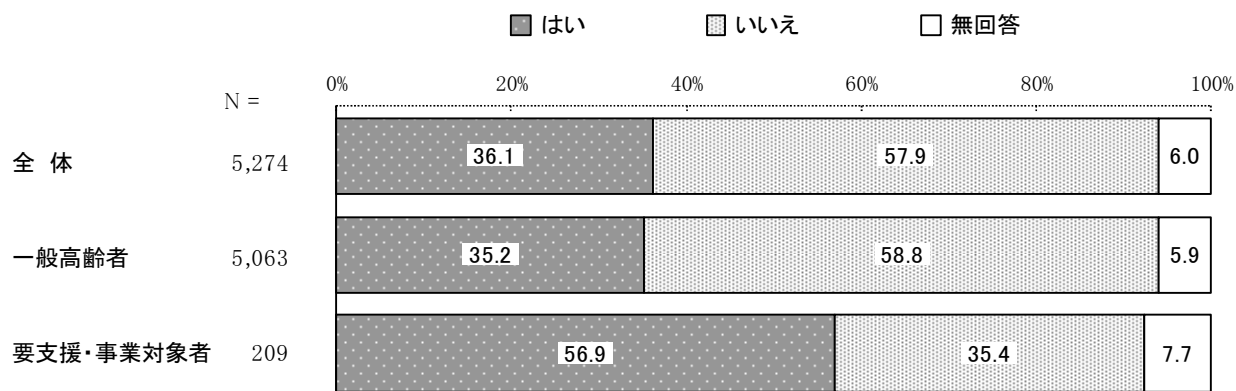


## II 調査結果

問 56 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つを選択）

「はい」の割合が36.1%、「いいえ」の割合が57.9%となっています。

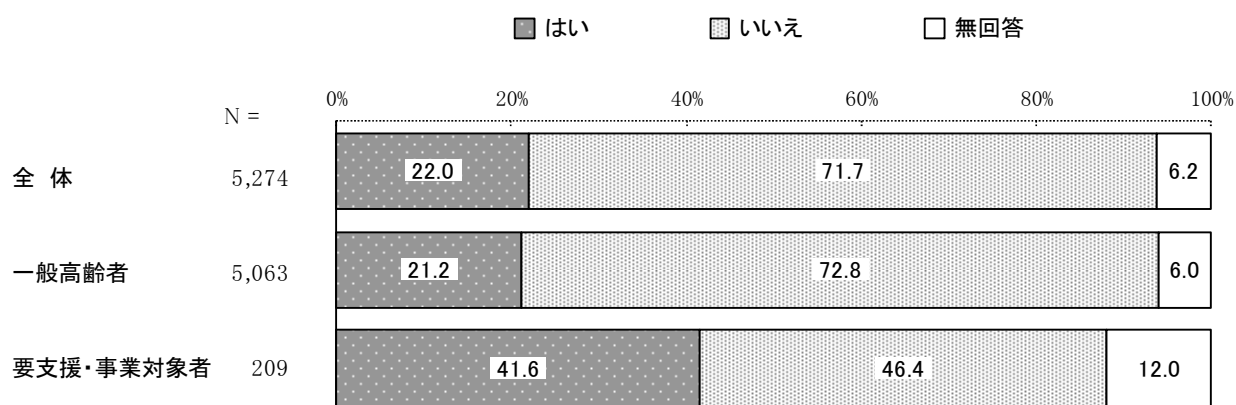
「はい」の割合は、一般高齢者で35.2%、要支援・事業対象者で56.9%となっており、21.7ポイントの差となっています。



問 57 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つを選択）

「はい」の割合が22.0%、「いいえ」の割合が71.7%となっています。

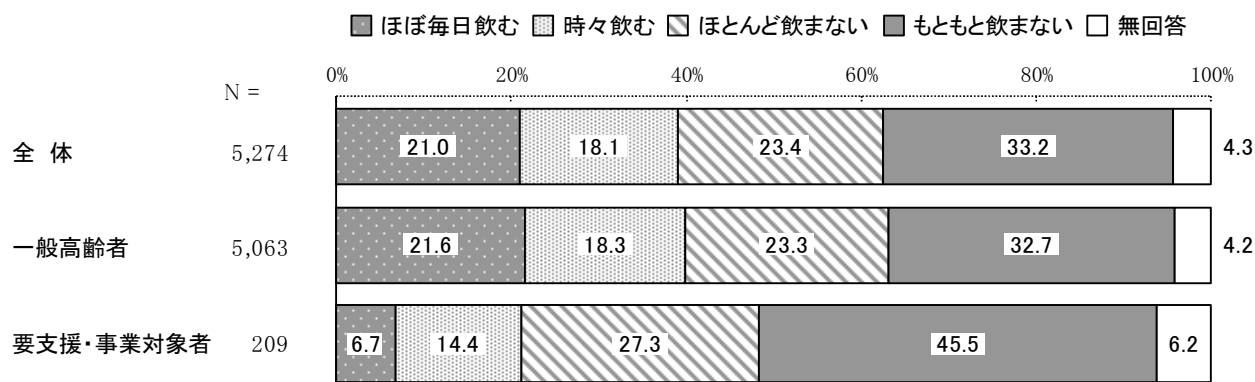
「はい」の割合は、一般高齢者で21.2%、要支援・事業対象者で41.6%となっており、20.4ポイントの差となっています。



**問 58 お酒は飲みますか（1つを選択）**

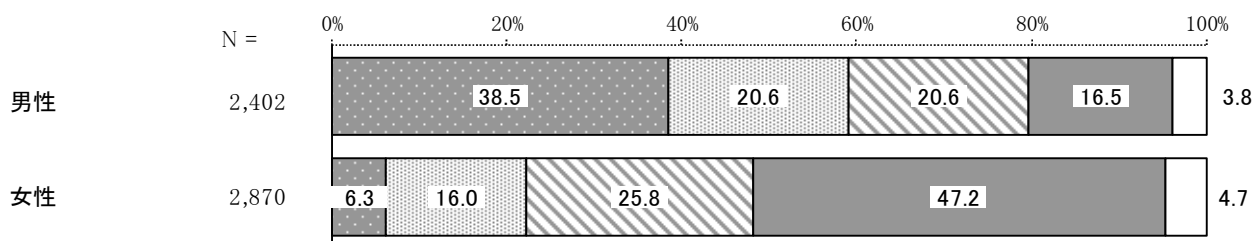
「もともと飲まない」の割合が33.2%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が23.4%、「ほぼ毎日飲む」の割合が21.0%となっています。

「ほぼ毎日飲む」の割合は、一般高齢者で21.6%、要支援・事業対象者で6.7%となっており、14.9ポイントの差となっています。



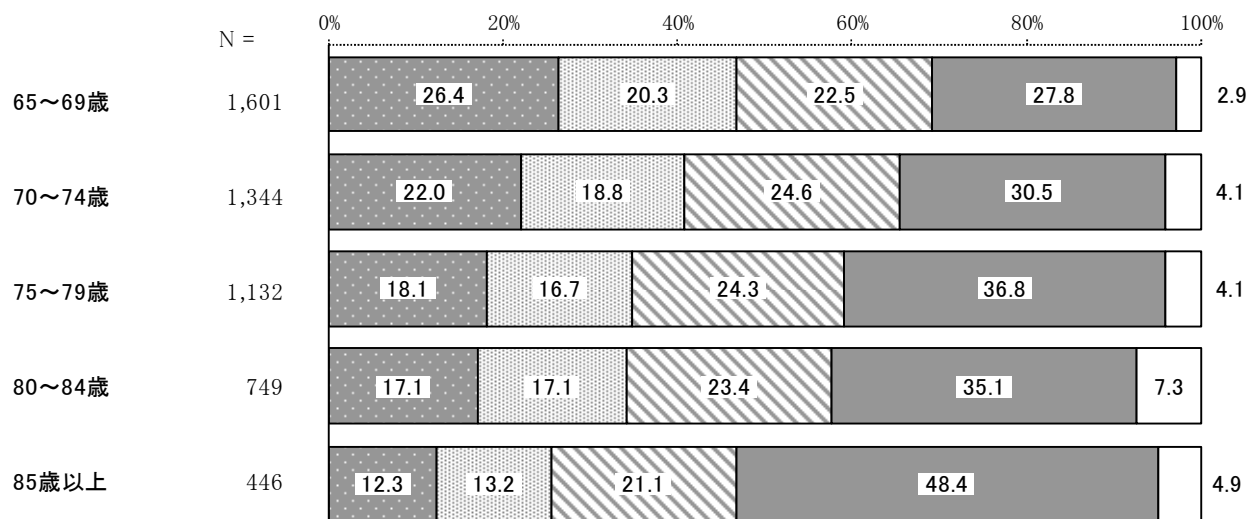
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「ほぼ毎日飲む」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「もともと飲まない」の割合が高くなっています。



**【年齢階級別】**

年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれて、「もともと飲まない」の割合が高くなる傾向にあります。



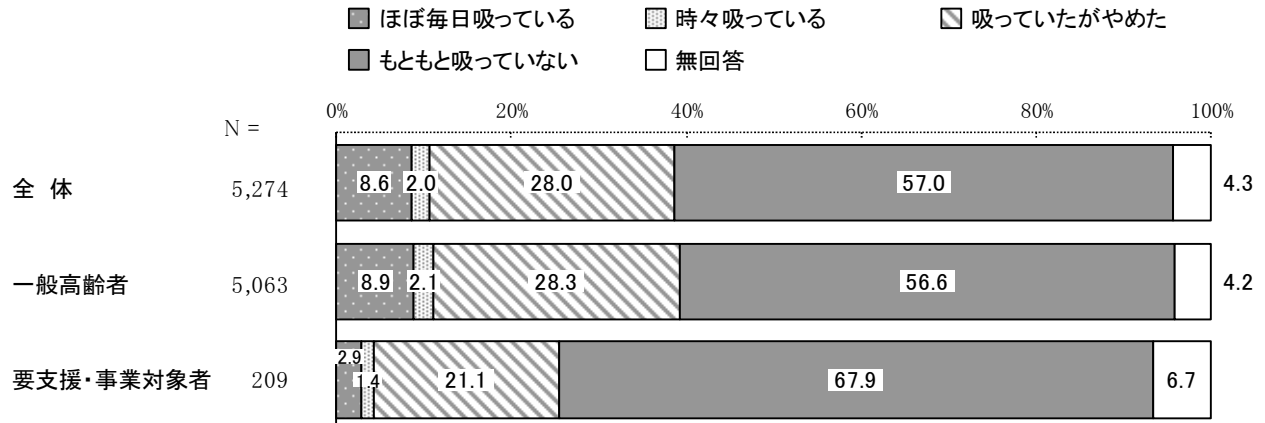


## II 調査結果

### 問 59 タバコは吸っていますか（1つを選択）

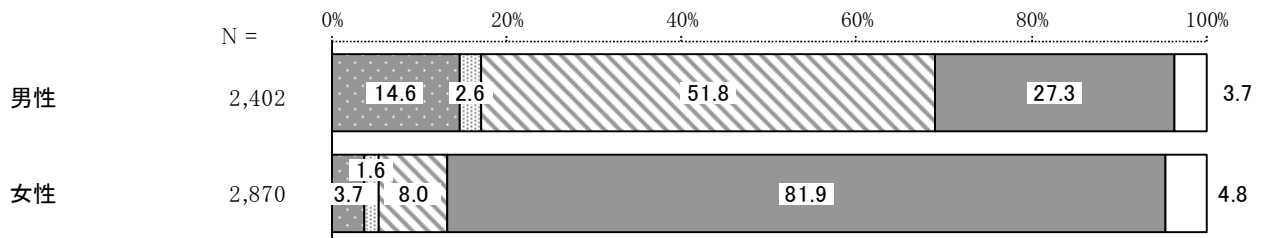
「もともと吸っていない」の割合が57.0%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が28.0%となっています。

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた“吸っている人”の割合は、一般高齢者で11.0%、要支援・事業対象者で4.3%となっており、6.7ポイントの差となっています。



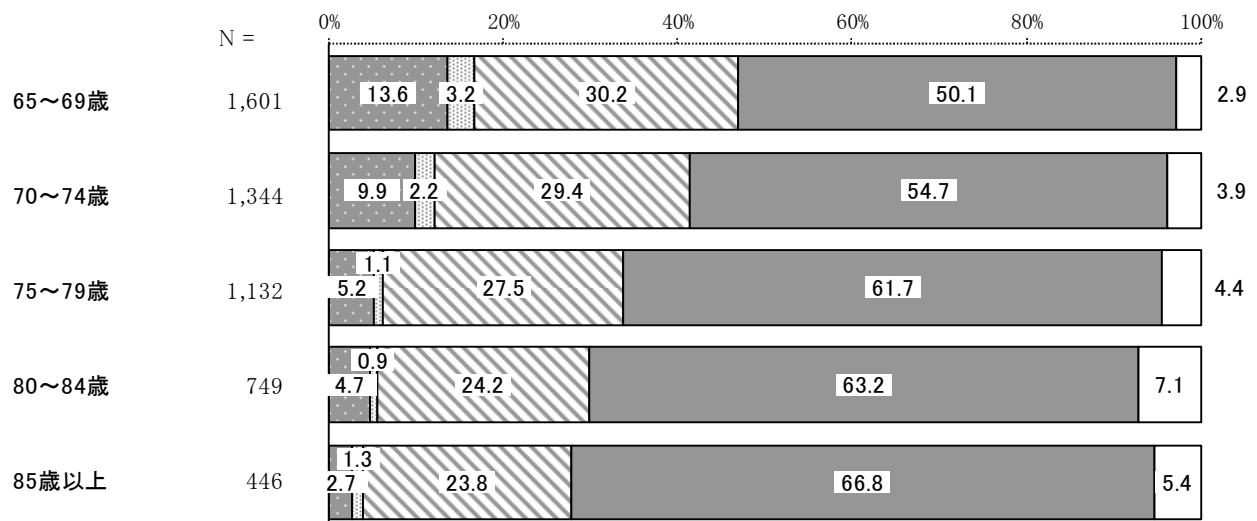
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“吸っている人”の割合が高くなっています。



#### 【年齢階級別】

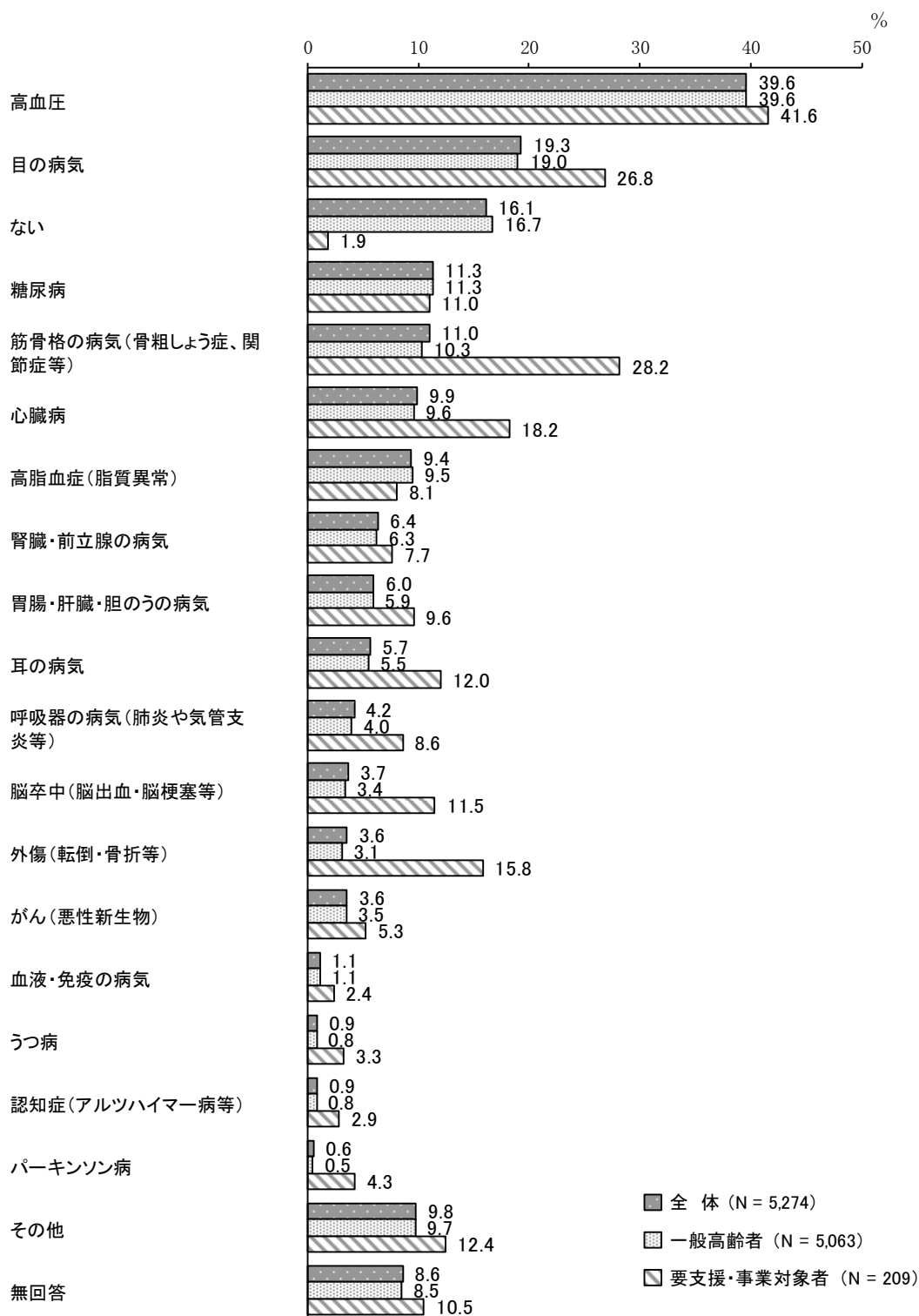
年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれて、“吸っている人”の割合が低くなっています。



問 60 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（複数選択可）

「高血圧」の割合が39.6%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が19.3%、「ない」の割合が16.1%となっています。

要支援・事業対象者に比べ、一般高齢者で「ない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で「目の病気」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「心臓病」「耳の病気」「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「外傷（転倒・骨折等）」の割合が高くなっています。





### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

---



### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

調査結果をもとに、「1 要介護状態になるリスクの発生状況」、「2 日常生活」、「3 社会参加」の3つの側面からそれぞれのリスク判定を行いました。

「1 要介護状態になるリスクの発生状況」については（1）運動器機能低下（以下、「運動器」と言う。）、（2）閉じこもり傾向（以下、「閉じこもり」と言う。）、（3）転倒リスク（以下、「転倒」と言う。）、（4）低栄養状態（以下、「低栄養」と言う。）、（5）口腔機能低下（以下、「口腔機能」と言う。）、（6）認知機能低下（以下、「認知機能」と言う。）、（7）うつ傾向（以下、「うつ」と言う。）の7区分で判定を行い、それぞれのリスク該当者の割合を1つ目のレーダーチャートに表示しています。

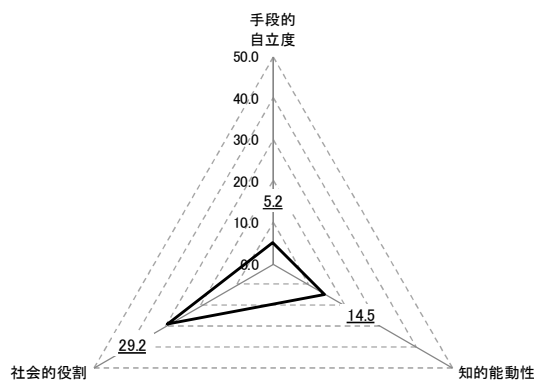
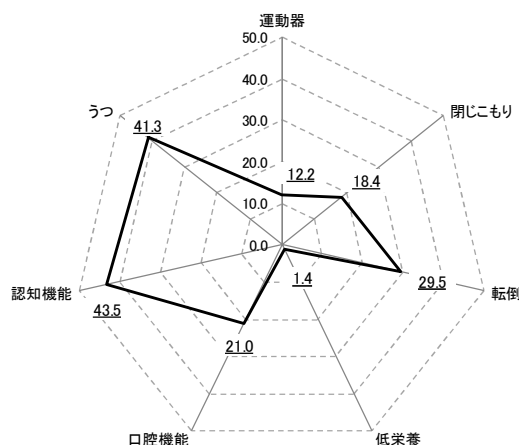
「2 日常生活」については、（1）手段的自立度（IADL）で、「3 社会参加」については、（1）知的能動性、（2）社会的役割の2区分で判定を行い、それぞれの低下者の割合を2つ目のレーダーチャートに表示しています。

なお、それぞれの判定ごとに、「性別」、「要介護状態区分別」と「年齢階級別」でクロス集計を行うとともに、「圏域別」の集計を行いました。

市全体でみると、要介護状態になるリスクの発生状況については、認知機能、うつのリスク該当者の割合が高く40%を超えています。

次いで、転倒のリスクの該当者が約30%、口腔機能、閉じこもりのリスク該当者の割合が約20%となっています。低栄養の該当者の割合は1.4%と低くなっています。

日常生活の「手段的自立度（IADL）」、社会参加の「知的能動性」、「社会的役割」については、社会的役割の低下者の割合が約30%と最も高くなっており、次いで知的能動性の低下者の割合が約15%、手段的自立度の低下者の割合が約5%となっています。



### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

## 1 要介護状態になるリスクの発生状況

### (1) 運動器機能低下

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスクの該当者と判定しました。

#### 【判定設問】

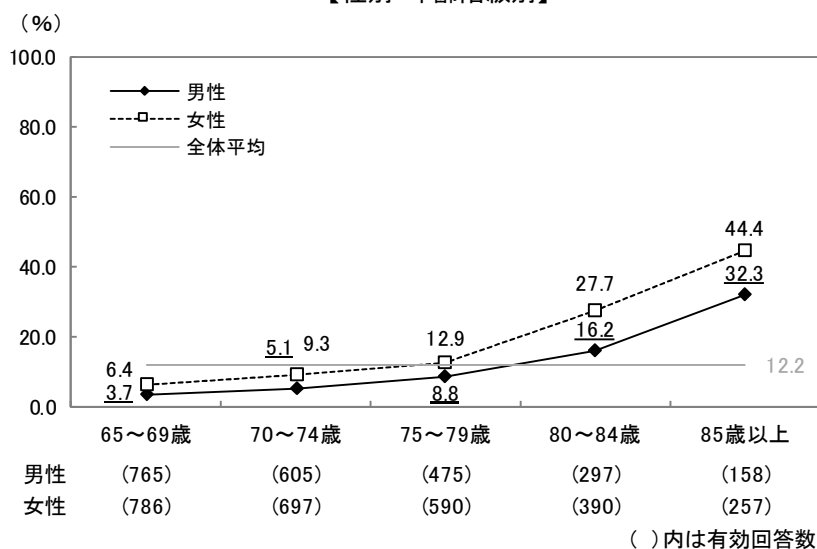
問番号	設問	該当する選択肢
問5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問7	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問9	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

#### 【リスク該当状況】

運動器の評価結果をみると、全体平均で12.2%が該当者となっています。

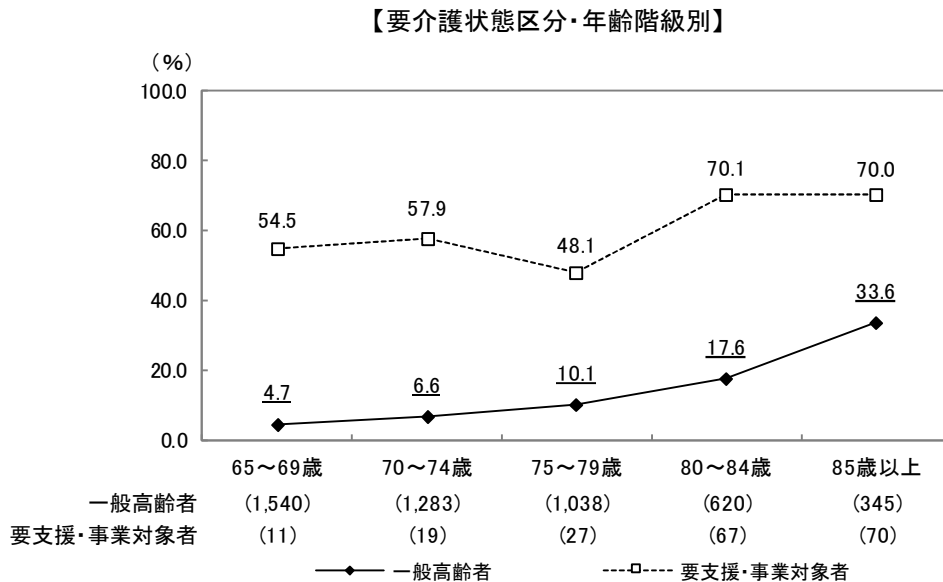
性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上では44.4%と75～79歳に比べ31.5ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上で32.3%と75～79歳に比べ23.5ポイント上昇しています。男性、女性ともに75歳以降で運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。

【性別・年齢階級別】



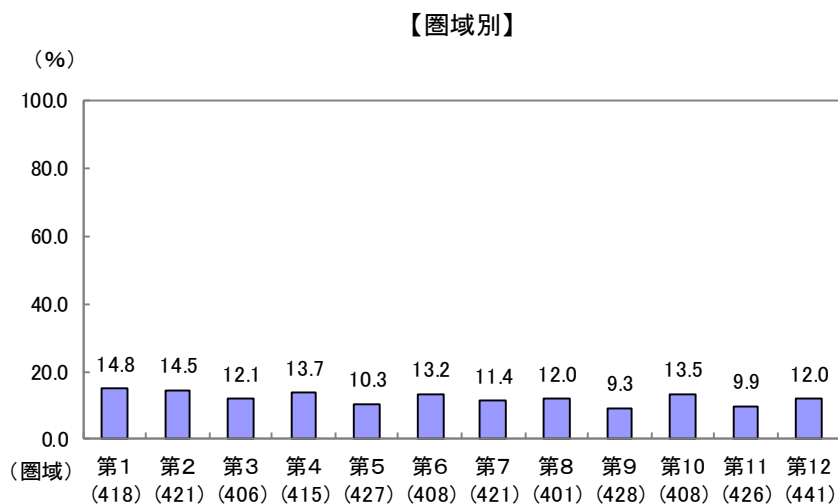
### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

要介護状態区分・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者では割合がとて高くなっています。要支援・事業対象者をみると、80歳以上で該当者が70%以上となっています。



圏域別にみると、第1圏域、第2圏域、第4圏域、第6圏域、第10圏域で該当者割合が全体平均の12.2%を超えています。

また、最も高い圏域は第1圏域で14.8%、最も低い圏域は第9圏域で9.3%となっており、5.5ポイントの差となっています。





### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

#### (2) 閉じこもり傾向

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

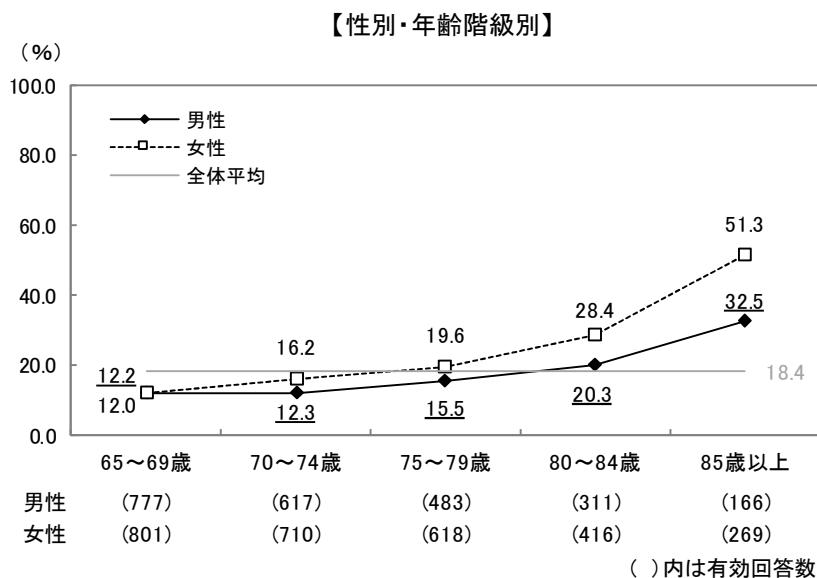
##### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 10	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

##### 【リスク該当状況】

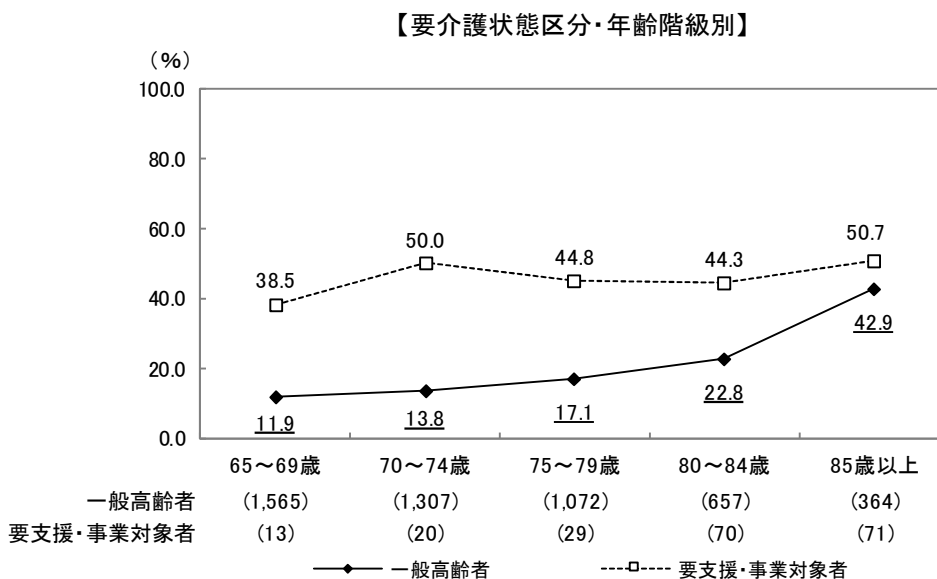
閉じこもり傾向の評価結果をみると、全体平均で18.4%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で51.3%と、80～84歳に比べ22.9ポイント上昇しています。また、85歳以上では、男性に比べて女性で割合が高く、18.8ポイントの差となっています。男性、女性ともに80歳以上で外出の頻度が徐々に減少し、特に85歳以上で加齢に伴う身体状態の悪化などにより急激に外出の頻度が減少しています。



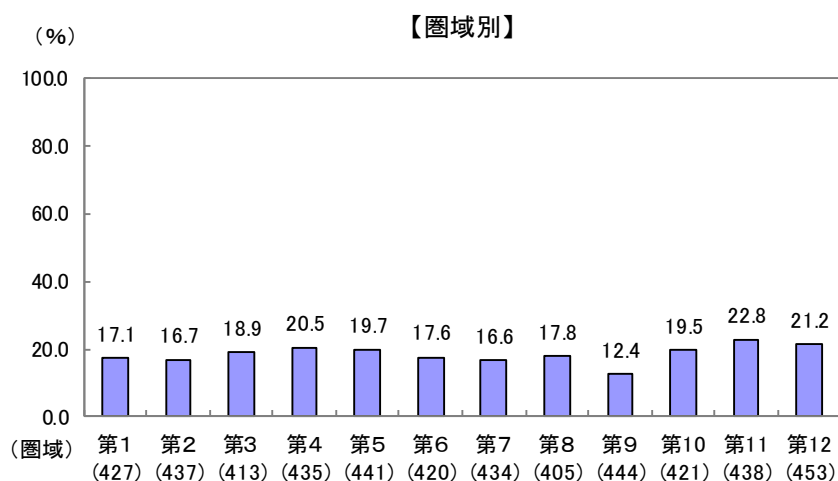
### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

要介護状態区分・年齢階級別にみると、要支援・事業対象者では、どの年齢階級においても40～50%程度となっています。一般高齢者では、85歳以上で42.9%と80～84歳に比べ20.1ポイント上昇しています。



圏域別にみると、第3圏域、第4圏域、第5圏域、第10圏域、第11圏域、第12圏域で該当者割合が全体平均の18.4%を超えています。

また、最も高い圏域は第11圏域で22.8%、最も低い圏域は第9圏域で12.4%となっており、10.4ポイントの差となっています。



Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

(3) 転倒リスク

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

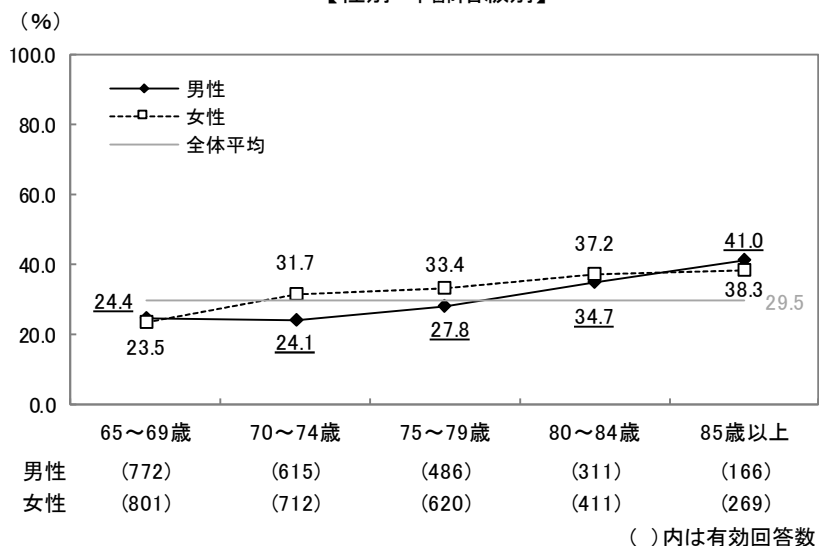
問番号	設問	該当する選択肢
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

転倒の評価結果をみると、全体平均で29.5%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、65～69歳と85歳以上を除き男性に比べ該当者割合が高くなっており、70歳代以上になると全体平均より割合が高くなっています。一方、男性では、80歳代以上になると全体平均より割合が高くなり、85歳以上で41.0%と70～74歳に比べ16.9ポイント上昇しています。女性では、転倒によるリスクは、70歳以上で全体平均より高くなっており、男性に比べ10歳程度若い段階から全体平均を上回っています。

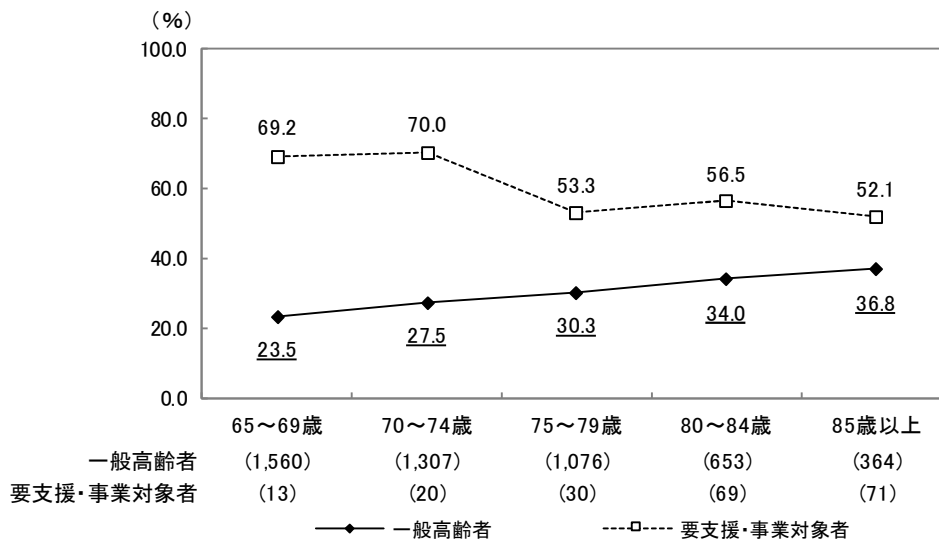
【性別・年齢階級別】



### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

要介護状態区分・年齢階級別にみると、要支援・事業対象者では、65～69歳、70～74歳で転倒リスクの該当者が69.2%、70.0%となっており、75歳以上の後期高齢者になると該当者の割合が50%台と減少していることから、外出の機会などが減少し、転倒リスクが減少していることがうかがえます。一般高齢者では、年齢が上がるにつれて割合が徐々に上昇しています。

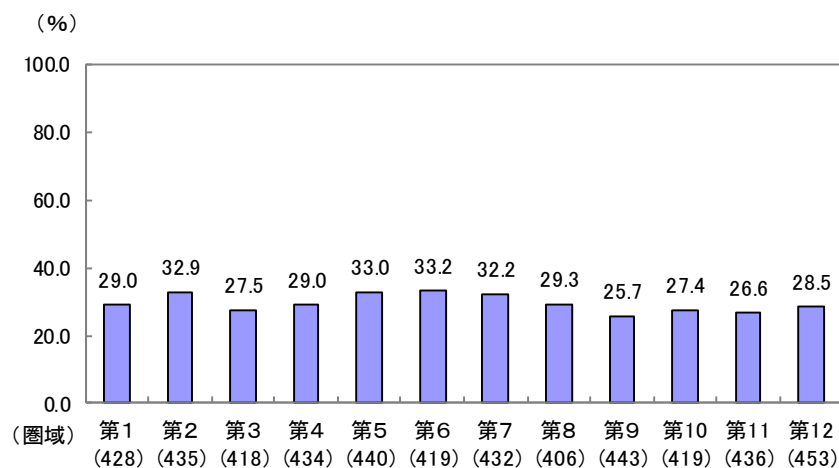
【要介護状態区分・年齢階級別】



圏域別にみると、第2圏域、第5圏域、第6圏域、第7圏域で該当者割合が全体平均の29.5%を超えています。

また、最も高い圏域は第6圏域で33.2%、最も低い圏域は第9圏域で25.7%となっており、7.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

#### (4) 低栄養状態

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を低栄養のリスク該当者と判定しました。

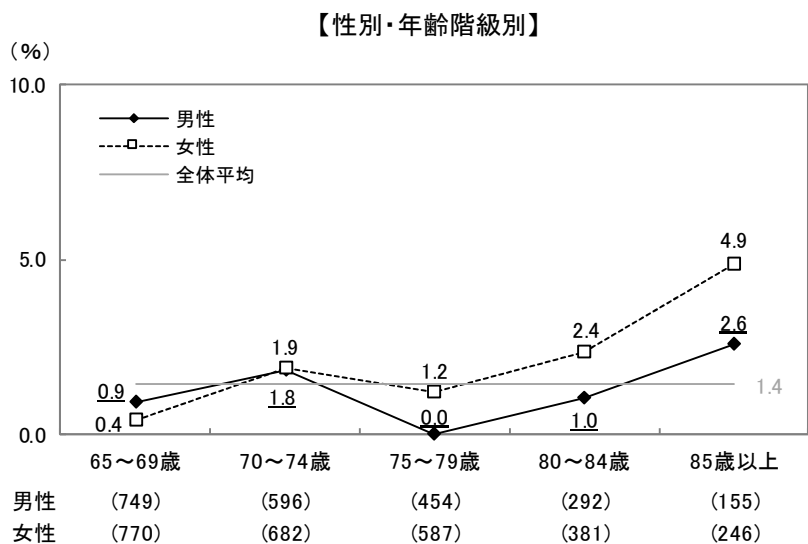
##### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 14	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
問 20	6 か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

##### 【リスク該当状況】

低栄養の評価結果をみると、全体平均で1.4%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性と女性を比べると85歳以上でも2.3ポイントと大きな差はありません。

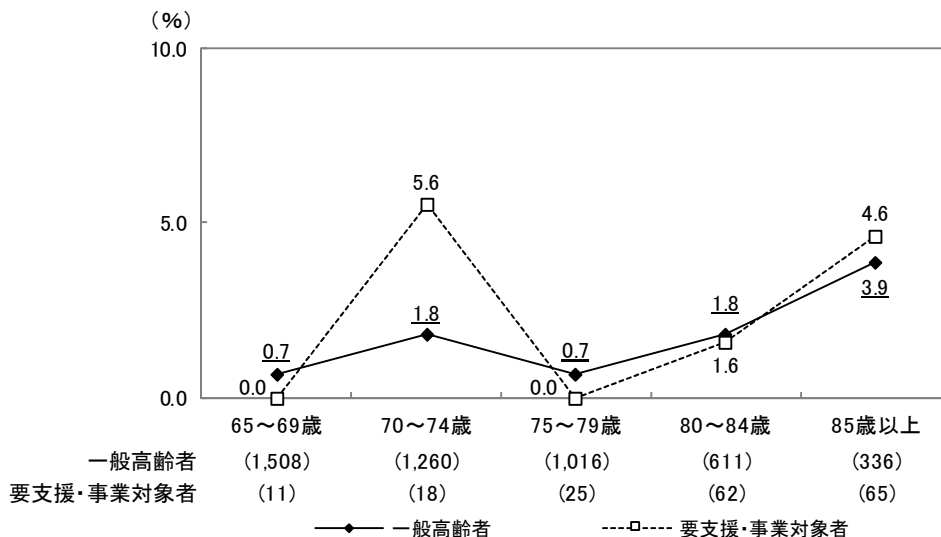


※「(4) 低栄養状態」については、リスク該当者の割合が他のリスクと比較して極端に低いため、グラフの最大値を10%にして表示しています。

### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

要介護状態区分・年齢階級別にみると、該当者割合は、要支援・事業対象者の70～74歳で5.6%と最も高くなっていますが、他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。

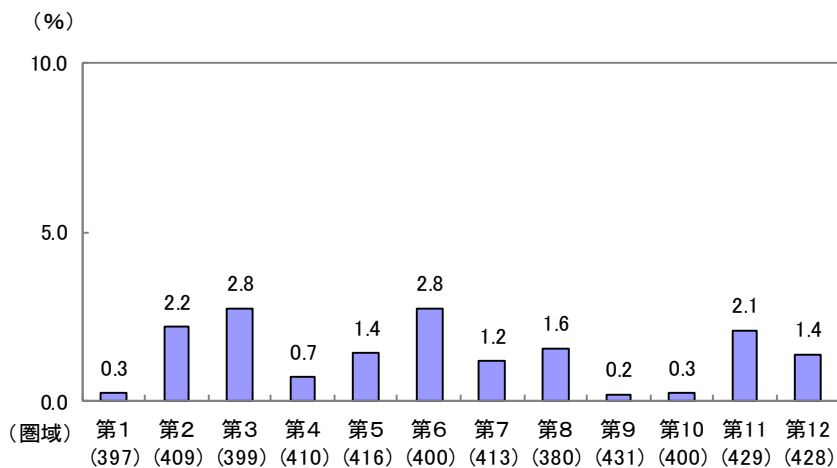
【要介護状態区分・年齢階級別】



圏域別にみると、第2圏域、第3圏域、第6圏域、第8圏域、第11圏域で該当者割合が全体平均の1.4%を超えています。

また、最も高い圏域は第3、第6圏域で2.8%、最も低い圏域は第9圏域で0.2%となっており、2.6ポイントの差となっています。

【圏域別】



### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

#### (5) 口腔機能低下

調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔機能のリスク該当者と判定しました。

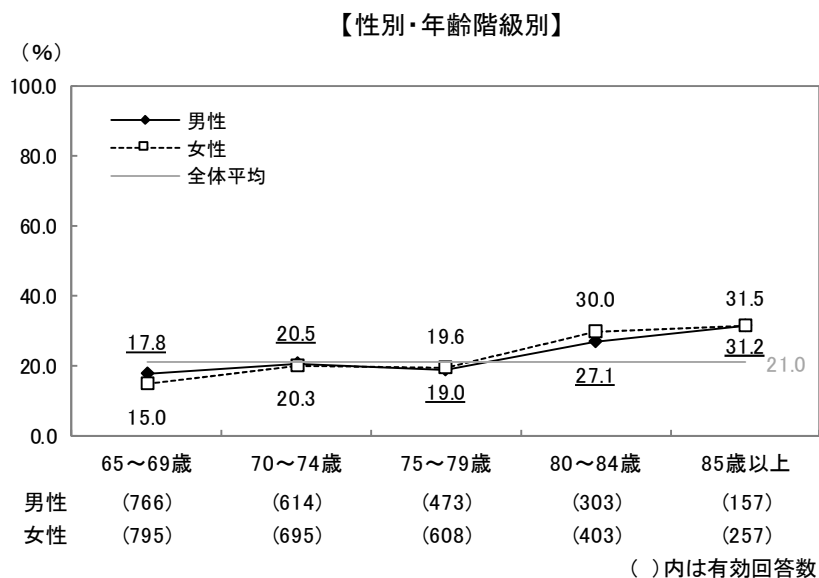
##### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 15	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 16	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 17	口の渇きが気になりますか。	1. はい

##### 【リスク該当状況】

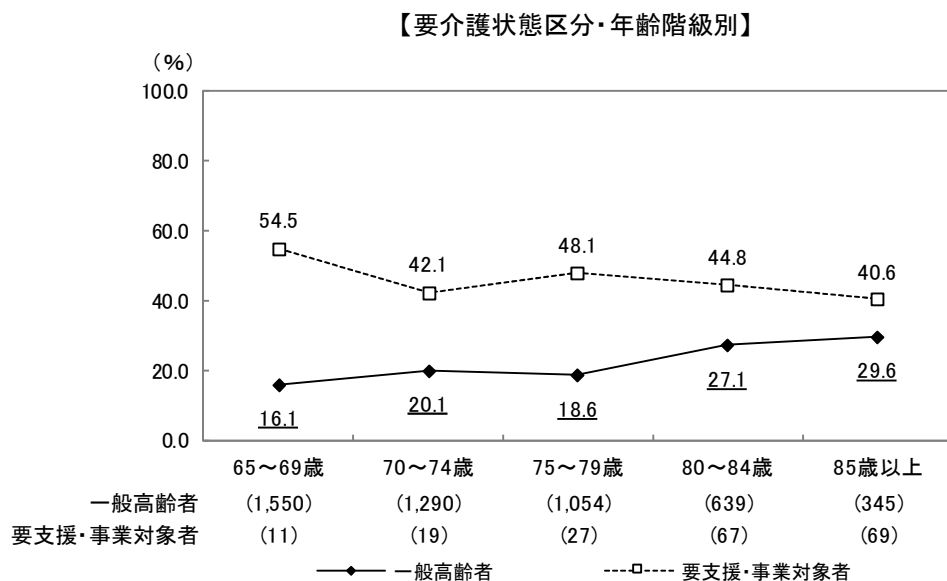
口腔機能の評価結果をみると、全体平均で21.0%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに、80歳以上になると全体平均を超えており、リスクが高くなることがうかがえます。男性では、80～84歳で27.1%と75～79歳に比べ8.1ポイント上昇しており、女性では、80～84歳で30.0%と75～79歳に比べ10.4ポイント上昇しています。



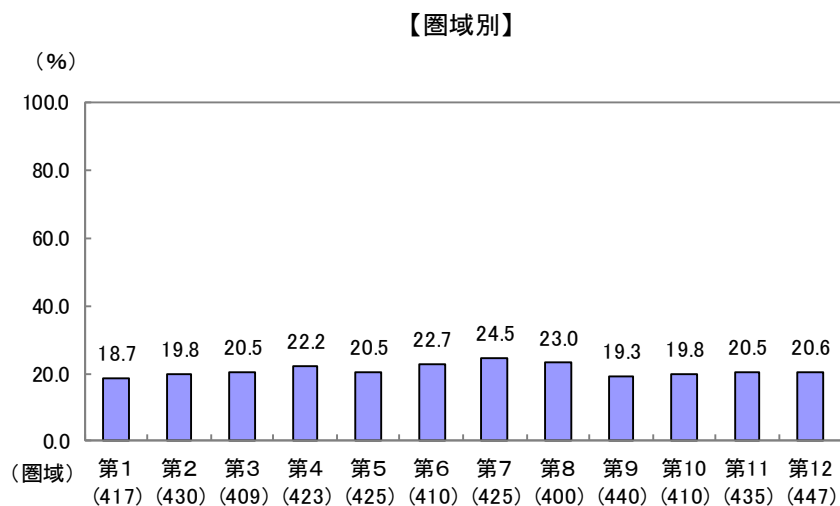
### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

要介護状態区分・年齢階級別にみると、要支援・事業対象者では、65～69歳で最も高く54.5%となっています。一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。



圏域別にみると、第4圏域、第6圏域、第7圏域、第8圏域で該当者割合が全体平均の21.0%を超えています。

また、最も高い圏域は第7圏域で24.5%、最も低い圏域は第1圏域で18.7%となっており、5.8ポイントの差となっています。





Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

(6) 認知機能低下

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を認知機能のリスク該当者と判定しました。

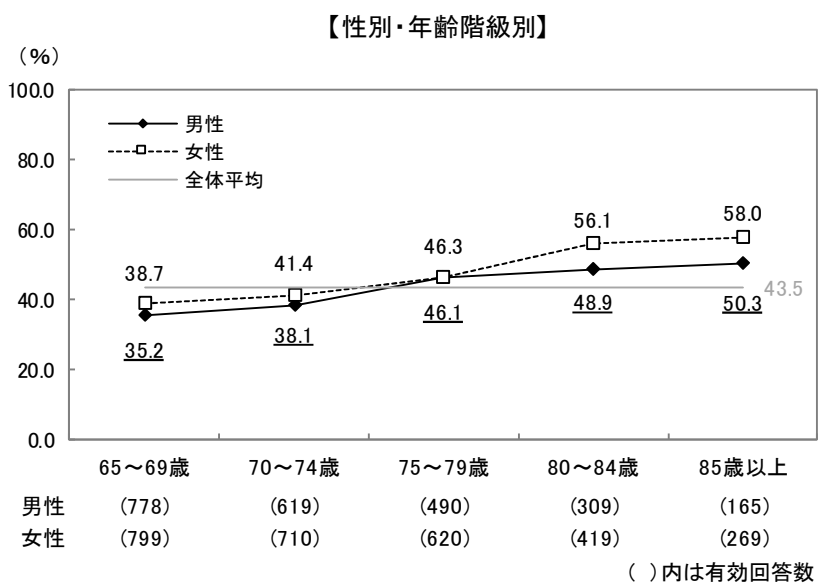
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 22	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

認知機能の評価結果をみると、全体平均で 43.5%が該当者となっています。

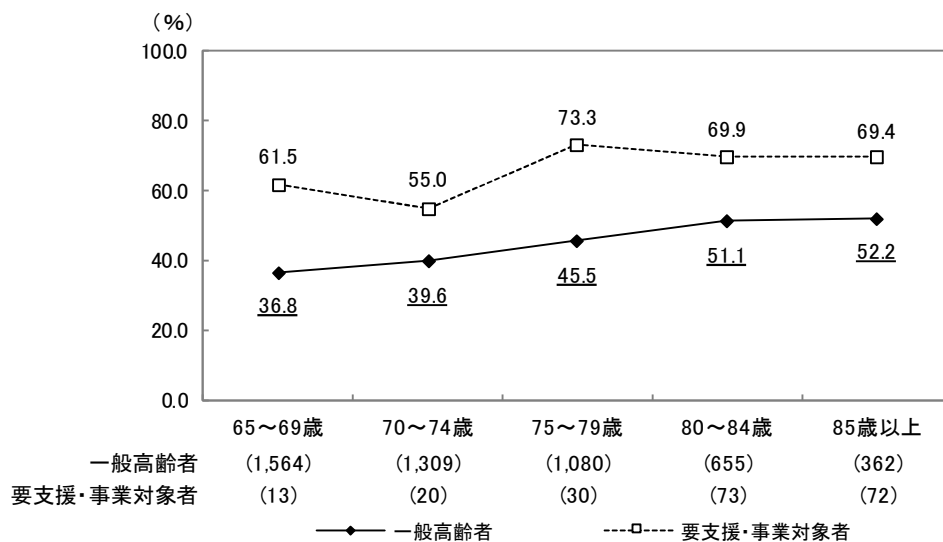
性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。



### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

要介護状態区分・年齢階級別にみると、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっています。また、要支援・事業対象者では、75～79歳で73.3%と最も高くなっています。

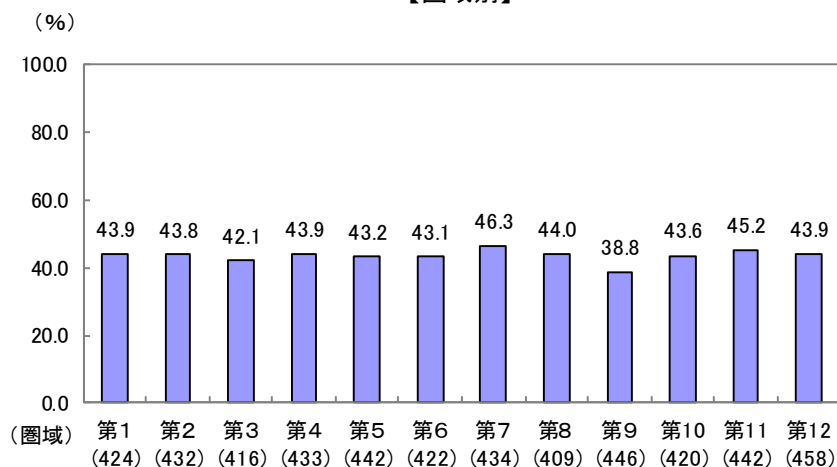
【要介護状態区分・年齢階級別】



圏域別にみると、第1圏域、第2圏域、第4圏域、第7圏域、第8圏域、第10圏域、第11圏域、第12圏域で該当者割合が全体平均の43.5%を超えています。

また、最も高い圏域は第7圏域で46.3%、最も低い圏域は第9圏域で38.8%となっており、7.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

#### (7) うつ傾向

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

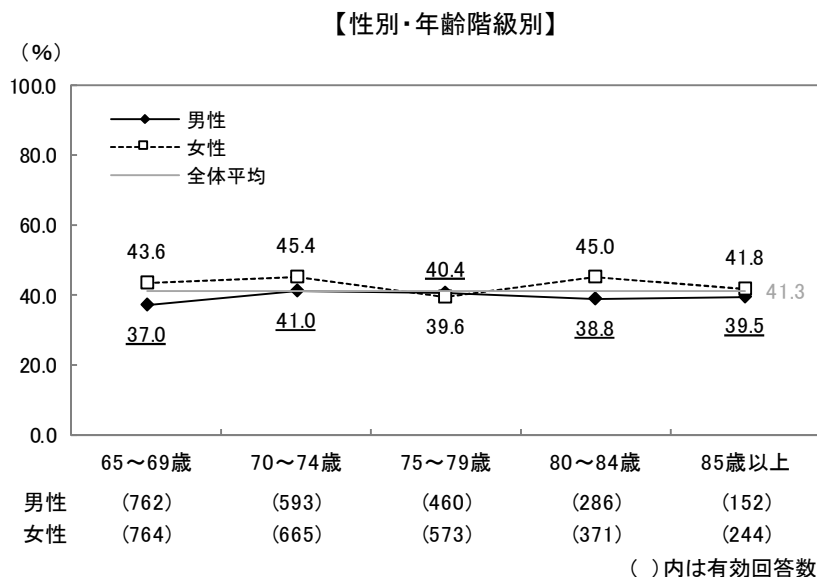
##### 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 56	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 57	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

##### 【リスク該当状況】

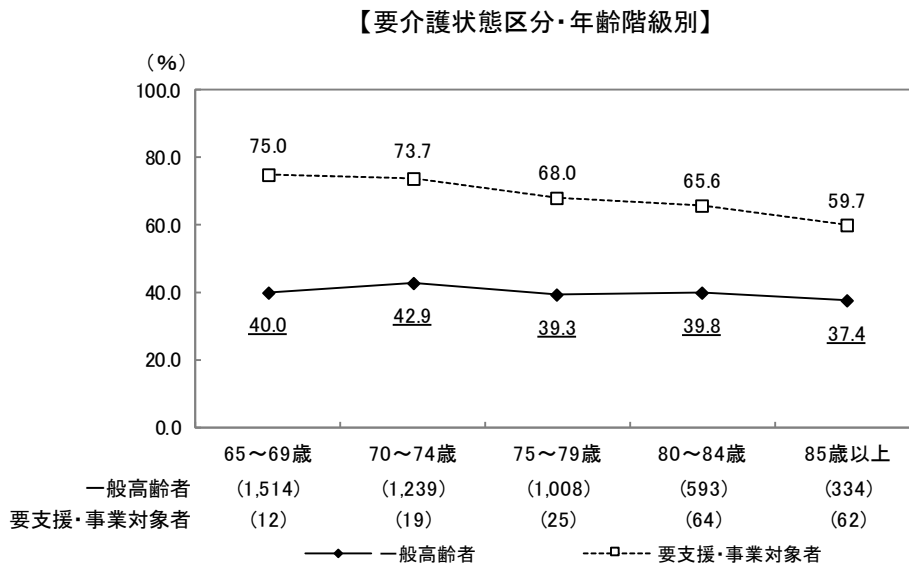
うつ傾向の評価結果をみると、全体平均で41.3%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性に比べ、女性で若干割合が高くなっていますが、どちらも年齢階級での大きな変化はありません。



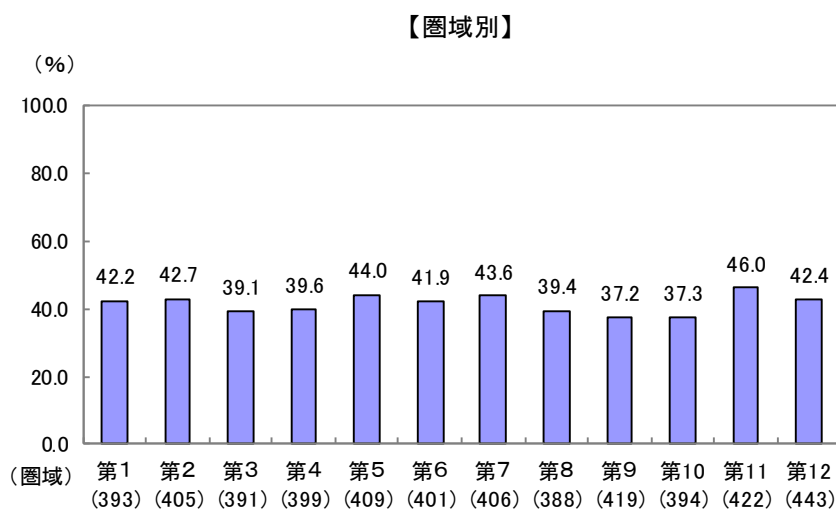
### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

要介護状態区分・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で割合が高くなっており、年齢階級が上がるにつれて、その差は小さくなっています。また、要支援・事業対象者では、年齢階級が上がるにつれて、割合は低くなっています。



圏域別にみると、第1圏域、第2圏域、第5圏域、第6圏域、第7圏域、第11圏域、第12圏域で該当者割合が全体平均の41.3%を超えています。

また、最も高い圏域は第11圏域で46.0%、最も低い圏域は第9圏域で37.2%となっており、8.8ポイントの差となっています。



### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

## 2 日常生活

### (1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標<sup>※</sup>には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

※老研式活動能力指標とは、高齢者の生活機能の評価を行う指標のことを言います。

#### 【判定設問】

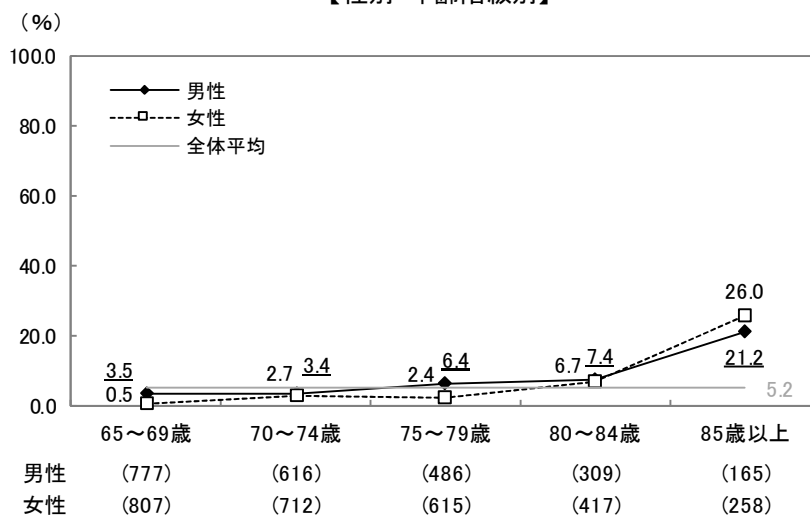
問番号	設問	該当する選択肢
問 25	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 26	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 27	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 28	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 29	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

#### 【該当状況】

手段的自立度の低下者は、全体平均で5.2%となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともに、85歳以上になると急激に上昇しています。男性では、85歳以上で21.2%と80～84歳に比べ13.8ポイント、女性では、85歳以上で26.0%と80～84歳に比べ19.3ポイント増加しています。

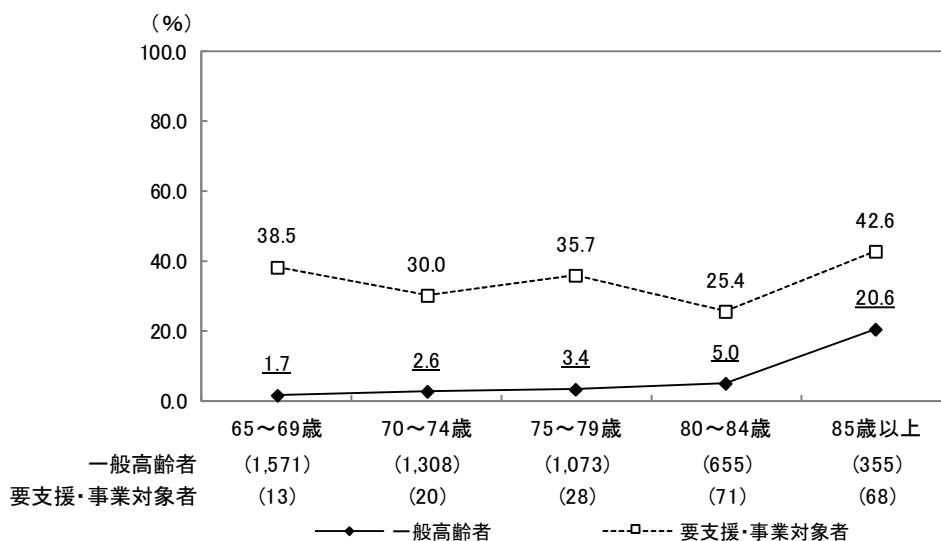
【性別・年齢階級別】



### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

要介護状態区分・年齢階級別でみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で割合が高くなっており、年齢階級が上がるにつれて、その差は小さくなっています。

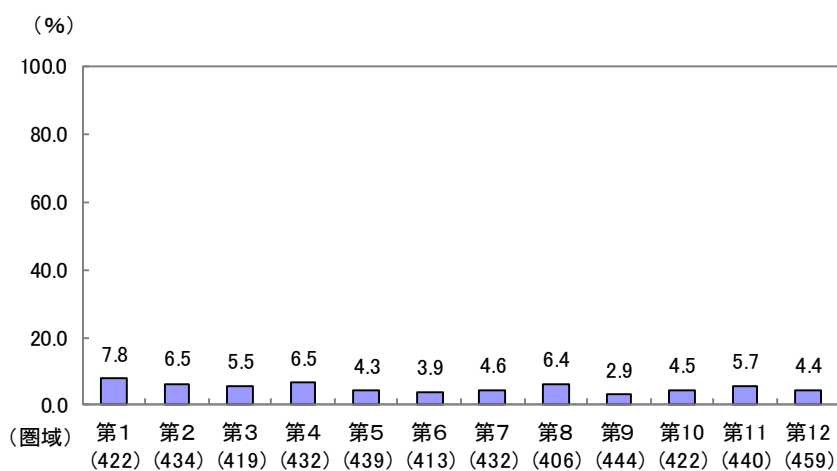
【要介護状態区分・年齢階級別】



圏域別にみると、第1圏域、第2圏域、第3圏域、第4圏域、第8圏域、第11圏域で該当者割合が全体平均の5.2%を超えています。

また、最も高い圏域は第1圏域で7.8%、最も低い圏域は第9圏域で2.9%となっており、4.9ポイントの差となっています。

【圏域別】



### 3 社会参加

#### (1) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

#### 【判定設問】

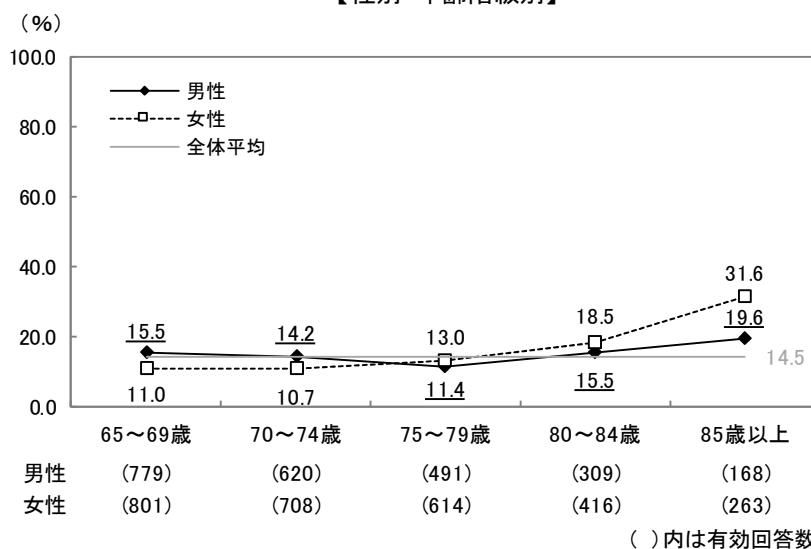
問番号	設問	該当する選択肢
問 30	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
問 31	新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
問 32	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
問 33	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

#### 【該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均で14.5%となっています。

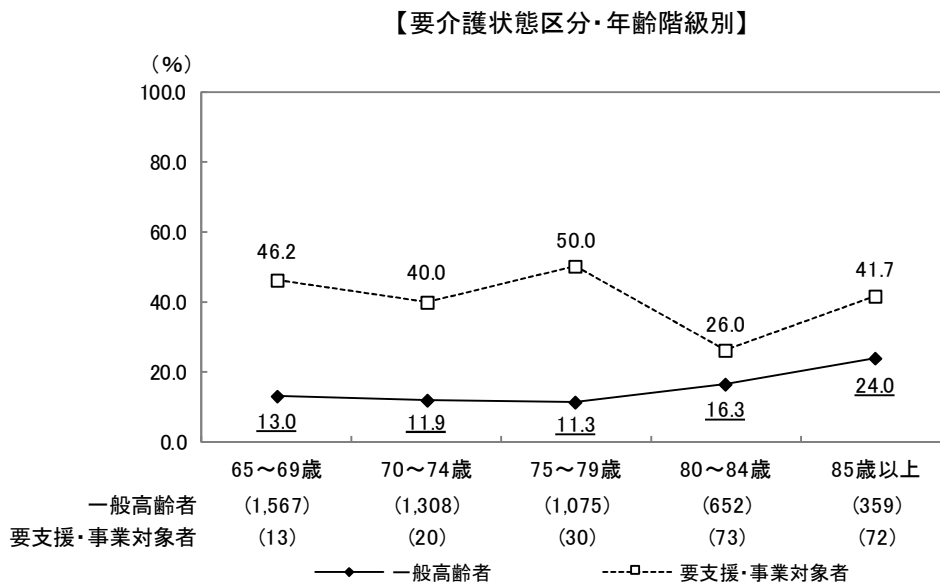
性別・年齢階級別でみると、女性では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっており、75～79歳で男性を上回っています。女性では、85歳以上で31.6%と、80～84歳に比べ、13.1ポイント増加しています。

【性別・年齢階級別】



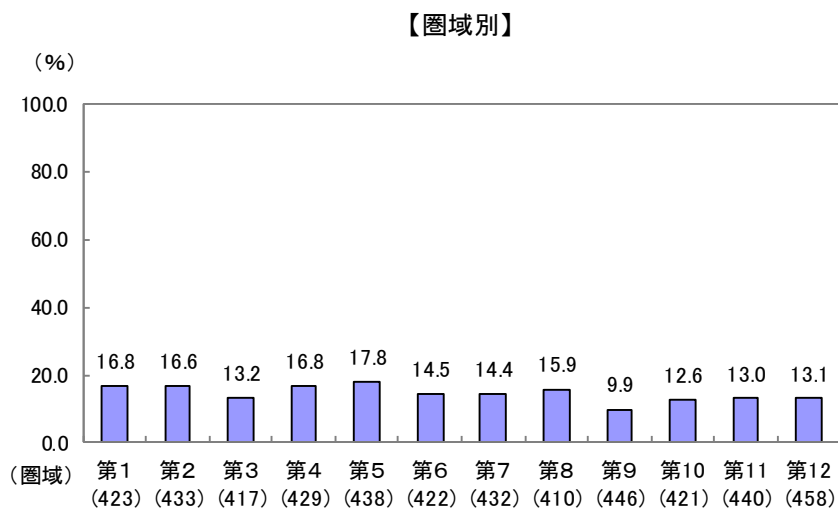
### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

要介護状態区分・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、75～79歳を境に割合が上昇し、85歳以上で24.0%と75～79歳に比べ12.7ポイント上昇しています。要支援・事業対象者では各年代でばらつきがあり、75～79歳が50.0%と最も高くなっています。



圏域別にみると、第1圏域、第2圏域、第4圏域、第5圏域、第8圏域で該当者割合が全体平均の14.5%を超えています。

また、最も高い圏域は第5圏域で17.8%、最も低い圏域は第9圏域で9.9%となっており、7.9ポイントの差となっています。





### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

#### (2) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

#### 【判定設問】

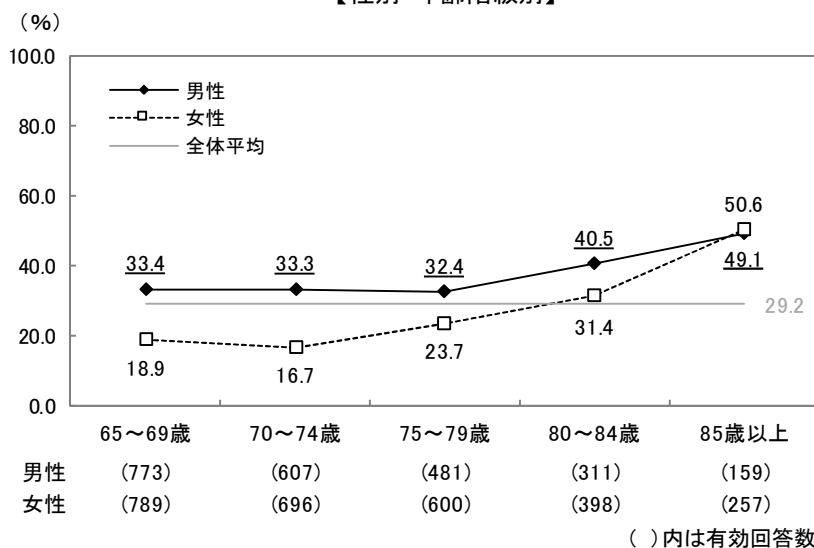
問番号	設問	該当する選択肢
問 34	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問 35	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問 36	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問 37	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

#### 【該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均で29.2%となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性ではすべての年代で全体平均を上回っており、80歳以上で急激に上昇し、85歳以上で49.1%と75～79歳に比べ16.7ポイント上昇しています。女性では、70～74歳以降上昇し、85歳以上で50.6%と70～74歳に比べ33.9ポイント上昇しています。

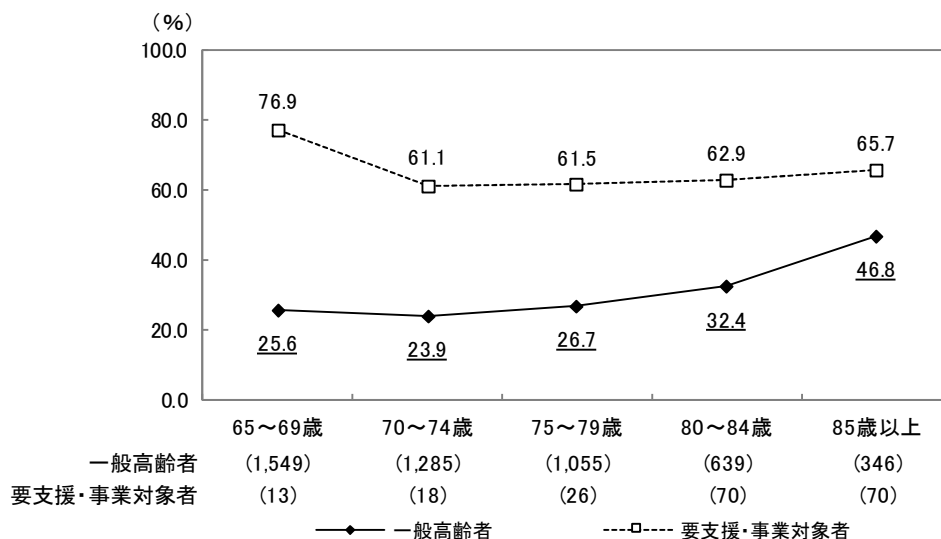
【性別・年齢階級別】



### Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析

要介護状態区分・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援・事業対象者で割合が高くなっており、年齢階級が上がるにつれて、その差は小さくなっています。65～69歳では、一般高齢者が25.6%、要支援・事業対象者が76.9%と、51.3ポイントの差となっています。また、85歳以上では、一般高齢者が46.8%、要支援・事業対象者が65.7%と、18.9ポイントの差となっています。

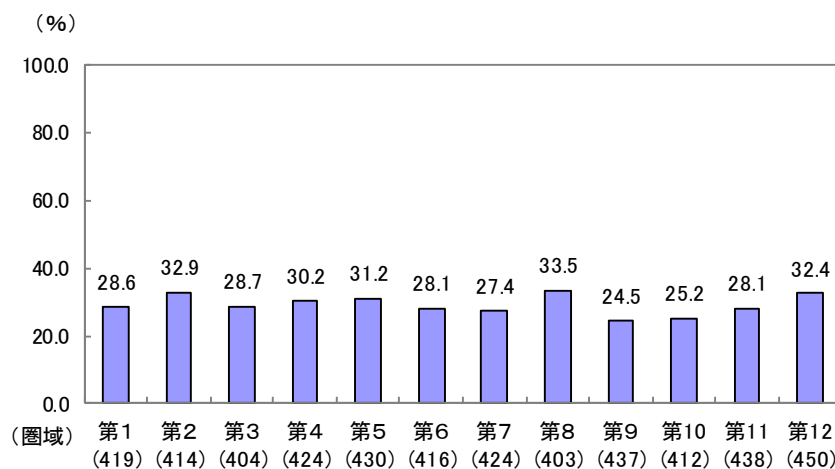
【要介護状態区分・年齢階級別】



圏域別にみると、第2圏域、第4圏域、第5圏域、第8圏域、第12圏域で該当者割合が全体平均の29.2%を超えています。

また、最も高い圏域は第8圏域で33.5%、最も低い圏域は第9圏域で24.5%となっており、9.0ポイントの差となっています。

【圏域別】





## IV 圈域別地域特性

---



## IV 圏域別地域特性

調査結果をもとに12の圏域ごとに、地域特性を検証しました。

冒頭には、圏域名及び圏域内の自治会連合会の区域と人口等の基礎データを表示しています。(出典：第6期おだわら高齢者福祉介護計画)

人口、高齢者人口、要支援・要介護認定者数は、平成26年4月1日現在の推計値であり、人数は概数(10人未満四捨五入)です。

また、要支援・要介護認定者数は、高齢介護課の独自分析によるもので、圏域ごとの人数は、被保険者住所の大字を基に分類したものであり、実際の圏域とは異なる場合があります。

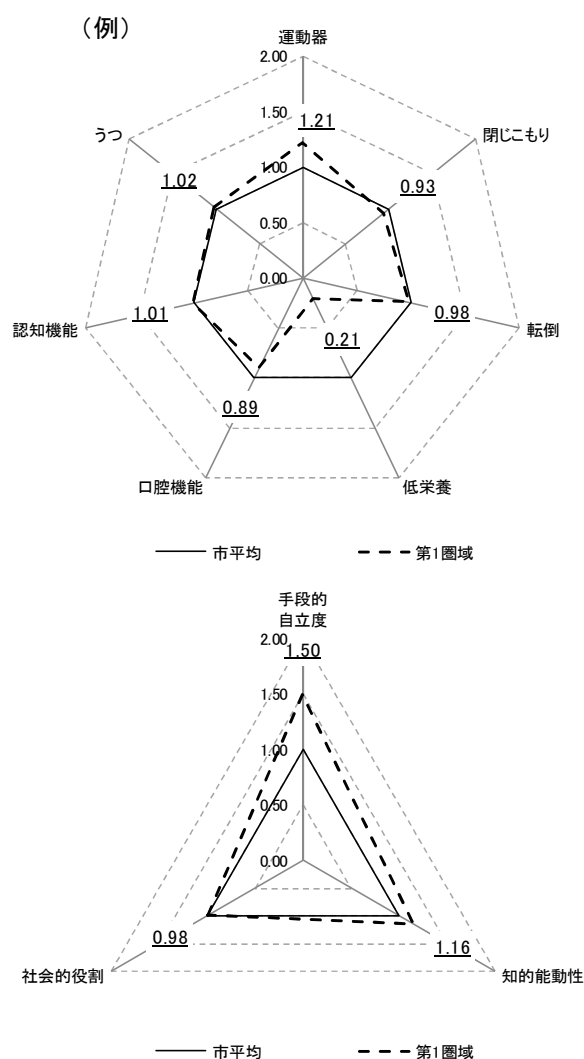
小田原市全域の人口、高齢化率等の基礎データは以下のとおりです。

人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
			要支援		要介護						合計
			1	2	1	2	3	4	5		
196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

また、圏域ごとに高齢者の状態像を把握するため、「Ⅲ 要介護状態になるリスクの発生状況等に関する分析」に記載されている「1 要介護状態になるリスクの発生状況」の(1)運動器機能低下、(2)閉じこもり傾向、(3)転倒リスク、(4)低栄養状態、(5)口腔機能低下、(6)認知機能低下、(7)うつ傾向、それぞれのリスク該当者の割合について、1つ目のレーダーチャートにて表示しています。

「2 日常生活」の(1)手段的自立度(IADL)、「3 社会参加」の(1)知的能動性、(2)社会的役割の低下者の割合について、2つ目のレーダーチャートにて表示しています。

このレーダーチャートは、本市全体の平均を基準値1.00とし、各圏域の数値を図示したもので、レーダーチャートの枠が外側に近いほど数値が高く、中心に近いほど数値が低いことを示しています。レーダーチャートの各項目のバランスから、圏域ごとにどのような特徴があるか知ることができます。



【第1圏域】（緑、万年、幸、芦子）

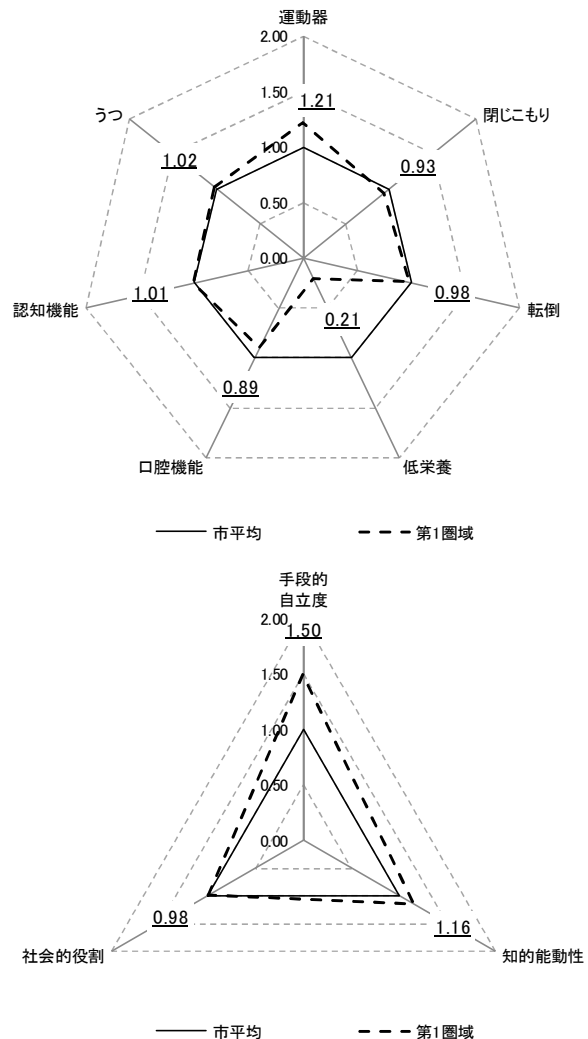
	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第1圏域	19,040	5,140	27.0	120	80	200	130	110	100	60	800	15.6
	3位	1位	5位								3位	5位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

第1圏域は、小田原駅を中心に本市の中心市街地として位置づけられ、また、相模湾に面する漁師まちの風情が残る地区も含まれており小田原市の顔ともいえる圏域となっています。本市の中で3番目に人口が多く、最も高齢者人口が多い圏域で、認定率は15.6%と5番目で、国の平均18.0%に比べ低く、市の平均15.8%と同等となっています。

生活機能評価の項目で、市平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、市平均を上回った項目は、「運動器」「認知機能」「うつ」となっており、特に運動器のリスク該当者が多くなっています。一方、低栄養については、市平均に比べ0.21とリスク該当者は少なくなっています。

運動器のリスク該当者は外出の頻度も減少しており、第1圏域では、中心市街地という地理的条件を活かし、身近な地域で歩いて暮らせる環境が整っているため、自立した生活を維持するために自分で買物に出かけたり、食事の準備をしたりすることが大切です。そのためには運動機能の低下が強い影響を及ぼすため70歳代からの運動器に関する介護予防事業への積極的な参加が望まれるとともに、生活支援など総合事業を活用した自立支援が必要です。

また、「手段的自立度（IADL）」、「知的能動性」でリスク該当者が市平均より高くなっており、高次な生活機能のリスク該当者が市平均に比べ高くなっています。



## 【第2圏域】(新玉、山王網一色、足柄)

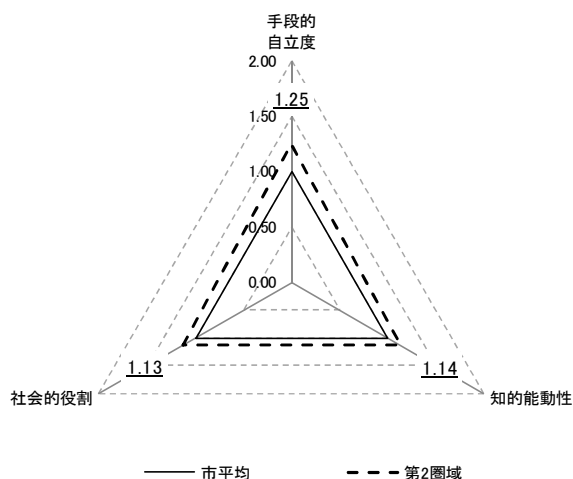
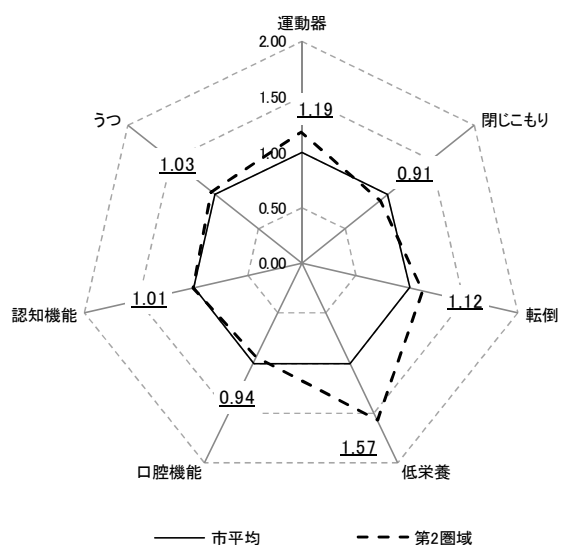
	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第2圏域	15,830	4,330	27.4	90	80	180	110	90	100	60	710	16.4
	7位	6位	3位								5位	3位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

第2圏域は、第1圏域の東側に位置し、小田原駅にも徒歩圏内の地区が多く、幹線道路である国道1号線が通り、住宅地が広がっています。本市の中で人口は7番目、高齢者人口は6番目、認定率は16.4%と3番目で、国の平均18.0%に比べ低く、市の平均15.8%より高くなっています。

生活機能評価の項目でリスク該当者の市平均を上回った項目は、「運動器」「転倒」「低栄養」「うつ」で、特に運動器が1.19、転倒が1.12、低栄養は1.57とリスク該当者が高く、低栄養となり運動器の機能が低下し、転倒のリスクも高くなっていることが考えられます。

運動器のリスク該当者は外出の頻度も減少しており、第2圏域では、中心市街地へ徒歩圏内という地理的条件ではありますが、生活機能や手段的自立度（IADL）などのリスク該当者の状況から、自立した生活を維持するために1人で買物に出かけたり、食事の準備をしたりすることが困難となっていることが考えられるため、配食サービスや生活支援など総合事業を活用した自立支援が必要です。

また、「手段的自立度（IADL）」、「知的能動性」、「社会的役割」のすべての項目でリスク該当者が市平均を上回っており、1人での外出や買物、食事の用意、預貯金の管理、新聞や本を読むなど高次な生活機能が低下しているリスク該当者が多く、要介護認定率も高いことから、後期高齢者の割合が高いこと考えられるため、高次な生活機能を1で行うことが困難となっていることが考えられます。





【第3圏域】(十字、片浦、早川、大窪)

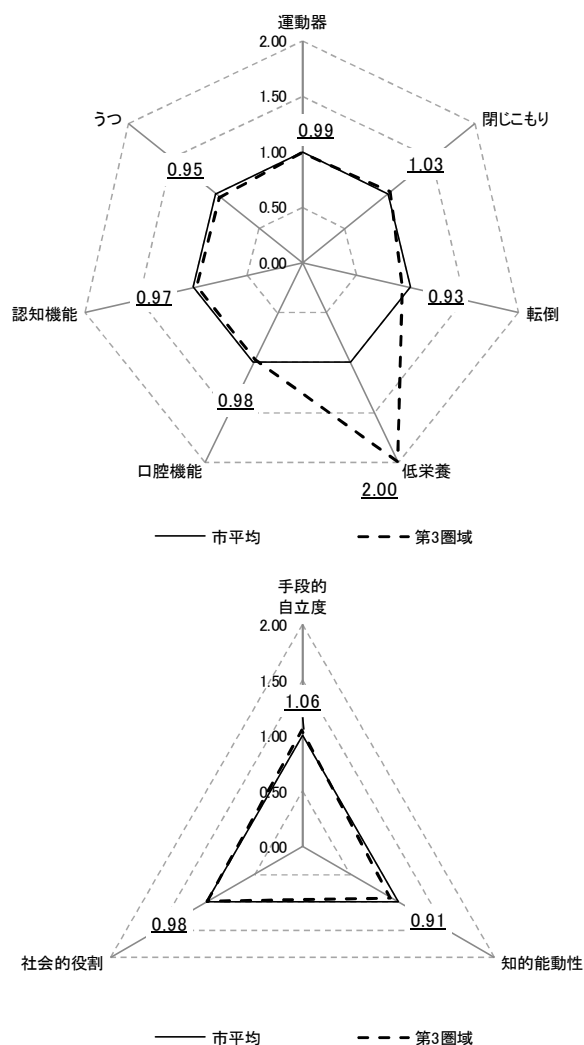
	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第3圏域	14,820	4,830	32.6	160	90	190	140	130	130	90	930	19.3
	9位	4位	1位								1位	1位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

第3圏域は、市街地の南西部に位置し、早川の下流で相模湾に面しており、JR東海道本線の沿線の圏域で、相模湾からの急激な丘陵地となっています。本市の中で人口は9番目、高齢者人口は4番目で、高齢化率は最も高く32.6%と3割を超えています。認定率も19.3%と最も高く、国の平均18.0%、市の平均15.8%に比べ高くなっています。

生活機能評価の項目で、市平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、市平均を上回った項目は、「閉じこもり」「低栄養」となっており、特に低栄養のリスク該当者が2.00と高く、低栄養により、運動器や閉じこもりなど他のリスクへ影響を及ぼす可能性があるため、栄養・食生活の支援が必要です。

低栄養のリスク該当者は、自分で食事の用意が「できるし、している」割合が、非該当よりも高くなっていますが、バランスの取れた食事や摂取量など食事の内容に問題がある可能性があります。

また、「手段的自立度(IADL)」ではリスク該当者が1.06と市平均より高くなっており、「社会的役割」では、リスク該当者が市平均と同等でした。手段的自立度における1人での食事の用意など高次な生活機能への支援が必要です。特に低栄養のリスク該当者が高いため、低栄養対策のための栄養指導や料理教室、配食サービスなど食生活に関する支援が必要です。



## 【第4圏域】(二川、久野)

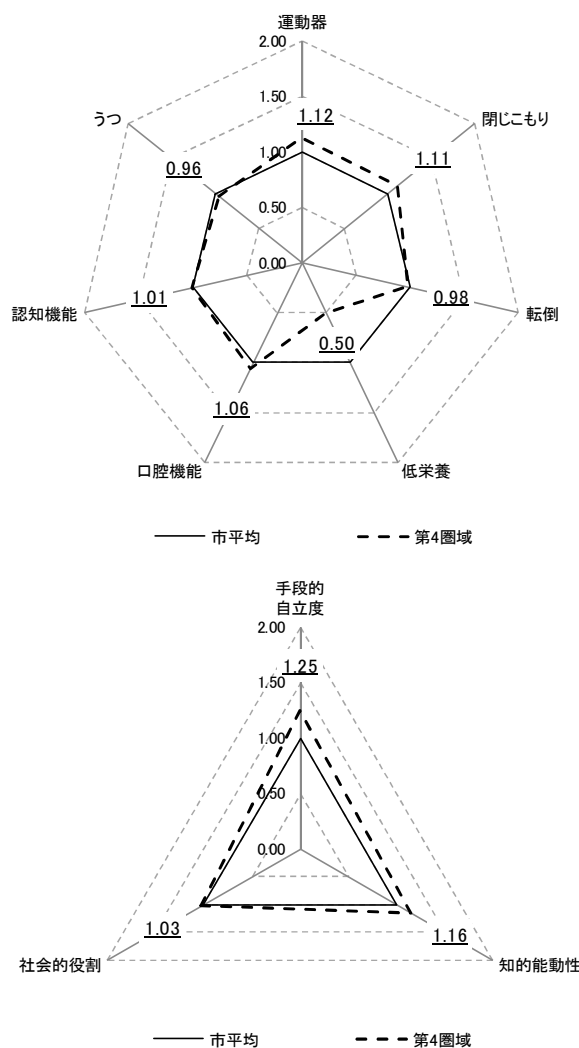
	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第4圏域	17,290	4,320	25.0	120	90	190	130	120	100	70	820	19.0
	5位	7位	9位								2位	2位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

第4圏域は、二川地区が市のほぼ中央、久野地区が西部に位置し、箱根連山の東斜面となっており、市立病院があるほか、市役所をはじめとする官庁街に隣接しています。本市の中で人口は5番目、高齢者人口は7番目、高齢化率は9番目で認定率は19.0%と2番目に高く、国の平均18.0%、市平均15.8%に比べ高くなっています。

生活機能評価の項目で、市平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、市平均を上回った項目は、「運動器」「閉じこもり」「口腔機能」となっており、運動器と閉じこもりのリスク該当者が高くなっています。一方、低栄養については、市平均にくらべ0.50とリスク該当者は低くなっています。

運動器のリスク該当者は、外出の頻度も減少しており、第4圏域では、二川地区は中心市街地に隣接しており、身近な地域で歩いて暮らせる環境が整っていますが、久野地区は圏域も広く同じ第4圏域であっても地理的条件が異なるため、後期高齢者になると運転免許を返納するなど移動手段がなくなると閉じこもりの傾向も高くなることが考えられるため、運動器に関する介護予防事業への積極的な参加や、地域でのイベントや集いの場など、身近な地域で社会参加が可能となる施策の展開が望まれます。

また、「手段的自立度(IADL)」「知的能動性」「社会的役割」のすべての項目でリスク該当者が市平均より高く、特に「手段的自立度(IADL)」は1.25、「知的能動性」も1.16と高くなっており、高齢化率は比較的安く認定率は高いため、後期高齢者の比率が高くなっている可能性があり、「手段的自立度(IADL)」のリスク該当者が高くなっていることが考えられます。



【第5圏域】（東富水）

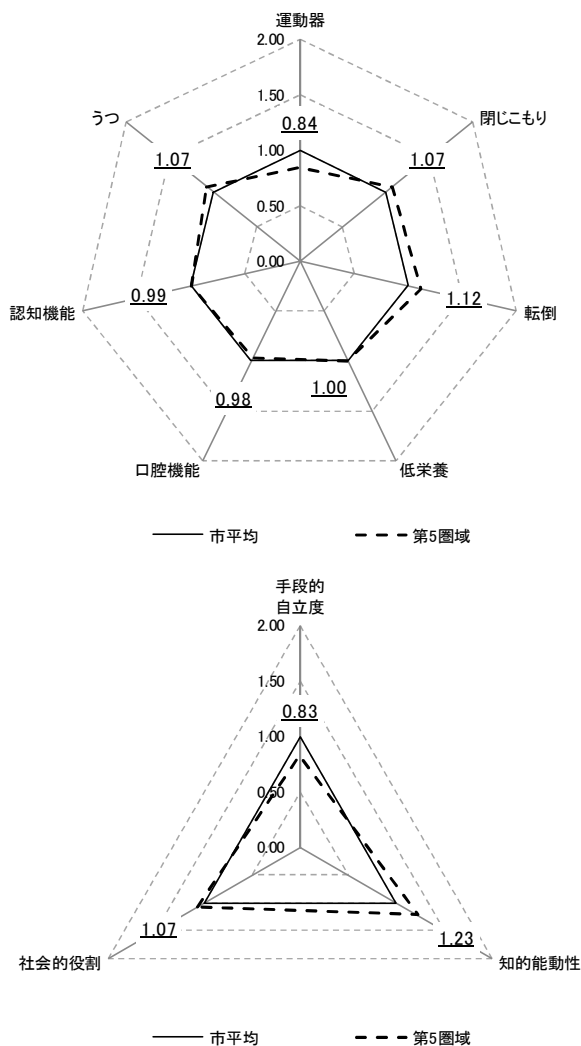
	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第5圏域	14,000	3,610	25.8	90	70	120	100	60	80	40	560	15.5
	10位	10位	6位								9位	7位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

第5圏域は、東に酒匂川、西南に狩川が流れ、田園風景が残る風光明媚な地域です。また、小田原アリーナや小田原テニスガーデンなどスポーツ施設が充実しています。本市の中で人口は10番目で、高齢者人口も10番目となっており、高齢化率は6番目で認定率は15.5%と5番目に低く、国の平均18.0%、市の平均15.8%比べ低くなっています。

生活機能評価の項目で、市平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、市平均を上回った項目は、「閉じこもり」「転倒」「うつ」となっており、特に転倒のリスク該当者が高くなっています。一方、運動器については、市平均にくらべ0.84とリスク該当者は低くなっています。

第4圏域は、アリーナ、テニスガーデンなどスポーツ施設が充実しており、さらに地域での運動に関する取り組みも活発であることが伺えるため、運動器のリスク該当者が市平均より低くなっていると考えられます。こうした地域資源を活かして、住民の主体的な介護予防に向けた取り組みを支援し、スポーツなどを通じて、外出する機会を増やし、運動による筋力アップなどで転倒リスクを抑制するなど、元気な高齢者にはできるだけ元気で暮らし続けていただけるよう、総合事業を充実していく必要があります。

また、「手段的自立度（IADL）」では、リスク該当者が市平均より低く、一方、「知的能動性」は、1.23、「社会的役割」が1.07と市平均より高くなっており、高次な生活機能が自立している方が多いことが考えられます。



## 【第6圏域】(富水)

	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第6圏域	14,930	3,740	25.1	80	70	120	100	80	90	40	580	15.5
	8位	9位	8位								8位	7位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

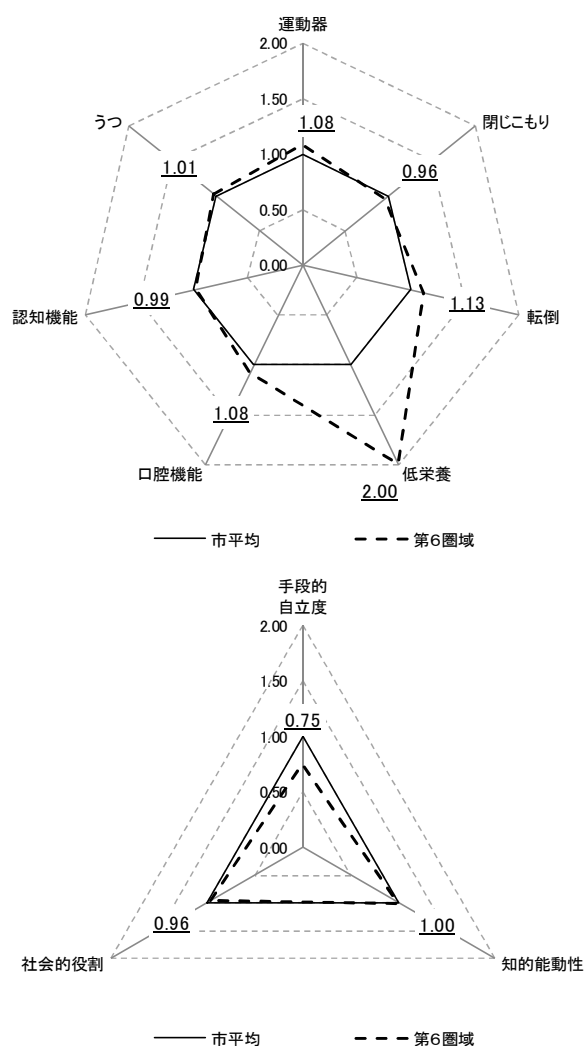
第6圏域は、市の北部に位置し、狩川、仙了川、要定川などの清流が流れ、美しい田園風景が広がっており、中央を大雄山線が通っています。本市の中で人口は8番目で、高齢者人口は9番目となっており、高齢化率は8番目で認定率は15.5%と5番目に低く、国の平均18.0%、市平均15.8%比べ低くなっています。

生活機能評価の項目で、市平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、市平均を上回った項目は、「運動器」「転倒」「低栄養」「口腔機能」「うつ」と7項目中5項目で、特に低栄養のリスク該当者が高くなっています。

低栄養のリスク該当者は、バランスの取れた食事や摂取量など食事の内容に問題がある可能性があり、低栄養状態となることで、運動器や認知機能など他のリスクへの影響が及ぶ可能性があります。

また、「手段的自立度（IADL）」では、リスク該当者が市平均より低く、「知的能動性」は、1.00、「社会的役割」は、0.96と市平均と同等ならびに低くなっており、高次な生活機能について自立している方が他の圏域に比べ多いことが伺えます。

第6圏域では、手段的自立度が他の圏域に比べ高くなっていますが、手段的自立度のうち自分で食事の用意ができていても食事の内容や摂取量が適切ではないことが考えられるため、一般介護予防事業や総合事業等を通じて、栄養指導や料理教室、配食サービスなど食生活に関する支援が必要です。



【第7圏域】(桜井)

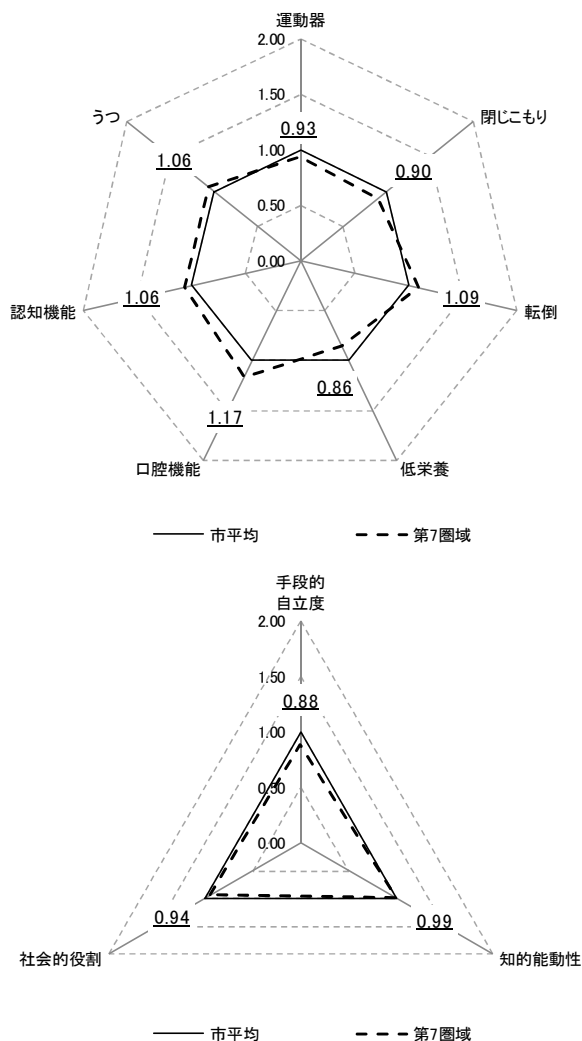
	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第7圏域	13,400	3,410	25.4	70	70	100	70	70	60	40	480	14.1
	11位	12位	7位								12位	11位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

第7圏域は、市の北部に位置し、地形上は平坦で、中央には仙了川が、東側には酒匂川が流れ、美しい田園風景が今も随所に残っています。本市の中で人口は11番目、高齢者は最も少ない圏域で、高齢化率は7番目で、認定率は2番目に低く、認定率は14.1%と国の平均18.0%、市の平均15.8%に比べ低くなっています。

生活機能評価の項目で、市平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、市平均を上回った項目は、「転倒」「口腔機能」「認知機能」「うつ」となっており、特に口腔機能のリスク該当者が高くなっています。

口腔機能の低下は、低栄養や誤嚥性肺炎などを引き起こす要因となる可能性が高くなります。さらに咀嚼や、嚥下する力が衰えることにより低栄養状態となり、運動器の機能低下によるリスクや、さらには運動器の機能低下による閉じこもりや認知機能、うつのリスクが高まる可能性があるため、一般介護予防事業などを通じて口腔ケアの充実が必要です。

また、「手段的自立度（IADL）」「知的能動性」「社会的役割」のすべての項目で、リスク該当者が市平均より低く、自立している人が多くなっていることが考えられるため、総合事業による生活支援により、自立した生活が維持できるよう支援が必要です。



## 【第8圏域】(酒匂・小八幡、富士見)

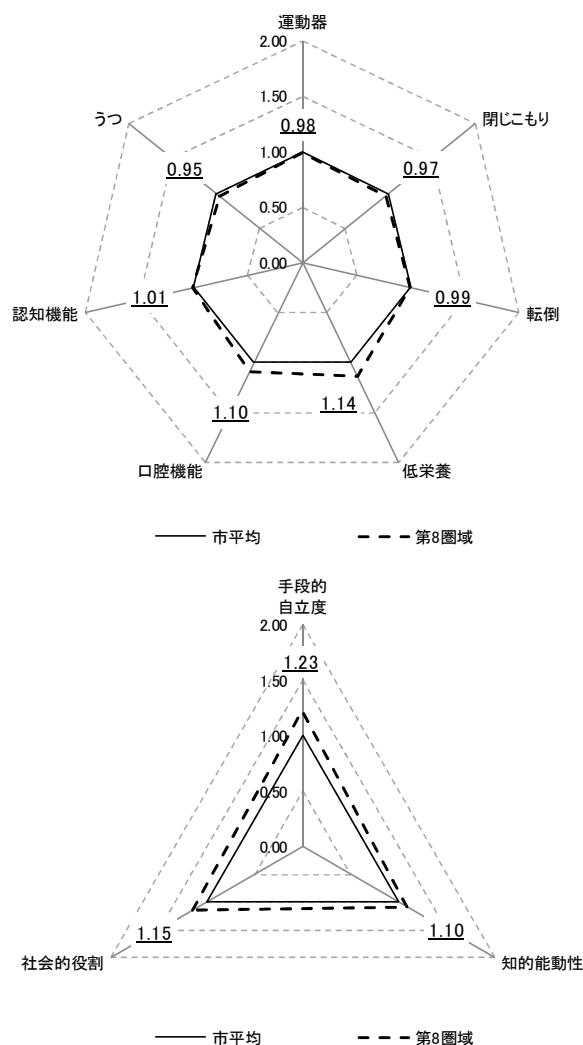
	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第8圏域	20,740	5,070	24.4	140	80	210	100	100	90	70	790	15.6
	1位	2位	10位								4位	5位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

第8圏域は、国道1号線に沿って発展した由緒ある地域で、西に酒匂川が流れ、相模湾に面した平坦な地形で、圏域内には健康、文化、スポーツ関連施設が整備されています。本市の中で最も人口が多く、高齢者人口は2番目に多い圏域で、高齢化率は10番目と低く、認定率は5番目で15.6%と国の平均18.0%に比べ低く、市の平均15.8%と同等なっています。

生活機能評価の項目で、圏域平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、圏域平均を上回った項目は、「低栄養」「口腔機能」「認知機能」となっており、特に低栄養と口腔機能のリスク該当者が高くなっています。

口腔機能の低下は、低栄養や誤嚥性肺炎などを引き起こす要因となる可能性が高くなります。また、自分の歯が19本以下の場合、咀嚼、嚥下機能が低下し、低栄養状態となるリスクが高まる可能性があるため、一般介護予防事業などを通じて口腔ケアを充実していくことが必要です。

また、「手段的自立度（IADL）」「知的能動性」「社会的役割」のすべての項目でリスク該当者が市平均より高く、特に「手段的自立度（IADL）」が1.23とリスク該当者が高くなっています。1人での外出や買物、食事の用意、預貯金の管理など高次の生活機能の自立が困難な状況が考えられることから総合事業を通じた生活支援の充実が必要です。



【第9圏域】（下府中）

	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第9圏域	16,080	3,820	23.8	80	60	120	100	80	70	50	560	14.7
	6位	8位	11位								9位	9位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

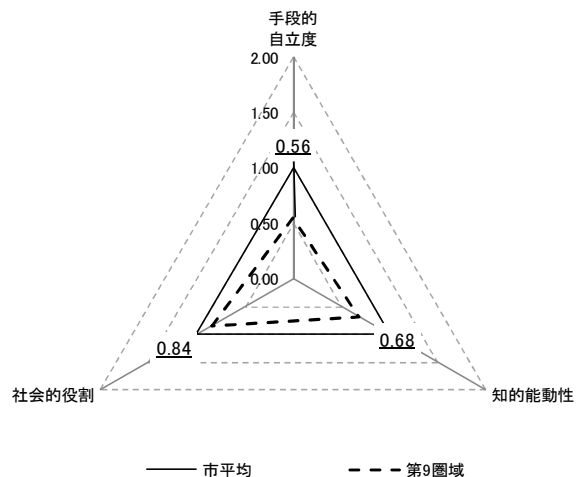
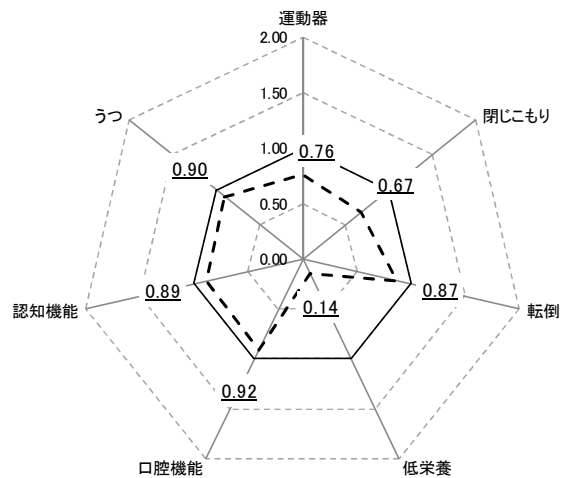
第9圏域は、地形上は平坦で中央に巡礼街道が走り、大型商業施設、文化・娯楽施設に徒歩や自転車で行き来が可能な地域です。本市の中で人口は6番目、高齢者人口は8番目、高齢化率は11番目と他の圏域に比べ低く、認定率は14.7%と4番目に低く、国の平均18.0%、市の平均15.8%に比べ低くなっています。

生活機能評価の項目で、市平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、すべての項目で市平均を下回っており、運動器、閉じこもり、転倒、低栄養のリスク該当者が他の圏域に比べ特に低くなっています。

第9圏域では、歩ける範囲で自立した日常生活が送れるという地理的条件から、週5回以上外出する人の割合が高くなっていることが考えられます。自立した生活を維持するために自分で買物に出かけたり、食事の準備をしたりすることが大切であり、買物も手段的自立度や知的能動性を高める要因となるため、大型商業施設や文化・娯楽施設を拠点とした総合事業の展開など、地域の特性を活かした生活支援が考えられます。

また、地域住民の有志によって健康づくりなどの活動を行う場合、「参加者」「お世話役」として参加してもよいという方の割合が他の圏域に比べ高いことから、ボランティア等の支援の担い手に対する育成を行い、多様な担い手により介護予防事業を充実していくことが望まれます。

また、「手段的自立度（IADL）」「知的能動性」「社会的役割」では、すべての項目でリスク該当者が市平均より低く手段的自立度は0.56とリスク該当者が低くなっています。



## 【第10圏域】(豊川、上府中)

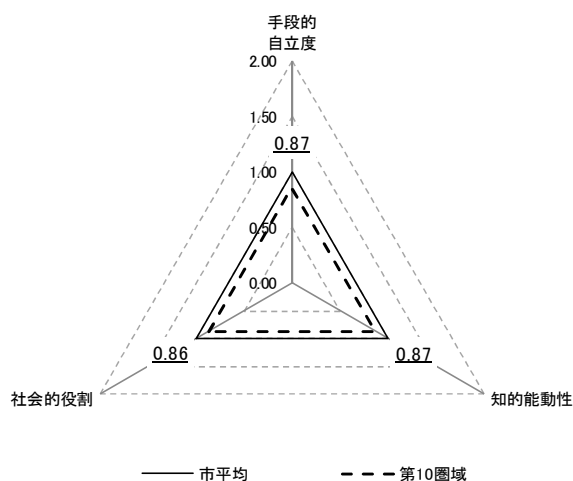
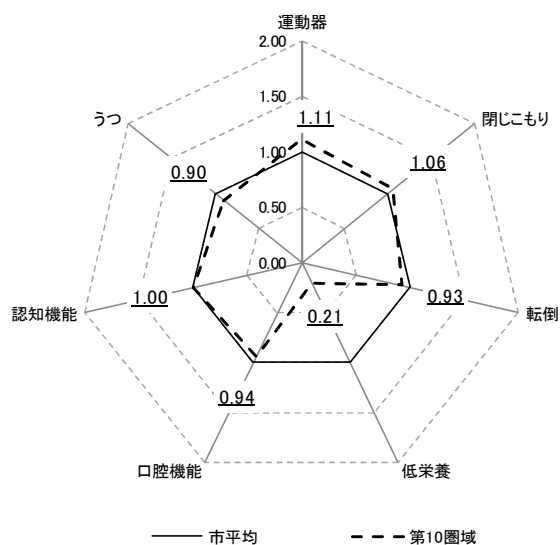
	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第10圏域	19,920	4,510	22.6	80	60	160	100	100	90	60	650	14.4
	2位	5位	12位								7位	10位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

第10圏域は、圏域の西部を酒匂川が流れ、酒匂川の水を活かした田園を中心としたまちづくりから工業団地と宅地化が著しく進む地域が混在する圏域です。本市の中で2番目に人口が多く、高齢者人口は5番目に多い圏域で、高齢化率は最も低く、認定率は14.4%と3番目に低く、国の平均18.0%、市の平均15.8%に比べ低くなっています。

生活機能評価の項目で、市平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、市の平均を上回った項目は、「運動器」「閉じこもり」となっており、特に運動器のリスク該当者が高くなっています。一方、低栄養については、市の平均に比べ0.21とリスク該当者は低くなっています。

第10圏域では、外出が週1回以下の方の割合が他の圏域に比べ高く、高齢者の集いの場や活躍する場が必要です。運動器のリスク該当者は外出の頻度も減少しており、自立した生活を維持するために自分で買物に出かけたり、食事の準備をしたりすることが大切で、運動機能の低下が強い影響を及ぼす70歳代からの運動器に関する介護予防事業への積極的な参加が望まれます。

また、「手段的自立度(IADL)」「知的能動性」「社会的役割」とすべての項目で市平均よりリスク該当者が低くなっていることから、自立した日常生活を営んでいることが伺えます。





【第11圏域】(曾我、下曾我、国府津)

	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第11圏域	18,420	4,990	27.1	90	60	150	120	100	110	60	690	13.8
	4位	3位	4位								6位	12位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

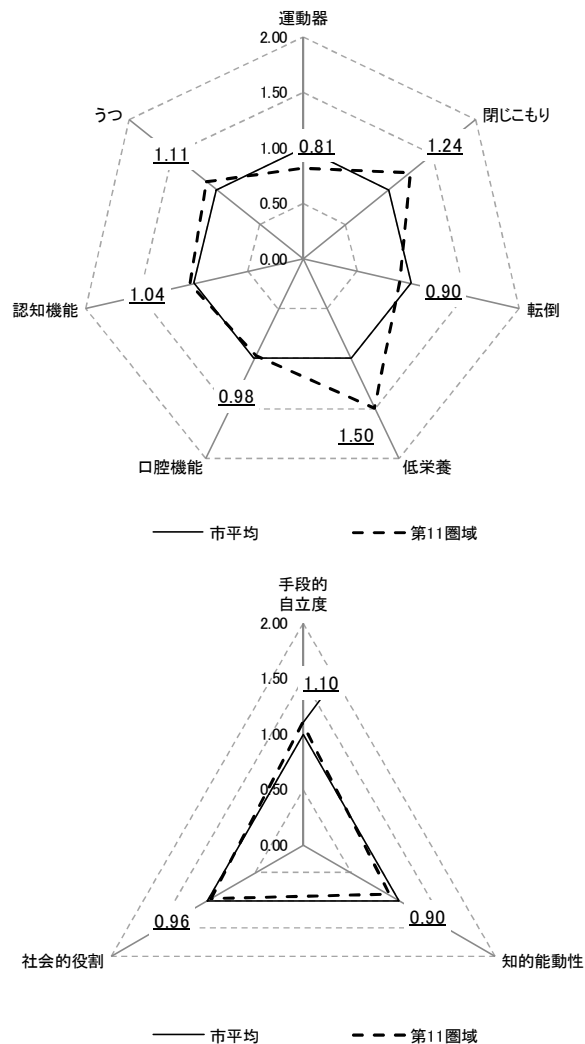
第11圏域は、本市の北東部に位置し、南は相模湾に面し、北は大井町と隣接している縦に長い圏域でJR御殿場線の沿線です。本市の中で4番目に人口が多く、高齢者人口は3番目に多くっており、高齢化率も4番目に高い圏域で認定率は13.8%と最も低く、国の平均18.0%、市の平均15.8%に比べ低くなっています。

生活機能評価の項目で、市平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、市平均を上回った項目は、「閉じこもり」「低栄養」「認知機能」「うつ」となっており、特に低栄養のリスク該当者が高くなっています。一方、運動器については、市平均にくらべ0.81とリスク該当者は低くなっています。

第11圏域では、外出が週1回以下の方の割合が他の圏域に比べ高く、高齢者の集いの場や活躍する場が必要です。

閉じこもりがちな生活が続くことで、運動器や食欲が低下し、低栄養や、認知機能、うつのリスクが高まることが考えられるため、こまめに体を動かし、積極的に外出する機会を増やすことや、栄養指導や配食サービスなど、栄養状態の改善に向けた支援が必要です。

また、「手段的自立度(IADL)」では、リスク該当者が市平均より高く、1人での外出や買物、食事の用意、預貯金の管理など高次な生活機能のリスク該当者が市平均に比べ高くなっており、介護予防事業への積極的な参加が望まれるとともに、生活支援など総合事業を活用した自立支援が必要です。



## 【第12圏域】(橘南、橘北)

	人口 (人)	高齢者 人口 (人)	高齢化率 (%)	要支援・要介護認定者数(人)							認定率 (%)	
				要支援		要介護						合計
				1	2	1	2	3	4	5		
第12圏域	11,550	3,540	30.6	80	50	130	90	70	90	50	560	15.8
	12位	11位	2位								9位	4位
市全体	196,020	51,310	26.2	1,200	860	1,870	1,290	1,110	1,110	690	8,130	15.8

第12圏域は、本市の東部に位置し、二宮町や中井町とも隣接し、南は相模湾に面しており、坂が多い地域です。圏域内には、地域のコミュニティの場としてタウンセンターや、老人憩いの家、福祉館があります。本市の中で最も人口が少なく、高齢者人口も11番目、高齢化率は30.6%と2番目に高く3割を超えており、認定率は15.8%と国の平均18.0%に比べ低く、市の平均15.8%と同等なっています。

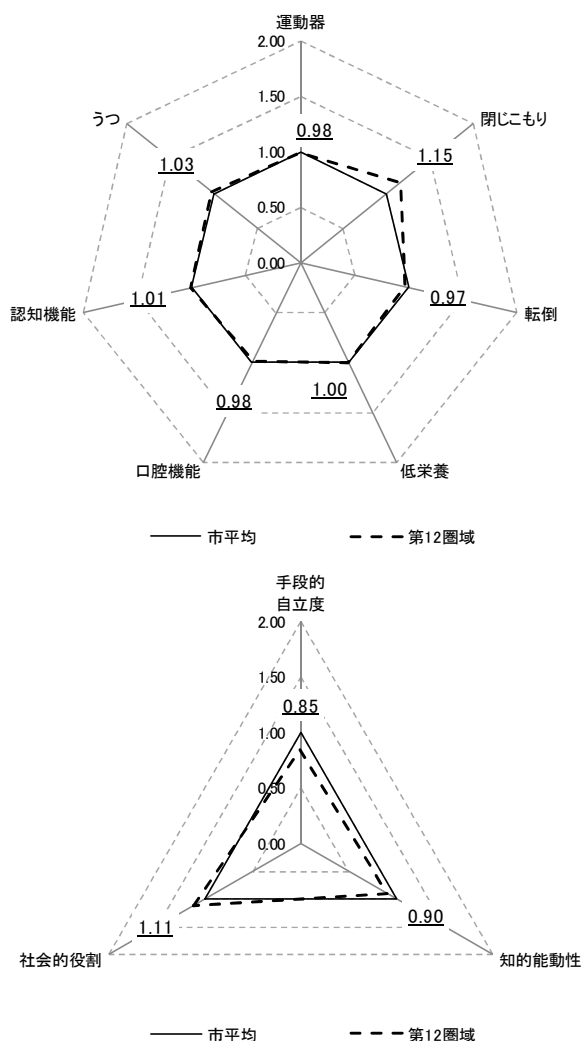
生活機能評価の項目で、市平均を1.00とした場合のリスク該当者の割合をみると、市平均を上回った項目は、「閉じこもり」「うつ」となっています。

第12圏域は、坂が多いという地理的条件から、後期高齢者になると運転免許を返納するなど移動手段がなくなると閉じこもりの傾向も高くなることが考えられます。

閉じこもりは、運動器の機能低下や認知機能の低下、うつの要因となることが考えられるため、地域でのイベントや集いの場など、身近な地域に社会参加が可能となる施策の展開が望まれます。

さらに人との関わりや相談に乗ることなど社会的な役割がなくなることで生きがいなくなり、うつや認知症となる要因が考えられるため、コミュニケーションなどが活発にできるような人材を育成するとともに、タウンセンターなど地域のコミュニティの場を活用したサロンなどの充実を図る必要があります。

また、「手段的自立度(IADL)」、「知的能動性」でリスク該当者が市平均より低くなっており、高次の生活機能が自立している方が多いことが考えられます。「社会的役割」では、リスク該当者が市平均より高くなっています。









## V 資料

### 1 自由記載回答

調査票のうち、自由記載欄のある回答結果の主なものは以下のとおりで、件数が多かった順に掲載しています。

#### 調査票を記入されたのはどなたですか：続柄

- ・妻、子（長男、長女、娘、次女）、夫、長男の嫁、孫、母、妹、義姉 等

#### 問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか：その他

- ・高血圧、腰痛、交通事故による後遺症、ストレス、統合失調症 等

#### 問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか：その他

- ・義姉、知人、友人、訪問看護師 等

#### 問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか：その他

- ・家族の介護、体力がない、視力が弱い、疲れる等

#### 問13 外出する際の移動手段は何ですか：その他

- ・手押し車、杖、ボランティア、外出しない 等

#### 問38 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください

- |                |                      |            |          |
|----------------|----------------------|------------|----------|
| ・ガーデニング、盆栽     | ・手芸、編み物              | ・読書        | ・ゴルフ     |
| ・カラオケ、コーラス     | ・野菜づくり               | ・旅行        | ・絵手紙、絵画  |
| ・釣り            | ・スポーツ、運動全般           | ・散歩、ウォーキング |          |
| ・音楽鑑賞、楽器の演奏    | ・囲碁、将棋               | ・写真        | ・日曜大工、工作 |
| ・ハイキング、登山      | ・社交ダンス、ダンス、ヨガ、フィットネス | ・書道        | ・ドライブ    |
| ・テニス           | ・短歌、俳句               | ・テレビ鑑賞     | ・料理      |
| ・パソコン          | ・水泳                  | ・生け花、押し花   |          |
| ・麻雀            | ・パズル                 | ・映画鑑賞      | ・卓球      |
| ・日本舞踊、民謡       | ・茶道                  | ・マラソン      | ・温泉      |
| ・パチンコ、競輪、競馬、競艇 | ・歴史                  | ・陶芸        | ・ボーリング   |
| ・食事            | ・仕事                  | ・スキー       | ・自転車     |
| ・英会話           | ・ゲーム                 | ・野球（観戦含む）  | ・買い物     |
| ・サイクリング        | ・掃除                  | ・バレーボール    |          |
| ・人と話す          |                      |            |          |
| ・ゲートボール 等      |                      |            |          |

V 資料

問 39 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください

- ・子どもや孫の成長をみたり、なにかしてあげたりすること
- ・仕事をしていること
- ・農業や野菜作りをすること
- ・毎日の生活を楽しむこと
- ・趣味をすること
- ・運動をして体を動かすこと
- ・ペットや花の世話をすること
- ・人や社会の役に立つこと
- ・カラオケをすること
- ・宗教活動をすること
- ・地域、団体の役員として務めること
- ・お酒を飲むこと
- ・家族、夫婦で仲良く生活すること
- ・健康でいること
- ・旅行に行くこと
- ・友人と交流すること
- ・ボランティア活動をすること
- ・文化、芸術活動に取り組むこと
- ・食事をとること
- ・ゴルフをすること
- ・読書をすること
- ・テレビを観ること

問 40-1 働く理由、働きたい理由はなんですか：その他

- ・自営業のため、農作業のため、頼まれたから、住宅ローンの返済中 等

問 45 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人：その他

- ・ケアマネジャー、サークル仲間、会社の同僚、ヘルパー 等

問 46 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人：その他

- ・会社の同僚、カラオケ仲間、ボランティアのグループ、同居人 等

問 47 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人：その他

- ・ヘルパー、義理兄夫婦、寝込んだことがないからわからない、友人 等

問 48 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人：その他

- ・同居人、義母、亡くなった友人の子ども、頼まれたら誰にでも 等

問 60 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか：その他

- ・アレルギー、腰痛、歯の治療、統合失調症、痛風、睡眠障害、整形外科 等

記入日：平成29年 月 日

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人がらみ名称： \_\_\_\_\_ ）
3. その他

**1 あなたの家族や生活状況についてお伺いします**

問1 家族構成をお教えください（1つを選択）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（同居者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（同居者64歳以下）
4. 母子・娘との2世帯
5. その他

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つを選択）

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在受けていない
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）

問2で「2」「3」と回答した方にお伺いします。

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（複数選択可）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病変（肺炎、肺がん等）
5. 関節の病変（リウマチ等）
6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎臓病（透析）
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨質・骨密度低下
12. 腎臓機能低下
13. 高齢による衰弱
14. その他（ \_\_\_\_\_ ）
15. 不明

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか（複数選択可）

1. 配偶者（夫・妻）
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他（ \_\_\_\_\_ ）

**小田原市 介護予防・日常生活圏域ニース調査**

小田原市では、平成29年度に「おだわら高齢者福祉介護計画」の本格的な見直しを行います。この調査は、「おだわら高齢者福祉介護計画」見直しのための調査票として活用することを目的に、小田原市にお住まいの65歳以上の方から無作為に選抜していただいた方を対象として実施するものです。お答えいただいた内容は、統計的に処理いたしますので、みなさまに迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいましたようお願い申し上げます。

平成29年11月

小田原市長 加藤 薫一

**ご記入の前に**

- ・この調査は到着の宛名の方が対象です。
- ・回答にあてはまる番号を○で囲むなど、各設問の指示にしたがってください。
- ・平成29年11月1日現在の内容でご記入ください。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などが代筆していただくか、ご本人の捺印を尊重して代わって回答していただくようお願いいたします。
- ・設問中の「あなた」とは高齢者ご本人のことを指します。

**個人情報取り扱いについて**

- ・個人情報保護法が定める利用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
  - ・なお本調査票の返送をもちまして、以下にご同意いただいたものとみなさせていただきます。
- 【個人情報の受渡及び活用目的について】
- ・「おだわら高齢者福祉介護計画」見直しのための基礎資料として活用することを目的に、今回の調査と介護認定データベース等を利用させていただきます。調査目的以外に利用することはありません。
  - ・本調査で得られた情報につきましては、本市で適切に管理させていただきます。

**調査票の回収について**

- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月20日（金）までに返送くださるようお願いいたします。

**調査についてのお問い合わせ**

小田原市役所 高齢介護課 高齢者福祉係 TEL (0465) 33-1842  
FAX (0465) 33-1838



問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つを選択）

- 1. 大変辛い
- 2. やや辛い
- 3. ふつう
- 4. ややゆとりがある
- 5. 大変ゆとりがある

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つを選択）

- 1. 戸家（一戸建て）
- 2. 戸家（集合住宅）
- 3. 公営賃貸住宅
- 4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
- 5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
- 6. 借家
- 7. その他

2 からだを動かすことについてお伺いします

問5 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか（1つを選択）

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つを選択）

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

問7 15分位続けて歩いていますか（1つを選択）

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つを選択）

- 1. 何回もある
- 2. 1回ある
- 3. ない

問9 転倒に対する不安は大きいですか（1つを選択）

- 1. とても不安である
- 2. やや不安である
- 3. あまり不安でない
- 4. 不安でない

問10 週に1回以上は外出していますか（1つを選択）

- 1. ほとんど外出しない
- 2. 週1回
- 3. 週2~4回
- 4. 週5回以上

問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つを選択）

- 1. とても減っている
- 2. 減っている
- 3. あまり減っていない
- 4. 減っていない

問12 外出を控えていますか（1つを選択）

- 1. はい
- 2. いいえ

問12で「1」と回答した方にお伺いします。

問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（複数選択可）

- 1. 病気
- 2. 雨が多い（散歩中の体温低下など）
- 3. 足腰などの痛み
- 4. トイレの心配（失禁など）
- 5. 目の悪がり（聞こえの問題など）
- 6. 日の障がい
- 7. 外での楽しみがない
- 8. 経済的に出られない
- 9. 交通手段がない
- 10. その他（ ）

問13 外出する際の移動手段は何か（複数選択可）

- 1. 徒歩
- 2. 自転車
- 3. バイク
- 4. 自動車（自分で運転）
- 5. 自動車（人に貸せてもらう）
- 6. 電車
- 7. 路線バス
- 8. 病院や施設のリフト
- 9. 三輪車
- 10. 電動車いす（カート）
- 11. 歩行器・シルバーカー
- 12. タクシー
- 13. その他（ ）

3 食べることにについてお伺いします

問14 身長・体重をご記入ください

- ①身長（ ）cm
- ②体重（ ）kg

問15 半年前に比べて回いたいものが食べにくくなりましたか（1つを選択）

- 1. はい
- 2. いいえ

問16 お茶や汁物等でむせることがありますか（1つを選択）

- 1. はい
- 2. いいえ

- 4 毎日の生活についてお伺いします
- 問 22 物忘れが多いと感じますか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ
- 問 23 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ
- 問 24 今日が何月何日かわからない時がありますか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ
- 問 25 バスや電車を使得って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つを選択)
1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
- 問 26 自分で食品・日用品の買物をしていますか (1つを選択)
1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
- 問 27 自分で食事の用意をしていますか (1つを選択)
1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
- 問 28 自分で請求書の支払いをしていますか (1つを選択)
1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
- 問 29 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つを選択)
1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
- 問 30 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ
- 問 31 新聞を読んでいますか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ
- 問 32 本や雑誌を読んでいますか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ

- 問 17 口の渇きが気になりますか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ
- 問 18 歯磨き (人にやってもらっても構合も含む) を毎日していますか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ
- 問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください (成人の歯の総本数は、新知らずを含めて32本です) (1つを選択)
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用  
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用  
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
- 問 19-1 噛み合わせは良いですか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ
- 問 19-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ
- 問 20 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか (1つを選択)
1. はい 2. いいえ
- 問 21 どなたかと食事をもにする機会はありますか (1つを選択)
1. 毎日ある 2. 週に回数がある 3. 月に回数がある  
4. 年に回数がある 5. ほとんどない



5 地域での活動についてお伺いします

問 41 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～④それぞれ1つに〇

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していません
心ホランテニアのグループ	1	2	3	4	5	6
バスボーツ同様のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
趣味同好会のグループ	1	2	3	4	5	6
学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
老人クラブ	1	2	3	4	5	6
自治会	1	2	3	4	5	6
収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 42 地域住民の有志によって、趣橋づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つを選択）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

問 43 地域住民の有志によって、趣橋づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つを選択）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

問 44 市が開催している介護予防事業（65歳からの筋トレ教室、食で生き生き！栄養教室など）を知っていますか（1つを選択）

1. 知っているし、参加したことがある 2. 知っているが、参加したことはない  
3. 聞いたことはあるが、内容までは知らない 4. 聞いたことがないし、知らない



問 33 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つを選択）

1. はい 2. いいえ

問 34 友人の家を訪ねていますか（1つを選択）

1. はい 2. いいえ

問 35 家族や友人の相談のついでにしていますか（1つを選択）

1. はい 2. いいえ

問 36 病人を見舞うことができますか（1つを選択）

1. はい 2. いいえ

問 37 若い人に自分から話しかけることができますか（1つを選択）

1. はい 2. いいえ

問 38 趣味はありませんか。ある場合は（ ）内にご記入ください（1つを選択）

1. 趣味あり（ ）  
2. 趣味がない

問 39 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（1つを選択）

1. 生きがいあり（ ）  
2. 趣味がない

問 40 現在働いていますか（1つを選択）

1. フルタイムで働いている 2. パートタイムで働いている  
3. 働いていないが、働きたい 4. 働いていないし、働きたくない

問 40で「1」「2」「3」と回答した方にお伺いします。

問 40-1 働く理由、働きたい理由はなんですか（1つを選択）

1. 生活のため 2. 健康のため 3. 生きがいのため  
4. 胎児に余裕があるから 5. 社会参加のため 6. 体力的にまだ働けるから  
7. その他（ ）

6 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお聞かせください

- 問 45 あなたの心配事や悩みを聞いてくれる人 (複数選択可)
- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者     | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども  | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣      | 6. 友人          |
| 7. その他 ( ) | 8. そのような人はいない  |
- 問 46 反対に、あなたが心配事や悩みを聞いてあげる人 (複数選択可)
- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者     | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども  | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣      | 6. 友人          |
| 7. その他 ( ) | 8. そのような人はいない  |
- 問 47 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (複数選択可)
- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者     | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども  | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣      | 6. 友人          |
| 7. その他 ( ) | 8. そのような人はいない  |
- 問 48 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人 (複数選択可)
- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者     | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども  | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣      | 6. 友人          |
| 7. その他 ( ) | 8. そのような人はいない  |
- 問 49 家族や友人・知人以外で、あなたが何かあったときに相談する人 (複数選択可)
- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 自治会・老人クラブ      | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. クアマネジャー        | 4. 医師・歯科医師・看護士  |
| 5. 地域包括支援センター・市役所 | 6. その他          |
| 7. そのような人はいない     |                 |

問 50 地域包括支援センターを知っていますか (1つを選択)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 名前を知っているし、業務内容も大体知っている  |
| 2. 名前を知っているし、業務内容も少しは知っている |
| 3. 名前は知っているが、業務内容は知らない     |
| 4. 名前も知らない                 |

問 51 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つを選択)

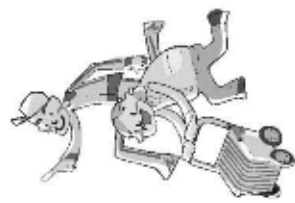
- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何回がある | 3. 月に何回がある |
| 4. 年に何回がある | 5. ほとんどない  |            |

問 52 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つを選択)

- |             |          |         |
|-------------|----------|---------|
| 1. 0人 (いない) | 2. 1~2人  | 3. 3~5人 |
| 4. 6~9人     | 5. 10人以上 |         |

問 53 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (複数選択可)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人  | 2. 幼なじみ           |
| 3. 学生時代の友人    | 4. 仕事での同僚・元同僚     |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他        | 8. いない            |



7 健康についてお伺いします

問 54 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つを選択）

- 1. とてもよい
- 2. まあよい
- 3. あまりよくない
- 4. よくない

問 55 あなたは、現在のどの程度幸せですか（1つを選択）  
 「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とします。

とても不幸 ←-----> とても幸せ  
 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問 56 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つを選択）

- 1. はい
- 2. いいえ

問 57 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つを選択）

- 1. はい
- 2. いいえ

問 58 お酒は飲みますか（1つを選択）

- 1. ほぼ毎日飲む
- 2. 時々飲む
- 3. ほとんど飲まない
- 4. もともと飲まない

問 59 タバコは吸っていますか（1つを選択）

- 1. ほぼ毎日吸っている
- 2. 時々吸っている
- 3. 吸っていたがやめた
- 4. もともと吸っていない

問 60 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか（複数選択可）

- 1. ない
- 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
- 5. 糖尿病
- 7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
- 9. 腎臓・前立腺の病気
- 11. 外傷（骨折・手術等）
- 13. 血液・免疫の病気
- 15. 認知症（アルツハイマー病等）
- 17. 目の病気
- 19. その他（ ）
- 2. 高血圧
- 4. 心臓病
- 6. 高血圧症（高血圧性）
- 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 10. 筋骨格の病気（肩こり・腰痛等）
- 12. がん（悪性新生物）
- 14. うつ病
- 16. パーキンソン病
- 18. 目の病気

◎その他、介護保険や福祉サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。  
 1月20日（金）までにご返願ください。